

「公共施設に関するアンケート調査」 調査結果報告書

平成 28 年 2 月
日野市

公共施設に関するアンケート調査

調査実施の概要

1. 調査設計

- (1) 調査地域 日野市全域
- (2) 調査対象 日野市在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 標本抽出 住民基本台帳から年齢別人口割合を考慮して無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送による配布、回収
- (6) 調査期間 平成27年10月20日～11月20日

2. 調査内容

- (1) 公共施設の状況の認識と市の方向性について
- (2) 回答者の属性

3. 回収結果

- (1) 標本数 3,000人
- (2) 有効回答数 1,236人
- (3) 有効回答率 41.2%

4. 主な注意事項等

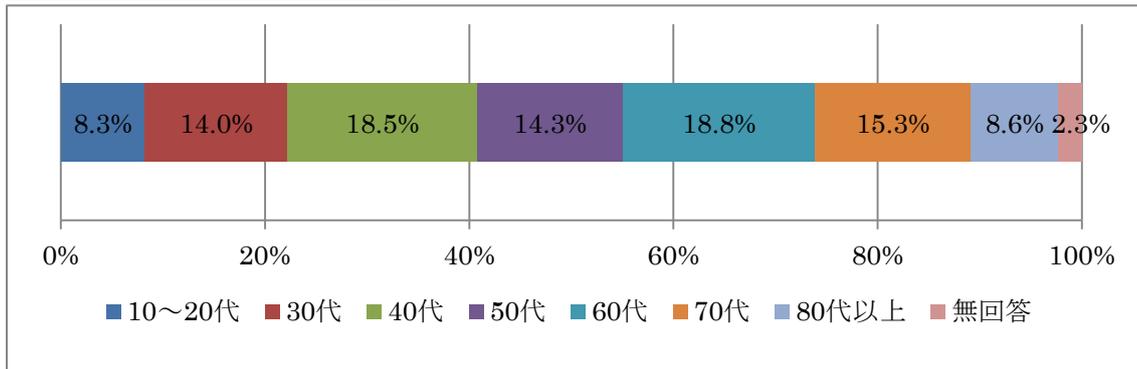
- (1) 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- (2) 回答者の居住地区は下記の8地区に分類しています。

1. 大坂上中学校地区	大坂上、栄町、新町、神明、日野台1丁目～3丁目、多摩平7丁目
2. 日野第一中学校地区	日野、日野本町、上田、万願寺1丁目～4丁目、宮
3. 日野第二中学校地区	多摩平2丁目・4丁目～6丁目、豊田、日野台4丁目～5丁目、東豊田2丁目～4丁目
4. 日野第三中学校地区	程久保、三沢4丁目～5丁目
5. 日野第四中学校地区	旭が丘、さくら町、多摩平1丁目・3丁目、西平山3丁目～5丁目、東平山3丁目、富士町
6. 七生中学校地区	川辺堀之内、東豊田1丁目、南平
7. 三沢中学校地区	三沢1丁目～3丁目、新井、石田、落川、高幡、百草、万願寺5丁目～6丁目
8. 平山中学校地区	平山、西平山1丁目～2丁目、東平山1丁目～2丁目

- (3) 複数回答可の質問の百分率の合計は100%を超えます。

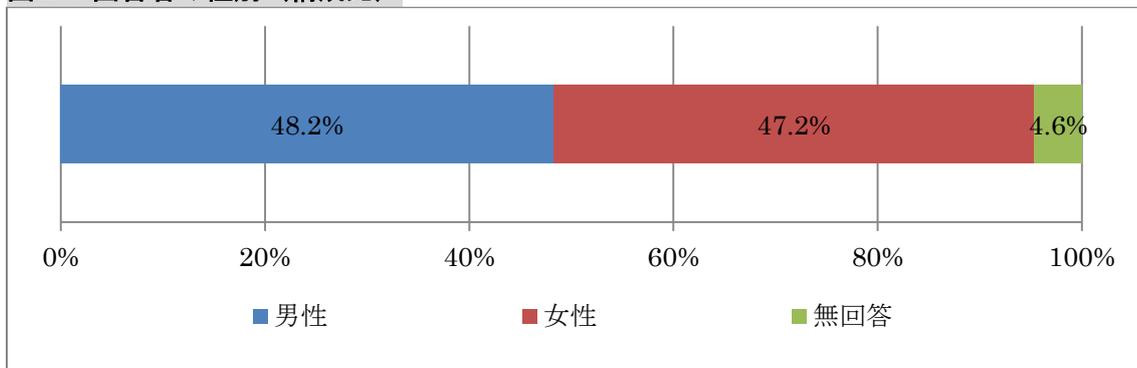
Ⅱ 調査回答者の属性

図1：回答者の年齢（構成比）



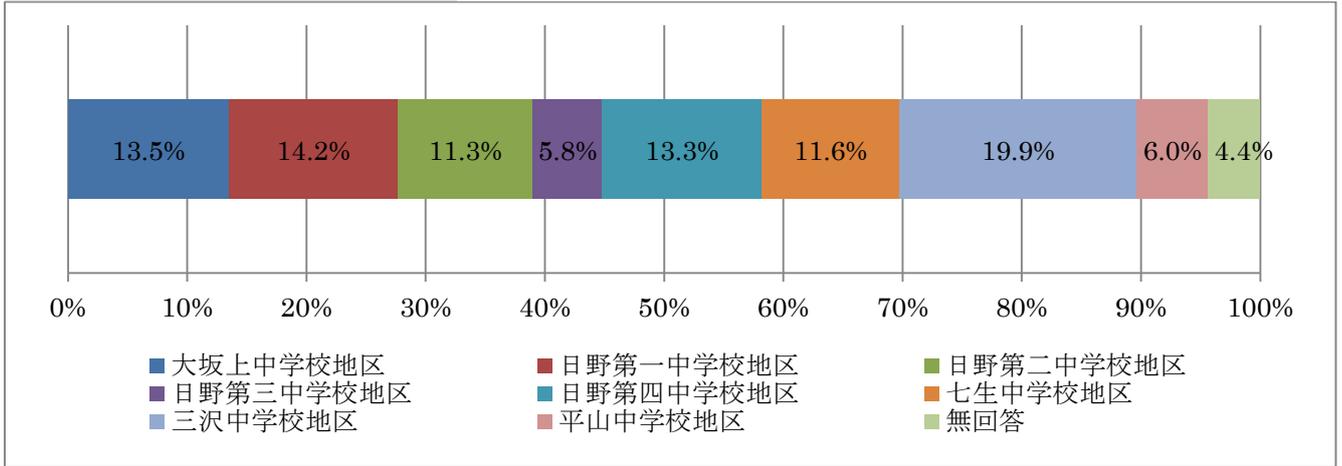
項目	人数	割合
10~20代	102	8.3%
30代	173	14.0%
40代	229	18.5%
50代	177	14.3%
60代	232	18.8%
70代	189	15.3%
80代以上	106	8.6%
無回答	28	2.3%
合計	1236	100.0%

図2：回答者の性別（構成比）



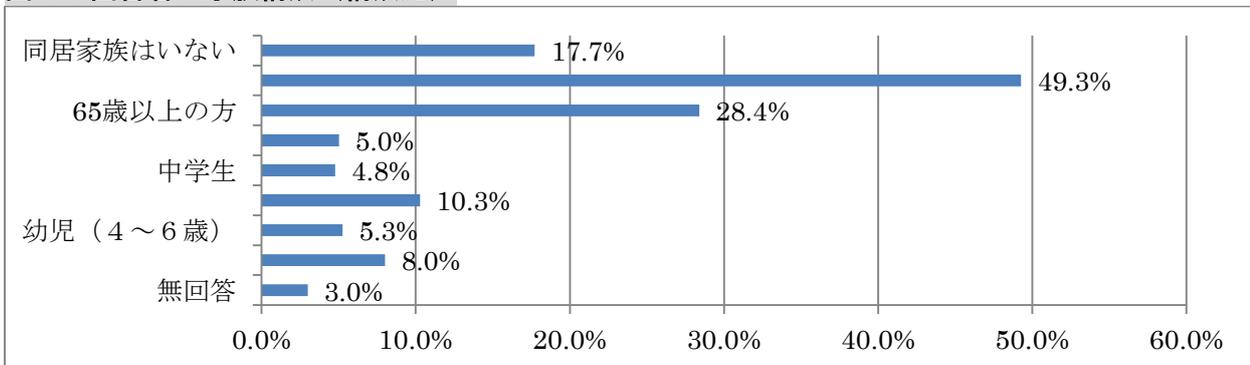
項目	人数	割合
男性	596	48.2%
女性	583	47.2%
無回答	57	4.6%
合計	1236	100.0%

図3：回答者の居住地区（構成比）



項目	人数	割合
大坂上中学校地区	161	13.5%
日野第一中学校地区	175	14.2%
日野第二中学校地区	146	11.3%
日野第三中学校地区	72	5.8%
日野第四中学校地区	165	13.3%
七生中学校地区	143	11.6%
三沢中学校地区	246	19.9%
平山中学校地区	74	6.0%
無回答	54	4.4%
合計	1236	100.0%

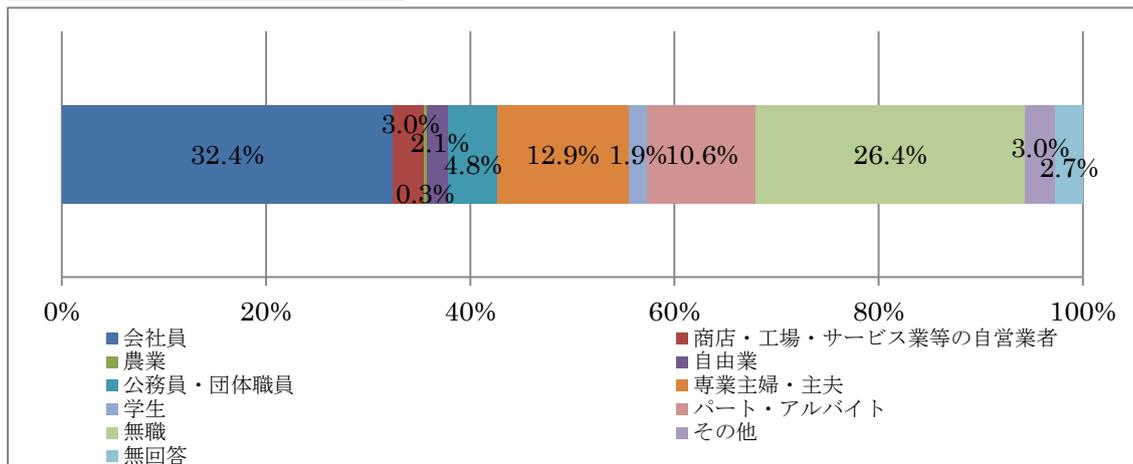
図4：回答者の家族構成（構成比）



項目	人数	割合
同居家族はいない	219	17.7%
同居者は上記以外の方	609	49.3%
65歳以上の方	351	28.4%
高校生	62	5.0%
中学生	59	4.8%
小学生	127	10.3%
幼児（4～6歳）	65	5.3%
乳幼児（0～3歳）	99	8.0%
無回答	37	3.0%

(注) 割合は回答人数を有効回答数(1,236)で除して算定している。そのため、各項目の合計値が100%を超えている。

図5：回答者の職業（構成比）



項目	人数	割合
会社員	401	32.4%
商店・工場・サービス業等の自営業者	37	3.0%
農業	4	0.3%
自由業	26	2.1%
公務員・団体職員	59	4.8%
専業主婦・主夫	159	12.9%
学生	23	1.9%
パート・アルバイト	131	10.6%
無職	326	26.4%
その他	37	3.0%
無回答	33	2.7%
合計	1236	100.0%

Ⅲ 調査結果の分析

問1：下記の説明のような、公共施設を取り巻く状況について知っていましたか。下記の

①～③の各項目で、あてはまるものをお選びください。(二者択一)

① 多くの施設で老朽化が進行していることについて... 知っていた 知らなかった

市の公共施設を取り巻く様々な状況について説明します。

建物の状況

・ 公共施設は老朽化が進行しており、今後は改修や建替えが必要です。

人口の状況

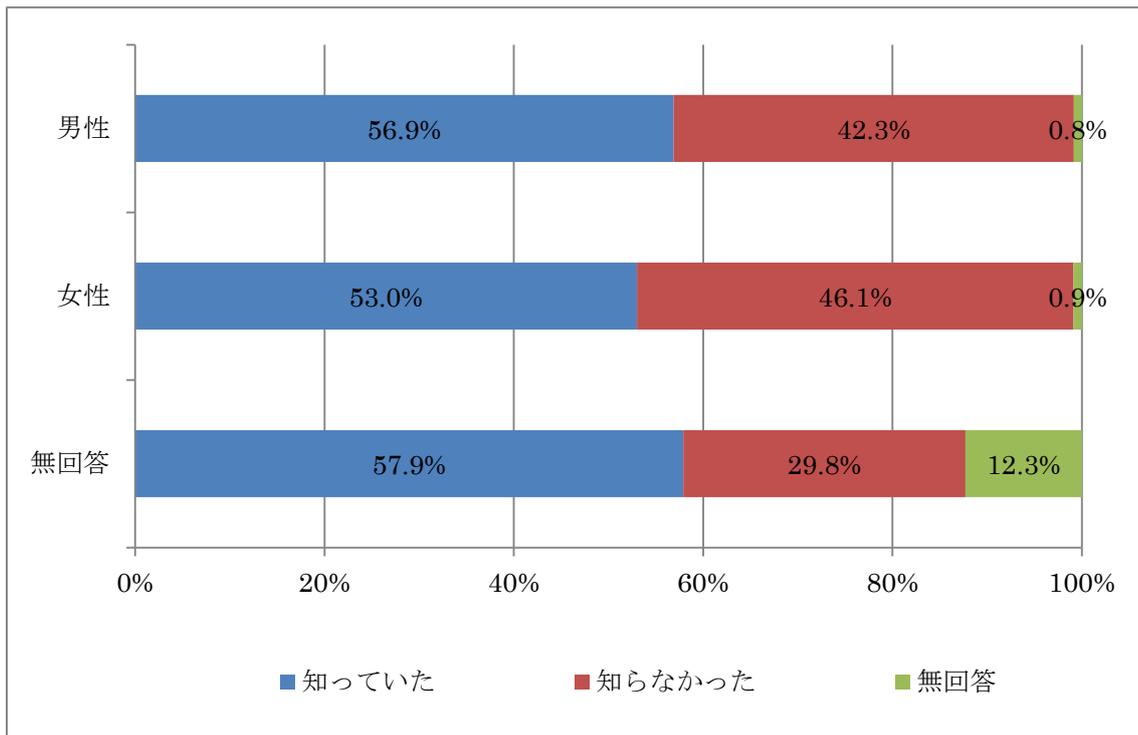
・ 今後、市の人口は減少し、少子高齢化が進行する見込みです。

財政の状況

・ 子育てや介護費などの福祉にかかる費用が増加傾向にあるため、公共施設にかかる費用に充てられない状況です。

公共施設の老朽化に関しては、性別では「男性」、「女性」問わず半数以上が老朽化が進行している事実について認識されています。年代別では「60代」、「70代」の方で老朽化を認識されている方が6割を超えています。職業別では「学生」で、認識されている方が3割程にとどまっています。地区別では、「日野第二中学校地区」、「日野第三中学校地区」で老朽化を認識されている方が6割を超えています。

▶性別



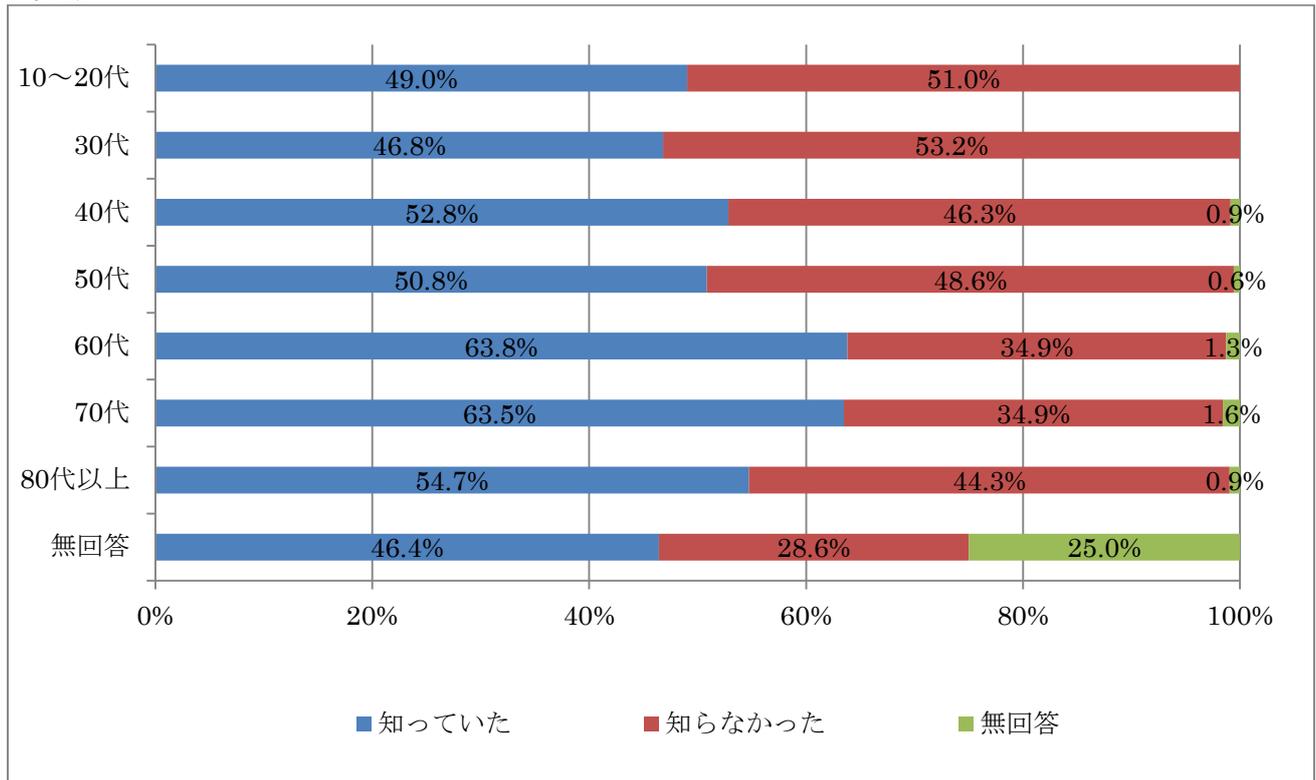
(人数)

性別/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
男性	339	252	5	596
女性	309	269	5	583
無回答	33	17	7	57
合計	681	538	17	1236

(割合)

性別/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
男性	56.9%	42.3%	0.8%	100.0%
女性	53.0%	46.1%	0.9%	100.0%
無回答	57.9%	29.8%	12.3%	100.0%
合計	55.1%	43.5%	1.4%	100.0%

▶年代別



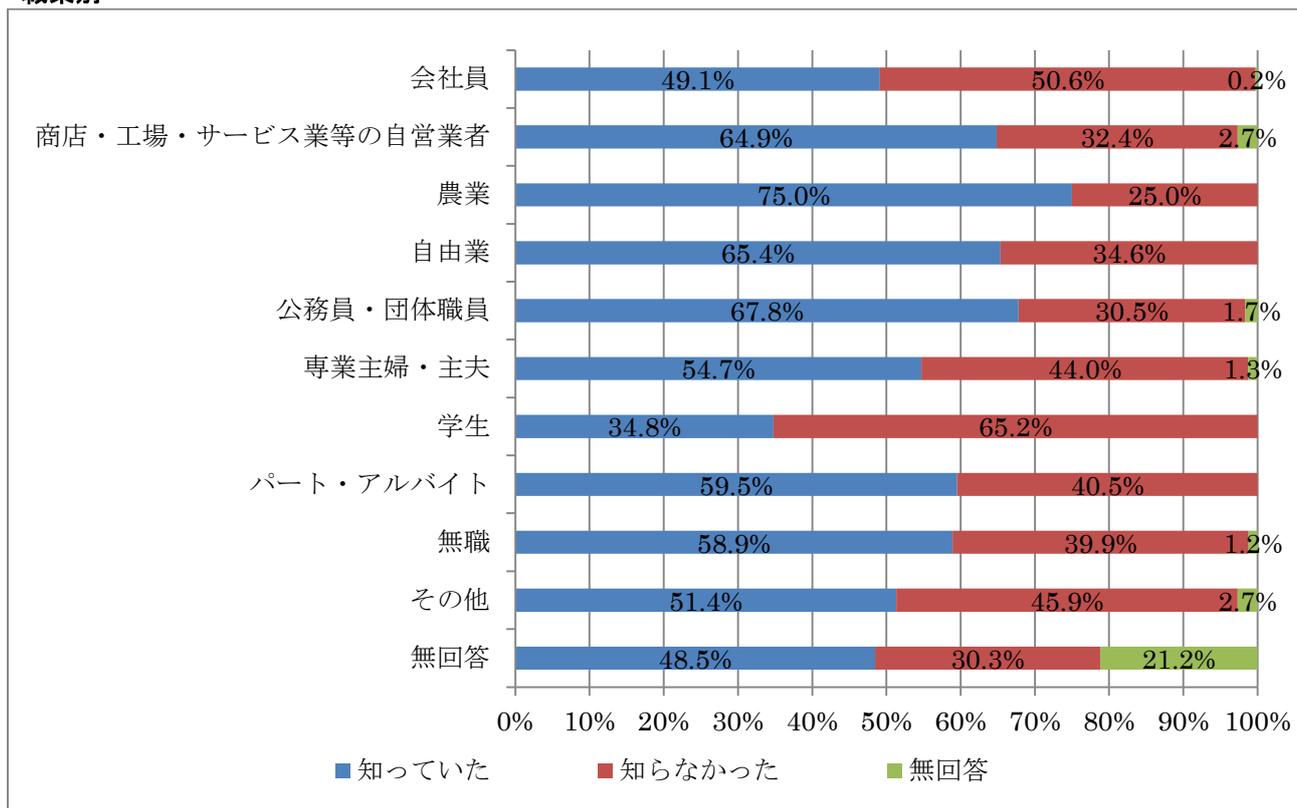
(人数)

年齢/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
10～20代	50	52	0	102
30代	81	92	0	173
40代	121	106	2	229
50代	90	86	1	177
60代	148	81	3	232
70代	120	66	3	189
80代以上	58	47	1	106
無回答	13	8	7	28
合計	681	538	17	1236

(割合)

年齢/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
10～20代	49.0%	51.0%	0.0%	100.0%
30代	46.8%	53.2%	0.0%	100.0%
40代	52.8%	46.3%	0.9%	100.0%
50代	50.8%	48.6%	0.6%	100.0%
60代	63.8%	34.9%	1.3%	100.0%
70代	63.5%	34.9%	1.6%	100.0%
80代以上	54.7%	44.3%	0.9%	100.0%
無回答	46.4%	28.6%	25.0%	100.0%
合計	55.1%	43.5%	1.4%	100.0%

▶職業別



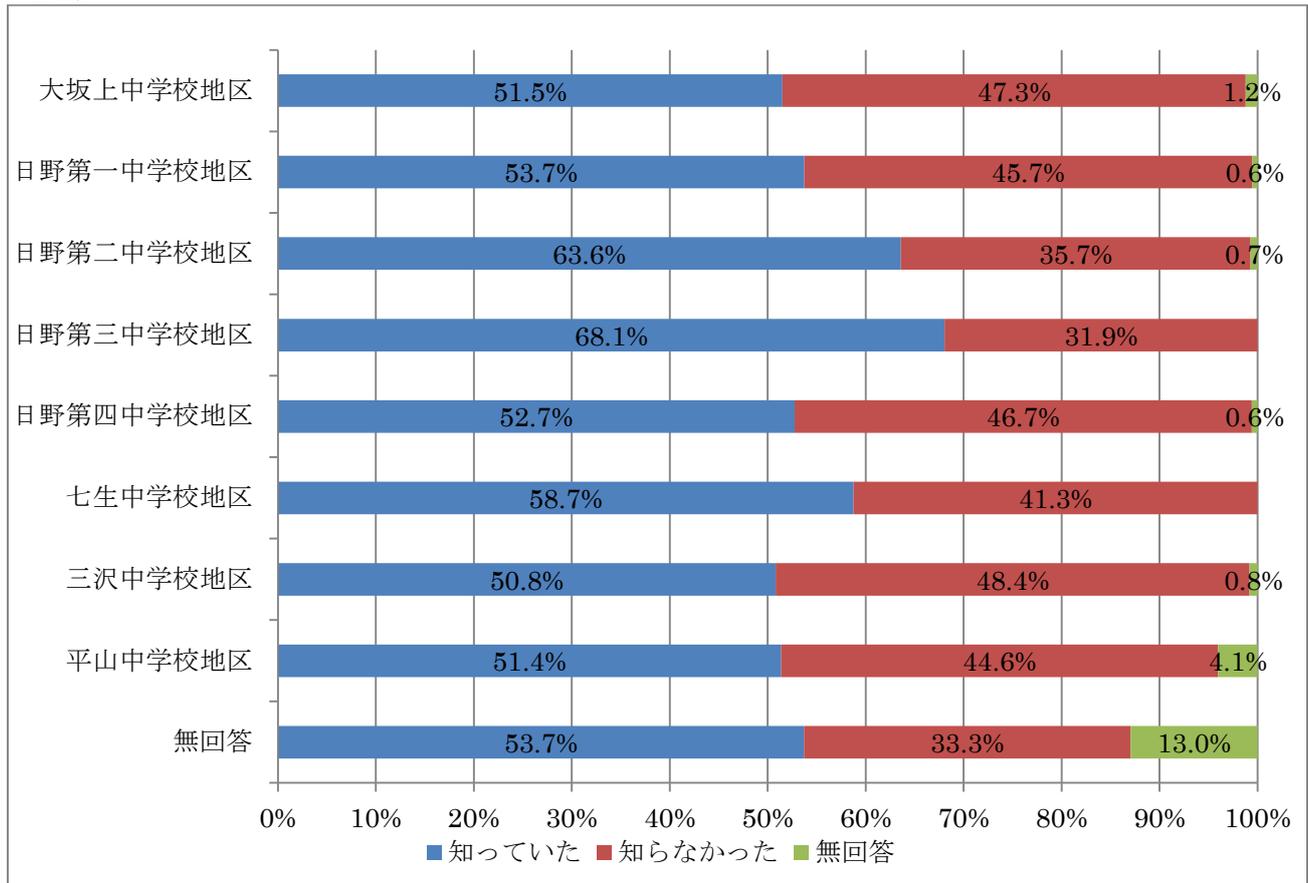
(人数)

職業/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
会社員	197	203	1	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	24	12	1	37
農業	3	1	0	4
自由業	17	9	0	26
公務員・団体職員	40	18	1	59
専業主婦・主夫	87	70	2	159
学生	8	15	0	23
パート・アルバイト	78	53	0	131
無職	192	130	4	326
その他	19	17	1	37
無回答	16	10	7	33
合計	681	538	17	1236

(割合)

職業/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
会社員	49.1%	50.6%	0.2%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	64.9%	32.4%	2.7%	100.0%
農業	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%
自由業	65.4%	34.6%	0.0%	100.0%
公務員・団体職員	67.8%	30.5%	1.7%	100.0%
専業主婦・主夫	54.7%	44.0%	1.3%	100.0%
学生	34.8%	65.2%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト	59.5%	40.5%	0.0%	100.0%
無職	58.9%	39.9%	1.2%	100.0%
その他	51.4%	45.9%	2.7%	100.0%
無回答	48.5%	30.3%	21.2%	100.0%
合計	55.1%	43.5%	1.4%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
大坂上中学校地区	86	79	2	167
日野第一中学校地区	94	80	1	175
日野第二中学校地区	89	50	1	140
日野第三中学校地区	49	23	0	72
日野第四中学校地区	87	77	1	165
七生中学校地区	84	59	0	143
三沢中学校地区	125	119	2	246
平山中学校地区	38	33	3	74
無回答	29	18	7	54
合計	681	538	17	1236

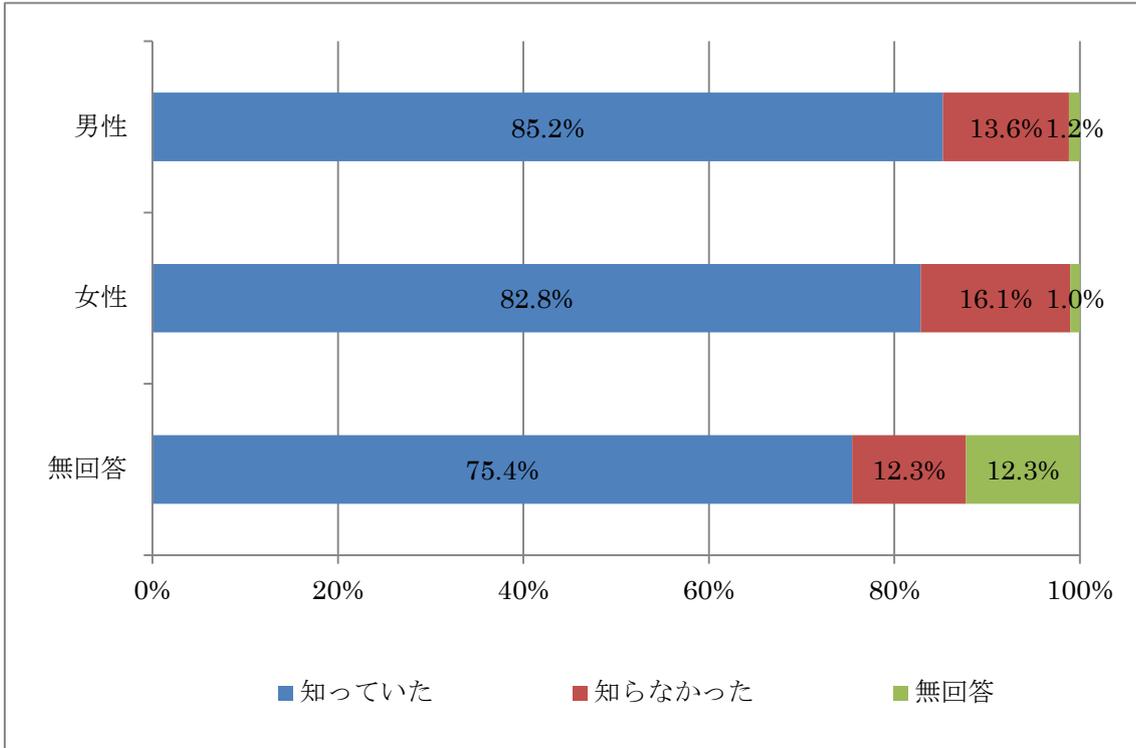
(割合)

地域/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
大坂上中学校地区	51.5%	47.3%	1.2%	100.0%
日野第一中学校地区	53.7%	45.7%	0.6%	100.0%
日野第二中学校地区	63.6%	35.7%	0.7%	100.0%
日野第三中学校地区	68.1%	31.9%	0.0%	100.0%
日野第四中学校地区	52.7%	46.7%	0.6%	100.0%
七生中学校地区	58.7%	41.3%	0.0%	100.0%
三沢中学校地区	50.8%	48.4%	0.8%	100.0%
平山中学校地区	51.4%	44.6%	4.1%	100.0%
無回答	53.7%	33.3%	13.0%	100.0%
合計	55.1%	43.5%	1.4%	100.0%

② 人口減少、少子高齢化が予測されていることについて □ 知っていた □ 知らなかった

人口減少・少子化進行に関しては、性別・年代別・職業別・地区別で認識の差が少なく、おおむね8割を超える方が認識されています。ただし、職業別では「学生」で「知っていた」割合が他と比べて少なくなっています。

▶性別



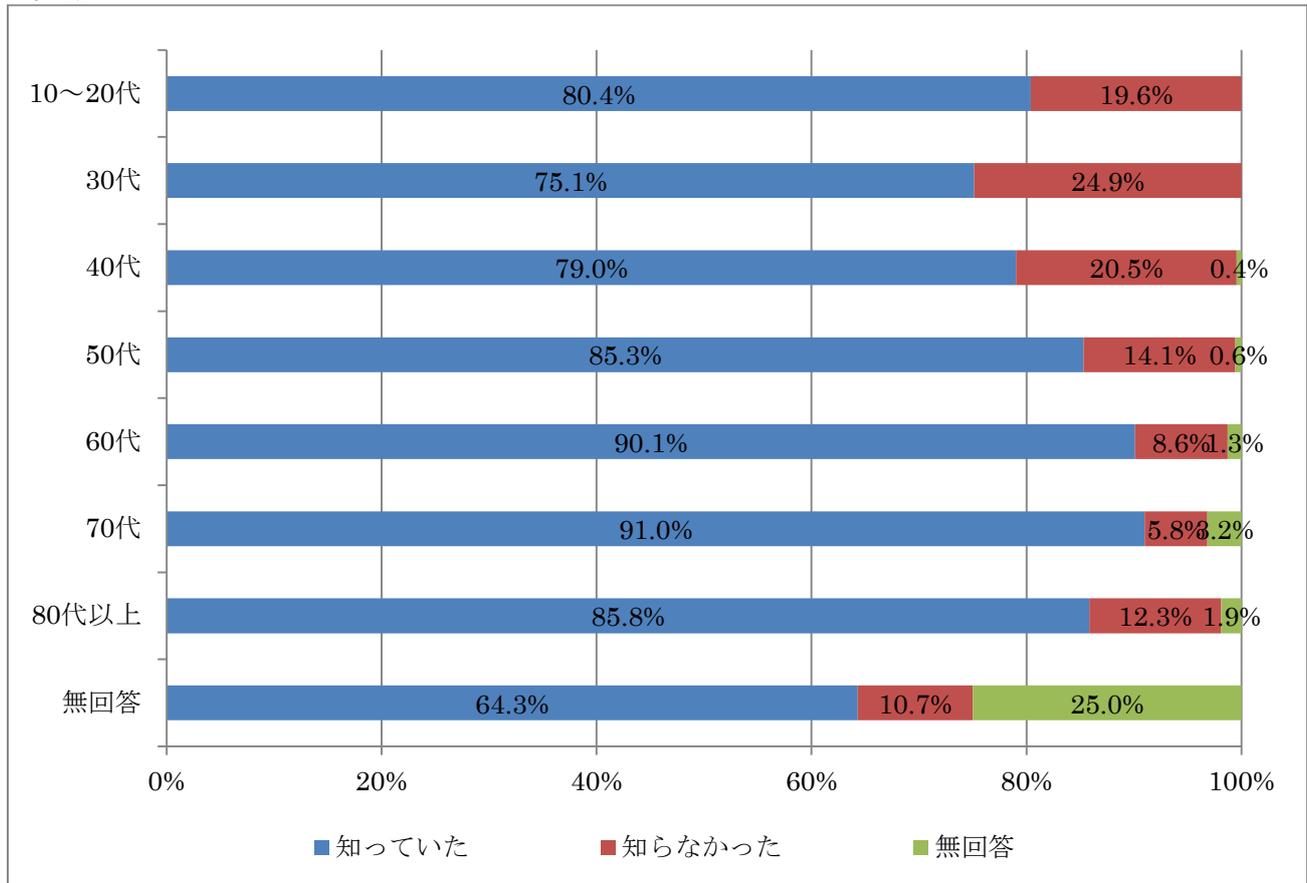
(人数)

性別/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
男性	508	81	7	596
女性	483	94	6	583
無回答	43	7	7	57
合計	1034	182	20	1236

(割合)

性別/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
男性	85.2%	13.6%	1.2%	100.0%
女性	82.8%	16.1%	1.0%	100.0%
無回答	75.4%	12.3%	12.3%	100.0%
合計	83.7%	14.7%	1.6%	100.0%

▶年代別



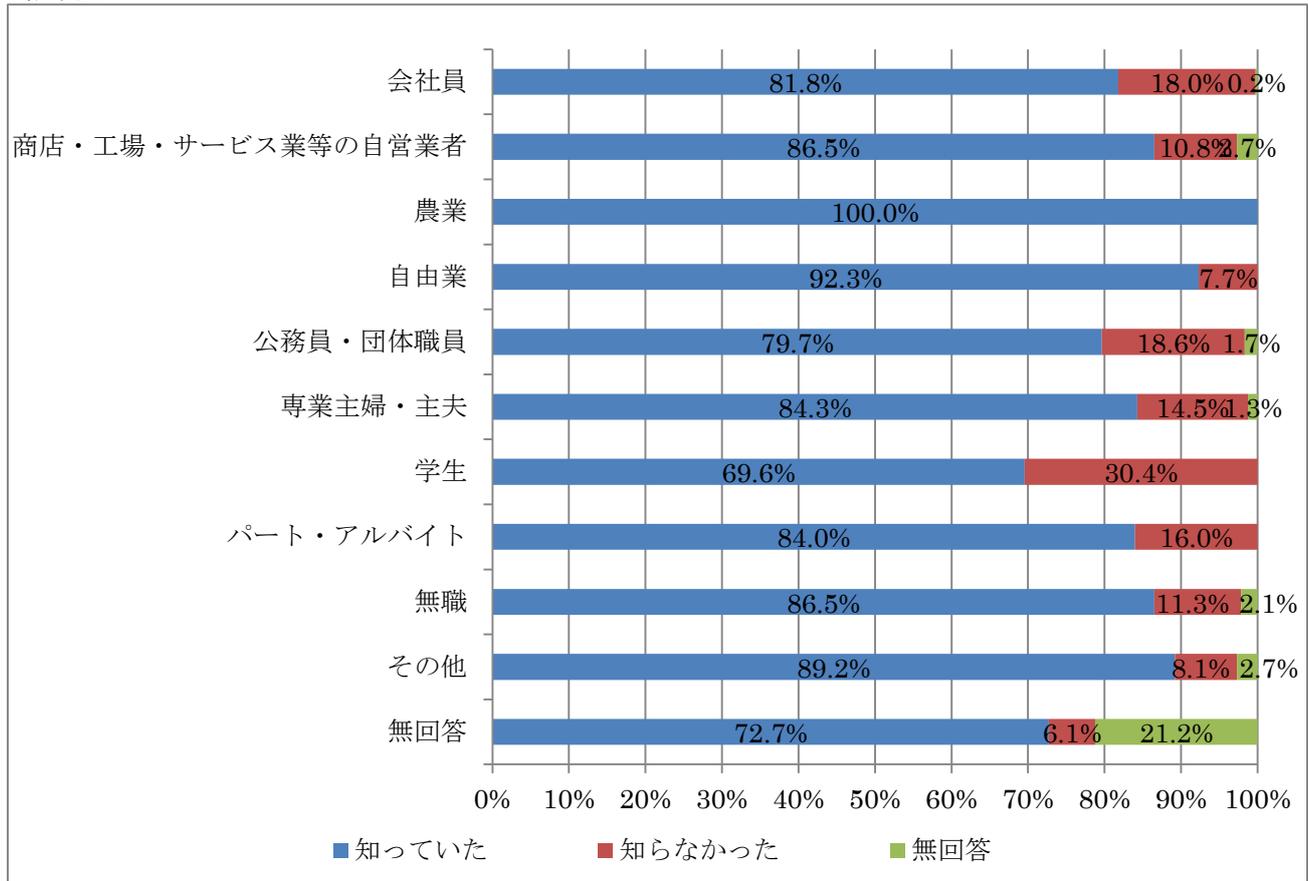
(人数)

年齢/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
10～20代	82	20	0	102
30代	130	43	0	173
40代	181	47	1	229
50代	151	25	1	177
60代	209	20	3	232
70代	172	11	6	189
80代以上	91	13	2	106
無回答	18	3	7	28
合計	1034	182	20	1236

(割合)

年齢/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
10～20代	80.4%	19.6%	0.0%	100.0%
30代	75.1%	24.9%	0.0%	100.0%
40代	79.0%	20.5%	0.4%	100.0%
50代	85.3%	14.1%	0.6%	100.0%
60代	90.1%	8.6%	1.3%	100.0%
70代	91.0%	5.8%	3.2%	100.0%
80代以上	85.8%	12.3%	1.9%	100.0%
無回答	64.3%	10.7%	25.0%	100.0%
合計	83.7%	14.7%	1.6%	100.0%

▶職業別



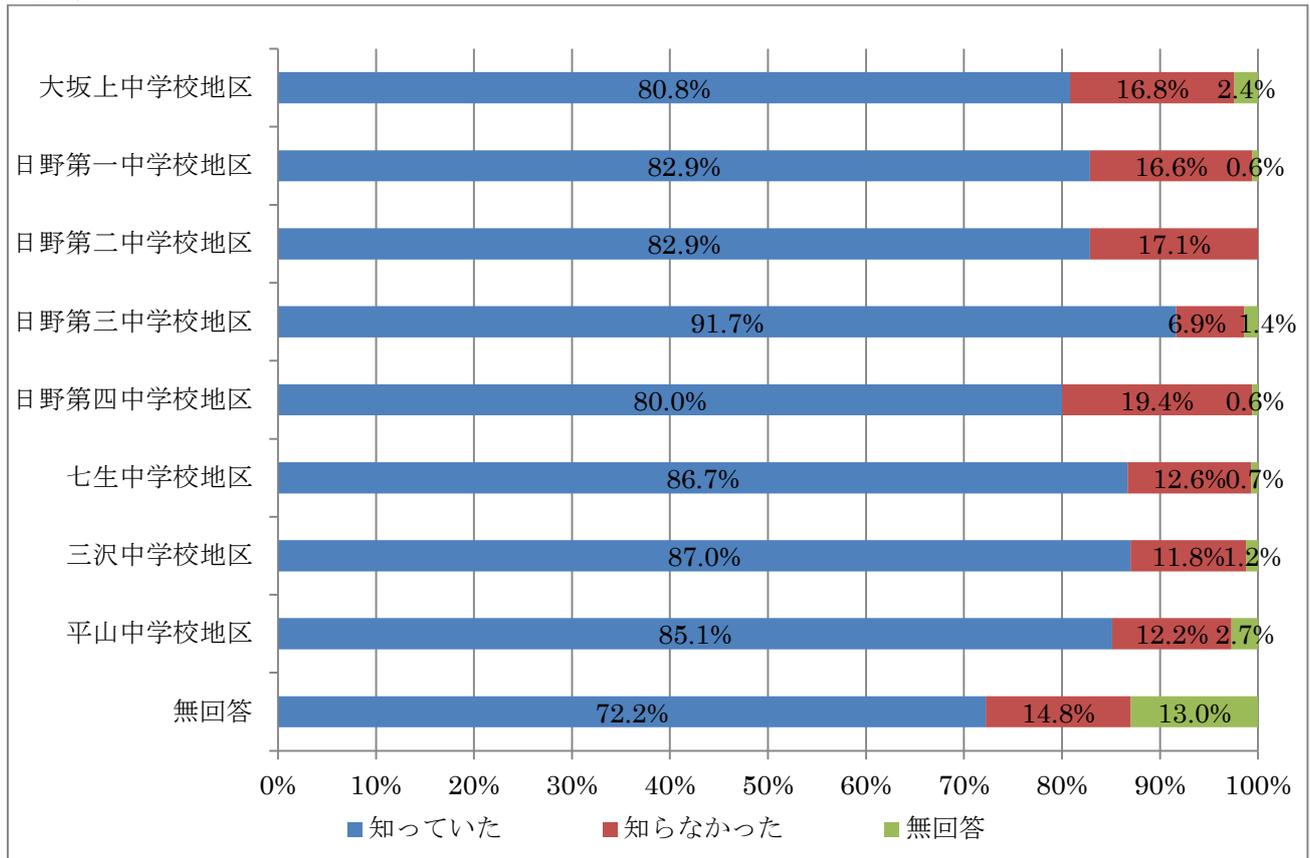
(人数)

職業/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
会社員	328	72	1	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	32	4	1	37
農業	4	0	0	4
自由業	24	2	0	26
公務員・団体職員	47	11	1	59
専業主婦・主夫	134	23	2	159
学生	16	7	0	23
パート・アルバイト	110	21	0	131
無職	282	37	7	326
その他	33	3	1	37
無回答	24	2	7	33
合計	1034	182	20	1236

(割合)

職業/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
会社員	81.8%	18.0%	0.2%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	86.5%	10.8%	2.7%	100.0%
農業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自由業	92.3%	7.7%	0.0%	100.0%
公務員・団体職員	79.7%	18.6%	1.7%	100.0%
専業主婦・主夫	84.3%	14.5%	1.3%	100.0%
学生	69.6%	30.4%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト	84.0%	16.0%	0.0%	100.0%
無職	86.5%	11.3%	2.1%	100.0%
その他	89.2%	8.1%	2.7%	100.0%
無回答	72.7%	6.1%	21.2%	100.0%
合計	83.7%	14.7%	1.6%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
大坂上中学校地区	135	28	4	167
日野第一中学校地区	145	29	1	175
日野第二中学校地区	116	24	0	140
日野第三中学校地区	66	5	1	72
日野第四中学校地区	132	32	1	165
七生中学校地区	124	18	1	143
三沢中学校地区	214	29	3	246
平山中学校地区	63	9	2	74
無回答	39	8	7	54
合計	1034	182	20	1236

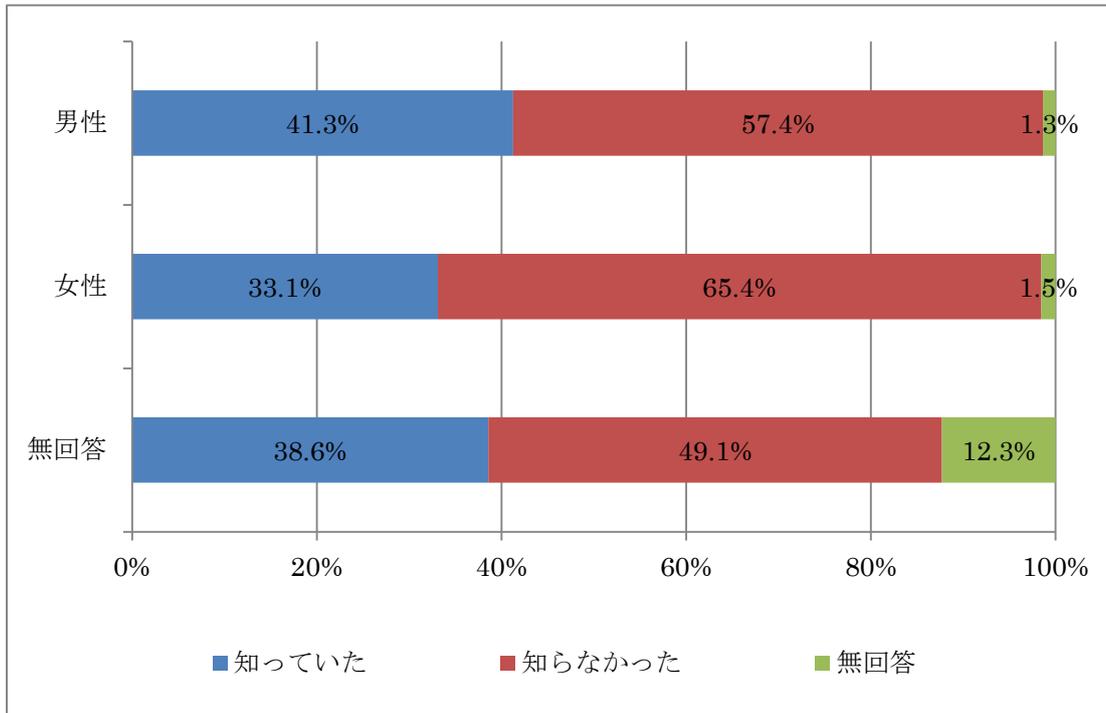
(割合)

地域/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
大坂上中学校地区	80.8%	16.8%	2.4%	100.0%
日野第一中学校地区	82.9%	16.6%	0.6%	100.0%
日野第二中学校地区	82.9%	17.1%	0.0%	100.0%
日野第三中学校地区	91.7%	6.9%	1.4%	100.0%
日野第四中学校地区	80.0%	19.4%	0.6%	100.0%
七生中学校地区	86.7%	12.6%	0.7%	100.0%
三沢中学校地区	87.0%	11.8%	1.2%	100.0%
平山中学校地区	85.1%	12.2%	2.7%	100.0%
無回答	72.2%	14.8%	13.0%	100.0%
合計	83.7%	14.7%	1.6%	100.0%

③ 福祉や公共施設整備の費用の状況について □ 知っていた □ 知らなかった

福祉・公共施設整備の費用の状況に関しては、性別では「女性」6割を超える方が「知らなかった」と回答されています。年代別では「10～20代」の方で「知らなかった」方がもっとも多く7割を超えています。職業別では「公務員・団体職員」で、「知っていた」方が6割を超えている一方、「学生」で「知っていた」割合が2割を下回っています。地区別では、「大坂上中学校地区」、「日野第一中学校地区」で「知っていた」方が他地区と比べて少なくなっています。

▶性別



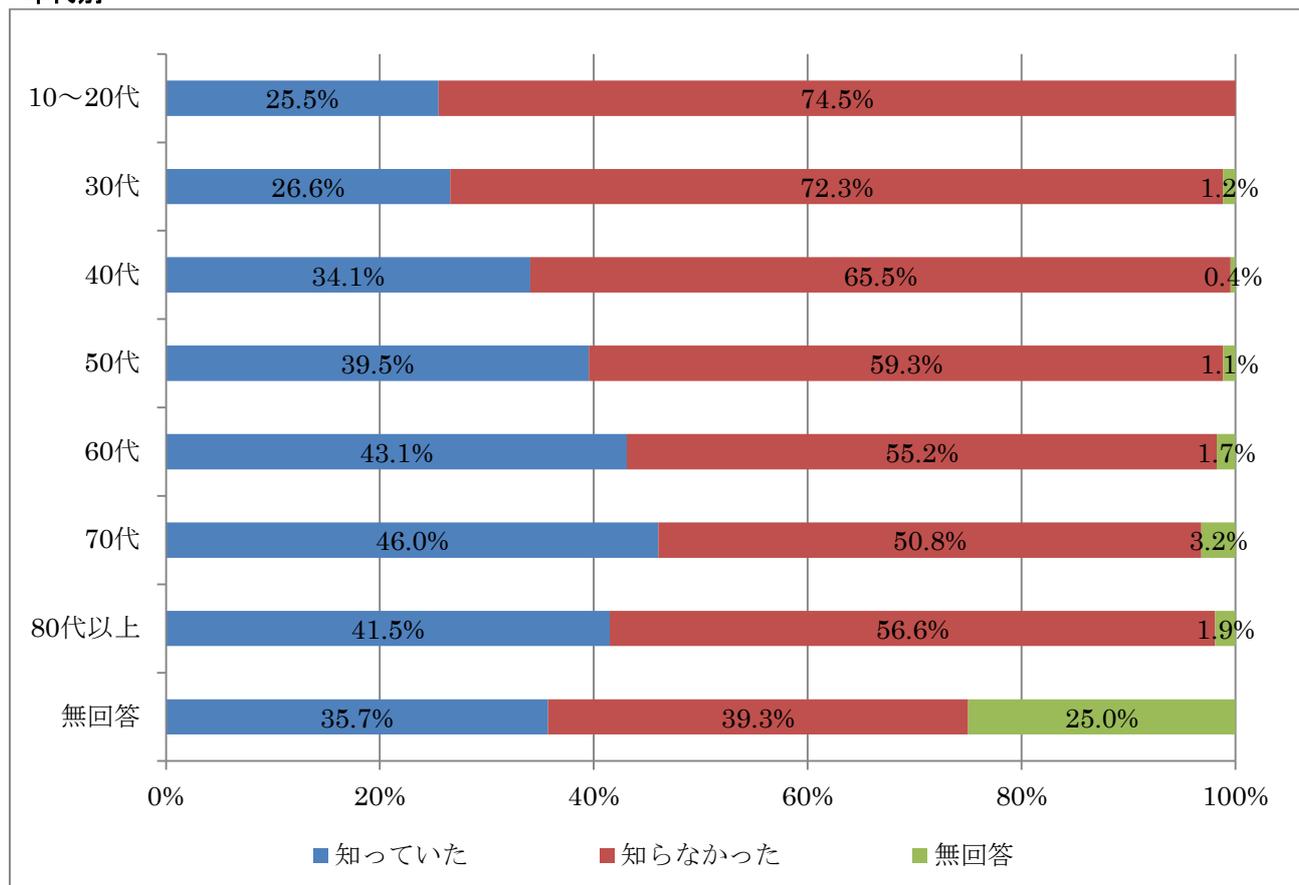
(人数)

性別/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
男性	246	342	8	596
女性	193	381	9	583
無回答	22	28	7	57
合計	461	751	24	1236

(人数)

性別/回答	知っていた (%)	知らなかった (%)	無回答 (%)	合計 (%)
男性	41.3%	57.4%	1.3%	100.0%
女性	33.1%	65.4%	1.5%	100.0%
無回答	38.6%	49.1%	12.3%	100.0%
合計	37.3%	60.8%	1.9%	100.0%

▶年代別



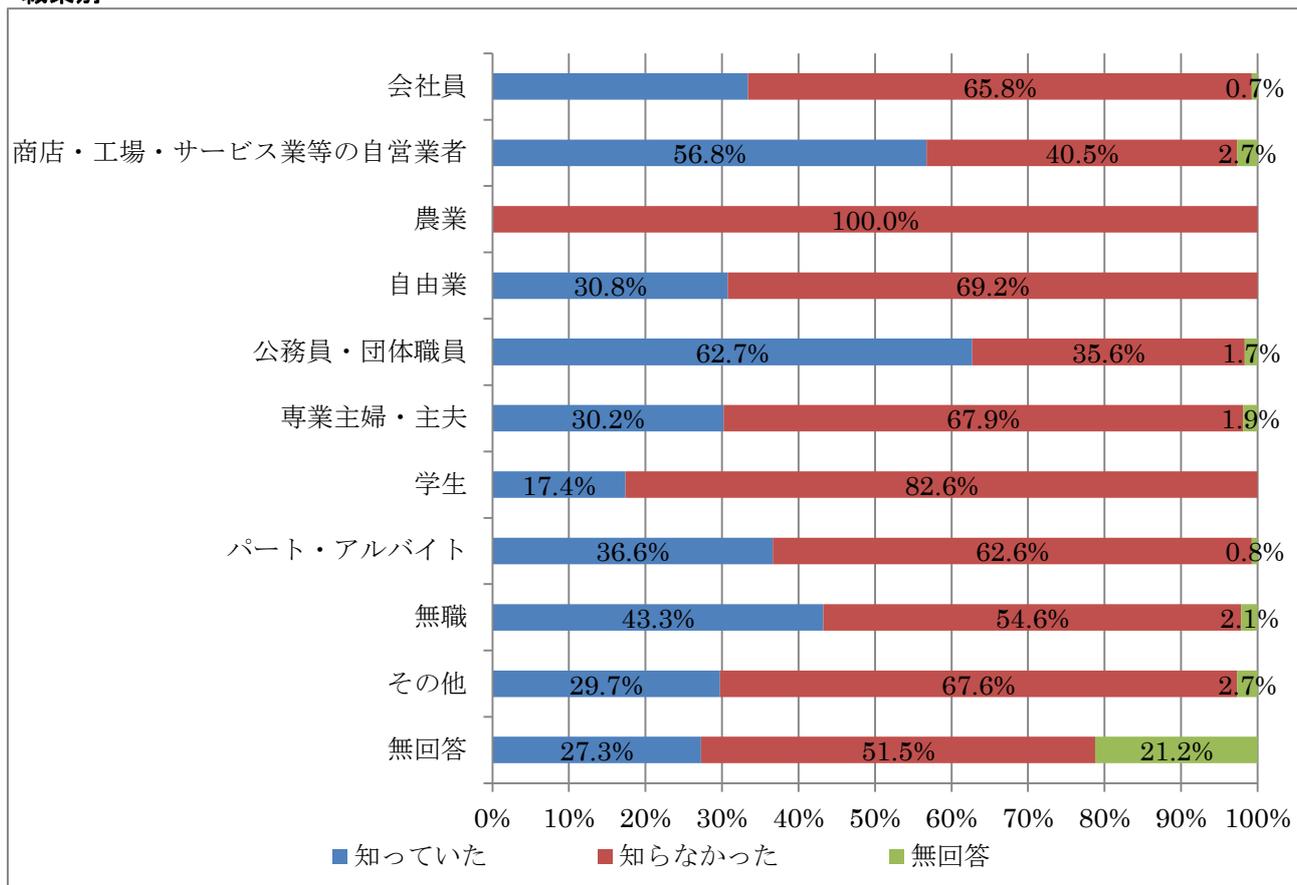
(人数)

年齢/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
10～20代	26	76	0	102
30代	46	125	2	173
40代	78	150	1	229
50代	70	105	2	177
60代	100	128	4	232
70代	87	96	6	189
80代以上	44	60	2	106
無回答	10	11	7	28
合計	461	751	24	1236

(割合)

年齢/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
10～20代	25.5%	74.5%	0.0%	100.0%
30代	26.6%	72.3%	1.2%	100.0%
40代	34.1%	65.5%	0.4%	100.0%
50代	39.5%	59.3%	1.1%	100.0%
60代	43.1%	55.2%	1.7%	100.0%
70代	46.0%	50.8%	3.2%	100.0%
80代以上	41.5%	56.6%	1.9%	100.0%
無回答	35.7%	39.3%	25.0%	100.0%
合計	37.3%	60.8%	1.9%	100.0%

▶職業別



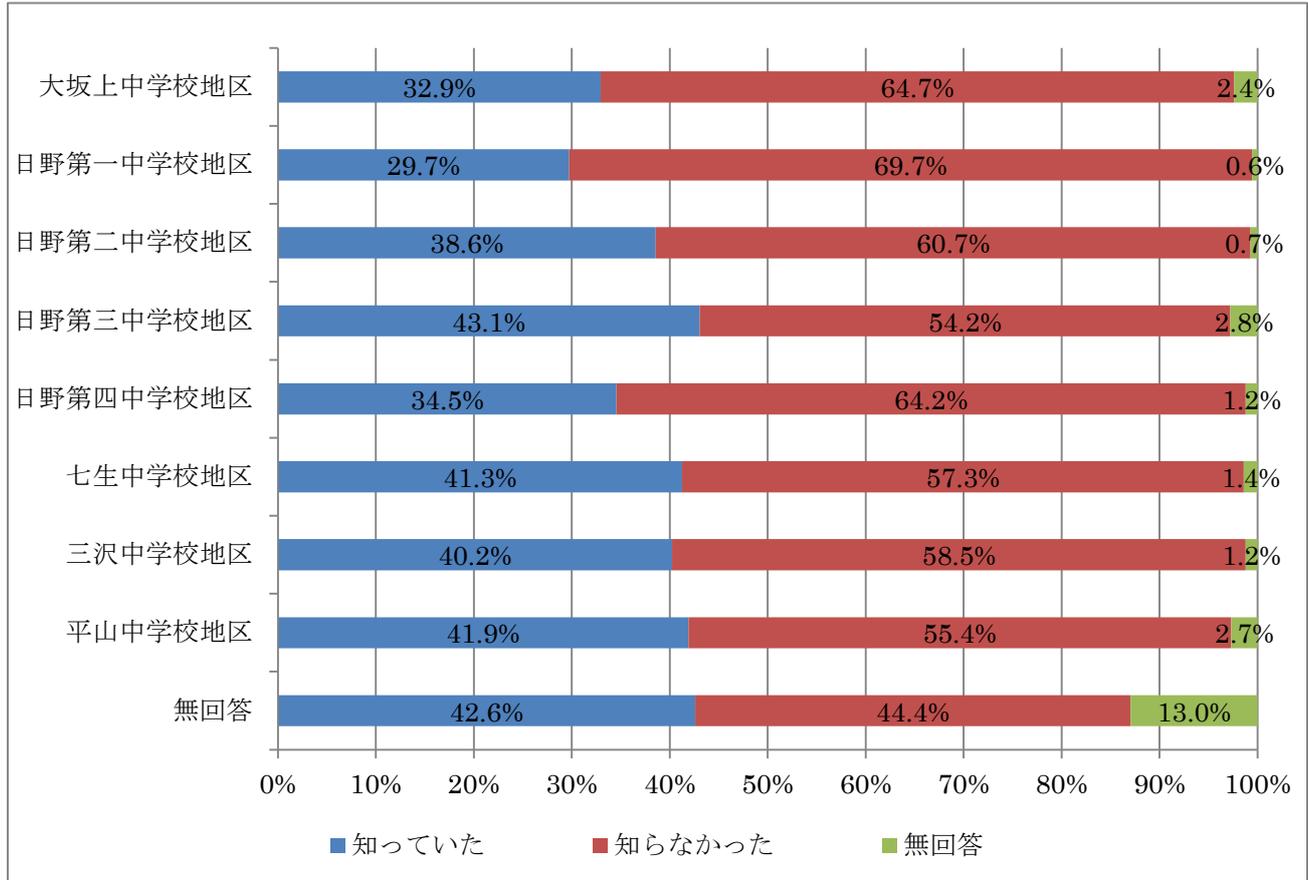
(人数)

職業/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
会社員	134	264	3	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	21	15	1	37
農業	0	4	0	4
自由業	8	18	0	26
公務員・団体職員	37	21	1	59
専業主婦・主夫	48	108	3	159
学生	4	19	0	23
パート・アルバイト	48	82	1	131
無職	141	178	7	326
その他	11	25	1	37
無回答	9	17	7	33
合計	461	751	24	1236

(人数)

職業/回答	知っていた (%)	知らなかった (%)	無回答 (%)	合計 (%)
会社員	33.4%	65.8%	0.7%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	56.8%	40.5%	2.7%	100.0%
農業	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
自由業	30.8%	69.2%	0.0%	100.0%
公務員・団体職員	62.7%	35.6%	1.7%	100.0%
専業主婦・主夫	30.2%	67.9%	1.9%	100.0%
学生	17.4%	82.6%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト	36.6%	62.6%	0.8%	100.0%
無職	43.3%	54.6%	2.1%	100.0%
その他	29.7%	67.6%	2.7%	100.0%
無回答	27.3%	51.5%	21.2%	100.0%
合計	37.3%	60.8%	1.9%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	知っていた	知らなかった	無回答	合計
大坂上中学校地区	55	108	4	167
日野第一中学校地区	52	122	1	175
日野第二中学校地区	54	85	1	140
日野第三中学校地区	31	39	2	72
日野第四中学校地区	57	106	2	165
七生中学校地区	59	82	2	143
三沢中学校地区	99	144	3	246
平山中学校地区	31	41	2	74
無回答	23	24	7	54
合計	461	751	24	1236

(人数)

地域/回答	知っていた (%)	知らなかった (%)	無回答 (%)	合計 (%)
大坂上中学校地区	32.9%	64.7%	2.4%	100.0%
日野第一中学校地区	29.7%	69.7%	0.6%	100.0%
日野第二中学校地区	38.6%	60.7%	0.7%	100.0%
日野第三中学校地区	43.1%	54.2%	2.8%	100.0%
日野第四中学校地区	34.5%	64.2%	1.2%	100.0%
七生中学校地区	41.3%	57.3%	1.4%	100.0%
三沢中学校地区	40.2%	58.5%	1.2%	100.0%
平山中学校地区	41.9%	55.4%	2.7%	100.0%
無回答	42.6%	44.4%	13.0%	100.0%
合計	37.3%	60.8%	1.9%	100.0%

問2：下記の説明のような見通しの中、市の改修・建替えの取り組みの考え方について、どのように思いますか。あなたの考えに最も近い項目を下記から一つお選びください。

(賛成である／どちらかという賛成である／どちらかという反対である／反対である)

市の公共施設の改修・建替えにかかる費用の将来見通しと、改修・建替えの課題、市の取り組みの考え方を説明します。

費用の
将来見通し

- ・ 今後の10年間は改修が中心のため、費用を抑えられますが、改修が一巡した後の今から10～30年後の20年間は建替えが中心となり、費用は今より増加する見通しです。

改修・建替えの
課題

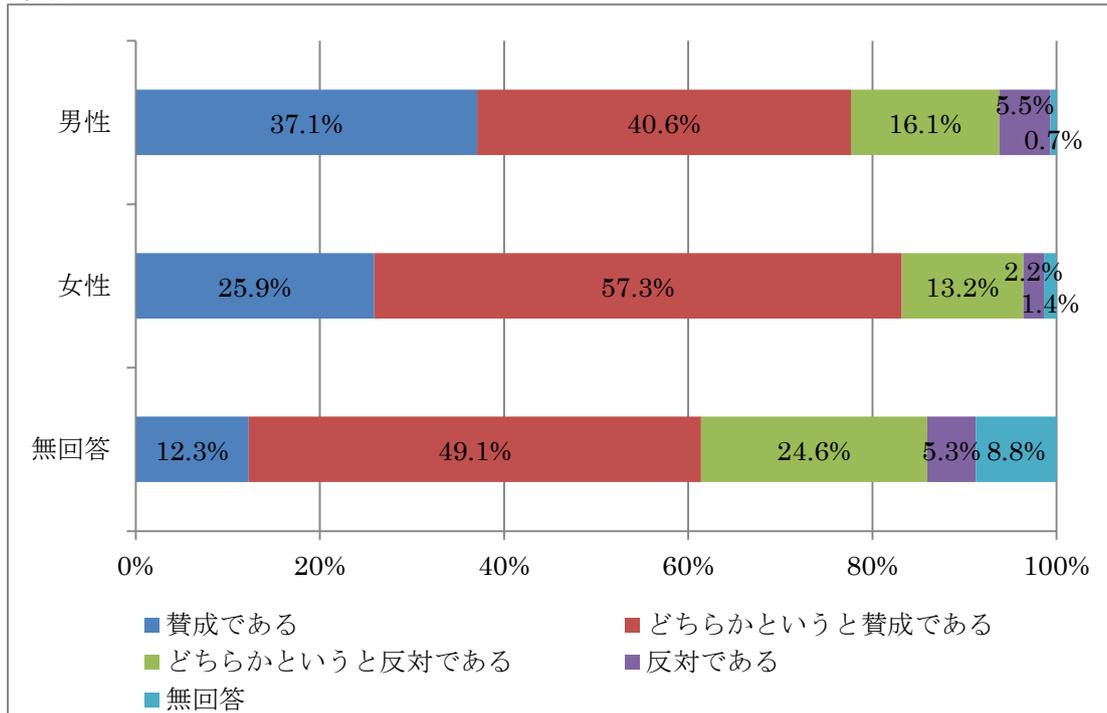
- ・ 人口減少とともに、税収等も減少することが見込まれる中、今まで通りに改修・建替えを続けると、施設の維持が困難になってきます。

市の取り組みの
考え方

- ・ 市は、人口規模や財政状況をふまえて、経費と行政サービス水準のバランスがとれるように取り組む必要があると考えています。

市の改修・建替えの取り組みの考え方に関しては、性別では「男性」、「女性」ともに7割を超える方が「賛成である」「どちらかという賛成である」と回答されています。年代別・地区別では大きな差はありません。職業別では「自由業」で、「反対である」「どちらかという反対である」が4割程と他の職業に比べ多くなっています。

▶性別



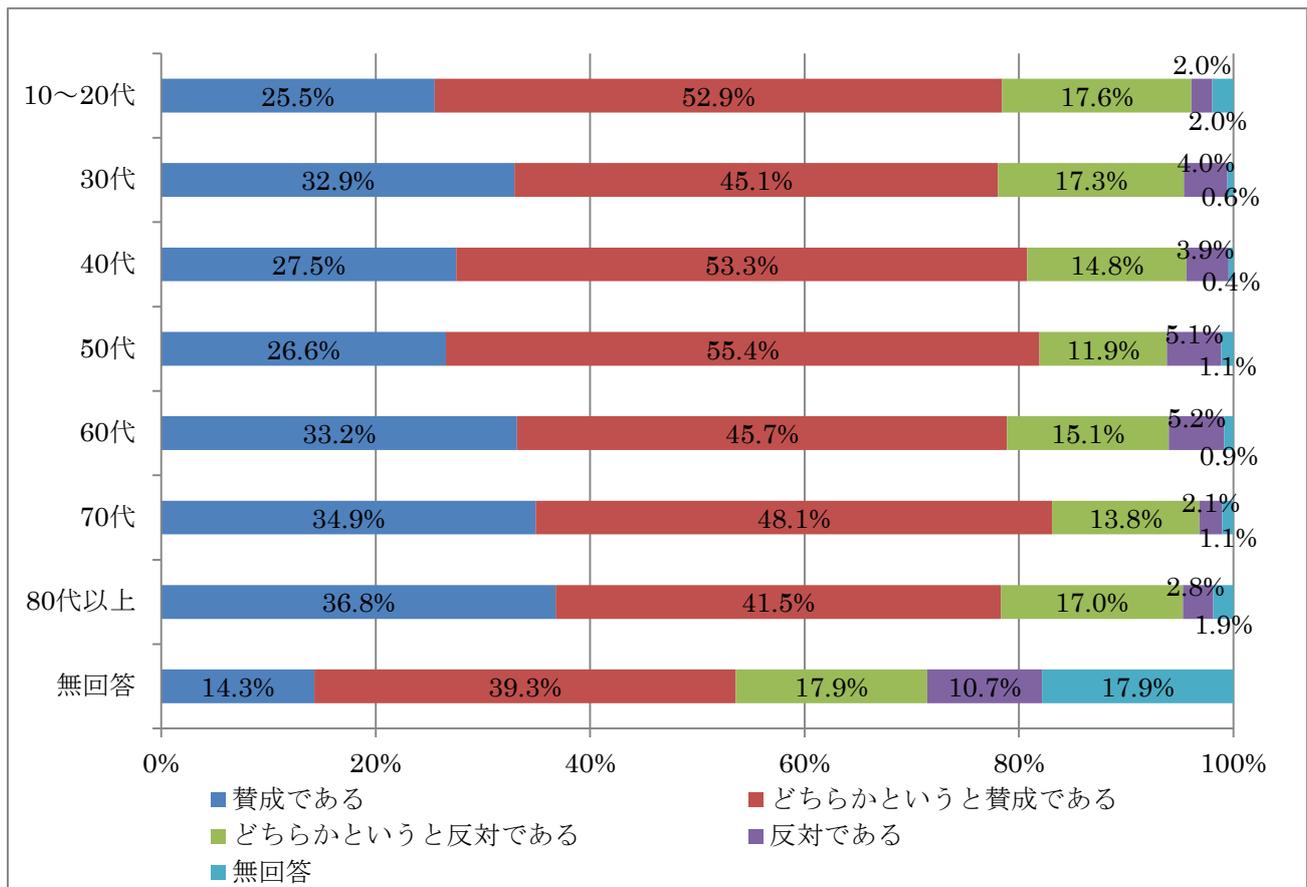
(人数)

性別/回答	賛成である	どちらかという と賛成である	どちらかという と反対である	反対である	無回答	合計
男性	221	242	96	33	4	596
女性	151	334	77	13	8	583
無回答	7	28	14	3	5	57
合計	379	604	187	49	17	1236

(割合)

性別/回答	賛成である	どちらかという と賛成である	どちらかという と反対である	反対である	無回答	合計
男性	37.1%	40.6%	16.1%	5.5%	0.7%	100.0%
女性	25.9%	57.3%	13.2%	2.2%	1.4%	100.0%
無回答	12.3%	49.1%	24.6%	5.3%	8.8%	100.0%
合計	30.7%	48.9%	15.1%	4.0%	1.4%	100.0%

▶年代別



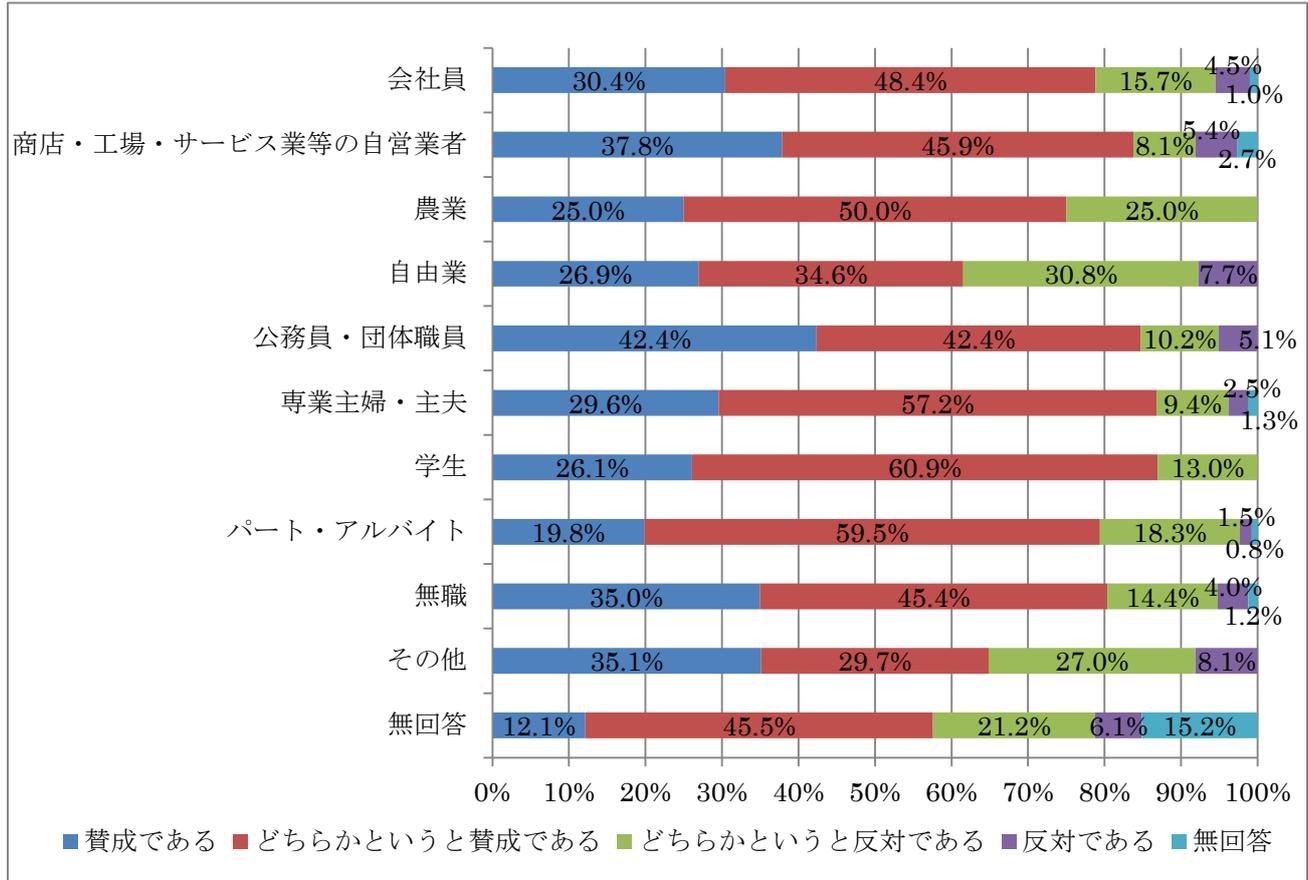
(人数)

年齢/回答	賛成である	どちらかという と賛成である	どちらかという と反対である	反対である	無回答	合計
10～20代	26	54	18	2	2	102
30代	57	78	30	7	1	173
40代	63	122	34	9	1	229
50代	47	98	21	9	2	177
60代	77	106	35	12	2	232
70代	66	91	26	4	2	189
80代以上	39	44	18	3	2	106
無回答	4	11	5	3	5	28
合計	379	604	187	49	17	1236

(割合)

年齢/回答	賛成である	どちらかという と賛成である	どちらかという と反対である	反対である	無回答	合計
10～20代	25.5%	52.9%	17.6%	2.0%	2.0%	100.0%
30代	32.9%	45.1%	17.3%	4.0%	0.6%	100.0%
40代	27.5%	53.3%	14.8%	3.9%	0.4%	100.0%
50代	26.6%	55.4%	11.9%	5.1%	1.1%	100.0%
60代	33.2%	45.7%	15.1%	5.2%	0.9%	100.0%
70代	34.9%	48.1%	13.8%	2.1%	1.1%	100.0%
80代以上	36.8%	41.5%	17.0%	2.8%	1.9%	100.0%
無回答	14.3%	39.3%	17.9%	10.7%	17.9%	100.0%
合計	30.7%	48.9%	15.1%	4.0%	1.4%	100.0%

▶職業別



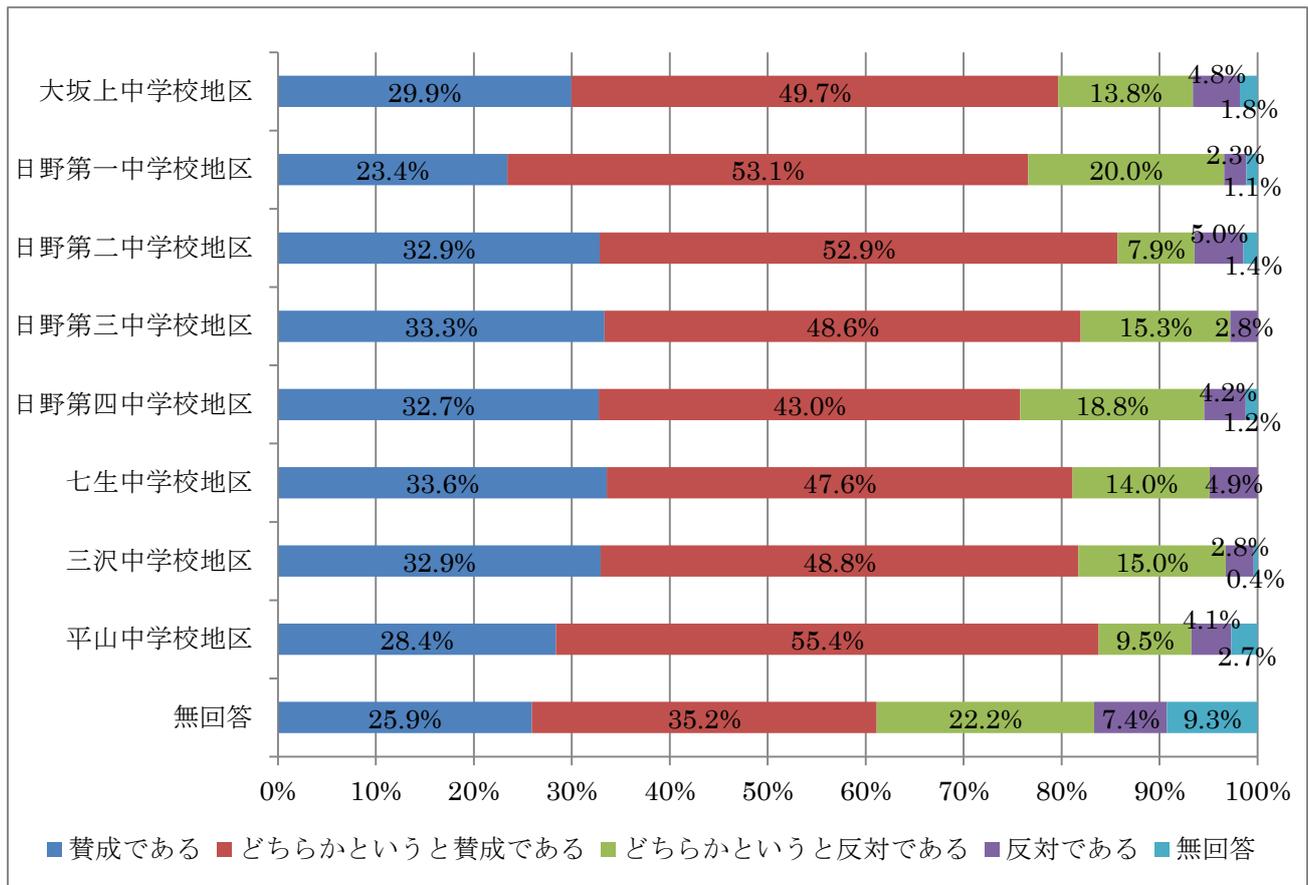
(人数)

職業/回答	賛成である	どちらかという賛成である	どちらかという反対である	反対である	無回答	合計
会社員	122	194	63	18	4	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	14	17	3	2	1	37
農業	1	2	1	0	0	4
自由業	7	9	8	2	0	26
公務員・団体職員	25	25	6	3	0	59
専業主婦・主夫	47	91	15	4	2	159
学生	6	14	3	0	0	23
パート・アルバイト	26	78	24	2	1	131
無職	114	148	47	13	4	326
その他	13	11	10	3	0	37
無回答	4	15	7	2	5	33
合計	379	604	187	49	17	1236

(割合)

職業/回答	賛成である	どちらかという賛成である	どちらかという反対である	反対である	無回答	合計
会社員	30.4%	48.4%	15.7%	4.5%	1.0%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	37.8%	45.9%	8.1%	5.4%	2.7%	100.0%
農業	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自由業	26.9%	34.6%	30.8%	7.7%	0.0%	100.0%
公務員・団体職員	42.4%	42.4%	10.2%	5.1%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫	29.6%	57.2%	9.4%	2.5%	1.3%	100.0%
学生	26.1%	60.9%	13.0%	0.0%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト	19.8%	59.5%	18.3%	1.5%	0.8%	100.0%
無職	35.0%	45.4%	14.4%	4.0%	1.2%	100.0%
その他	35.1%	29.7%	27.0%	8.1%	0.0%	100.0%
無回答	12.1%	45.5%	21.2%	6.1%	15.2%	100.0%
合計	30.7%	48.9%	15.1%	4.0%	1.4%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	賛成である	どちらかという と賛成である	どちらかという と反対である	反対である	無回答	合計
大坂上中学校地区	50	83	23	8	3	167
日野第一中学校地区	41	93	35	4	2	175
日野第二中学校地区	46	74	11	7	2	140
日野第三中学校地区	24	35	11	2	0	72
日野第四中学校地区	54	71	31	7	2	165
七生中学校地区	48	68	20	7	0	143
三沢中学校地区	81	120	37	7	1	246
平山中学校地区	21	41	7	3	2	74
無回答	14	19	12	4	5	54
合計	379	604	187	49	17	1236

(割合)

地域/回答	賛成である	どちらかという と賛成である	どちらかという と反対である	反対である	無回答	合計
大坂上中学校地区	29.9%	49.7%	13.8%	4.8%	1.8%	100.0%
日野第一中学校地区	23.4%	53.1%	20.0%	2.3%	1.1%	100.0%
日野第二中学校地区	32.9%	52.9%	7.9%	5.0%	1.4%	100.0%
日野第三中学校地区	33.3%	48.6%	15.3%	2.8%	0.0%	100.0%
日野第四中学校地区	32.7%	43.0%	18.8%	4.2%	1.2%	100.0%
七生中学校地区	33.6%	47.6%	14.0%	4.9%	0.0%	100.0%
三沢中学校地区	32.9%	48.8%	15.0%	2.8%	0.4%	100.0%
平山中学校地区	28.4%	55.4%	9.5%	4.1%	2.7%	100.0%
無回答	25.9%	35.2%	22.2%	7.4%	9.3%	100.0%
合計	30.7%	48.9%	15.1%	4.0%	1.4%	100.0%

問3：下記の説明にある、考えられる方向性について、どのように思いますか。あなたの考えに最も近い項目を下記から一つお選びください。

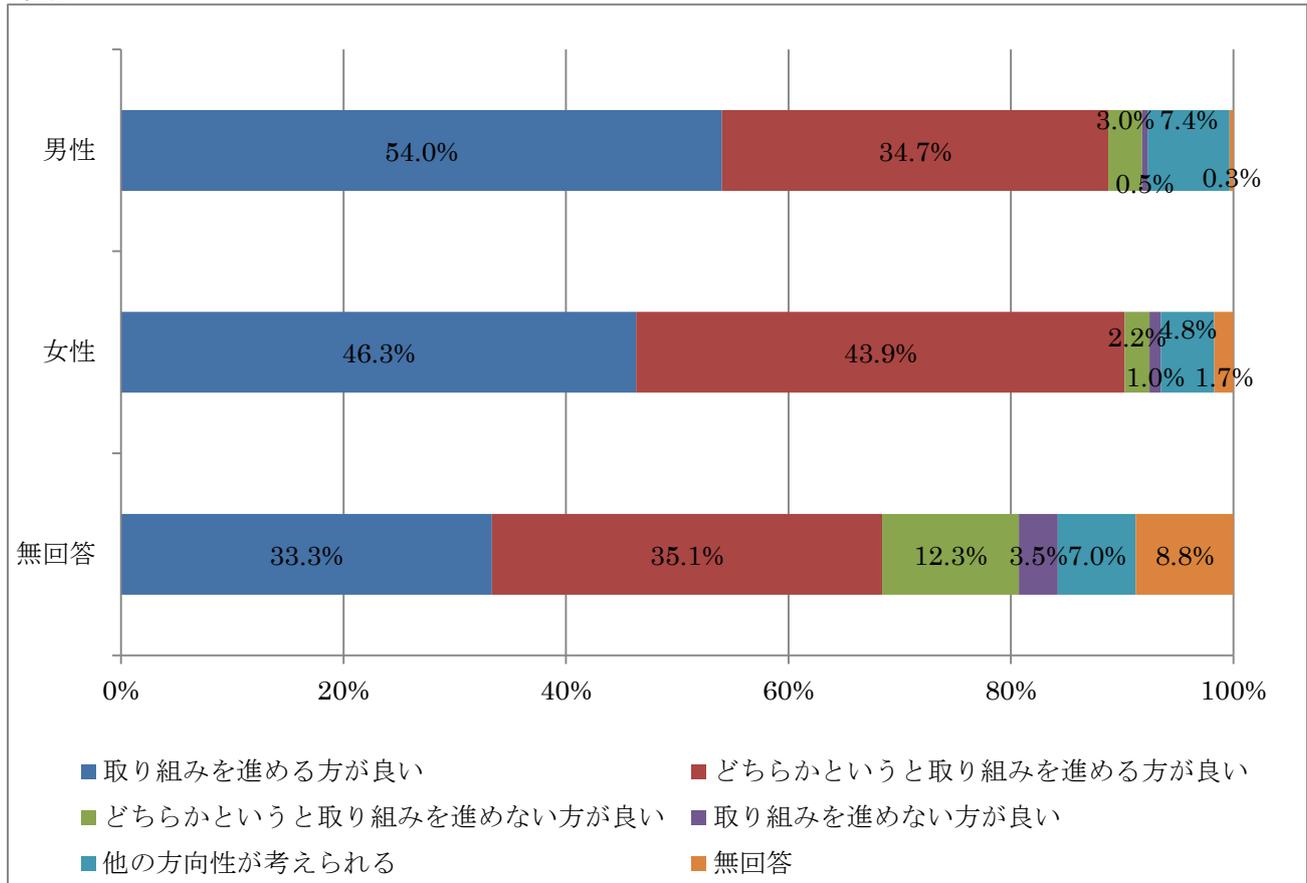
(取り組みを進める方が良い／どちらかという取り組みを進める方が良い／どちらかという取り組みを進めない方が良い／取り組みを進めない方が良い／他の方向性が考えられる)

「施設の老朽化」「財政状況」「人口の状況」を踏まえた、今後の公共施設のあり方について、大きな方向性として次の3つが考えられます。

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 方向性 1 | ・ 公共施設の面積のスリム化と、公共施設の機能(役割)を重視した再編や転換 |
| 方向性 2 | ・ 地域の核となる公共施設へのさらなる展開 |
| 方向性 3 | ・ 効率的な公共施設の運営 |

考えられる方向性に関しては、性別では「男性」「女性」8割を超える方が「取り組みを進める方が良い」「どちらかという取り組みを進める方が良い」と回答されています。年代別・地区別では大きな差はありません。職業別では「農業」で、「どちらかという取り組みを進めない方が良い」が他の職業に比べ多くなっています。

▶性別



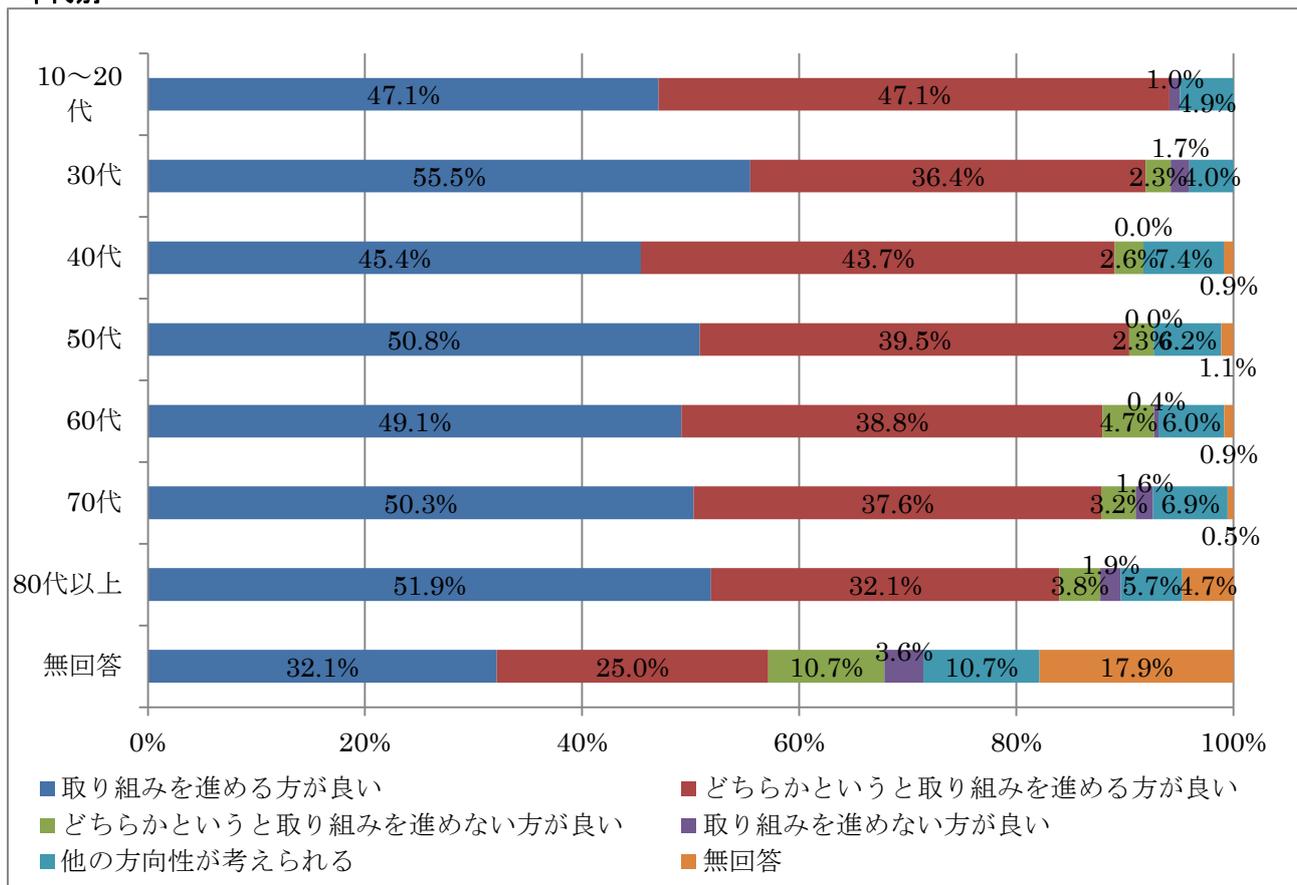
(人数)

性別/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	他の方向性が考えられる	無回答	合計
男性	322	207	18	3	44	2	596
女性	270	256	13	6	28	10	583
無回答	19	20	7	2	4	5	57
合計	611	483	38	11	76	17	1236

(割合)

性別/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	他の方向性が考えられる	無回答	合計
男性	54.0%	34.7%	3.0%	0.5%	7.4%	0.3%	100.0%
女性	46.3%	43.9%	2.2%	1.0%	4.8%	1.7%	100.0%
無回答	33.3%	35.1%	12.3%	3.5%	7.0%	8.8%	100.0%
合計	49.4%	39.1%	3.1%	0.9%	6.1%	1.4%	100.0%

▶年代別



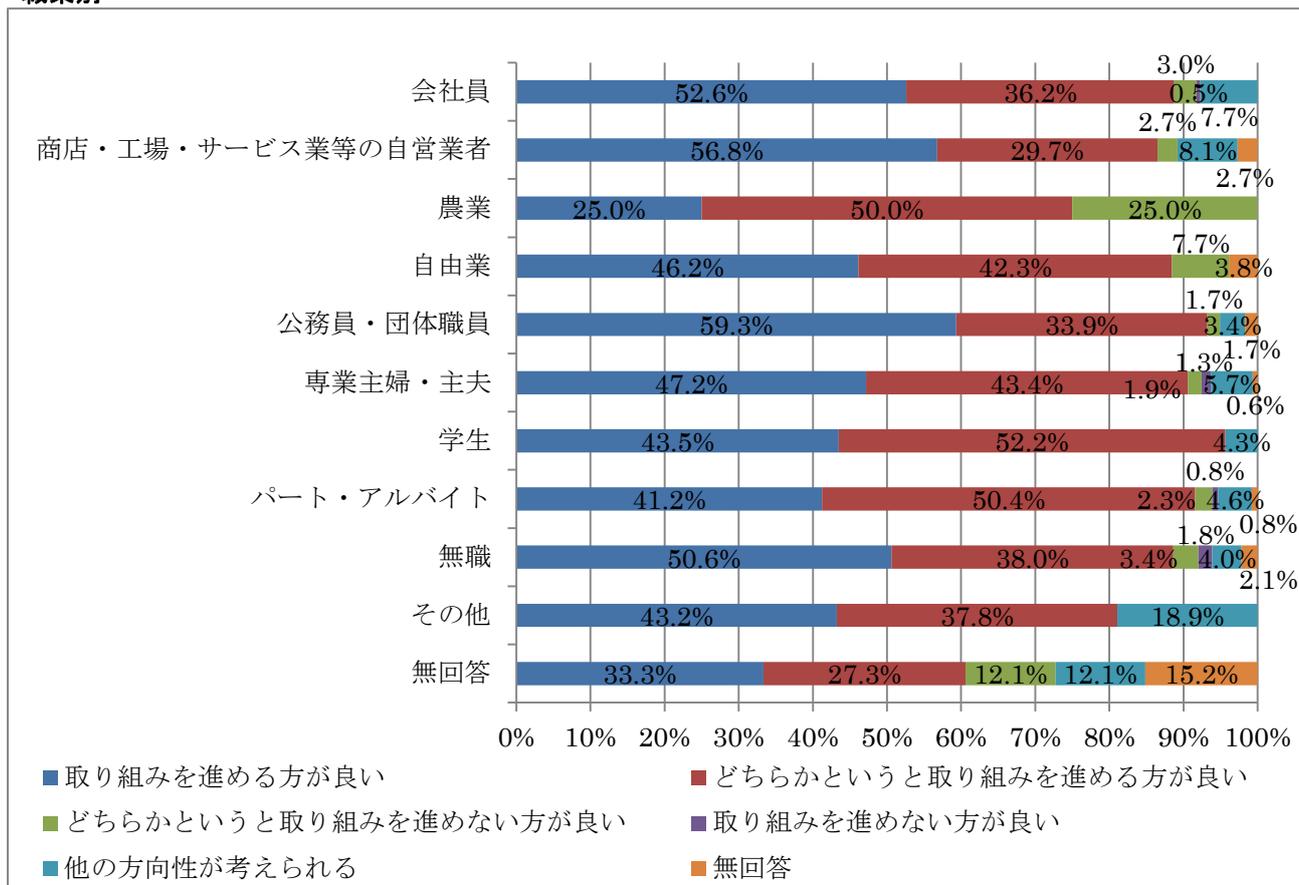
(人数)

年齢/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというど取り組みを進める方が良い	どちらかというど取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	他の方向性が考えられる	無回答	合計
10～20代	48	48	0	1	5	0	102
30代	96	63	4	3	7	0	173
40代	104	100	6	0	17	2	229
50代	90	70	4	0	11	2	177
60代	114	90	11	1	14	2	232
70代	95	71	6	3	13	1	189
80代以上	55	34	4	2	6	5	106
無回答	9	7	3	1	3	5	28
合計	611	483	38	11	76	17	1236

(割合)

年齢/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというど取り組みを進める方が良い	どちらかというど取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	他の方向性が考えられる	無回答	合計
10～20代	47.1%	47.1%	0.0%	1.0%	4.9%	0.0%	100.0%
30代	55.5%	36.4%	2.3%	1.7%	4.0%	0.0%	100.0%
40代	45.4%	43.7%	2.6%	0.0%	7.4%	0.9%	100.0%
50代	50.8%	39.5%	2.3%	0.0%	6.2%	1.1%	100.0%
60代	49.1%	38.8%	4.7%	0.4%	6.0%	0.9%	100.0%
70代	50.3%	37.6%	3.2%	1.6%	6.9%	0.5%	100.0%
80代以上	51.9%	32.1%	3.8%	1.9%	5.7%	4.7%	100.0%
無回答	32.1%	25.0%	10.7%	3.6%	10.7%	17.9%	100.0%
合計	49.4%	39.1%	3.1%	0.9%	6.1%	1.4%	100.0%

▶職業別



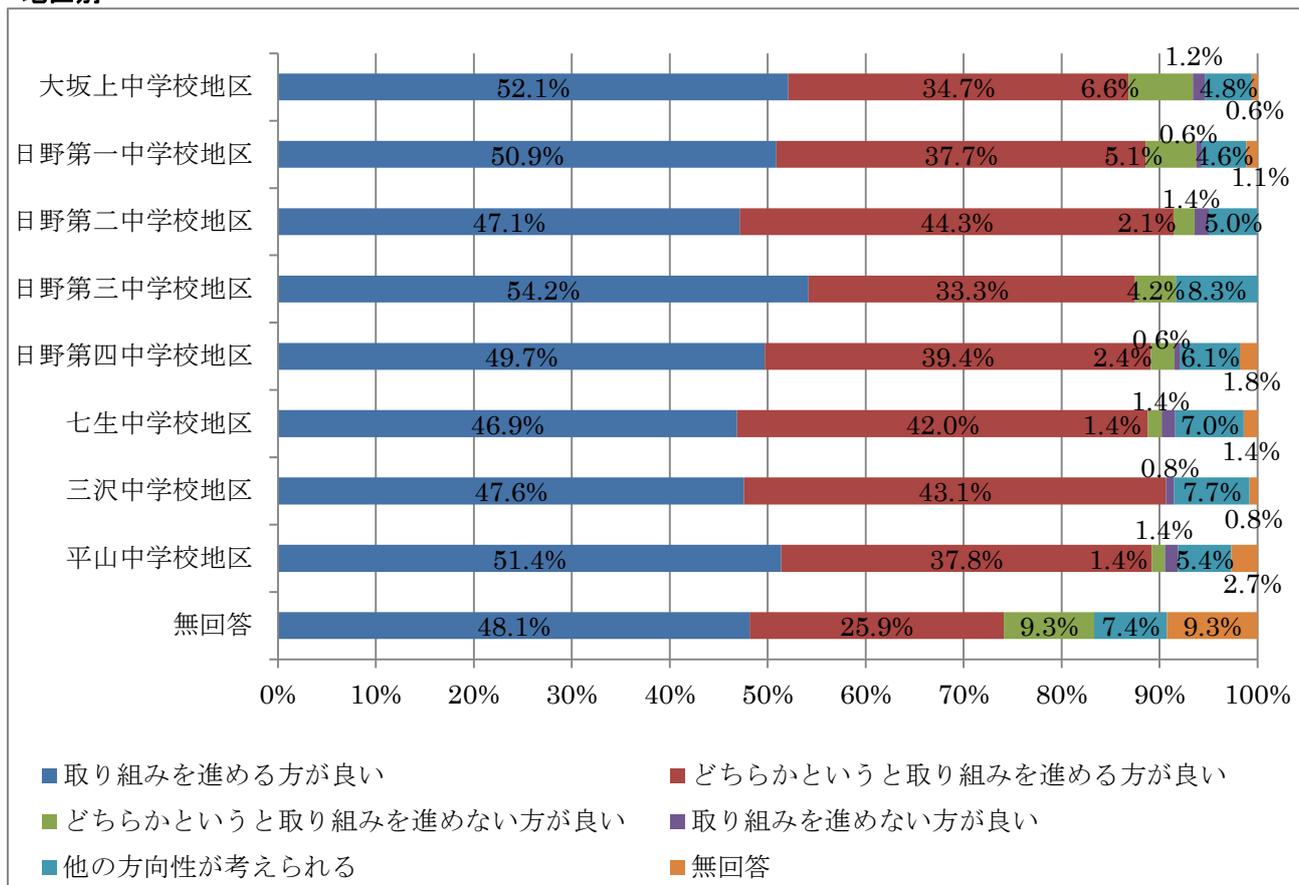
(人数)

職業/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	他の方向性が考えられる	無回答	合計
会社員	211	145	12	2	31	0	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	21	11	1	0	3	1	37
農業	1	2	1	0	0	0	4
自由業	12	11	2	0	0	1	26
公務員・団体職員	35	20	1	0	2	1	59
専業主婦・主夫	75	69	3	2	9	1	159
学生	10	12	0	0	1	0	23
パート・アルバイト	54	66	3	1	6	1	131
無職	165	124	11	6	13	7	326
その他	16	14	0	0	7	0	37
無回答	11	9	4	0	4	5	33
合計	611	483	38	11	76	17	1236

(割合)

職業/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	他の方向性が考えられる	無回答	合計
会社員	52.6%	36.2%	3.0%	0.5%	7.7%	0.0%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	56.8%	29.7%	2.7%	0.0%	8.1%	2.7%	100.0%
農業	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自由業	46.2%	42.3%	7.7%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
公務員・団体職員	59.3%	33.9%	1.7%	0.0%	3.4%	1.7%	100.0%
専業主婦・主夫	47.2%	43.4%	1.9%	0.0%	5.7%	0.6%	100.0%
学生	43.5%	52.2%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト	41.2%	50.4%	2.3%	0.8%	4.6%	0.8%	100.0%
無職	50.6%	38.0%	3.4%	1.8%	4.0%	2.1%	100.0%
その他	43.2%	37.8%	0.0%	0.0%	18.9%	0.0%	100.0%
無回答	33.3%	27.3%	12.1%	0.0%	12.1%	15.2%	100.0%
合計	49.4%	39.1%	3.1%	0.9%	6.1%	1.4%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	他の方向性が考えられる	無回答	合計
大坂上中学校地区	87	58	11	2	8	1	167
日野第一中学校地区	89	66	9	1	8	2	175
日野第二中学校地区	66	62	3	2	7	0	140
日野第三中学校地区	39	24	3	0	6	0	72
日野第四中学校地区	82	65	4	1	10	3	165
七生中学校地区	67	60	2	2	10	2	143
三沢中学校地区	117	106	0	2	19	2	246
平山中学校地区	38	28	1	1	4	2	74
無回答	26	14	5	0	4	5	54
合計	611	483	38	11	76	17	1236

(割合)

地域/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	他の方向性が考えられる	無回答	合計
大坂上中学校地区	52.1%	34.7%	6.6%	1.2%	4.8%	0.6%	100.0%
日野第一中学校地区	50.9%	37.7%	5.1%	0.6%	4.6%	1.1%	100.0%
日野第二中学校地区	47.1%	44.3%	2.1%	1.4%	5.0%	0.0%	100.0%
日野第三中学校地区	54.2%	33.3%	4.2%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
日野第四中学校地区	49.7%	39.4%	2.4%	0.6%	6.1%	1.8%	100.0%
七生中学校地区	46.9%	42.0%	1.4%	1.4%	7.0%	1.4%	100.0%
三沢中学校地区	47.6%	43.1%	0.0%	0.8%	7.7%	0.8%	100.0%
平山中学校地区	51.4%	37.8%	1.4%	1.4%	5.4%	2.7%	100.0%
無回答	48.1%	25.9%	9.3%	0.0%	7.4%	9.3%	100.0%
合計	49.4%	39.1%	3.1%	0.9%	6.1%	1.4%	100.0%

問4：下記のような公共施設の面積総量のスリム化の考え方と方策例について、どのように思いますか。あなたの考えに最も近い項目を下記から一つお選びください。

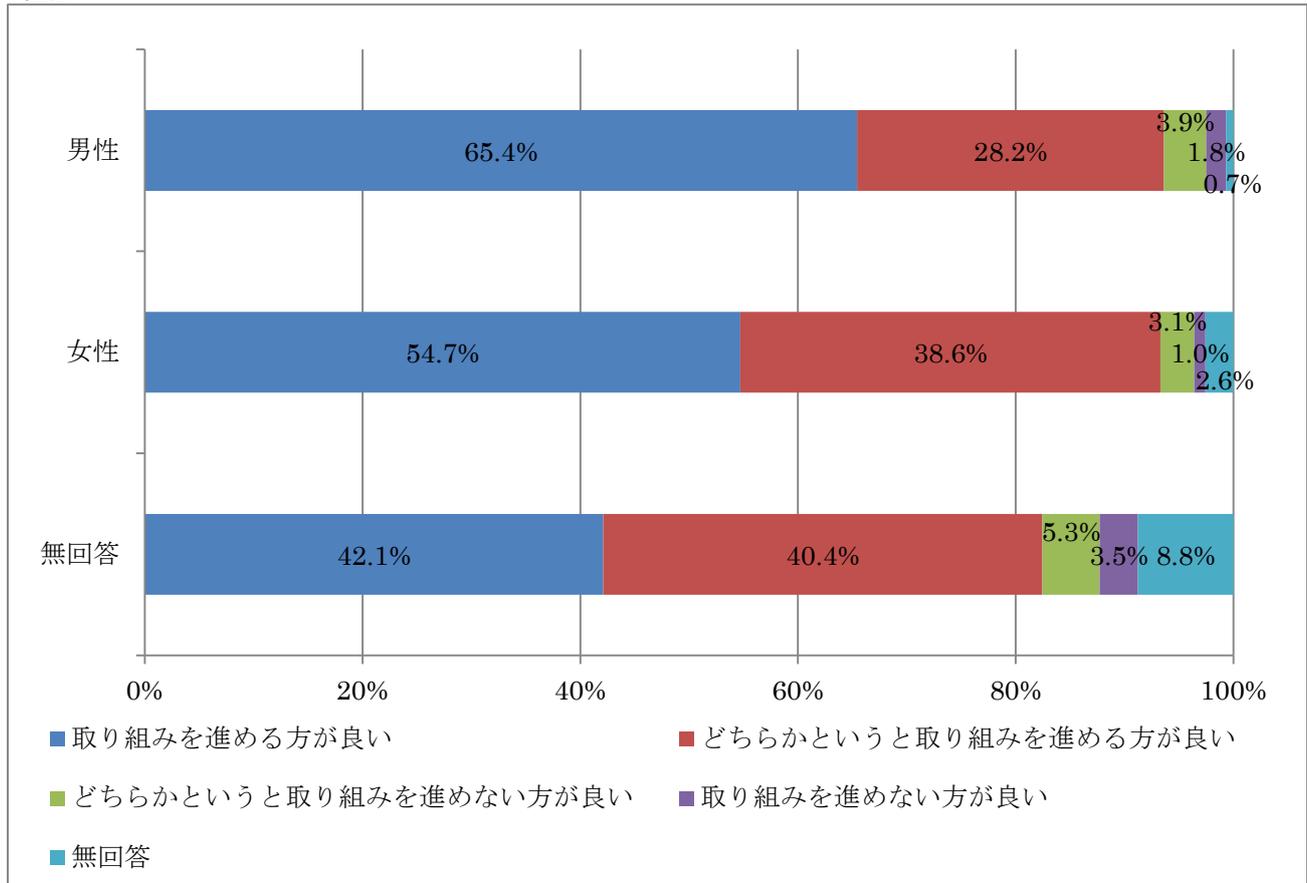
(取り組みを進める方が良い／どちらかという取り組みを進める方が良い／どちらかという取り組みを進めない方が良い／取り組みを進めない方が良い)

3つの方向性にある「公共施設の面積のスリム化」を進めるための考え方と方策例について説明します。

考え方	・ 市は、費用が不足して、老朽化しても建替えや管理ができない施設を将来残さないために、計画的なスリム化を行います。
方策例1	・ 面積をスリム化しても、公共施設が担っている機能(役割)はできる限り維持するしくみをつくります。
方策例2	・ 原則、廃止を伴わない新たな施設の新築は行いません。
方策例3	・ 空きスペースがある施設に統廃合することにより、施設の面積を減らします。
方策例4	・ 施設の跡地は、売却や土地貸付等を行い、将来の建替え費用や都市インフラ(道路や橋等)の維持費用等に使います。

公共施設の面積総量のスリム化の考え方と方策例に関しては、性別では「男性」、「女性」ともに9割を超える方が「取り組みを進める方が良い」「どちらかという取り組みを進める方が良い」と回答されています。年代別・職業別・地区別でも大きな差はありません。

▶性別



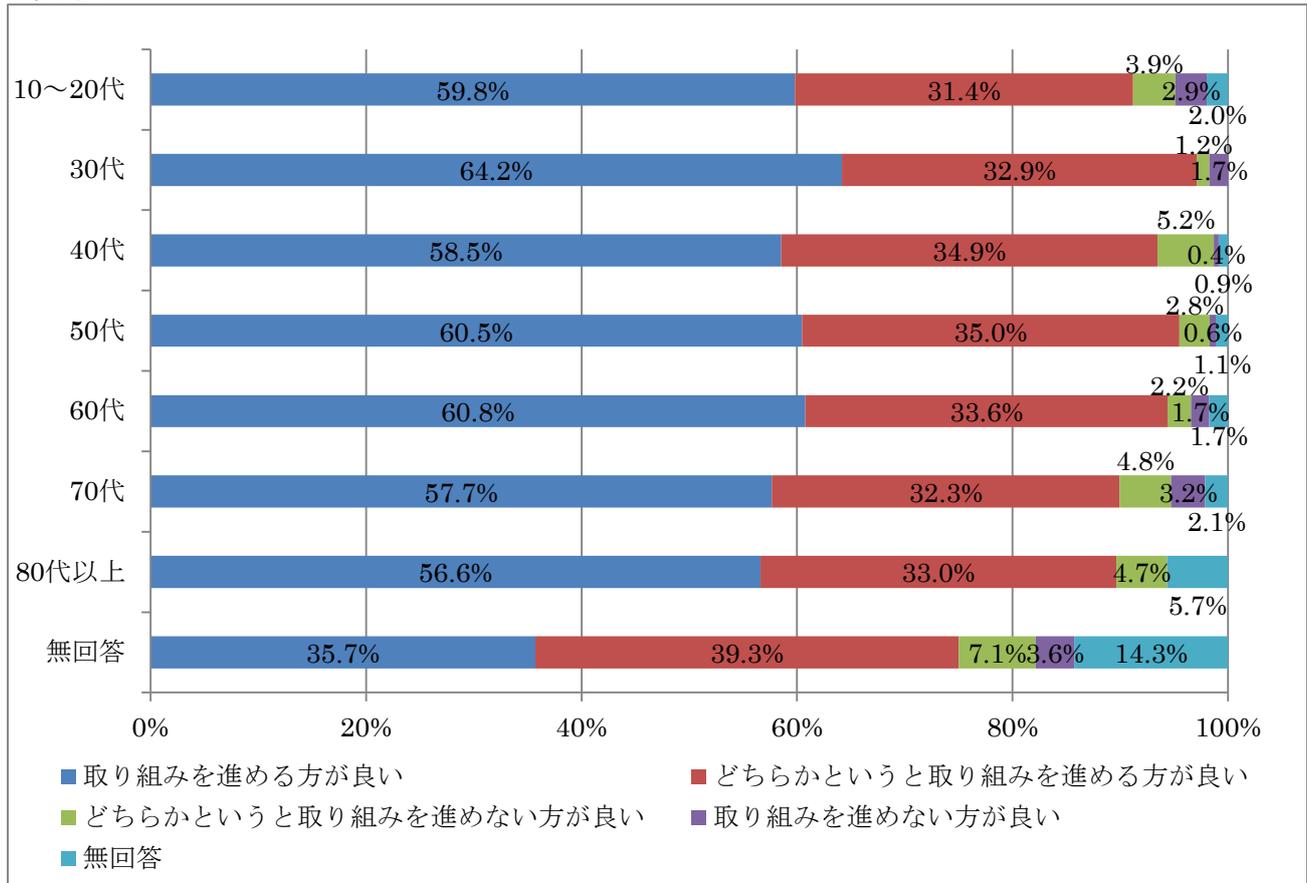
(人数)

性別/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
男性	390	168	23	11	4	596
女性	319	225	18	6	15	583
無回答	24	23	3	2	5	57
合計	733	416	44	19	24	1236

(割合)

性別/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
男性	65.4%	28.2%	3.9%	1.8%	0.7%	100.0%
女性	54.7%	38.6%	3.1%	1.0%	2.6%	100.0%
無回答	42.1%	40.4%	5.3%	3.5%	8.8%	100.0%
合計	59.3%	33.7%	3.6%	1.5%	1.9%	100.0%

▶年代別



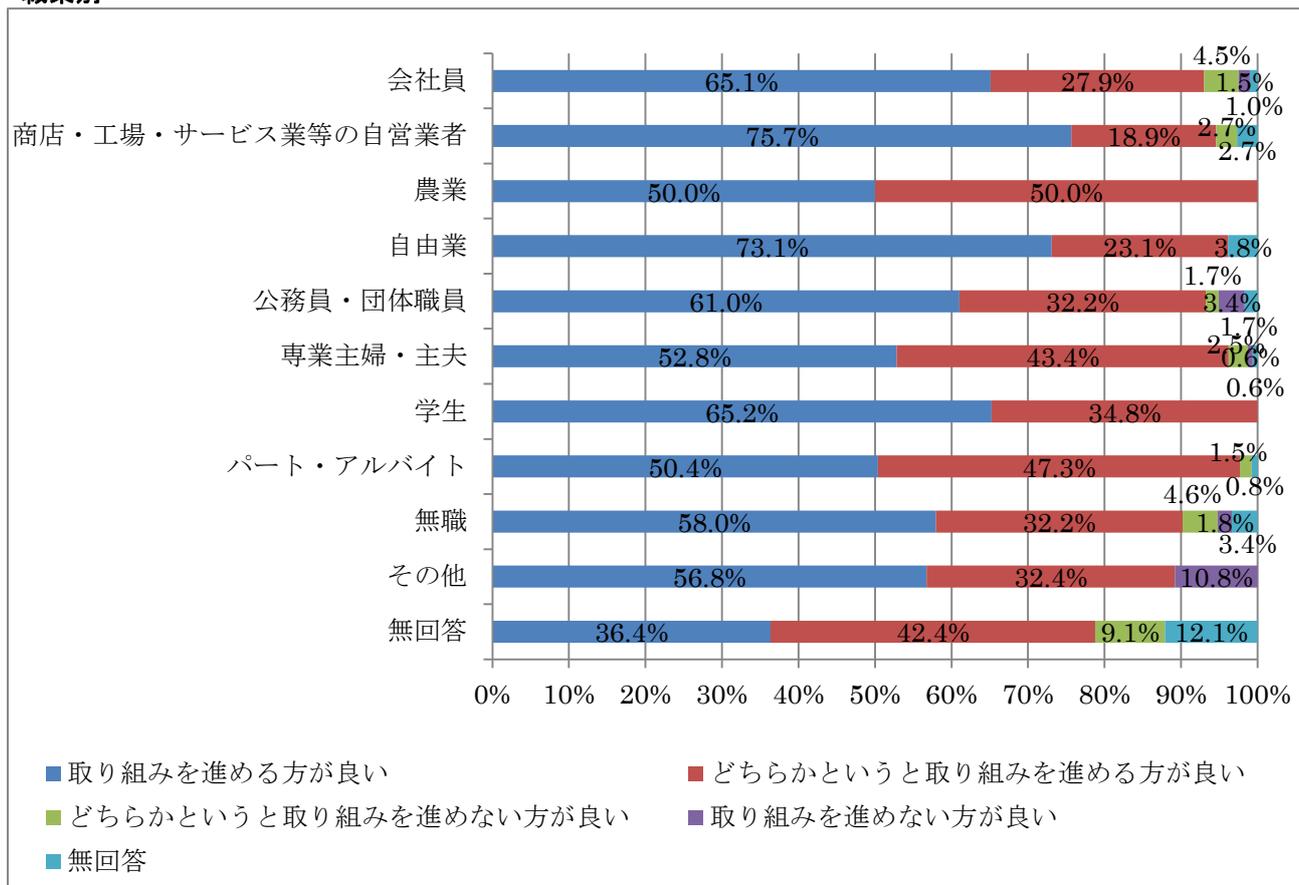
(人数)

年齢/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
10～20代	61	32	4	3	2	102
30代	111	57	2	3	0	173
40代	134	80	12	1	2	229
50代	107	62	5	1	2	177
60代	141	78	5	4	4	232
70代	109	61	9	6	4	189
80代以上	60	35	5	0	6	106
無回答	10	11	2	1	4	28
合計	733	416	44	19	24	1236

(割合)

年齢/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
10～20代	59.8%	31.4%	3.9%	2.9%	2.0%	100.0%
30代	64.2%	32.9%	1.2%	1.7%	0.0%	100.0%
40代	58.5%	34.9%	5.2%	0.4%	0.9%	100.0%
50代	60.5%	35.0%	2.8%	0.6%	1.1%	100.0%
60代	60.8%	33.6%	2.2%	1.7%	1.7%	100.0%
70代	57.7%	32.3%	4.8%	3.2%	2.1%	100.0%
80代以上	56.6%	33.0%	4.7%	0.0%	5.7%	100.0%
無回答	35.7%	39.3%	7.1%	3.6%	14.3%	100.0%
合計	59.3%	33.7%	3.6%	1.5%	1.9%	100.0%

▶職業別



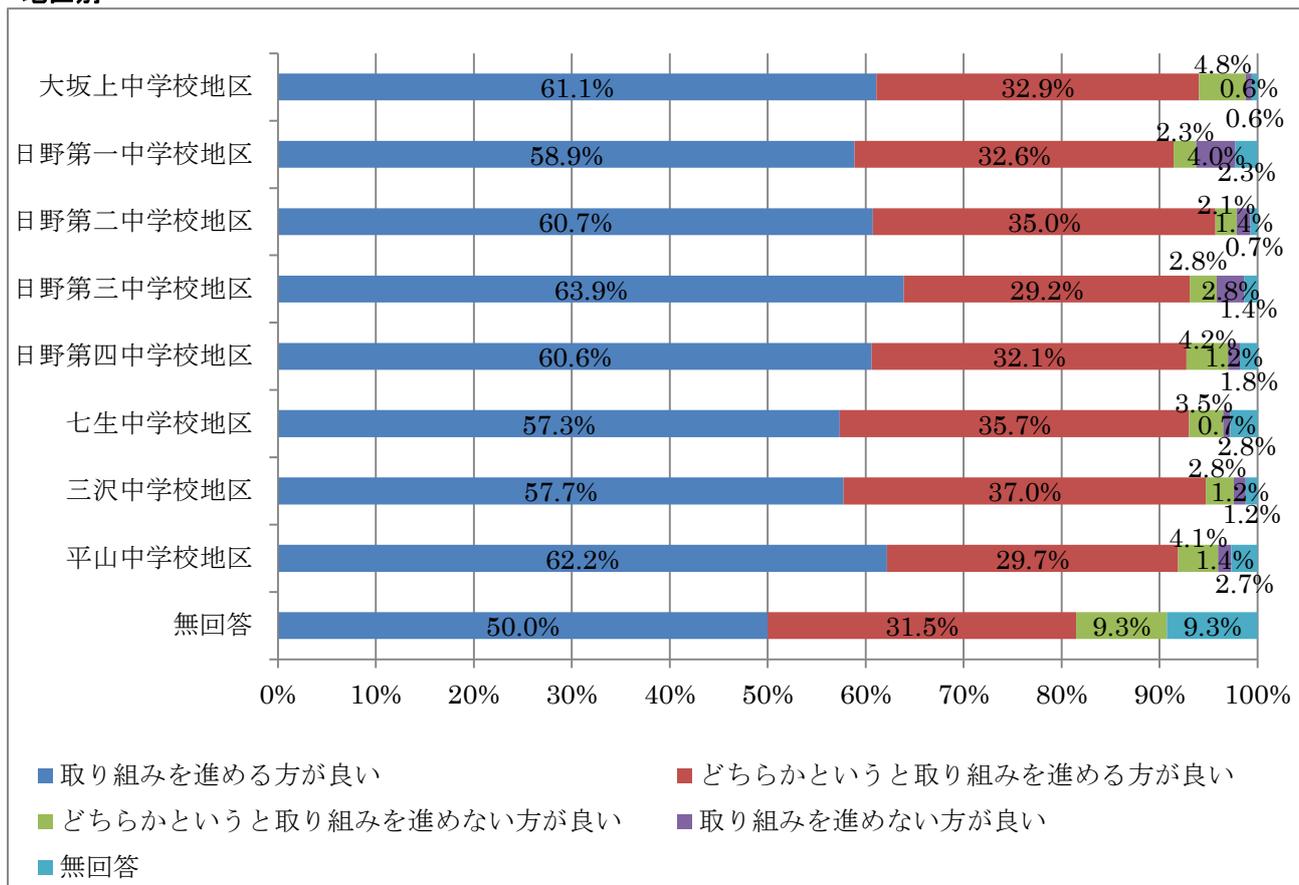
(人数)

職業/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというど取り組みを進める方が良い	どちらかというど取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
会社員	261	112	18	6	4	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	28	7	1	0	1	37
農業	2	2	0	0	0	4
自由業	19	6	0	0	1	26
公務員・団体職員	36	19	1	2	1	59
専業主婦・主夫	84	69	4	1	1	159
学生	15	8	0	0	0	23
パート・アルバイト	66	62	2	0	1	131
無職	189	105	15	6	11	326
その他	21	12	0	4	0	37
無回答	12	14	3	0	4	33
合計	733	416	44	19	24	1236

(割合)

職業/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというど取り組みを進める方が良い	どちらかというど取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
会社員	65.1%	27.9%	4.5%	1.5%	1.0%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	75.7%	18.9%	2.7%	0.0%	2.7%	100.0%
農業	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自由業	73.1%	23.1%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
公務員・団体職員	61.0%	32.2%	1.7%	3.4%	1.7%	100.0%
専業主婦・主夫	52.8%	43.4%	2.5%	0.6%	0.6%	100.0%
学生	65.2%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト	50.4%	47.3%	1.5%	0.0%	0.8%	100.0%
無職	58.0%	32.2%	4.6%	1.8%	3.4%	100.0%
その他	56.8%	32.4%	0.0%	10.8%	0.0%	100.0%
無回答	36.4%	42.4%	9.1%	0.0%	12.1%	100.0%
合計	59.3%	33.7%	3.6%	1.5%	1.9%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
大坂上中学校地区	102	55	8	1	1	167
日野第一中学校地区	103	57	4	7	4	175
日野第二中学校地区	85	49	3	2	1	140
日野第三中学校地区	46	21	2	2	1	72
日野第四中学校地区	100	53	7	2	3	165
七生中学校地区	82	51	5	1	4	143
三沢中学校地区	142	91	7	3	3	246
平山中学校地区	46	22	3	1	2	74
無回答	27	17	5	0	5	54
合計	733	416	44	19	24	1236

(割合)

地域/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進める方が良い	どちらかというと取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
大坂上中学校地区	61.1%	32.9%	4.8%	0.6%	0.6%	100.0%
日野第一中学校地区	58.9%	32.6%	2.3%	4.0%	2.3%	100.0%
日野第二中学校地区	60.7%	35.0%	2.1%	1.4%	0.7%	100.0%
日野第三中学校地区	63.9%	29.2%	2.8%	2.8%	1.4%	100.0%
日野第四中学校地区	60.6%	32.1%	4.2%	1.2%	1.8%	100.0%
七生中学校地区	57.3%	35.7%	3.5%	0.7%	2.8%	100.0%
三沢中学校地区	57.7%	37.0%	2.8%	1.2%	1.2%	100.0%
平山中学校地区	62.2%	29.7%	4.1%	1.4%	2.7%	100.0%
無回答	50.0%	31.5%	9.3%	0.0%	9.3%	100.0%
合計	59.3%	33.7%	3.6%	1.5%	1.9%	100.0%

問5：下記のような、機能を重視した公共施設の再編の考え方と方策について、どのように思いますか。あなたの考えに最も近い項目を下記から一つお選びください

(取り組みを進める方が良い／どちらかという取り組みを進める方が良い／どちらかという取り組みを進めない方が良い／取り組みを進めない方が良い)

3つの方向性にある「公共施設の機能(役割)を重視した再編や転換」を行うための考え方と方策例について説明します。

考え方

- ・市は、面積が減った場合でも行政サービス水準の低下を抑制するために、機能(役割)を重視した再編を行い、公共施設の有効活用の実現に取り組みます。

方策例1

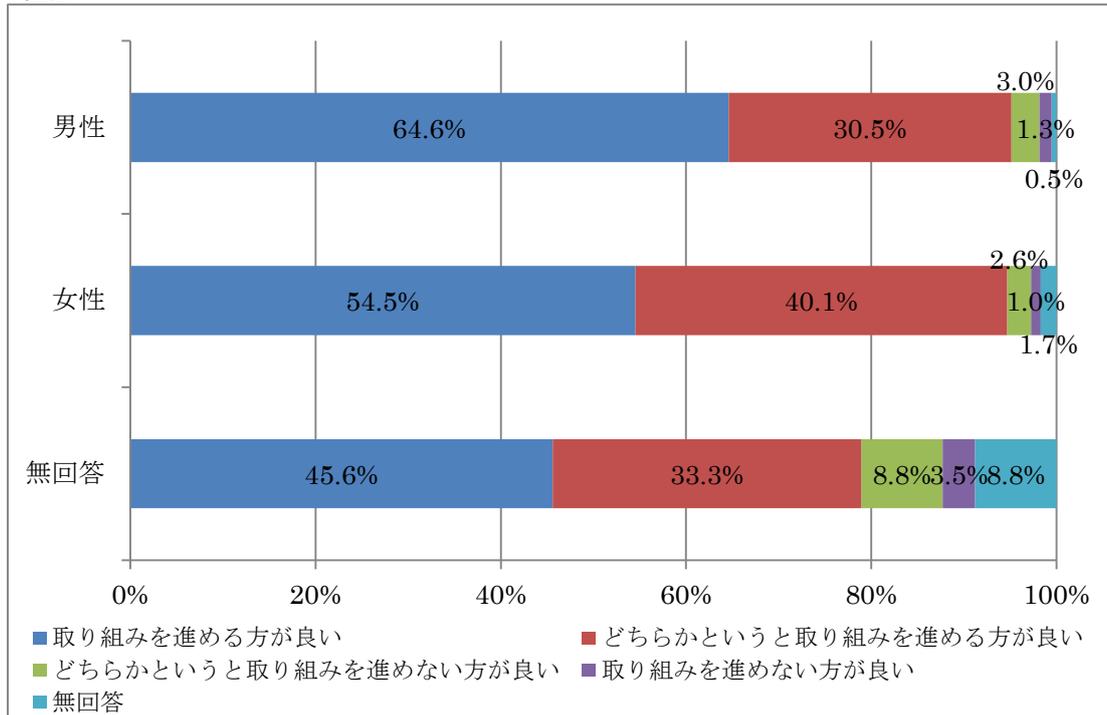
- ・複数の施設を一つにまとめる方法等により、空き時間、空きスペースを有効活用できる施設にします。

方策例2

- ・施設の改修費用を抑えるため、現在ある施設を、できる限り長く活用します。

機能を重視した公共施設の再編の考え方と方策に関しては、性別では「男性」「女性」9割を超える方が「取り組みを進める方が良い」「どちらかという取り組みを進める方が良い」と回答されています。年代別・職業別・地区別でも大きな差はありません。

▶性別



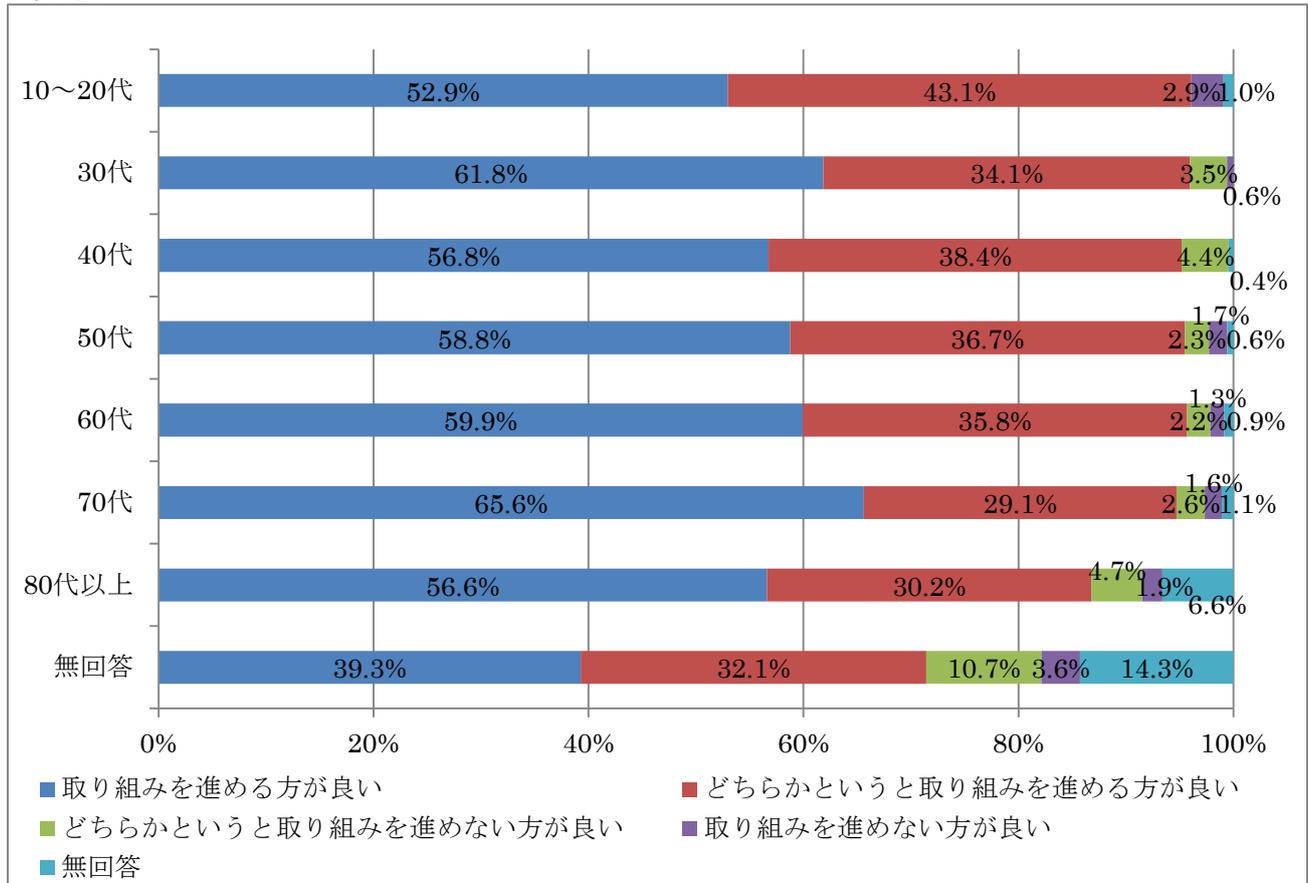
(人数)

性別/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
男性	385	182	18	8	3	596
女性	318	234	15	6	10	583
無回答	26	19	5	2	5	57
合計	729	435	38	16	18	1236

(割合)

性別/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
男性	64.6%	30.5%	3.0%	1.3%	0.5%	100.0%
女性	54.5%	40.1%	2.6%	1.0%	1.7%	100.0%
無回答	45.6%	33.3%	8.8%	3.5%	8.8%	100.0%
合計	59.0%	35.2%	3.1%	1.3%	1.5%	100.0%

▶年代別



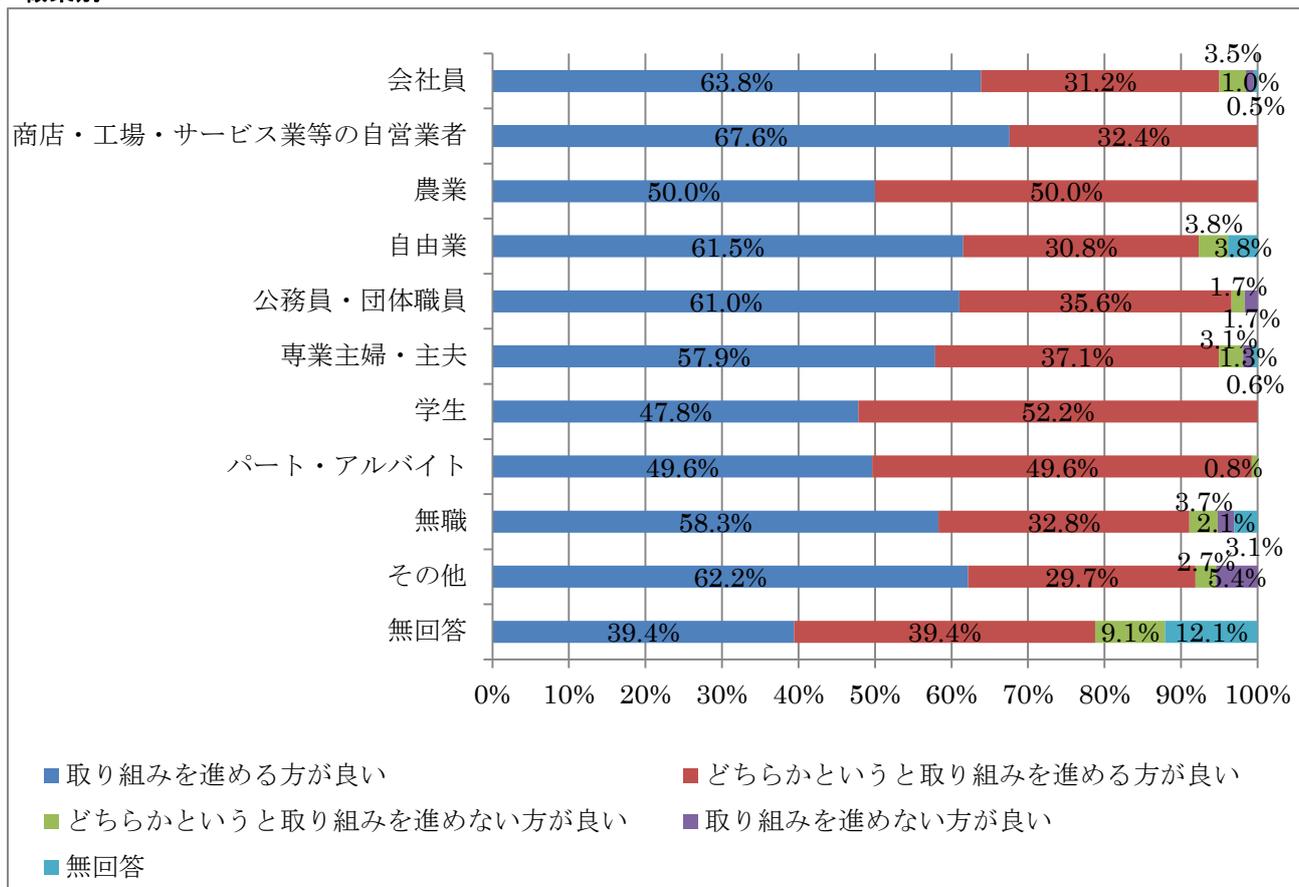
(人数)

年齢/回答	取り組を進める方が良い	どちらかというど取り組を進める方が良い	どちらかというど取り組を進めない方が良い	取り組を進めない方が良い	無回答	合計
10～20代	54	44	0	3	1	102
30代	107	59	6	1	0	173
40代	130	88	10	0	1	229
50代	104	65	4	3	1	177
60代	139	83	5	3	2	232
70代	124	55	5	3	2	189
80代以上	60	32	5	2	7	106
無回答	11	9	3	1	4	28
合計	729	435	38	16	18	1236

(割合)

年齢/回答	取り組を進める方が良い	どちらかというど取り組を進める方が良い	どちらかというど取り組を進めない方が良い	取り組を進めない方が良い	無回答	合計
10～20代	52.9%	43.1%	0.0%	2.9%	1.0%	100.0%
30代	61.8%	34.1%	3.5%	0.6%	0.0%	100.0%
40代	56.8%	38.4%	4.4%	0.0%	0.4%	100.0%
50代	58.8%	36.7%	2.3%	1.7%	0.6%	100.0%
60代	59.9%	35.8%	2.2%	1.3%	0.9%	100.0%
70代	65.6%	29.1%	2.6%	1.6%	1.1%	100.0%
80代以上	56.6%	30.2%	4.7%	1.9%	6.6%	100.0%
無回答	39.3%	32.1%	10.7%	3.6%	14.3%	100.0%
合計	59.0%	35.2%	3.1%	1.3%	1.5%	100.0%

▶職業別



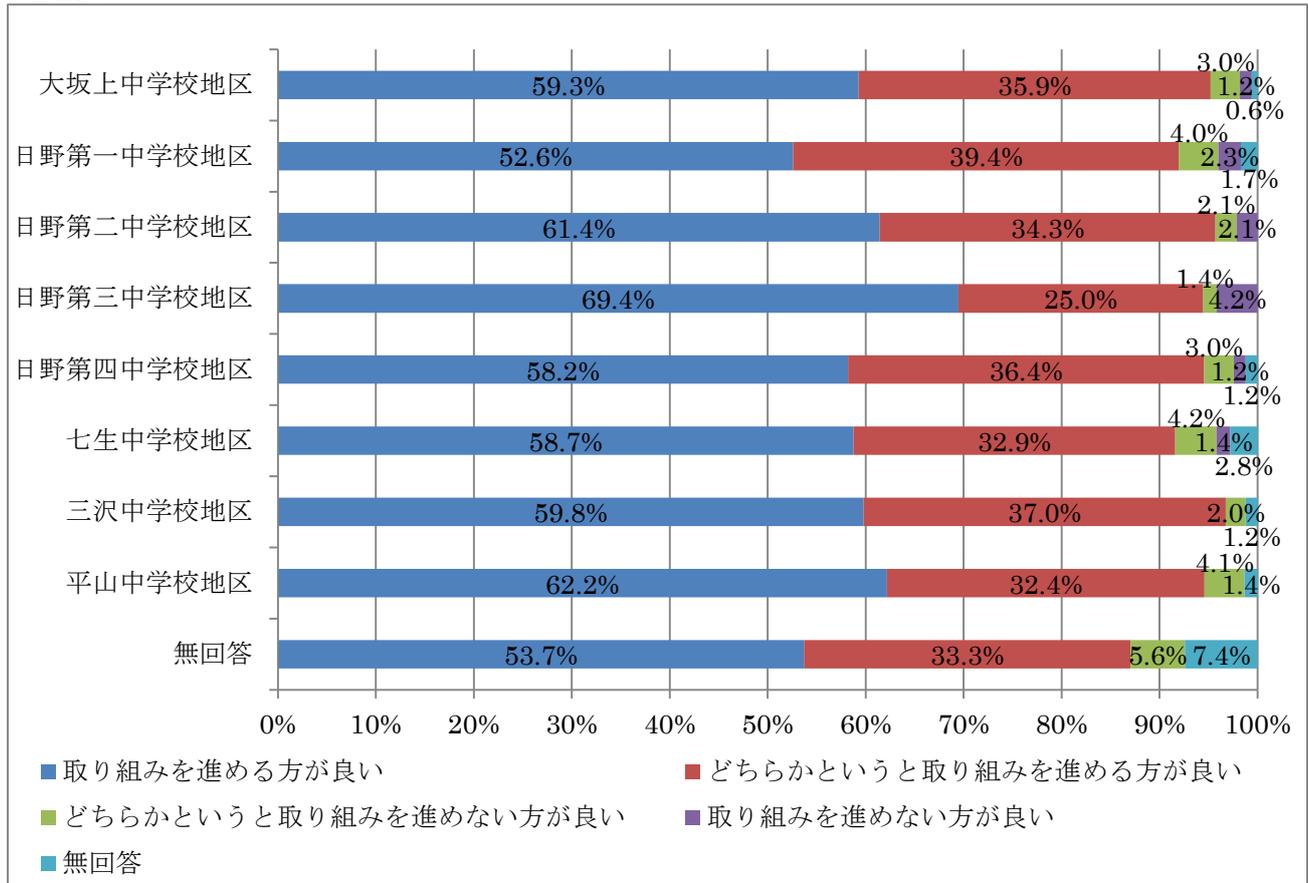
(人数)

職業/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
会社員	256	125	14	4	2	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	25	12	0	0	0	37
農業	2	2	0	0	0	4
自由業	16	8	1	0	1	26
公務員・団体職員	36	21	1	1	0	59
専業主婦・主夫	92	59	5	2	1	159
学生	11	12	0	0	0	23
パート・アルバイト	65	65	1	0	0	131
無職	190	107	12	7	10	326
その他	23	11	1	2	0	37
無回答	13	13	3	0	4	33
合計	729	435	38	16	18	1236

(割合)

職業/回答	取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進める方が良い	どちらかという取り組みを進めない方が良い	取り組みを進めない方が良い	無回答	合計
会社員	63.8%	31.2%	3.5%	1.0%	0.5%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	67.6%	32.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
農業	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自由業	61.5%	30.8%	3.8%	0.0%	3.8%	100.0%
公務員・団体職員	61.0%	35.6%	1.7%	1.7%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫	57.9%	37.1%	3.1%	1.3%	0.6%	100.0%
学生	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト	49.6%	49.6%	0.8%	0.0%	0.0%	100.0%
無職	58.3%	32.8%	3.7%	2.1%	3.1%	100.0%
その他	62.2%	29.7%	2.7%	5.4%	0.0%	100.0%
無回答	39.4%	39.4%	9.1%	0.0%	12.1%	100.0%
合計	59.0%	35.2%	3.1%	1.3%	1.5%	100.0%

▶地区別



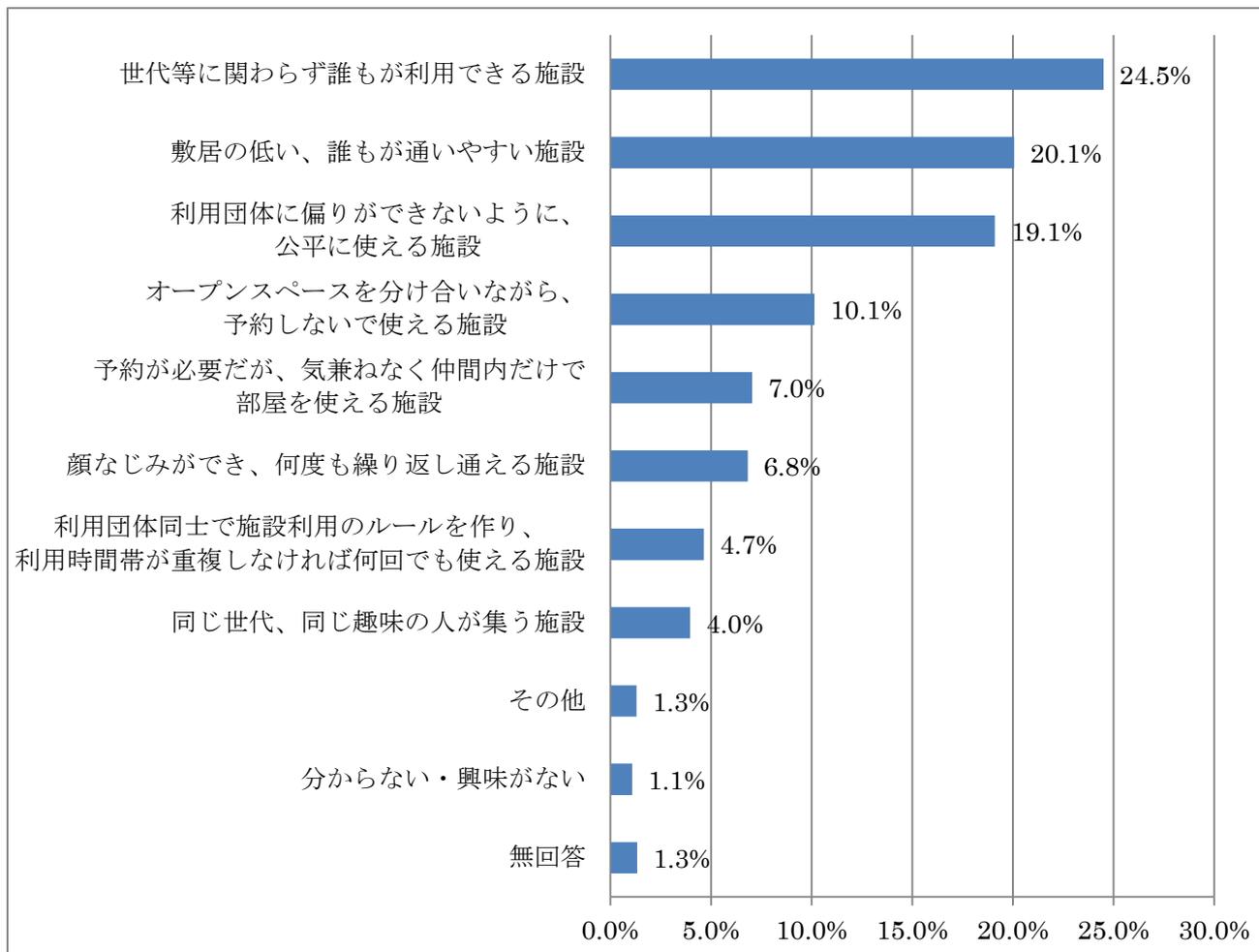
(人数)

地域/回答	取り組みを進める方が 良い	どちらかというど 取り組みを進める方が 良い	どちらかというど 取り組みを進めない方 が良い	取り組みを進めない 方が良い	無回答	合計
大坂上中学校地区	99	60	5	2	1	167
日野第一中学校地区	92	69	7	4	3	175
日野第二中学校地区	86	48	3	3	0	140
日野第三中学校地区	50	18	1	3	0	72
日野第四中学校地区	96	60	5	2	2	165
七生中学校地区	84	47	6	2	4	143
三沢中学校地区	147	91	5	0	3	246
平山中学校地区	46	24	3	0	1	74
無回答	29	18	3	0	4	54
合計	729	435	38	16	18	1236

(割合)

地域/回答	取り組みを進める方が 良い	どちらかというど 取り組みを進める方が 良い	どちらかというど 取り組みを進めない方 が良い	取り組みを進めない 方が良い	無回答	合計
大坂上中学校地区	59.3%	35.9%	3.0%	1.2%	0.6%	100.0%
日野第一中学校地区	52.6%	39.4%	4.0%	2.3%	1.7%	100.0%
日野第二中学校地区	61.4%	34.3%	2.1%	2.1%	0.0%	100.0%
日野第三中学校地区	69.4%	25.0%	1.4%	4.2%	0.0%	100.0%
日野第四中学校地区	58.2%	36.4%	3.0%	1.2%	1.2%	100.0%
七生中学校地区	58.7%	32.9%	4.2%	1.4%	2.8%	100.0%
三沢中学校地区	59.8%	37.0%	2.0%	0.0%	1.2%	100.0%
平山中学校地区	62.2%	32.4%	4.1%	0.0%	1.4%	100.0%
無回答	53.7%	33.3%	5.6%	0.0%	7.4%	100.0%
合計	59.0%	35.2%	3.1%	1.3%	1.5%	100.0%

問6：あなたがイメージする、よりよい「地域の核となる公共施設」の姿について、あなたの考えに近い項目を下記から三つ以内でお選びください。



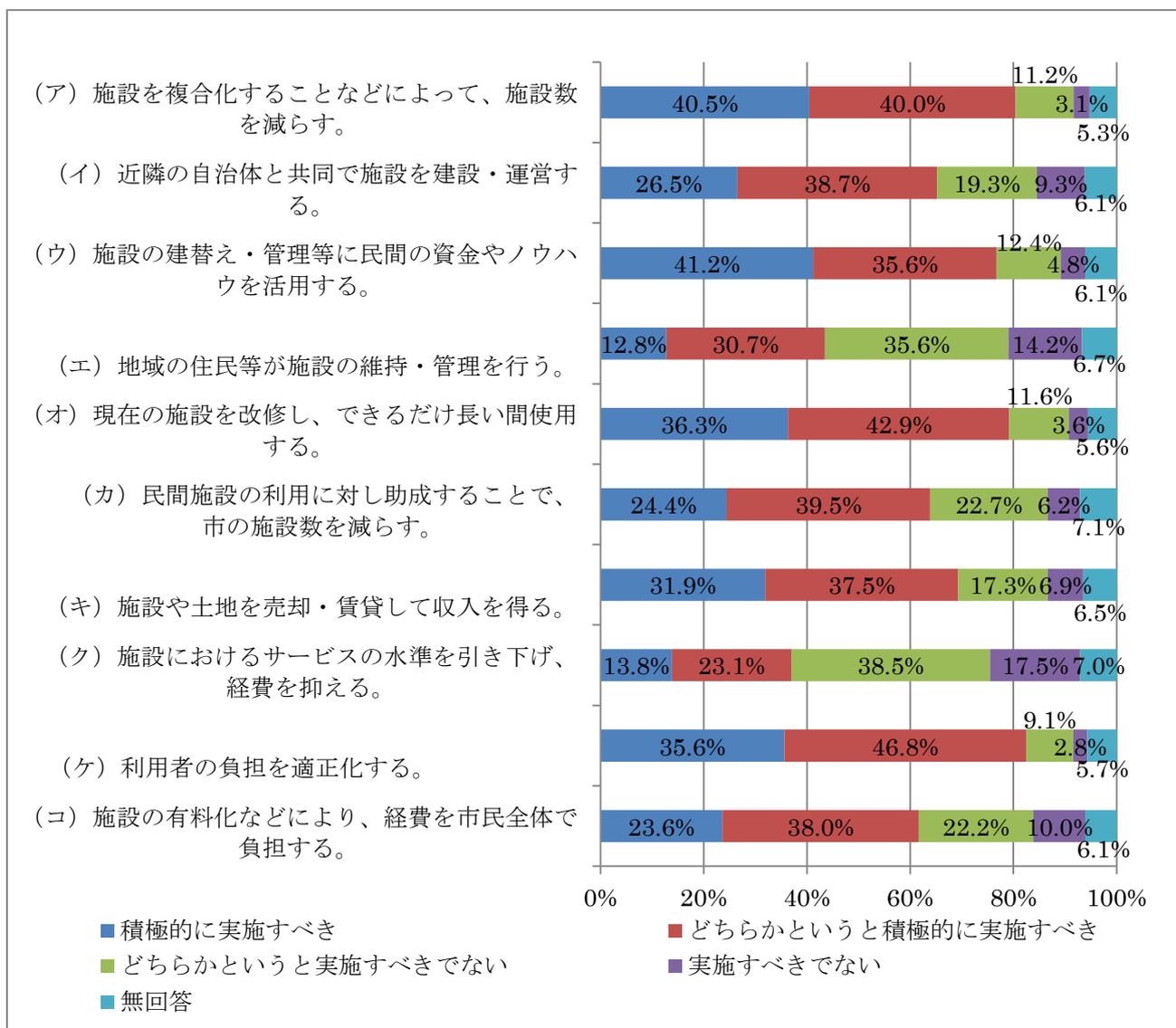
項目	世代等に関わらず誰もが利用できる施設	敷居の低い、誰もが通いやすい施設	利用団体に偏りができないように、公平に使える施設	オープンスペースを分け合いながら、予約しないで使える施設	予約が必要だが、気兼ねなく仲間内だけで部屋を使える施設	顔なじみができ、何度も繰り返し通える施設	利用団体同士で施設利用のルールを作り、利用時間帯が重複しなければ何回でも使える施設	同じ世代、同じ趣味の人が集う施設	その他	無回答	分からない・興味がない	合計
人数	790	647	616	327	227	220	150	128	42	43	35	3225
割合	24.5%	20.1%	19.1%	10.1%	7.0%	6.8%	4.7%	4.0%	1.3%	1.3%	1.1%	100.0%

よりよい「地域の核となる公共施設」の姿については、多くの回答者が「世代等に関わらず誰もが利用できる施設」、「敷居の低い誰もが通いやすい施設」及び「利用団体に偏りが出来ないように公平に使える施設」の3つを回答しています。

「予約が必要だが、気兼ねなく仲間内だけで部屋を使える施設」や「同じ世代、同じ趣味の人が集う施設」など利用者が限られる施設に関しては、選択された回答者が少なくなっています。

問7：問3、問4、問5で大きな方向性の考え方をお示ししましたが、あなたは、今後の公共施設の整備や施設の考え方について、具体的にどのように考えますか。

(積極的に実施すべき／どちらかというと積極的に実施すべき／どちらかというを実施すべきではない／実施すべきではない)



(人数)

項目/回答	積極的に実施すべき	どちらかという積極的に実施すべき	どちらかという実施すべきでない	実施すべきでない	無回答	合計
(ア)施設を複合化することなどによって、施設数を減らす。	500	494	139	38	65	1236
(イ)近隣の自治体と共同で施設を建設・運営する。	328	478	239	115	76	1236
(ウ)施設の建替え・管理等に民間の資金やノウハウを活用する。	509	440	153	59	75	1236
(エ)地域の住民等が施設の維持・管理を行う。	158	379	440	176	83	1236
(オ)現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する。	449	530	143	45	69	1236
(カ)民間施設の利用に対し助成することで、市の施設数を減らす。	302	488	281	77	88	1236
(キ)施設や土地を売却・賃貸して収入を得る。	394	463	214	85	80	1236
(ク)施設におけるサービスの水準を引き下げ、経費を抑える。	171	286	476	216	87	1236
(ケ)利用者の負担を適正化する。	440	579	113	34	70	1236
(コ)施設の有料化などにより、経費を市民全体で負担する。	292	470	275	124	75	1236

(割合)

項目/回答	積極的に実施すべき	どちらかという積極的に実施すべき	どちらかという実施すべきでない	実施すべきでない	無回答	合計
(ア)施設を複合化することなどによって、施設数を減らす。	40.5%	40.0%	11.2%	3.1%	5.3%	100.0%
(イ)近隣の自治体と共同で施設を建設・運営する。	26.5%	38.7%	19.3%	9.3%	6.1%	100.0%
(ウ)施設の建替え・管理等に民間の資金やノウハウを活用する。	41.2%	35.6%	12.4%	4.8%	6.1%	100.0%
(エ)地域の住民等が施設の維持・管理を行う。	12.8%	30.7%	35.6%	14.2%	6.7%	100.0%
(オ)現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する。	36.3%	42.9%	11.6%	3.6%	5.6%	100.0%
(カ)民間施設の利用に対し助成することで、市の施設数を減らす。	24.4%	39.5%	22.7%	6.2%	7.1%	100.0%
(キ)施設や土地を売却・賃貸して収入を得る。	31.9%	37.5%	17.3%	6.9%	6.5%	100.0%
(ク)施設におけるサービスの水準を引き下げ、経費を抑える。	13.8%	23.1%	38.5%	17.5%	7.0%	100.0%
(ケ)利用者の負担を適正化する。	35.6%	46.8%	9.1%	2.8%	5.7%	100.0%
(コ)施設の有料化などにより、経費を市民全体で負担する。	23.6%	38.0%	22.2%	10.0%	6.1%	100.0%

今後の公共施設の整備や施設の考え方については、「地域の住民等が施設の維持・管理を行う」、「施設におけるサービスの水準を引き下げ、経費を抑える」の2つにおいて、「実施すべきでない」、「どちらかという実施すべきでない」が5割を超えています。

一方、「施設を複合化することなどによって、施設数を減らす」、「利用者の負担を適正化する」においては「積極的に実施すべき」、「どちらかという積極的に実施すべき」が8割程となっています。

問 8 : 最近 1 年間の公共施設の利用状況は次のうちのどれですか？

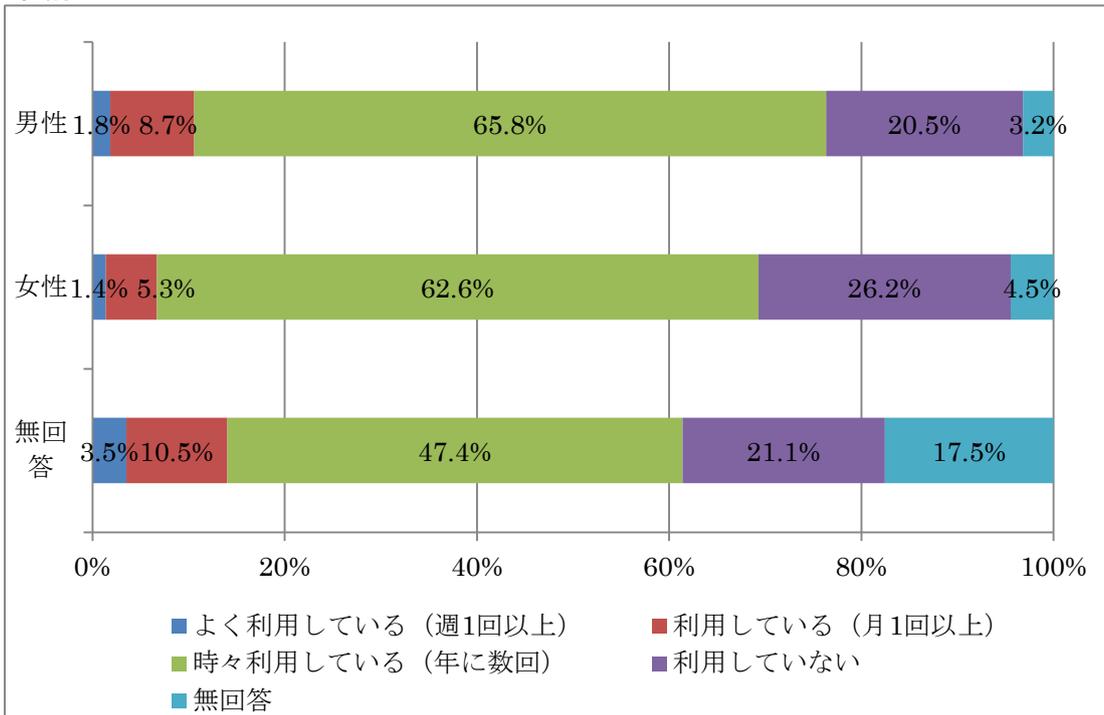
(ア～コの施設について、それぞれ 1 つだけに○印)

(よく利用している (週 1 回以上) / 利用している (月 1 回以上) / 時々利用している (年に数回) / 利用していない)

(ア) 行政施設 (庁舎、支所・出張所)

行政施設に関しては、性別では「男性」で月 1 回以上の頻度で利用している方の割合が 1 割程となっています。年代別では「60代」以上の方で月 1 回以上の頻度で利用している方の割合が 1 割を超えています。職業別では「商店・工場・サービス業等の自営業者」、「公務員・団体職員」及び「無職」で、月 1 回以上の頻度で利用している方の割合が他の職業に比べ多くなっています。地区別では利用率に大きな差はありません。

▶性別



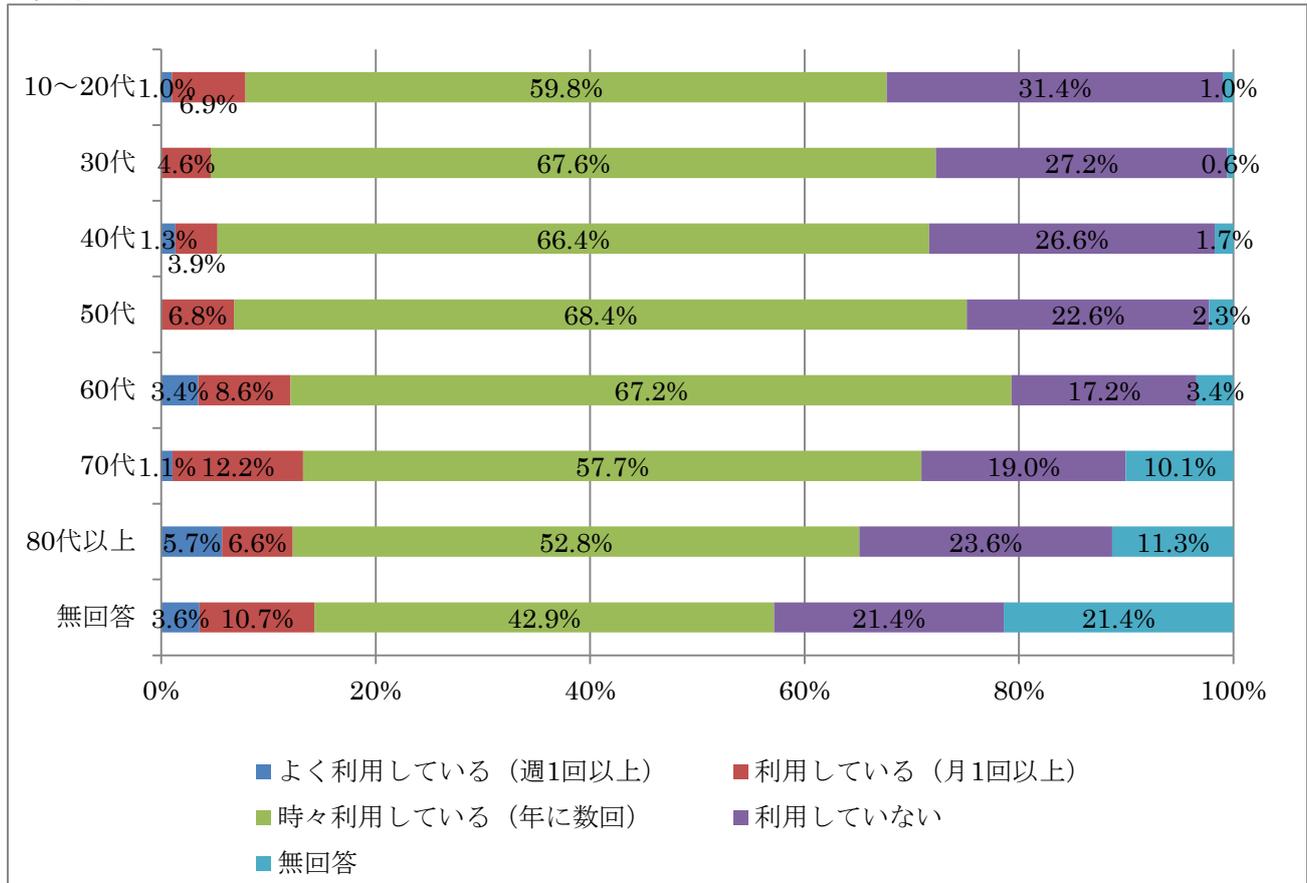
(人数)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	11	52	392	122	19	596
女性	8	31	365	153	26	583
無回答	2	6	27	12	10	57
合計	21	89	784	287	55	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	1.8%	8.7%	65.8%	20.5%	3.2%	100.0%
女性	1.4%	5.3%	62.6%	26.2%	4.5%	100.0%
無回答	3.5%	10.5%	47.4%	21.1%	17.5%	100.0%
合計	1.7%	7.2%	63.4%	23.2%	4.4%	100.0%

▶年代別



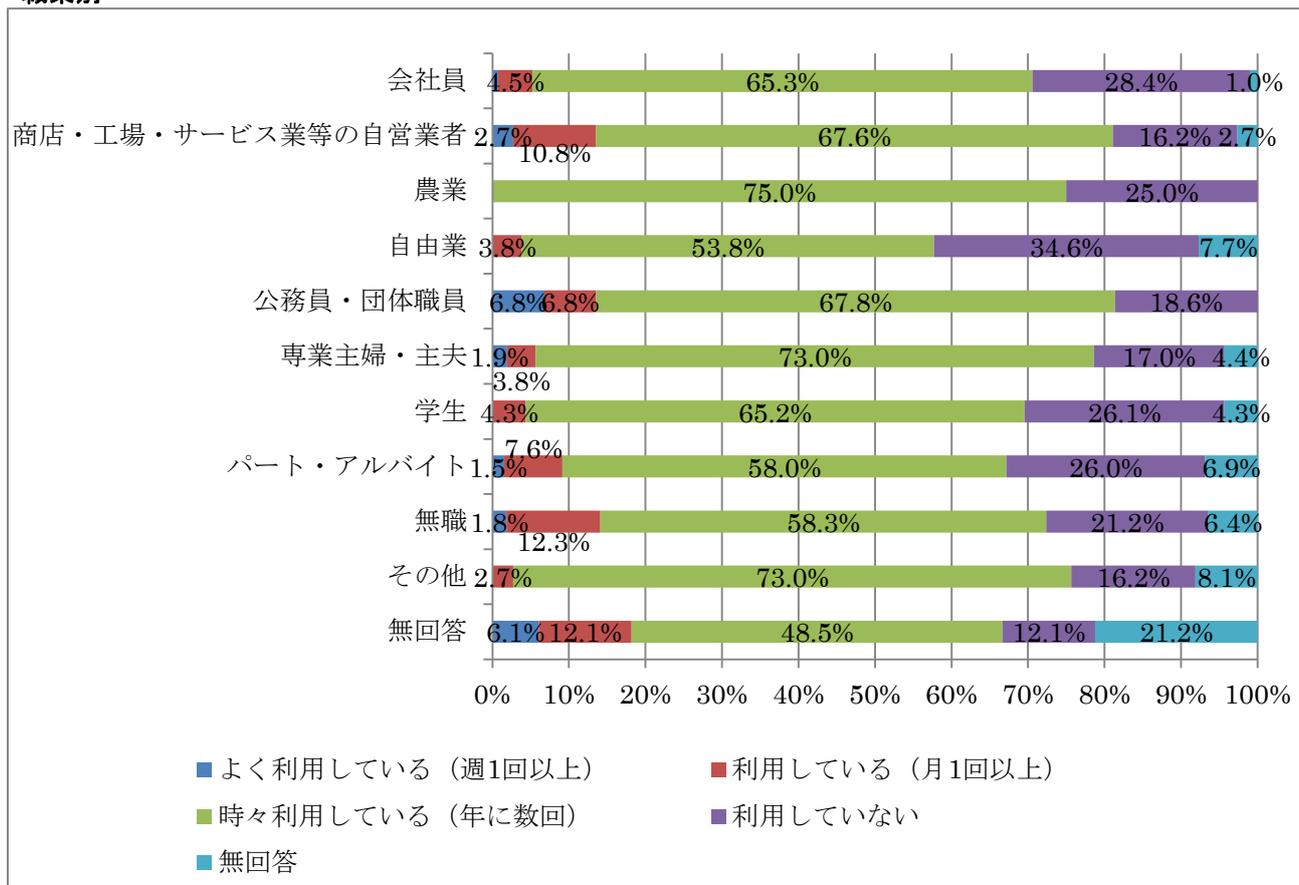
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	1	7	61	32	1	102
30代	0	8	117	47	1	173
40代	3	9	152	61	4	229
50代	0	12	121	40	4	177
60代	8	20	156	40	8	232
70代	2	23	109	36	19	189
80代以上	6	7	56	25	12	106
無回答	1	3	12	6	6	28
合計	21	89	784	287	55	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	1.0%	6.9%	59.8%	31.4%	1.0%	100.0%
30代	0.0%	4.6%	67.6%	27.2%	0.6%	100.0%
40代	1.3%	3.9%	66.4%	26.6%	1.7%	100.0%
50代	0.0%	6.8%	68.4%	22.6%	2.3%	100.0%
60代	3.4%	8.6%	67.2%	17.2%	3.4%	100.0%
70代	1.1%	12.2%	57.7%	19.0%	10.1%	100.0%
80代以上	5.7%	6.6%	52.8%	23.6%	11.3%	100.0%
無回答	3.6%	10.7%	42.9%	21.4%	21.4%	100.0%
合計	1.7%	7.2%	63.4%	23.2%	4.4%	100.0%

▶職業別



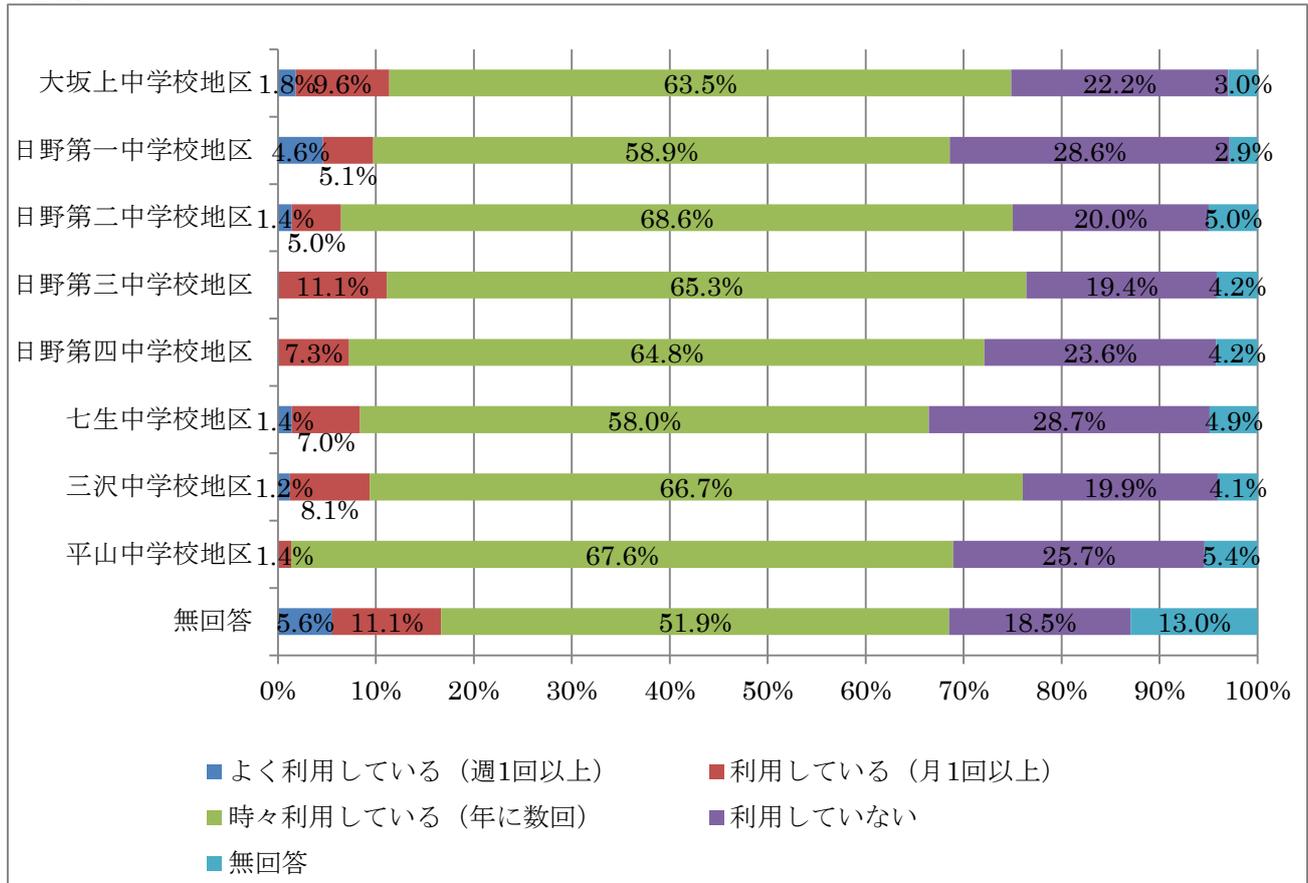
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	3	18	262	114	4	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	1	4	25	6	1	37
農業	0	0	3	1	0	4
自由業	0	1	14	9	2	26
公務員・団体職員	4	4	40	11	0	59
専業主婦・主夫	3	6	116	27	7	159
学生	0	1	15	6	1	23
パート・アルバイト	2	10	76	34	9	131
無職	6	40	190	69	21	326
その他	0	1	27	6	3	37
無回答	2	4	16	4	7	33
合計	21	89	784	287	55	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	0.7%	4.5%	65.3%	28.4%	1.0%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	2.7%	10.8%	67.6%	16.2%	2.7%	100.0%
農業	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%
自由業	0.0%	3.8%	53.8%	34.6%	7.7%	100.0%
公務員・団体職員	6.8%	6.8%	67.8%	18.6%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫	1.9%	3.8%	73.0%	17.0%	4.4%	100.0%
学生	0.0%	4.3%	65.2%	26.1%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	1.5%	7.6%	58.0%	26.0%	6.9%	100.0%
無職	1.8%	12.3%	58.3%	21.2%	6.4%	100.0%
その他	0.0%	2.7%	73.0%	16.2%	8.1%	100.0%
無回答	6.1%	12.1%	48.5%	12.1%	21.2%	100.0%
合計	1.7%	7.2%	63.4%	23.2%	4.4%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	3	16	106	37	5	167
日野第一中学校地区	8	9	103	50	5	175
日野第二中学校地区	2	7	96	28	7	140
日野第三中学校地区	0	8	47	14	3	72
日野第四中学校地区	0	12	107	39	7	165
七生中学校地区	2	10	83	41	7	143
三沢中学校地区	3	20	164	49	10	246
平山中学校地区	0	1	50	19	4	74
無回答	3	6	28	10	7	54
合計	21	89	784	287	55	1236

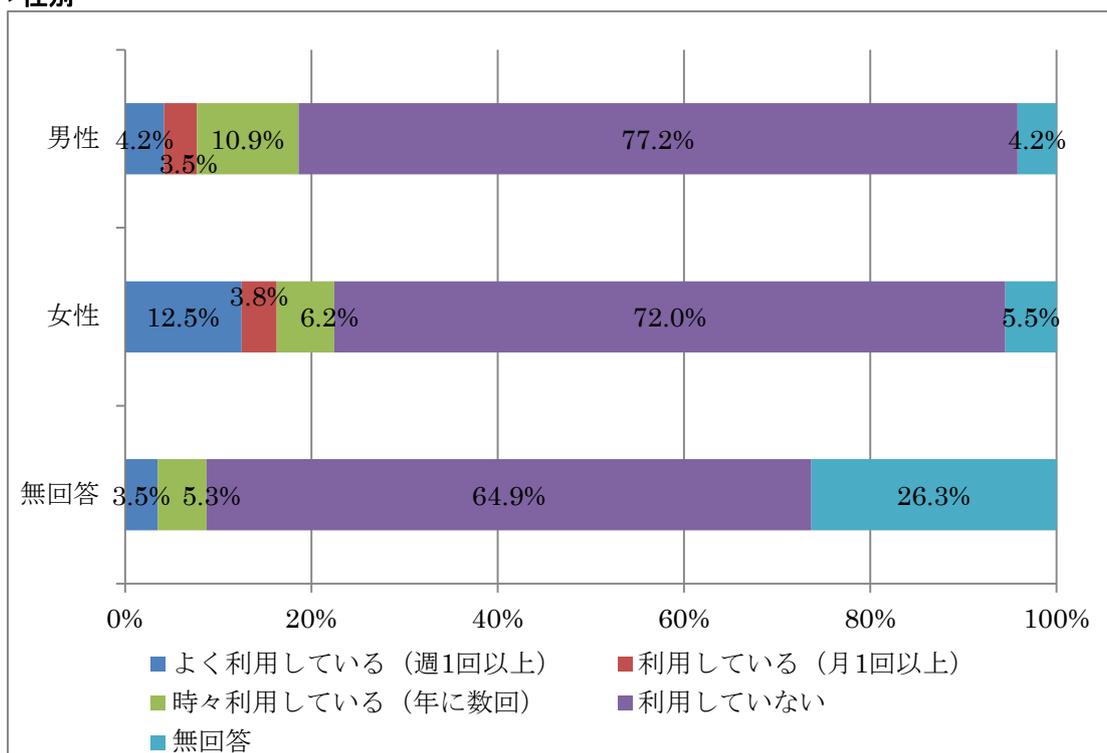
(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	1.8%	9.6%	63.5%	22.2%	3.0%	100.0%
日野第一中学校地区	4.6%	5.1%	58.9%	28.6%	2.9%	100.0%
日野第二中学校地区	1.4%	5.0%	68.6%	20.0%	5.0%	100.0%
日野第三中学校地区	0.0%	11.1%	65.3%	19.4%	4.2%	100.0%
日野第四中学校地区	0.0%	7.3%	64.8%	23.6%	4.2%	100.0%
七生中学校地区	1.4%	7.0%	58.0%	28.7%	4.9%	100.0%
三沢中学校地区	1.2%	8.1%	66.7%	19.9%	4.1%	100.0%
平山中学校地区	0.0%	1.4%	67.6%	25.7%	5.4%	100.0%
無回答	5.6%	11.1%	51.9%	18.5%	13.0%	100.0%
合計	1.7%	7.2%	63.4%	23.2%	4.4%	100.0%

(イ) 学校教育施設（小学校、中学校、幼稚園、教育センター）

学校教育施設に関しては、性別では「女性」で月1回以上の頻度で利用している方の割合が2割近くとなっています。年代別では「30代」、「40代」で月1回以上の頻度で利用している方の割合が3割近くとなっています。職業別では「農業」、「公務員・団体職員」及び「専業主婦・主夫」で、利用率が他の職業に比べ多くなっています。地区別では「日野第一中学校地区」、「日野第二中学校地区」、「日野第四中学校地区」で、月1回以上の頻度で利用している方の割合が他の地区に比べ多くなっています。

▶性別



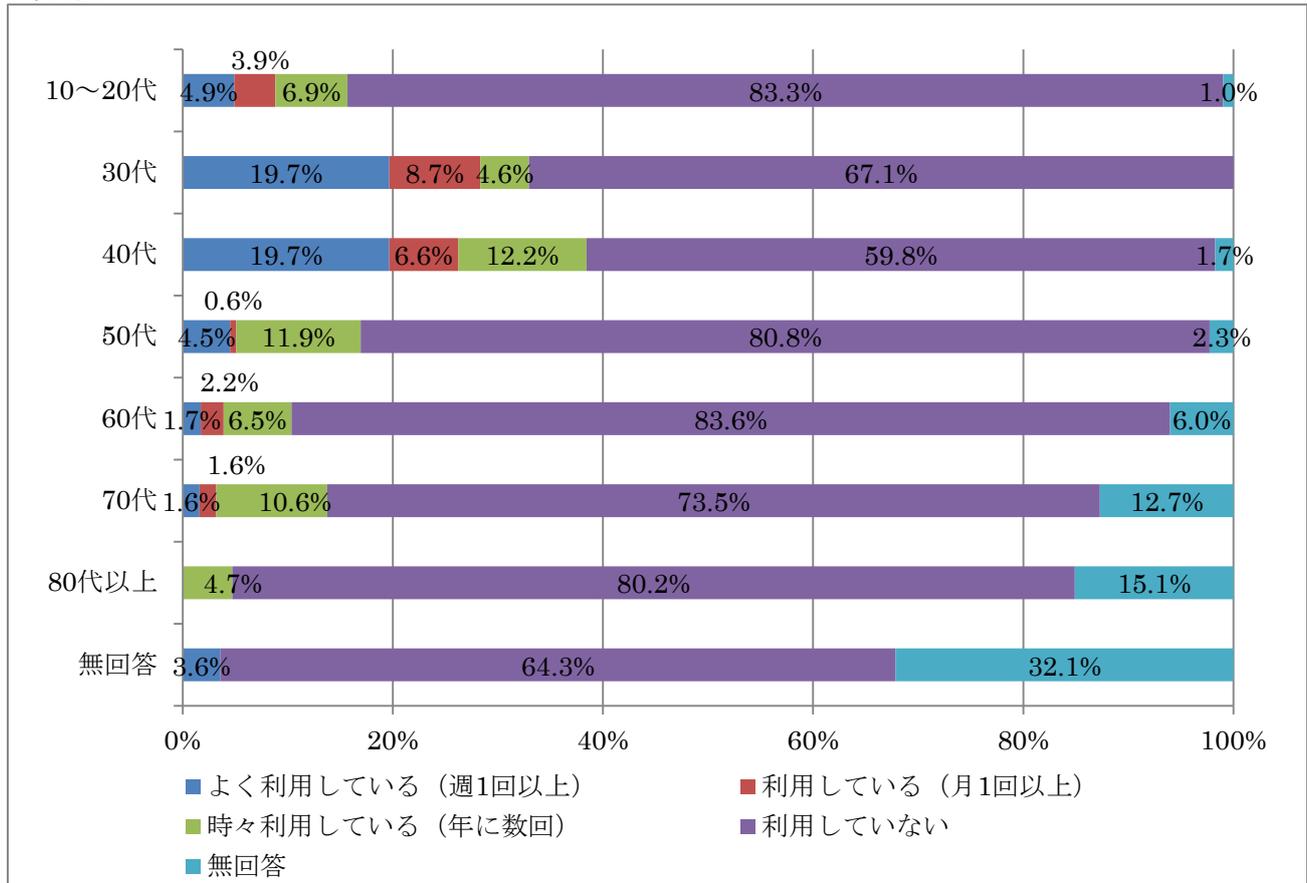
(人数)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	25	21	65	460	25	596
女性	73	22	36	420	32	583
無回答	2	0	3	37	15	57
合計	100	43	104	917	72	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	4.2%	3.5%	10.9%	77.2%	4.2%	100.0%
女性	12.5%	3.8%	6.2%	72.0%	5.5%	100.0%
無回答	3.5%	0.0%	5.3%	64.9%	26.3%	100.0%
合計	8.1%	3.5%	8.4%	74.2%	5.8%	100.0%

▶年代別



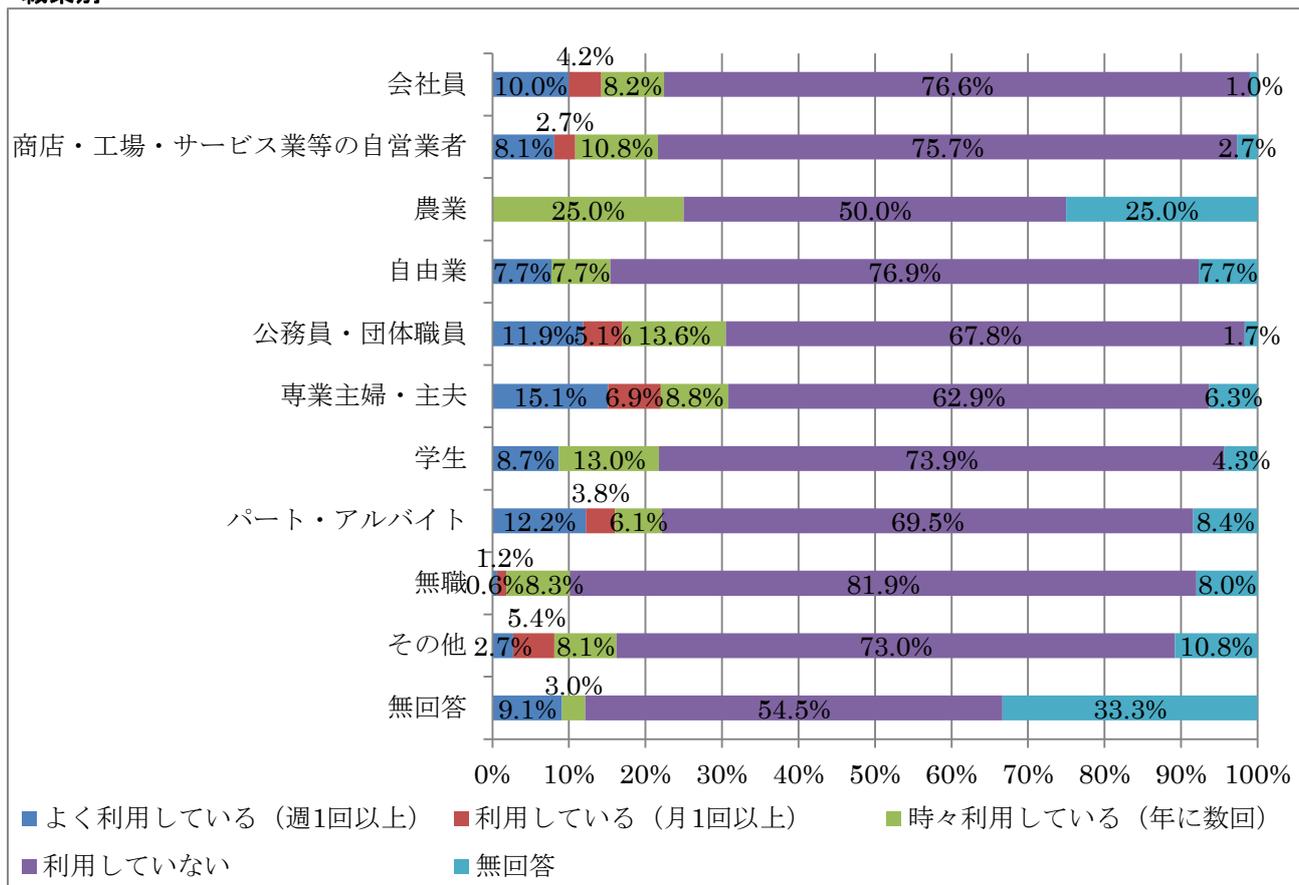
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	5	4	7	85	1	102
30代	34	15	8	116	0	173
40代	45	15	28	137	4	229
50代	8	1	21	143	4	177
60代	4	5	15	194	14	232
70代	3	3	20	139	24	189
80代以上	0	0	5	85	16	106
無回答	1	0	0	18	9	28
合計	100	43	104	917	72	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	4.9%	3.9%	6.9%	83.3%	1.0%	100.0%
30代	19.7%	8.7%	4.6%	67.1%	0.0%	100.0%
40代	19.7%	6.6%	12.2%	59.8%	1.7%	100.0%
50代	4.5%	0.6%	11.9%	80.8%	2.3%	100.0%
60代	1.7%	2.2%	6.5%	83.6%	6.0%	100.0%
70代	1.6%	1.6%	10.6%	73.5%	12.7%	100.0%
80代以上	0.0%	0.0%	4.7%	80.2%	15.1%	100.0%
無回答	3.6%	0.0%	0.0%	64.3%	32.1%	100.0%
合計	8.1%	3.5%	8.4%	74.2%	5.8%	100.0%

▶職業別



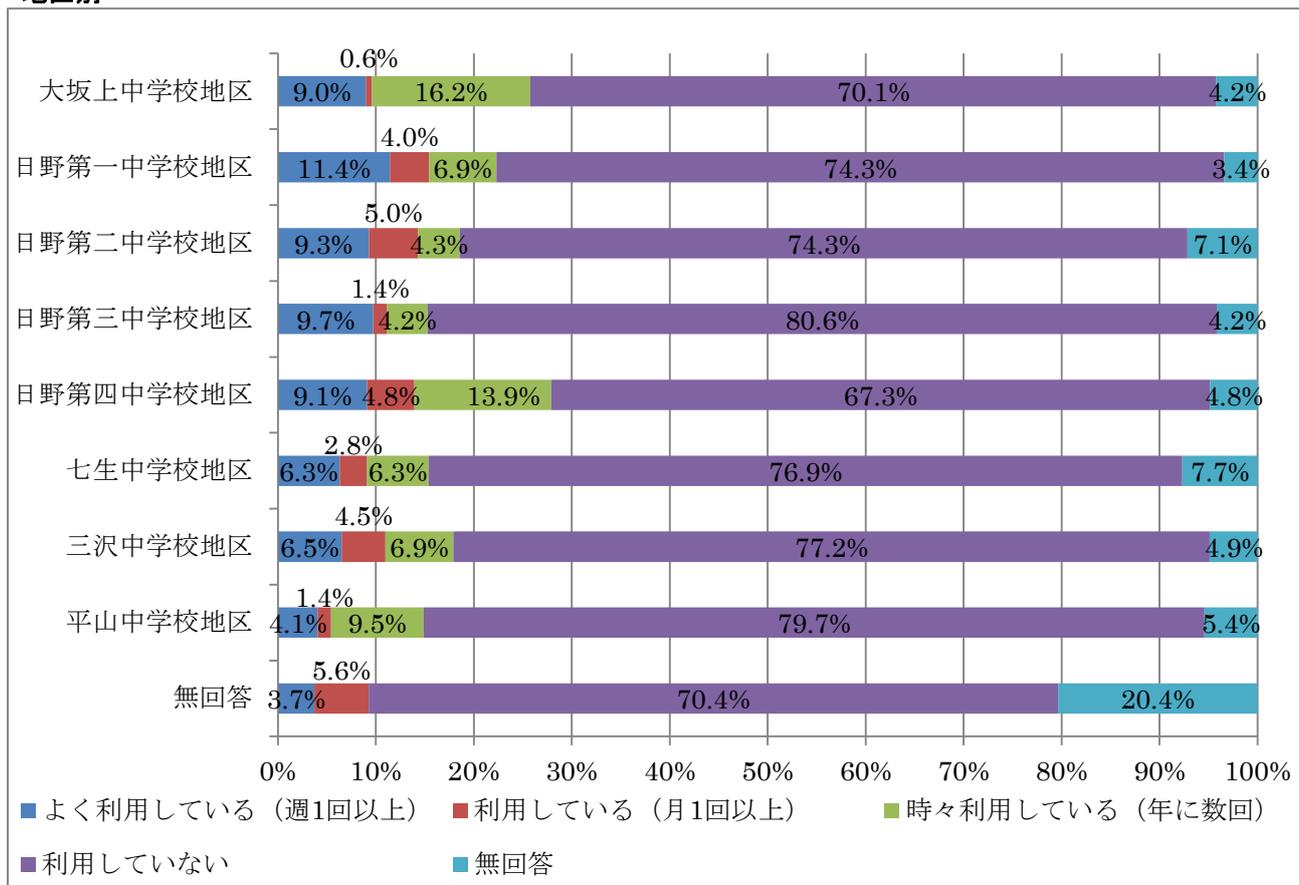
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	40	17	33	307	4	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	3	1	4	28	1	37
農業	0	0	1	2	1	4
自由業	2	0	2	20	2	26
公務員・団体職員	7	3	8	40	1	59
専業主婦・主夫	24	11	14	100	10	159
学生	2	0	3	17	1	23
パート・アルバイト	16	5	8	91	11	131
無職	2	4	27	267	26	326
その他	1	2	3	27	4	37
無回答	3	0	1	18	11	33
合計	100	43	104	917	72	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	10.0%	4.2%	8.2%	76.6%	1.0%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	8.1%	2.7%	10.8%	75.7%	2.7%	100.0%
農業	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	100.0%
自由業	7.7%	0.0%	7.7%	76.9%	7.7%	100.0%
公務員・団体職員	11.9%	5.1%	13.6%	67.8%	1.7%	100.0%
専業主婦・主夫	15.1%	6.9%	8.8%	62.9%	6.3%	100.0%
学生	8.7%	0.0%	13.0%	73.9%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	12.2%	3.8%	6.1%	69.5%	8.4%	100.0%
無職	0.6%	1.2%	8.3%	81.9%	8.0%	100.0%
その他	2.7%	5.4%	8.1%	73.0%	10.8%	100.0%
無回答	9.1%	0.0%	3.0%	54.5%	33.3%	100.0%
合計	8.1%	3.5%	8.4%	74.2%	5.8%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	15	1	27	117	7	167
日野第一中学校地区	20	7	12	130	6	175
日野第二中学校地区	13	7	6	104	10	140
日野第三中学校地区	7	1	3	58	3	72
日野第四中学校地区	15	8	23	111	8	165
七生中学校地区	9	4	9	110	11	143
三沢中学校地区	16	11	17	190	12	246
平山中学校地区	3	1	7	59	4	74
無回答	2	3	0	38	11	54
合計	100	43	104	917	72	1236

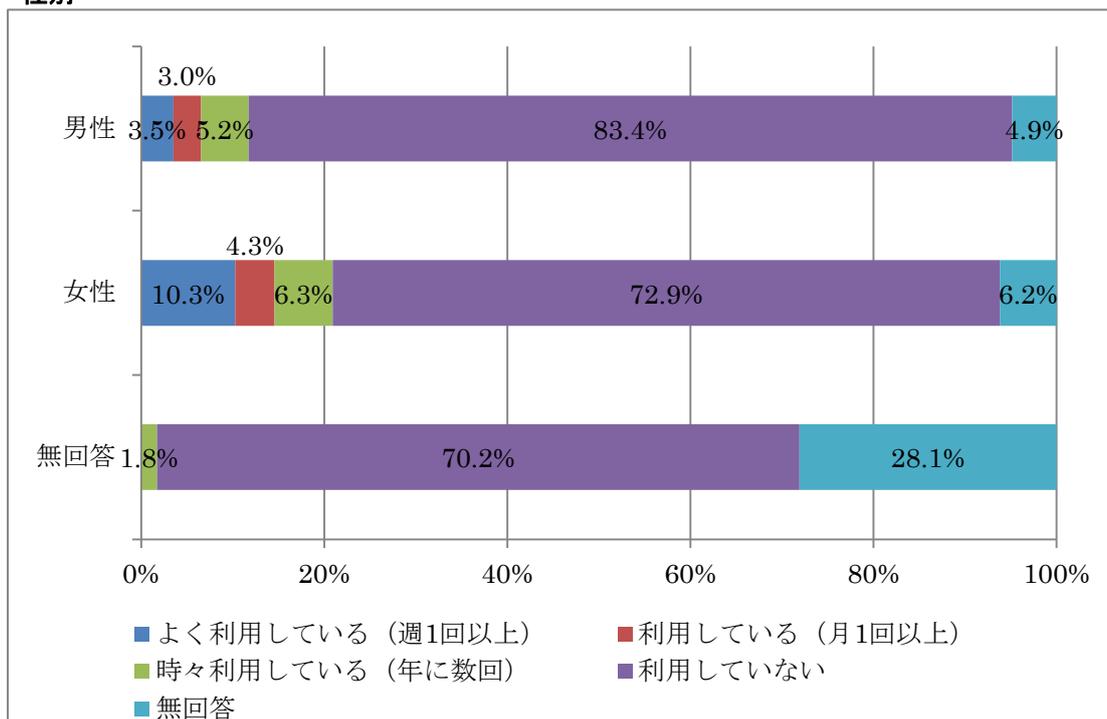
(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	9.0%	0.6%	16.2%	70.1%	4.2%	100.0%
日野第一中学校地区	11.4%	4.0%	6.9%	74.3%	3.4%	100.0%
日野第二中学校地区	9.3%	5.0%	4.3%	74.3%	7.1%	100.0%
日野第三中学校地区	9.7%	1.4%	4.2%	80.6%	4.2%	100.0%
日野第四中学校地区	9.1%	4.8%	13.9%	67.3%	4.8%	100.0%
七生中学校地区	6.3%	2.8%	6.3%	76.9%	7.7%	100.0%
三沢中学校地区	6.5%	4.5%	6.9%	77.2%	4.9%	100.0%
平山中学校地区	4.1%	1.4%	9.5%	79.7%	5.4%	100.0%
無回答	3.7%	5.6%	0.0%	70.4%	20.4%	100.0%
合計	8.1%	3.5%	8.4%	74.2%	5.8%	100.0%

(ウ) 子育て支援施設（保育園、児童館、学童クラブ、その他の子育て支援施設）

子育て支援施設に関しては、性別では「女性」で月1回以上の頻度で利用している方の割合が1割超となっています。年代別では「30代」が最も月1回以上の頻度で利用している方の割合が高く3割程となっています。職業別では「公務員・団体職員」及び「専業主婦・主夫」で、月1回以上の頻度で利用している方の割合が他の職業に比べ多くなっています。地区別では「日野第二中学校地区」、「日野第四中学校地区」で、月1回以上の頻度で利用している方の割合が他の地区に比べ多くなっています。

▶性別



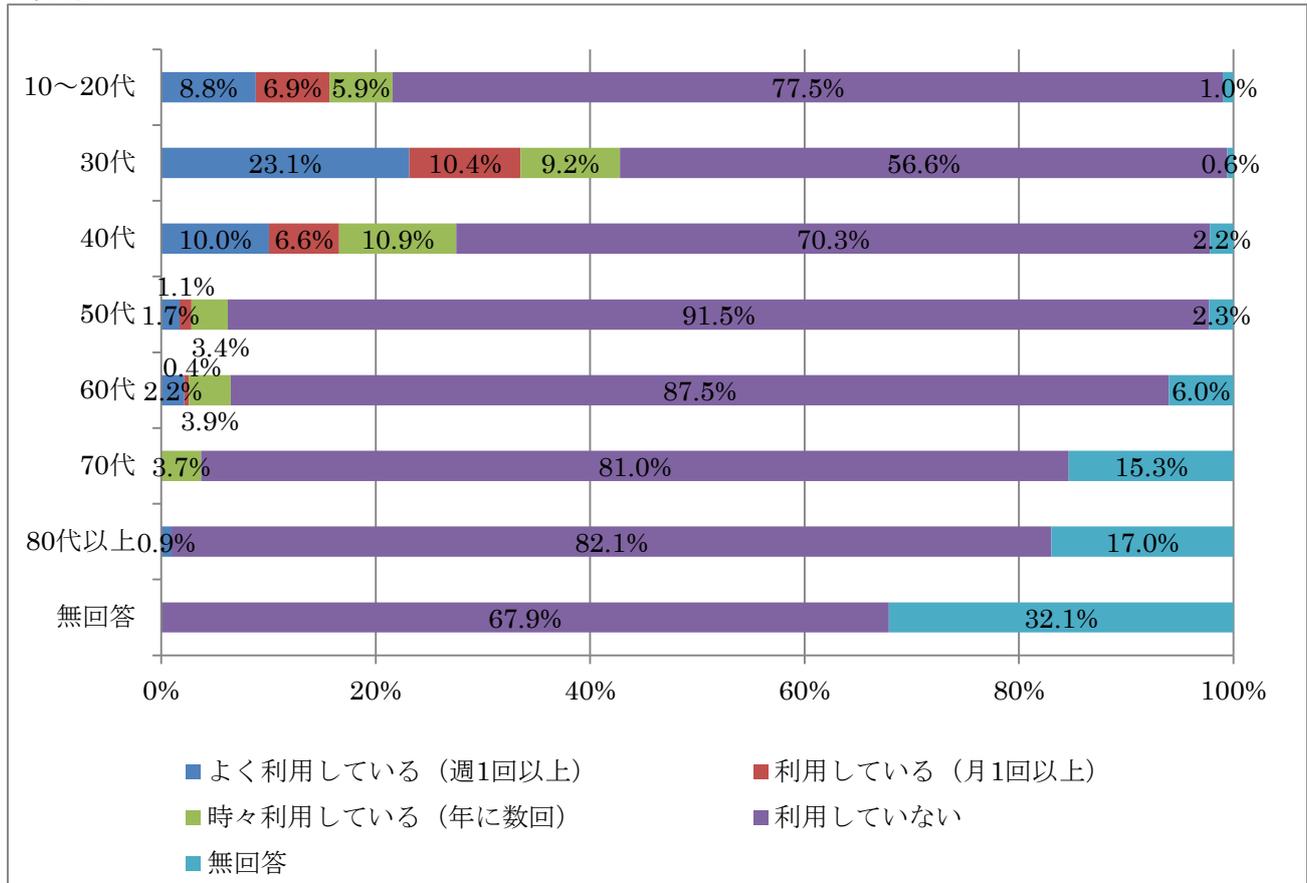
(人数)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	21	18	31	497	29	596
女性	60	25	37	425	36	583
無回答	0	0	1	40	16	57
合計	81	43	69	962	81	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	3.5%	3.0%	5.2%	83.4%	4.9%	100.0%
女性	10.3%	4.3%	6.3%	72.9%	6.2%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	1.8%	70.2%	28.1%	100.0%
合計	6.6%	3.5%	5.6%	77.8%	6.6%	100.0%

▶年代別



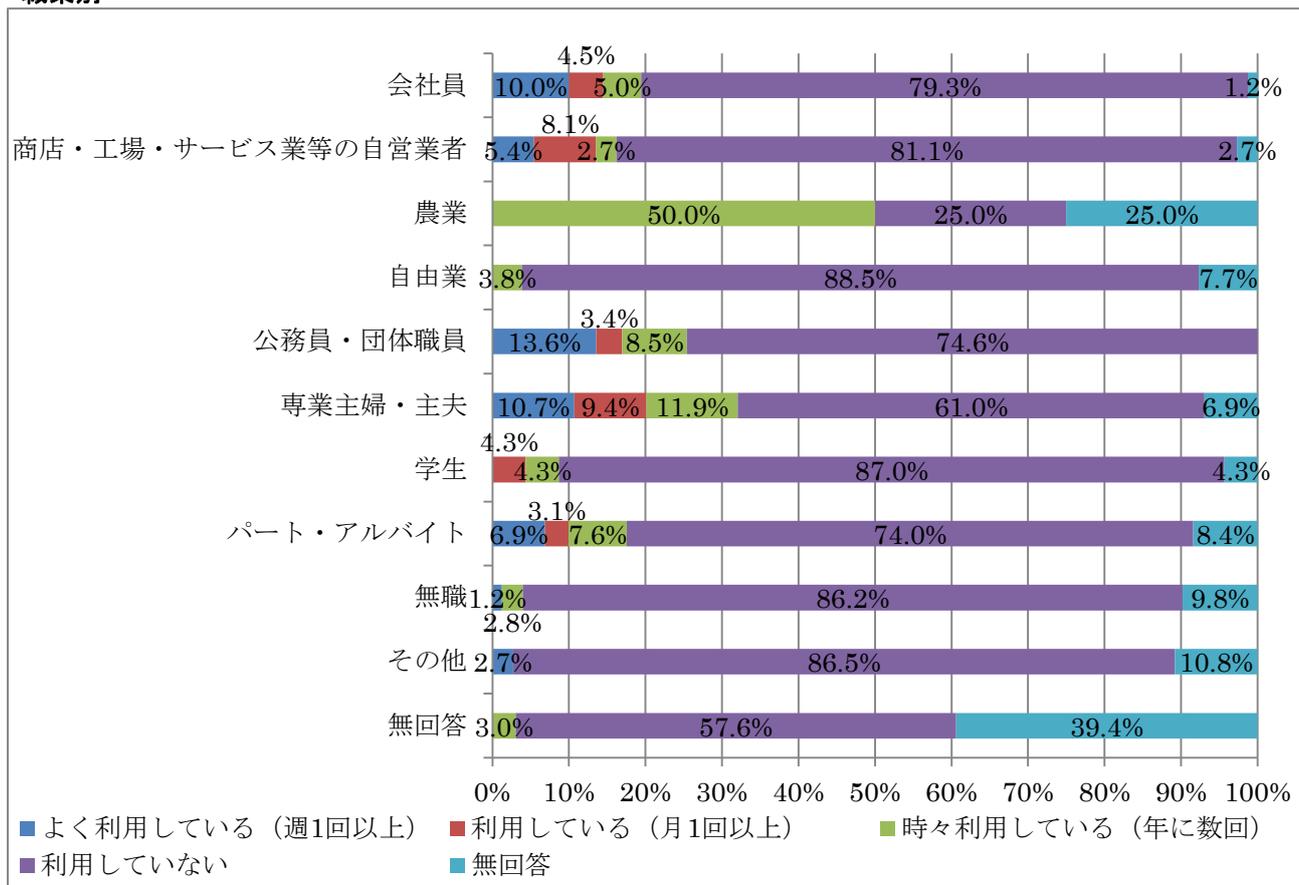
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	9	7	6	79	1	102
30代	40	18	16	98	1	173
40代	23	15	25	161	5	229
50代	3	2	6	162	4	177
60代	5	1	9	203	14	232
70代	0	0	7	153	29	189
80代以上	1	0	0	87	18	106
無回答	0	0	0	19	9	28
合計	81	43	69	962	81	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	8.8%	6.9%	5.9%	77.5%	1.0%	100.0%
30代	23.1%	10.4%	9.2%	56.6%	0.6%	100.0%
40代	10.0%	6.6%	10.9%	70.3%	2.2%	100.0%
50代	1.7%	1.1%	3.4%	91.5%	2.3%	100.0%
60代	2.2%	0.4%	3.9%	87.5%	6.0%	100.0%
70代	0.0%	0.0%	3.7%	81.0%	15.3%	100.0%
80代以上	0.9%	0.0%	0.0%	82.1%	17.0%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	67.9%	32.1%	100.0%
合計	6.6%	3.5%	5.6%	77.8%	6.6%	100.0%

▶職業別



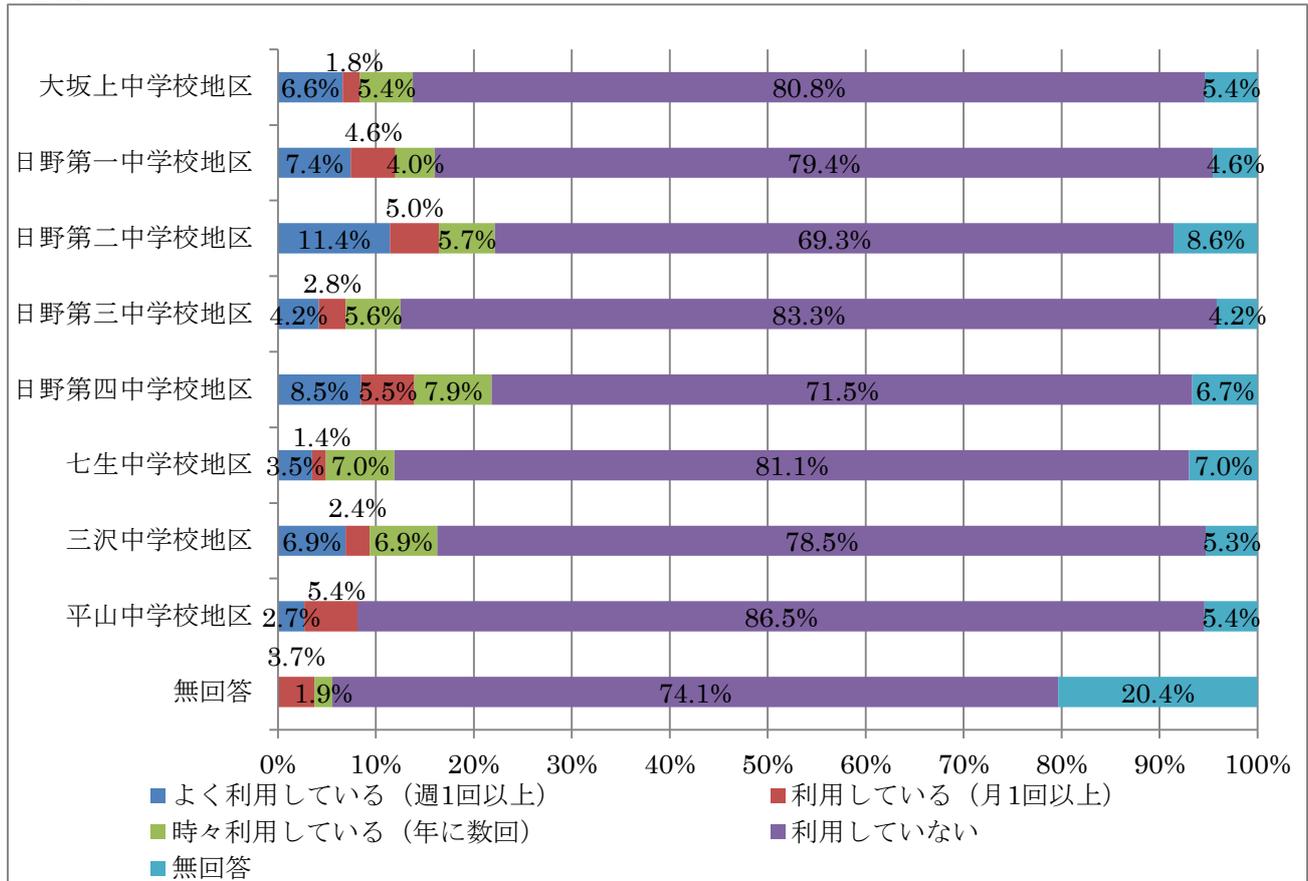
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	40	18	20	318	5	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	2	3	1	30	1	37
農業	0	0	2	1	1	4
自由業	0	0	1	23	2	26
公務員・団体職員	8	2	5	44	0	59
専業主婦・主夫	17	15	19	97	11	159
学生	0	1	1	20	1	23
パート・アルバイト	9	4	10	97	11	131
無職	4	0	9	281	32	326
その他	1	0	0	32	4	37
無回答	0	0	1	19	13	33
合計	81	43	69	962	81	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	10.0%	4.5%	5.0%	79.3%	1.2%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	5.4%	8.1%	2.7%	81.1%	2.7%	100.0%
農業	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	100.0%
自由業	0.0%	0.0%	3.8%	88.5%	7.7%	100.0%
公務員・団体職員	13.6%	3.4%	8.5%	74.6%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫	10.7%	9.4%	11.9%	61.0%	6.9%	100.0%
学生	0.0%	4.3%	4.3%	87.0%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	6.9%	3.1%	7.6%	74.0%	8.4%	100.0%
無職	1.2%	0.0%	2.8%	86.2%	9.8%	100.0%
その他	2.7%	0.0%	0.0%	86.5%	10.8%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	3.0%	57.6%	39.4%	100.0%
合計	6.6%	3.5%	5.6%	77.8%	6.6%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	11	3	9	135	9	167
日野第一中学校地区	13	8	7	139	8	175
日野第二中学校地区	16	7	8	97	12	140
日野第三中学校地区	3	2	4	60	3	72
日野第四中学校地区	14	9	13	118	11	165
七生中学校地区	5	2	10	116	10	143
三沢中学校地区	17	6	17	193	13	246
平山中学校地区	2	4	0	64	4	74
無回答	0	2	1	40	11	54
合計	81	43	69	962	81	1236

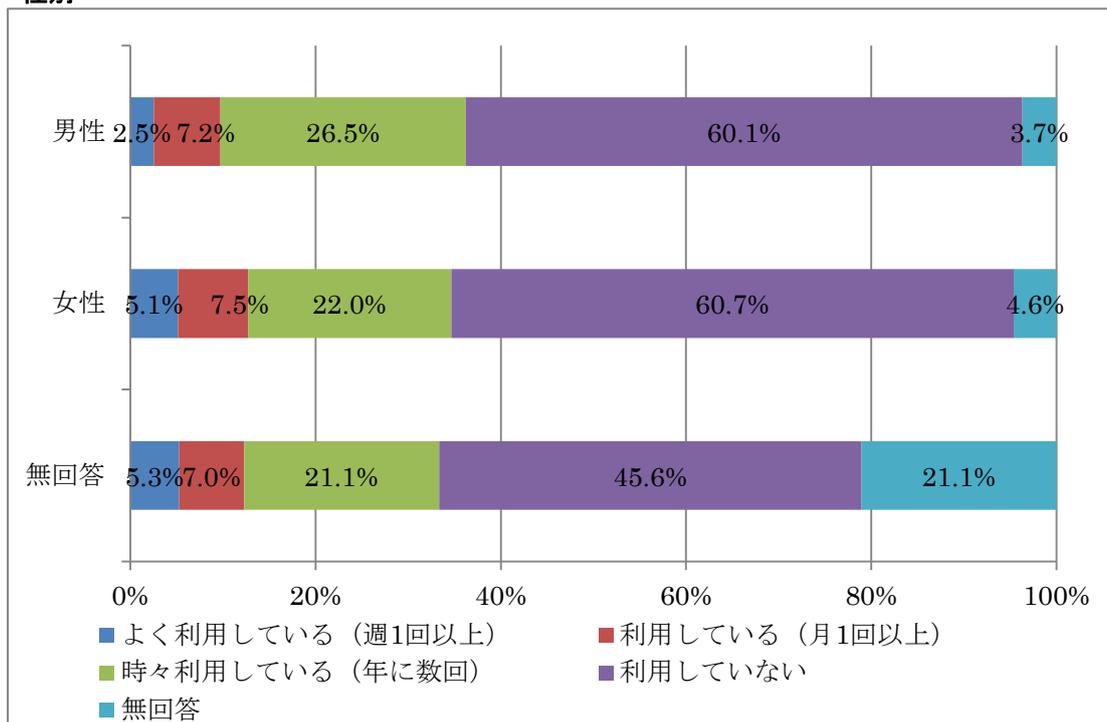
(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	6.6%	1.8%	5.4%	80.8%	5.4%	100.0%
日野第一中学校地区	7.4%	4.6%	4.0%	79.4%	4.6%	100.0%
日野第二中学校地区	11.4%	5.0%	5.7%	69.3%	8.6%	100.0%
日野第三中学校地区	4.2%	2.8%	5.6%	83.3%	4.2%	100.0%
日野第四中学校地区	8.5%	5.5%	7.9%	71.5%	6.7%	100.0%
七生中学校地区	3.5%	1.4%	7.0%	81.1%	7.0%	100.0%
三沢中学校地区	6.9%	2.4%	6.9%	78.5%	5.3%	100.0%
平山中学校地区	2.7%	5.4%	0.0%	86.5%	5.4%	100.0%
無回答	0.0%	3.7%	1.9%	74.1%	20.4%	100.0%
合計	6.6%	3.5%	5.6%	77.8%	6.6%	100.0%

(エ) コミュニティ施設（交流センター等、地区センター）

コミュニティ施設に関しては、性別では「男性」「女性」とともに月1回以上の頻度で利用している方の割合が1割程となっています。年代別では「70代」、が最も月1回以上の頻度で利用している方の割合が高く2割超となっています。職業別では「農業」、「自由業」、「専業主婦・主夫」及び「無職」で、月1回以上の頻度で利用している方の割合が他の職業に比べ多くなっています。地区別では月1回以上の頻度で利用している方の割合に大きな差はありません。

▶性別



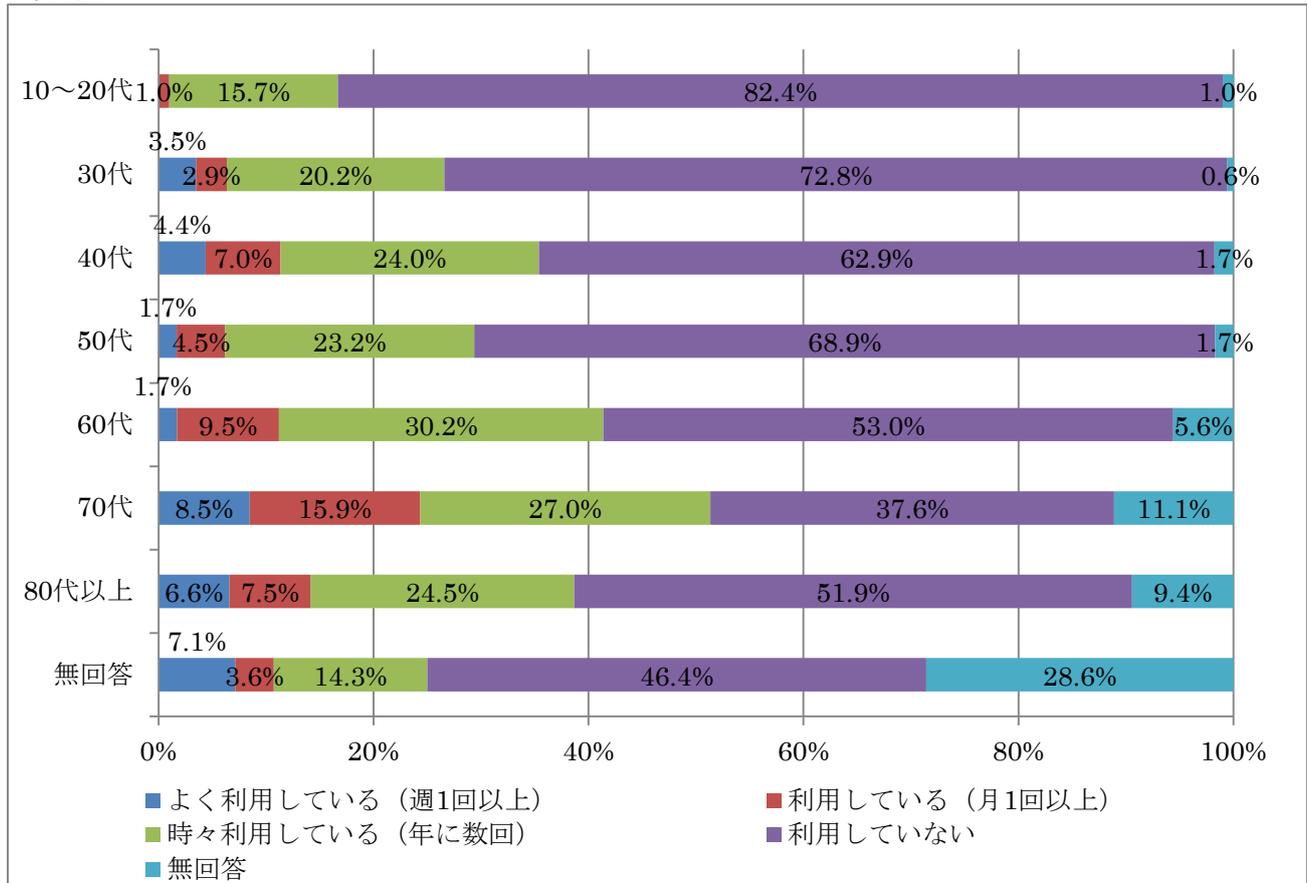
(人数)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	15	43	158	358	22	596
女性	30	44	128	354	27	583
無回答	3	4	12	26	12	57
合計	48	91	298	738	61	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	2.5%	7.2%	26.5%	60.1%	3.7%	100.0%
女性	5.1%	7.5%	22.0%	60.7%	4.6%	100.0%
無回答	5.3%	7.0%	21.1%	45.6%	21.1%	100.0%
合計	3.9%	7.4%	24.1%	59.7%	4.9%	100.0%

▶年代別



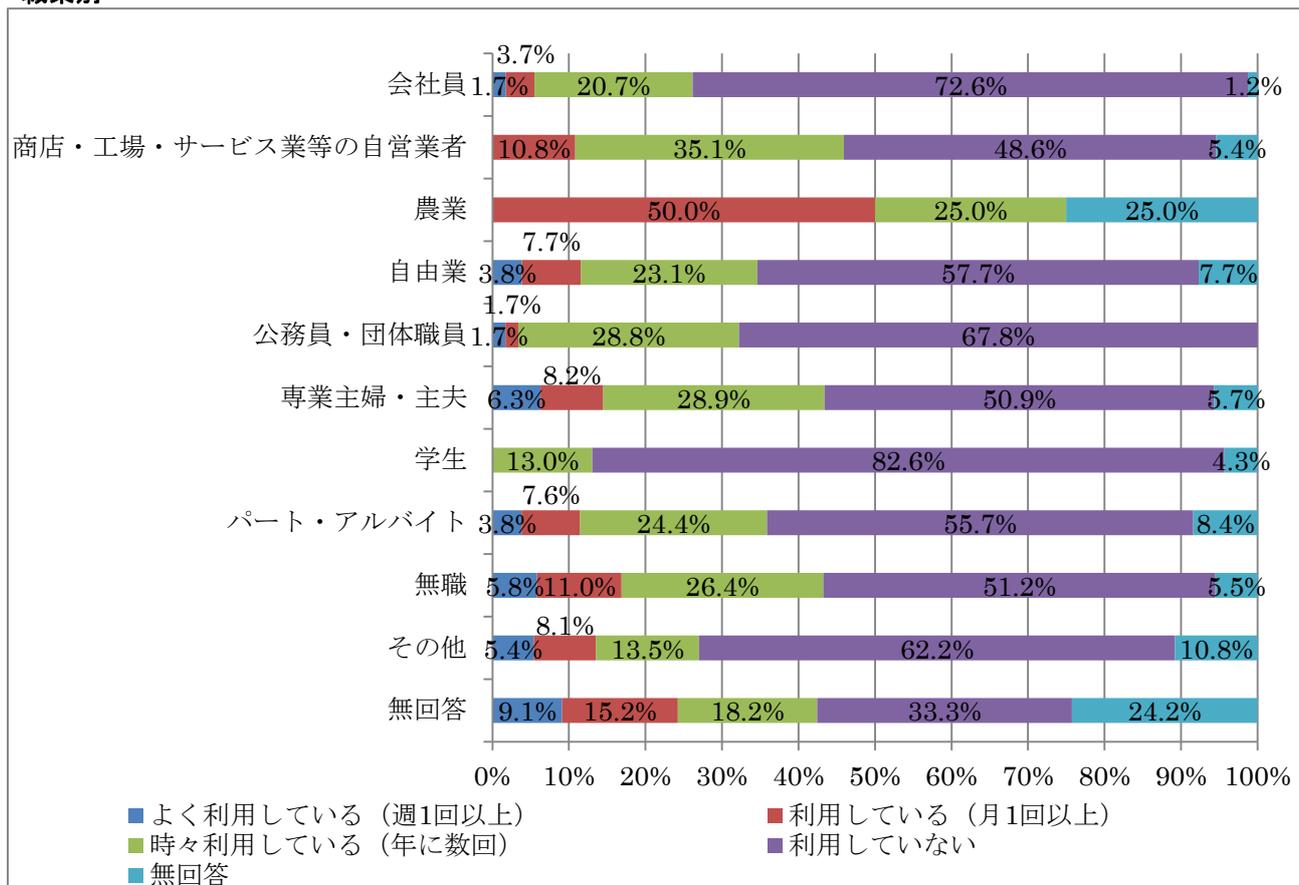
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	0	1	16	84	1	102
30代	6	5	35	126	1	173
40代	10	16	55	144	4	229
50代	3	8	41	122	3	177
60代	4	22	70	123	13	232
70代	16	30	51	71	21	189
80代以上	7	8	26	55	10	106
無回答	2	1	4	13	8	28
合計	48	91	298	738	61	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	0.0%	1.0%	15.7%	82.4%	1.0%	100.0%
30代	3.5%	2.9%	20.2%	72.8%	0.6%	100.0%
40代	4.4%	7.0%	24.0%	62.9%	1.7%	100.0%
50代	1.7%	4.5%	23.2%	68.9%	1.7%	100.0%
60代	1.7%	9.5%	30.2%	53.0%	5.6%	100.0%
70代	8.5%	15.9%	27.0%	37.6%	11.1%	100.0%
80代以上	6.6%	7.5%	24.5%	51.9%	9.4%	100.0%
無回答	7.1%	3.6%	14.3%	46.4%	28.6%	100.0%
合計	3.9%	7.4%	24.1%	59.7%	4.9%	100.0%

▶職業別



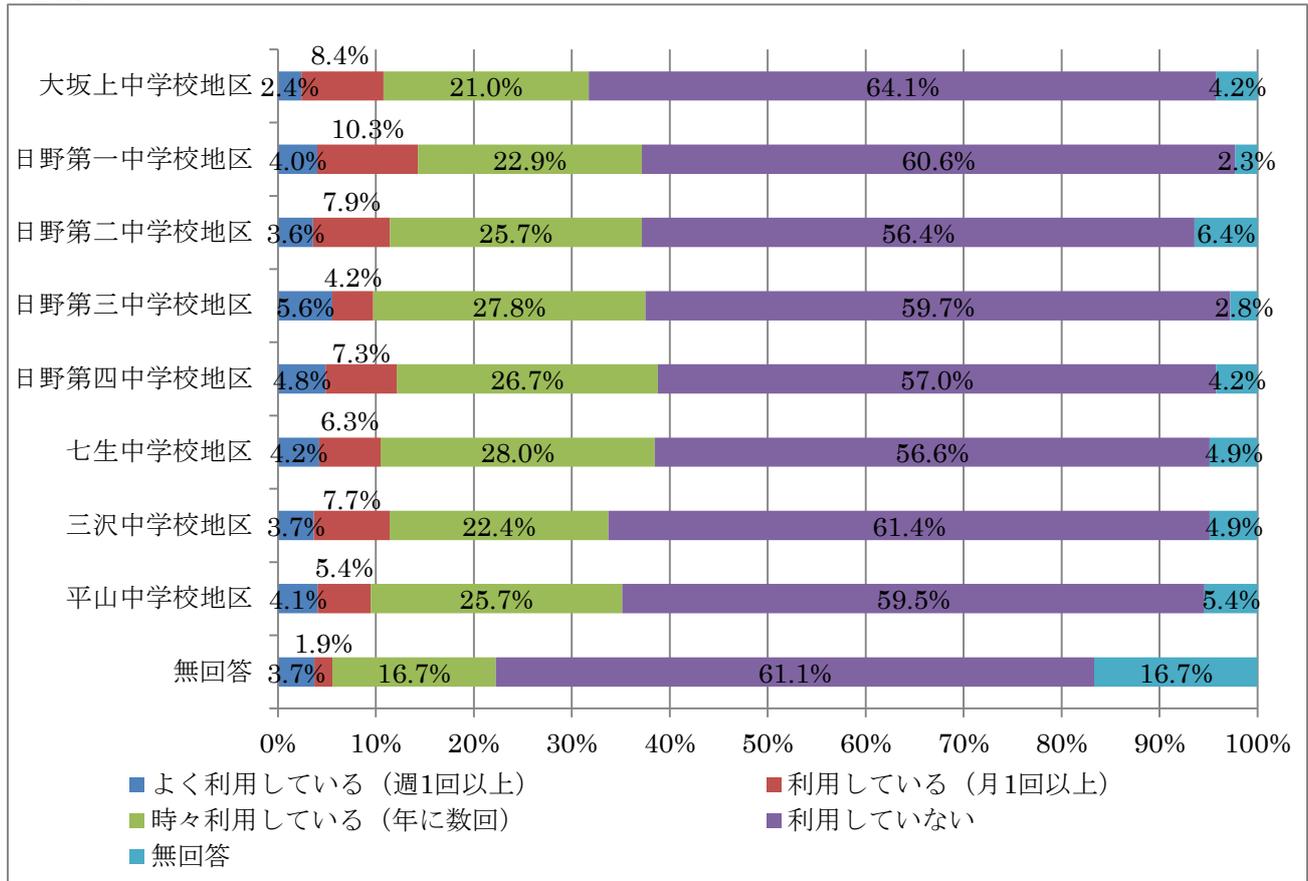
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	7	15	83	291	5	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	0	4	13	18	2	37
農業	0	2	1	0	1	4
自由業	1	2	6	15	2	26
公務員・団体職員	1	1	17	40	0	59
専業主婦・主夫	10	13	46	81	9	159
学生	0	0	3	19	1	23
パート・アルバイト	5	10	32	73	11	131
無職	19	36	86	167	18	326
その他	2	3	5	23	4	37
無回答	3	5	6	11	8	33
合計	48	91	298	738	61	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	1.7%	3.7%	20.7%	72.6%	1.2%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	0.0%	10.8%	35.1%	48.6%	5.4%	100.0%
農業	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100.0%
自由業	3.8%	7.7%	23.1%	57.7%	7.7%	100.0%
公務員・団体職員	1.7%	1.7%	28.8%	67.8%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫	6.3%	8.2%	28.9%	50.9%	5.7%	100.0%
学生	0.0%	0.0%	13.0%	82.6%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	3.8%	7.6%	24.4%	55.7%	8.4%	100.0%
無職	5.8%	11.0%	26.4%	51.2%	5.5%	100.0%
その他	5.4%	8.1%	13.5%	62.2%	10.8%	100.0%
無回答	9.1%	15.2%	18.2%	33.3%	24.2%	100.0%
合計	3.9%	7.4%	24.1%	59.7%	4.9%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	4	14	35	107	7	167
日野第一中学校地区	7	18	40	106	4	175
日野第二中学校地区	5	11	36	79	9	140
日野第三中学校地区	4	3	20	43	2	72
日野第四中学校地区	8	12	44	94	7	165
七生中学校地区	6	9	40	81	7	143
三沢中学校地区	9	19	55	151	12	246
平山中学校地区	3	4	19	44	4	74
無回答	2	1	9	33	9	54
合計	48	91	298	738	61	1236

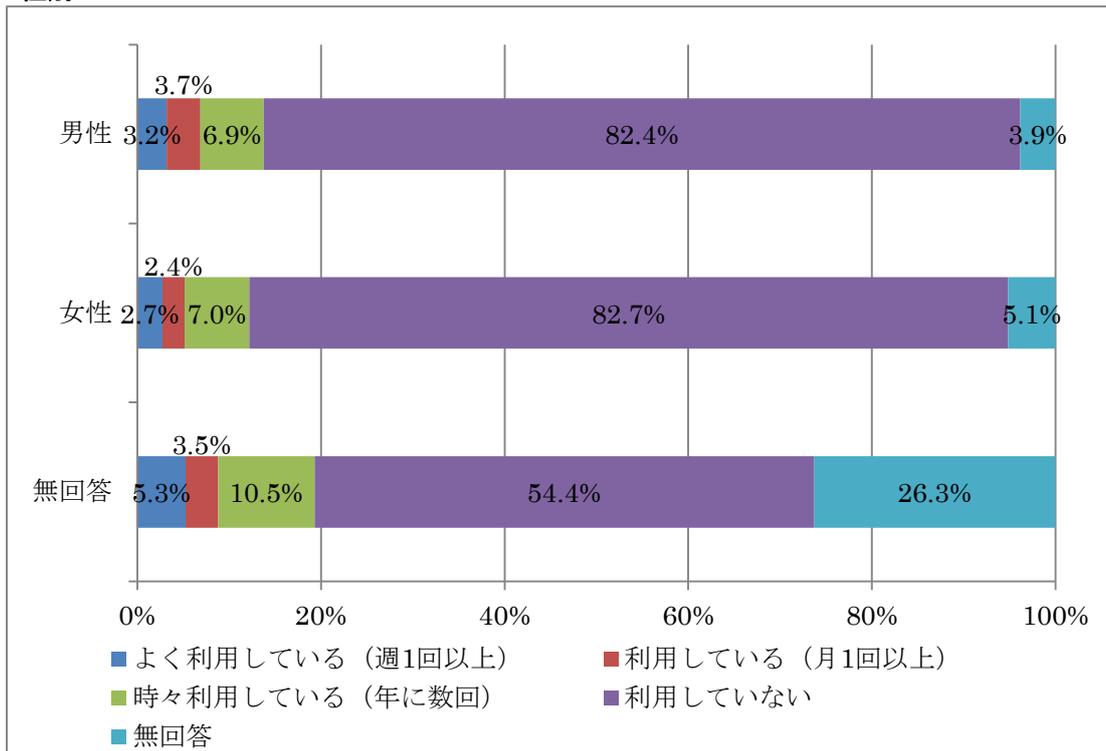
(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	2.4%	8.4%	21.0%	64.1%	4.2%	100.0%
日野第一中学校地区	4.0%	10.3%	22.9%	60.6%	2.3%	100.0%
日野第二中学校地区	3.6%	7.9%	25.7%	56.4%	6.4%	100.0%
日野第三中学校地区	5.6%	4.2%	27.8%	59.7%	2.8%	100.0%
日野第四中学校地区	4.8%	7.3%	26.7%	57.0%	4.2%	100.0%
七生中学校地区	4.2%	6.3%	28.0%	56.6%	4.9%	100.0%
三沢中学校地区	3.7%	7.7%	22.4%	61.4%	4.9%	100.0%
平山中学校地区	4.1%	5.4%	25.7%	59.5%	5.4%	100.0%
無回答	3.7%	1.9%	16.7%	61.1%	16.7%	100.0%
合計	3.9%	7.4%	24.1%	59.7%	4.9%	100.0%

(オ) 福祉施設（福祉センター等、高齢福祉施設、その他福祉施設）

福祉施設に関しては、性別では「男性」、「女性」共に月1回以上の頻度で利用している方の割合が1割を下回っています。年代別では「70代」を超えると月1回以上の頻度で利用している方の割合が上昇しています。職業別では「無職」で、月1回以上の頻度で利用している方の割合が他の職業に比べ多くなっています。地区別では「日野第三中学校地区」が他に比べてやや月1回以上の頻度で利用している方の割合が高くなっています。

▶性別



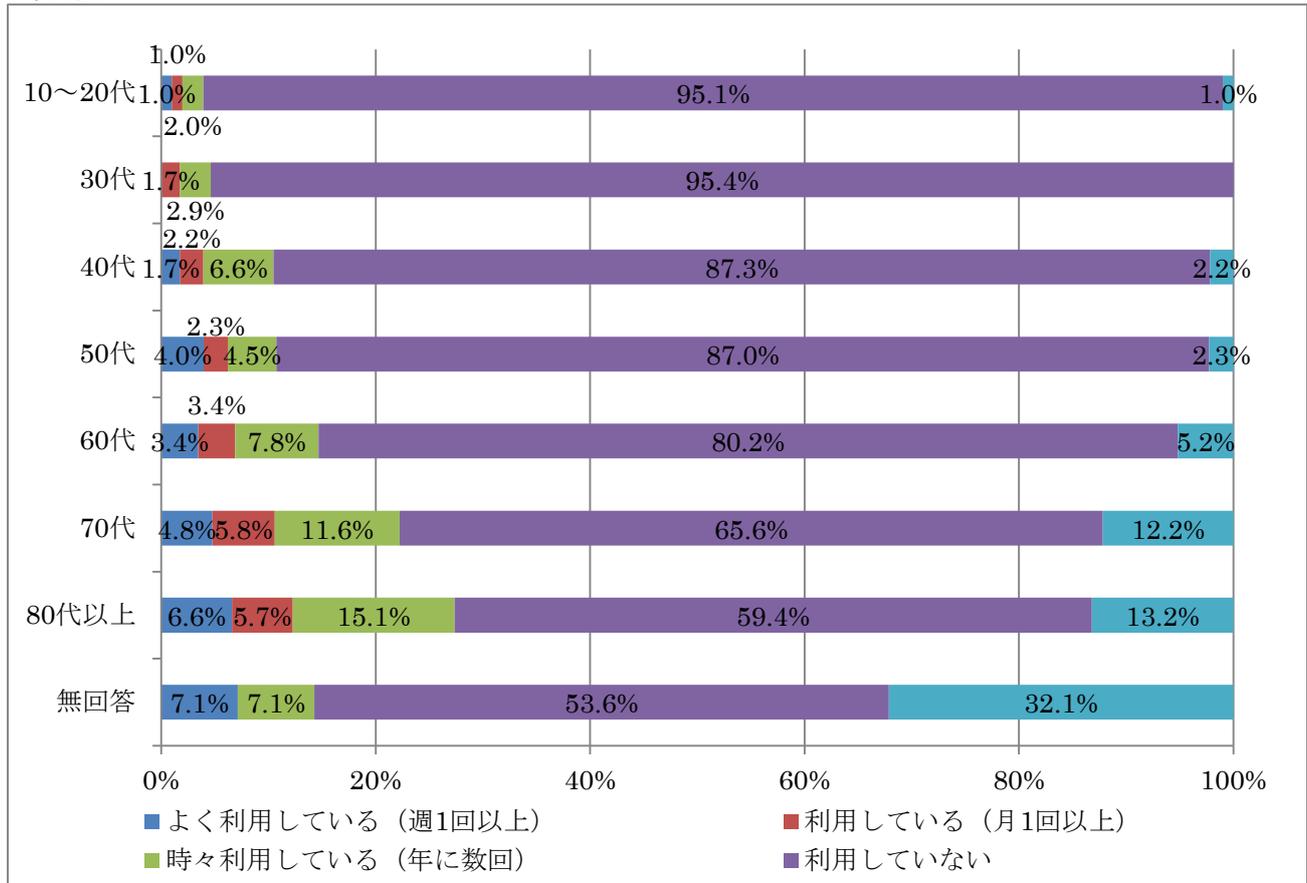
(人数)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	19	22	41	491	23	596
女性	16	14	41	482	30	583
無回答	3	2	6	31	15	57
合計	38	38	88	1004	68	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	3.2%	3.7%	6.9%	82.4%	3.9%	100.0%
女性	2.7%	2.4%	7.0%	82.7%	5.1%	100.0%
無回答	5.3%	3.5%	10.5%	54.4%	26.3%	100.0%
合計	3.1%	3.1%	7.1%	81.2%	5.5%	100.0%

▶年代別



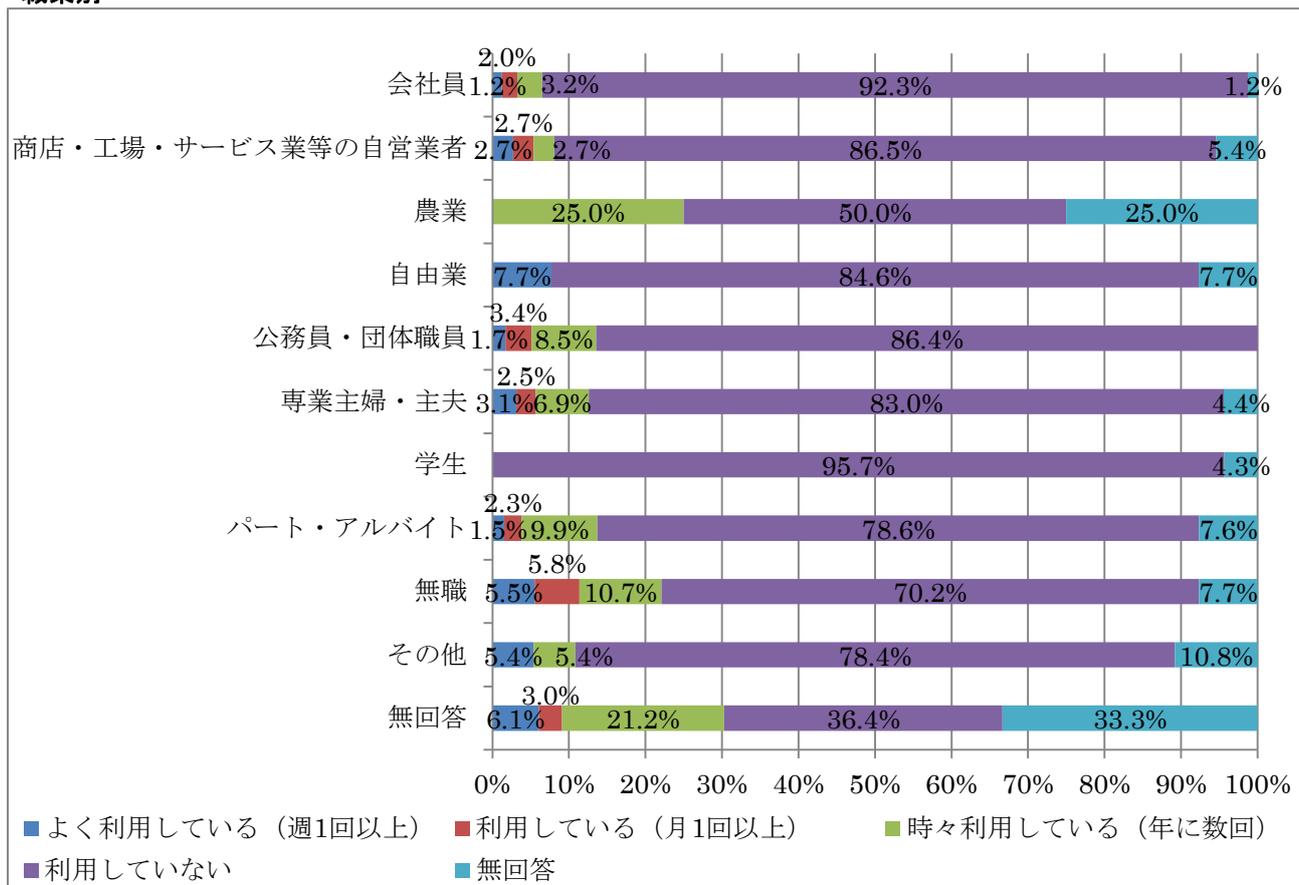
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	1	1	2	97	1	102
30代	0	3	5	165	0	173
40代	4	5	15	200	5	229
50代	7	4	8	154	4	177
60代	8	8	18	186	12	232
70代	9	11	22	124	23	189
80代以上	7	6	16	63	14	106
無回答	2	0	2	15	9	28
合計	38	38	88	1004	68	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	1.0%	1.0%	2.0%	95.1%	1.0%	100.0%
30代	0.0%	1.7%	2.9%	95.4%	0.0%	100.0%
40代	1.7%	2.2%	6.6%	87.3%	2.2%	100.0%
50代	4.0%	2.3%	4.5%	87.0%	2.3%	100.0%
60代	3.4%	3.4%	7.8%	80.2%	5.2%	100.0%
70代	4.8%	5.8%	11.6%	65.6%	12.2%	100.0%
80代以上	6.6%	5.7%	15.1%	59.4%	13.2%	100.0%
無回答	7.1%	0.0%	7.1%	53.6%	32.1%	100.0%
合計	3.1%	3.1%	7.1%	81.2%	5.5%	100.0%

▶職業別



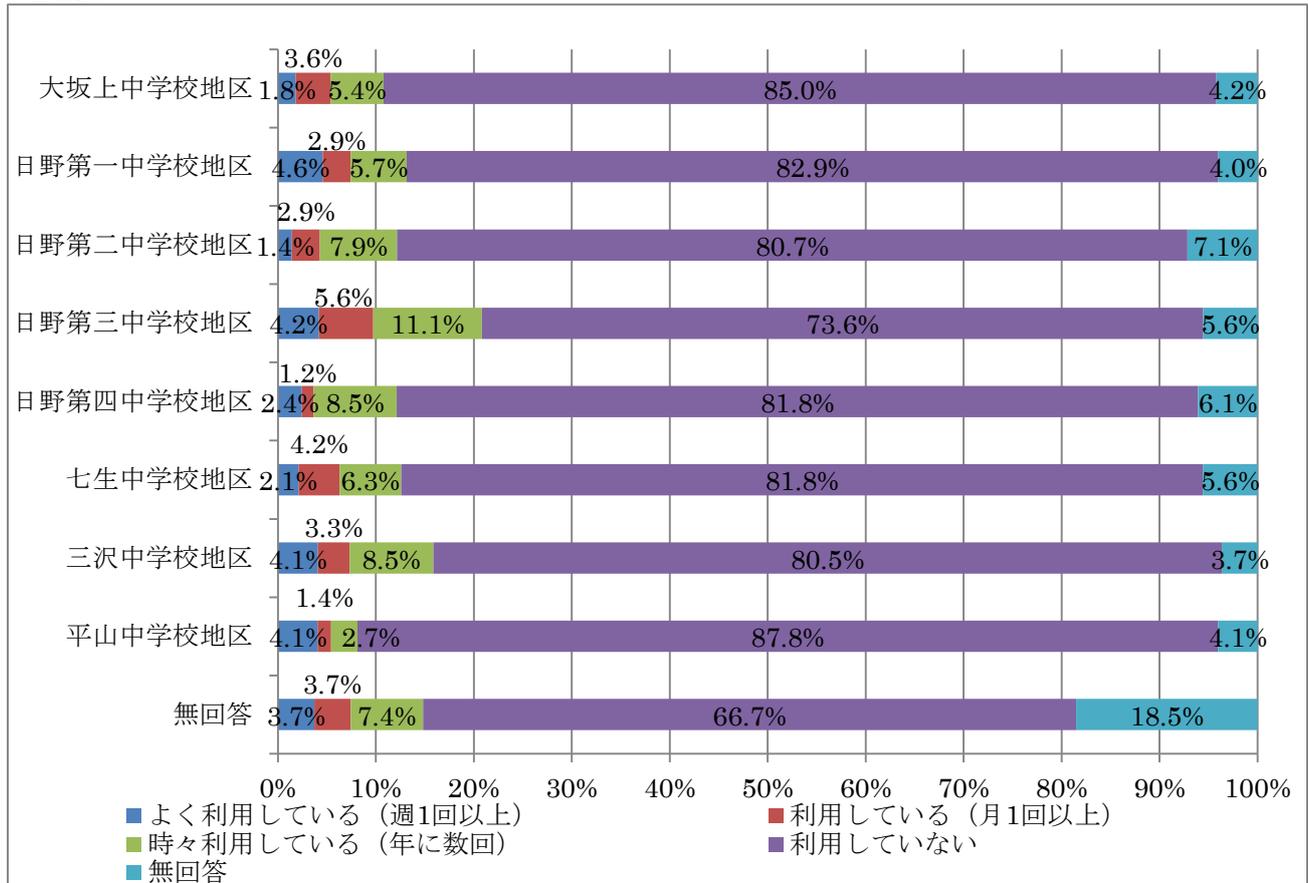
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	5	8	13	370	5	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	1	1	1	32	2	37
農業	0	0	1	2	1	4
自由業	2	0	0	22	2	26
公務員・団体職員	1	2	5	51	0	59
専業主婦・主夫	5	4	11	132	7	159
学生	0	0	0	22	1	23
パート・アルバイト	2	3	13	103	10	131
無職	18	19	35	229	25	326
その他	2	0	2	29	4	37
無回答	2	1	7	12	11	33
合計	38	38	88	1004	68	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	1.2%	2.0%	3.2%	92.3%	1.2%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	2.7%	2.7%	2.7%	86.5%	5.4%	100.0%
農業	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	100.0%
自由業	7.7%	0.0%	0.0%	84.6%	7.7%	100.0%
公務員・団体職員	1.7%	3.4%	8.5%	86.4%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫	3.1%	2.5%	6.9%	83.0%	4.4%	100.0%
学生	0.0%	0.0%	0.0%	95.7%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	1.5%	2.3%	9.9%	78.6%	7.6%	100.0%
無職	5.5%	5.8%	10.7%	70.2%	7.7%	100.0%
その他	5.4%	0.0%	5.4%	78.4%	10.8%	100.0%
無回答	6.1%	3.0%	21.2%	36.4%	33.3%	100.0%
合計	3.1%	3.1%	7.1%	81.2%	5.5%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	3	6	9	142	7	167
日野第一中学校地区	8	5	10	145	7	175
日野第二中学校地区	2	4	11	113	10	140
日野第三中学校地区	3	4	8	53	4	72
日野第四中学校地区	4	2	14	135	10	165
七生中学校地区	3	6	9	117	8	143
三沢中学校地区	10	8	21	198	9	246
平山中学校地区	3	1	2	65	3	74
無回答	2	2	4	36	10	54
合計	38	38	88	1004	68	1236

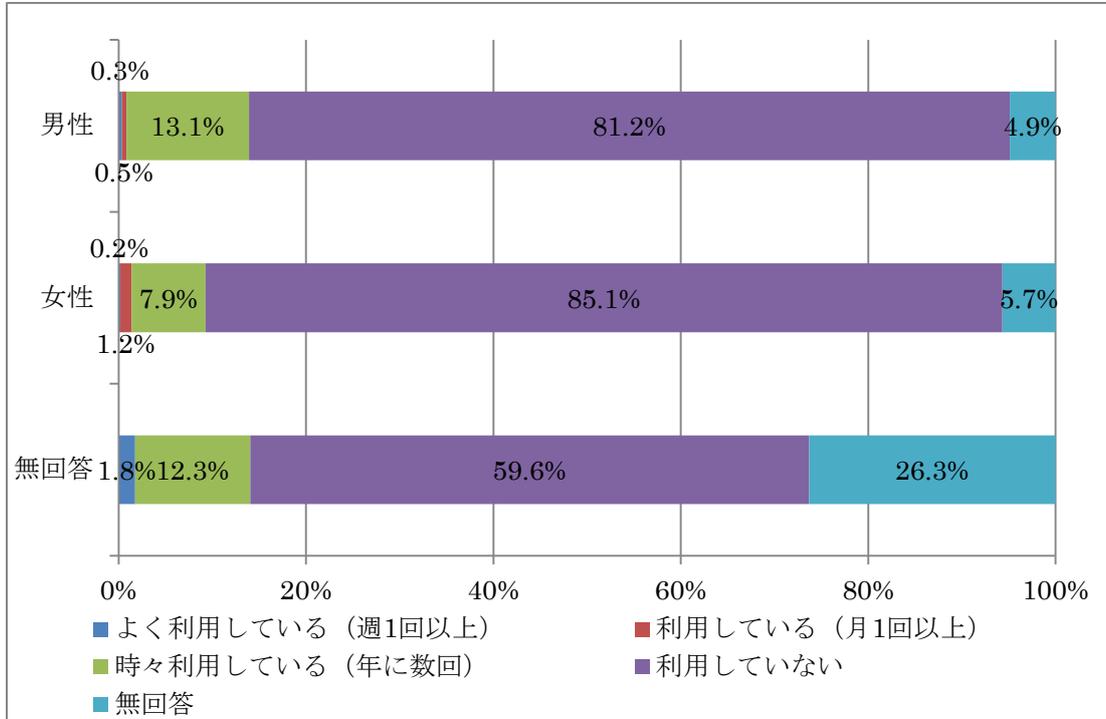
(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	1.8%	3.6%	5.4%	85.0%	4.2%	100.0%
日野第一中学校地区	4.6%	2.9%	5.7%	82.9%	4.0%	100.0%
日野第二中学校地区	1.4%	2.9%	7.9%	80.7%	7.1%	100.0%
日野第三中学校地区	4.2%	5.6%	11.1%	73.6%	5.6%	100.0%
日野第四中学校地区	2.4%	1.2%	8.5%	81.8%	6.1%	100.0%
七生中学校地区	2.1%	4.2%	6.3%	81.8%	5.6%	100.0%
三沢中学校地区	4.1%	3.3%	8.5%	80.5%	3.7%	100.0%
平山中学校地区	4.1%	1.4%	2.7%	87.8%	4.1%	100.0%
無回答	3.7%	3.7%	7.4%	66.7%	18.5%	100.0%
合計	3.1%	3.1%	7.1%	81.2%	5.5%	100.0%

(カ) 保健福祉施設（保健施設、火葬場）

福祉施設に関しては、月1回以上の頻度で利用している方の割合は低く、性別、年代別、職業別及び地区別のそれぞれに大きな差はありません。

▶性別



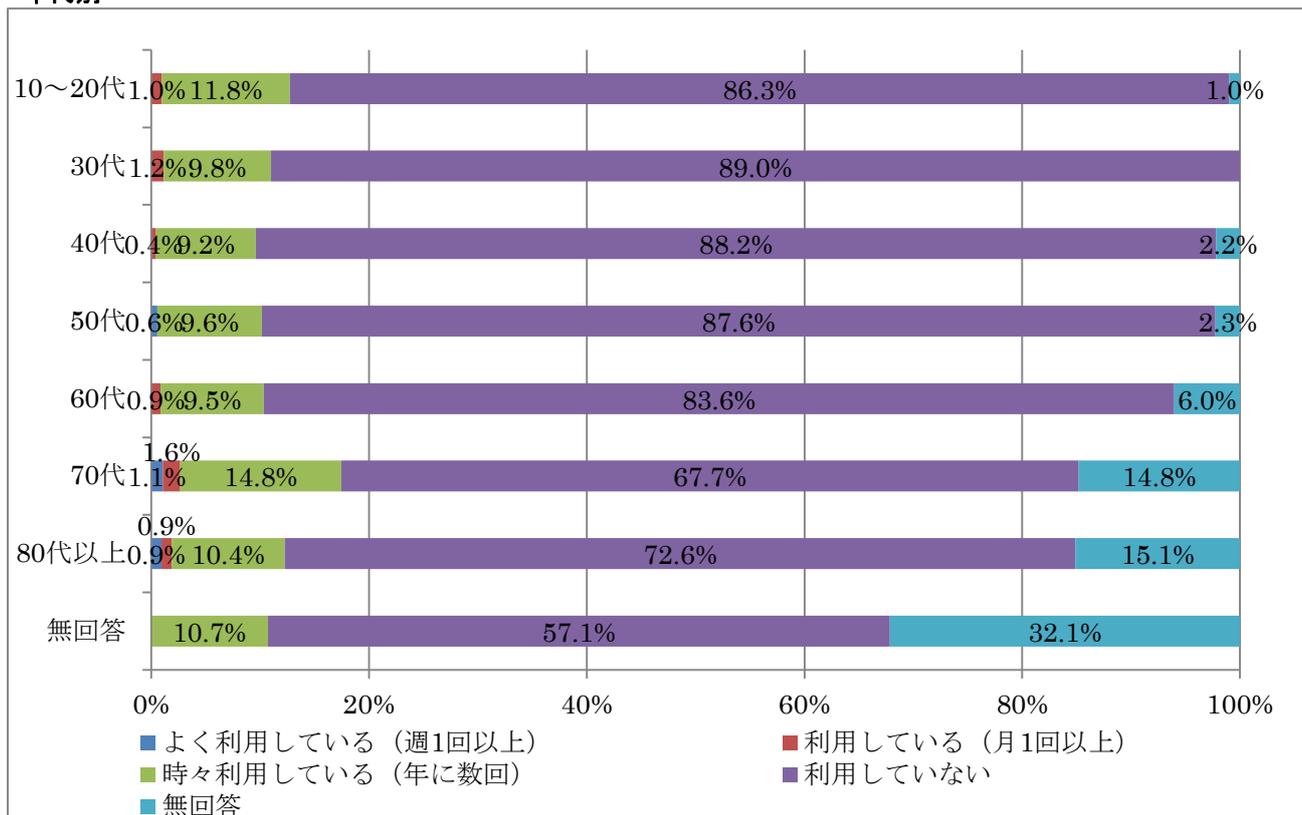
(人数)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	2	3	78	484	29	596
女性	1	7	46	496	33	583
無回答	1	0	7	34	15	57
合計	4	10	131	1014	77	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	0.3%	0.5%	13.1%	81.2%	4.9%	100.0%
女性	0.2%	1.2%	7.9%	85.1%	5.7%	100.0%
無回答	1.8%	0.0%	12.3%	59.6%	26.3%	100.0%
合計	0.3%	0.8%	10.6%	82.0%	6.2%	100.0%

▶年代別



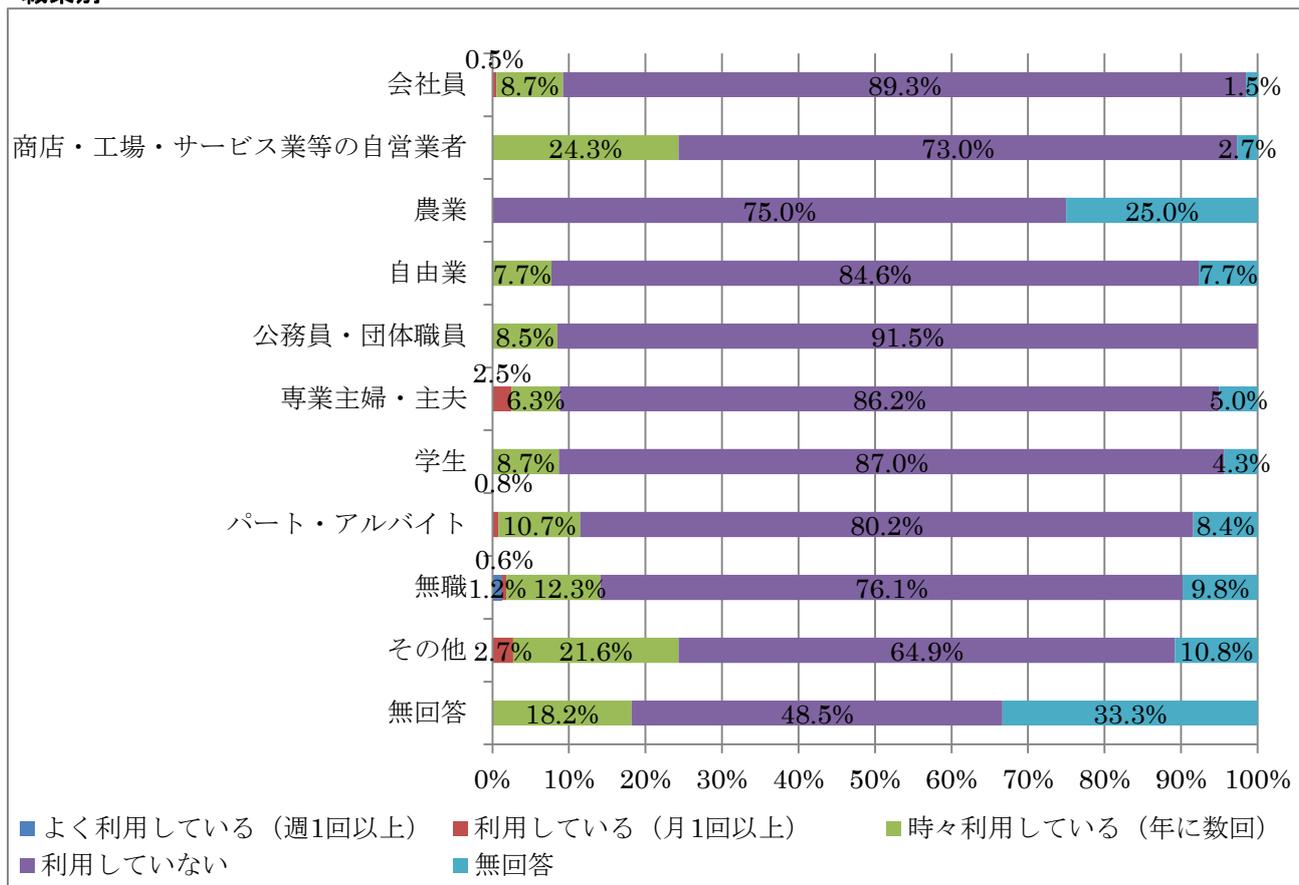
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	0	1	12	88	1	102
30代	0	2	17	154	0	173
40代	0	1	21	202	5	229
50代	1	0	17	155	4	177
60代	0	2	22	194	14	232
70代	2	3	28	128	28	189
80代以上	1	1	11	77	16	106
無回答	0	0	3	16	9	28
合計	4	10	131	1014	77	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	0.0%	1.0%	11.8%	86.3%	1.0%	100.0%
30代	0.0%	1.2%	9.8%	89.0%	0.0%	100.0%
40代	0.0%	0.4%	9.2%	88.2%	2.2%	100.0%
50代	0.6%	0.0%	9.6%	87.6%	2.3%	100.0%
60代	0.0%	0.9%	9.5%	83.6%	6.0%	100.0%
70代	1.1%	1.6%	14.8%	67.7%	14.8%	100.0%
80代以上	0.9%	0.9%	10.4%	72.6%	15.1%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	10.7%	57.1%	32.1%	100.0%
合計	0.3%	0.8%	10.6%	82.0%	6.2%	100.0%

▶職業別



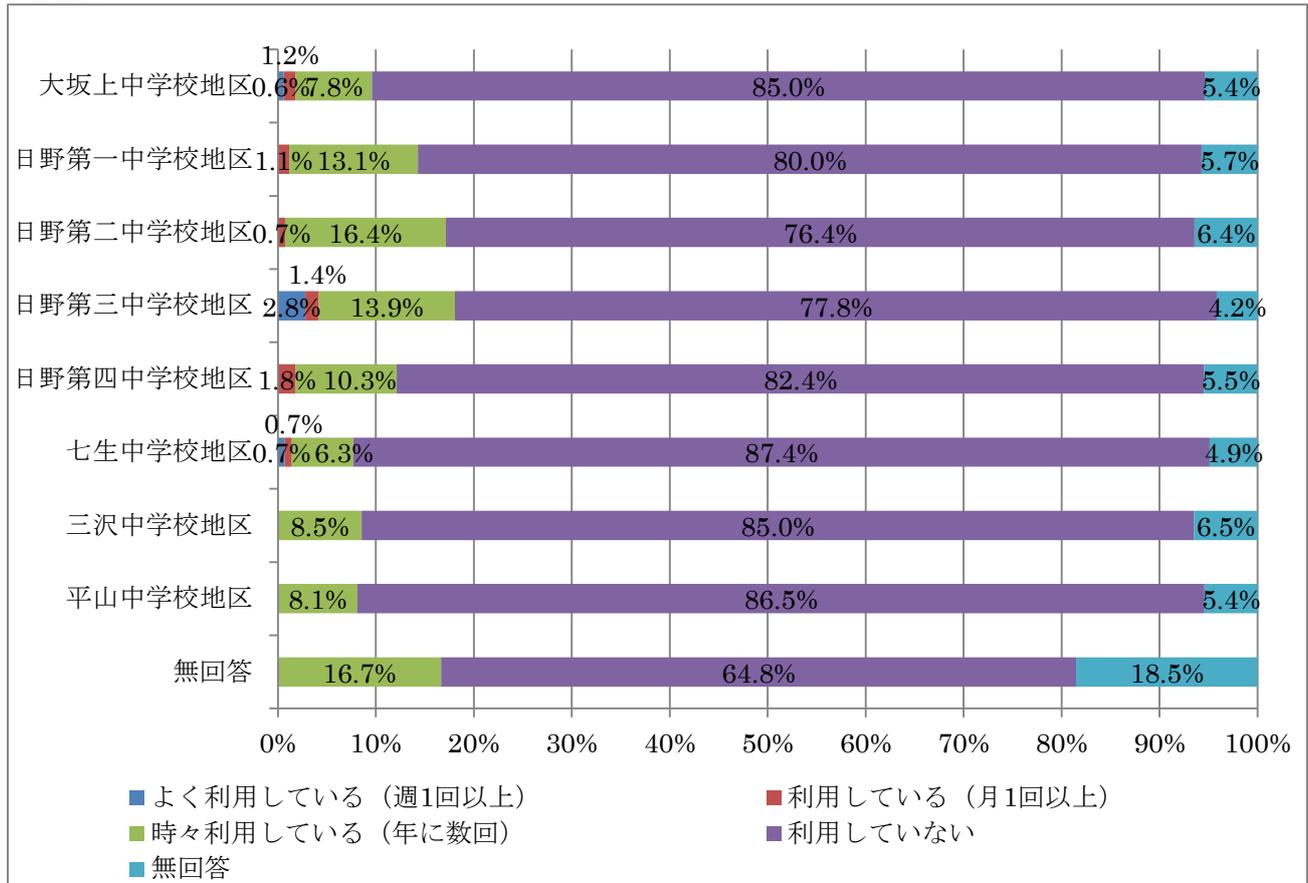
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	0	2	35	358	6	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	0	0	9	27	1	37
農業	0	0	0	3	1	4
自由業	0	0	2	22	2	26
公務員・団体職員	0	0	5	54	0	59
専業主婦・主夫	0	4	10	137	8	159
学生	0	0	2	20	1	23
パート・アルバイト	0	1	14	105	11	131
無職	4	2	40	248	32	326
その他	0	1	8	24	4	37
無回答	0	0	6	16	11	33
合計	4	10	131	1014	77	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	0.0%	0.5%	8.7%	89.3%	1.5%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	0.0%	0.0%	24.3%	73.0%	2.7%	100.0%
農業	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	100.0%
自由業	0.0%	0.0%	7.7%	84.6%	7.7%	100.0%
公務員・団体職員	0.0%	0.0%	8.5%	91.5%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫	0.0%	2.5%	6.3%	86.2%	5.0%	100.0%
学生	0.0%	0.0%	8.7%	87.0%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	0.0%	0.8%	10.7%	80.2%	8.4%	100.0%
無職	1.2%	0.6%	12.3%	76.1%	9.8%	100.0%
その他	0.0%	2.7%	21.6%	64.9%	10.8%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	18.2%	48.5%	33.3%	100.0%
合計	0.3%	0.8%	10.6%	82.0%	6.2%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	1	2	13	142	9	167
日野第一中学校地区	0	2	23	140	10	175
日野第二中学校地区	0	1	23	107	9	140
日野第三中学校地区	2	1	10	56	3	72
日野第四中学校地区	0	3	17	136	9	165
七生中学校地区	1	1	9	125	7	143
三沢中学校地区	0	0	21	209	16	246
平山中学校地区	0	0	6	64	4	74
無回答	0	0	9	35	10	54
合計	4	10	131	1014	77	1236

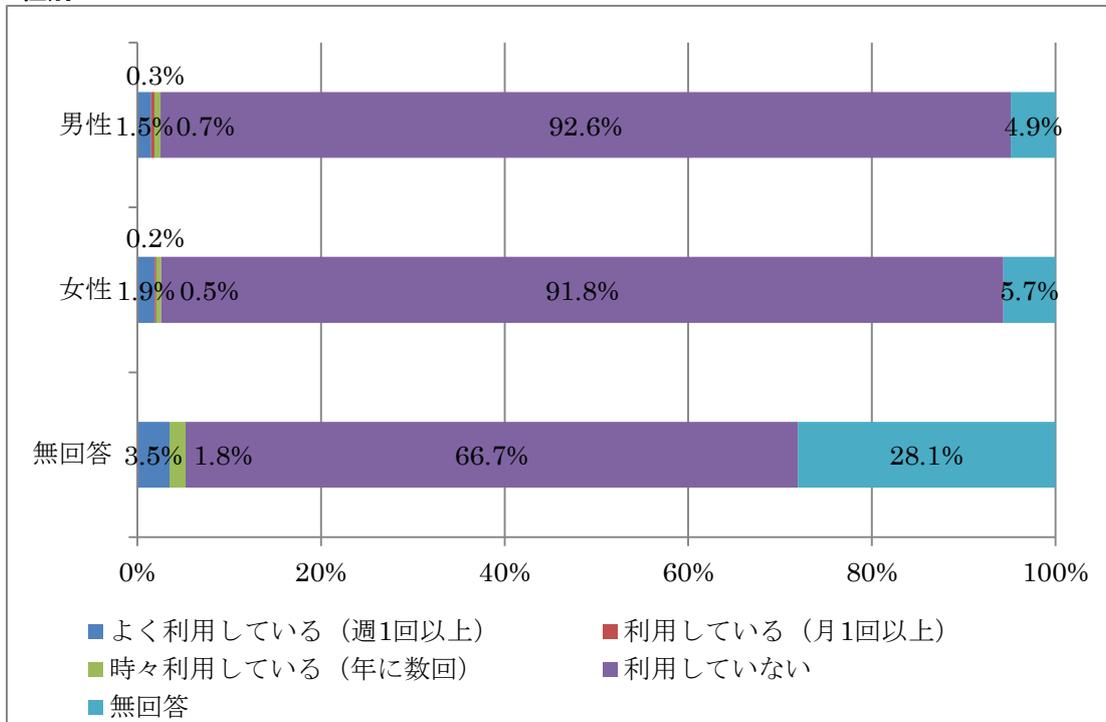
(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	0.6%	1.2%	7.8%	85.0%	5.4%	100.0%
日野第一中学校地区	0.0%	1.1%	13.1%	80.0%	5.7%	100.0%
日野第二中学校地区	0.0%	0.7%	16.4%	76.4%	6.4%	100.0%
日野第三中学校地区	2.8%	1.4%	13.9%	77.8%	4.2%	100.0%
日野第四中学校地区	0.0%	1.8%	10.3%	82.4%	5.5%	100.0%
七生中学校地区	0.7%	0.7%	6.3%	87.4%	4.9%	100.0%
三沢中学校地区	0.0%	0.0%	8.5%	85.0%	6.5%	100.0%
平山中学校地区	0.0%	0.0%	8.1%	86.5%	5.4%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	16.7%	64.8%	18.5%	100.0%
合計	0.3%	0.8%	10.6%	82.0%	6.2%	100.0%

(キ) 住宅施設（市営住宅等）

住宅施設に関しては、月1回以上の頻度で利用している方の割合は低く、性別、年代別、職業別及び地区別のそれぞれに大きな差はありません。

▶性別



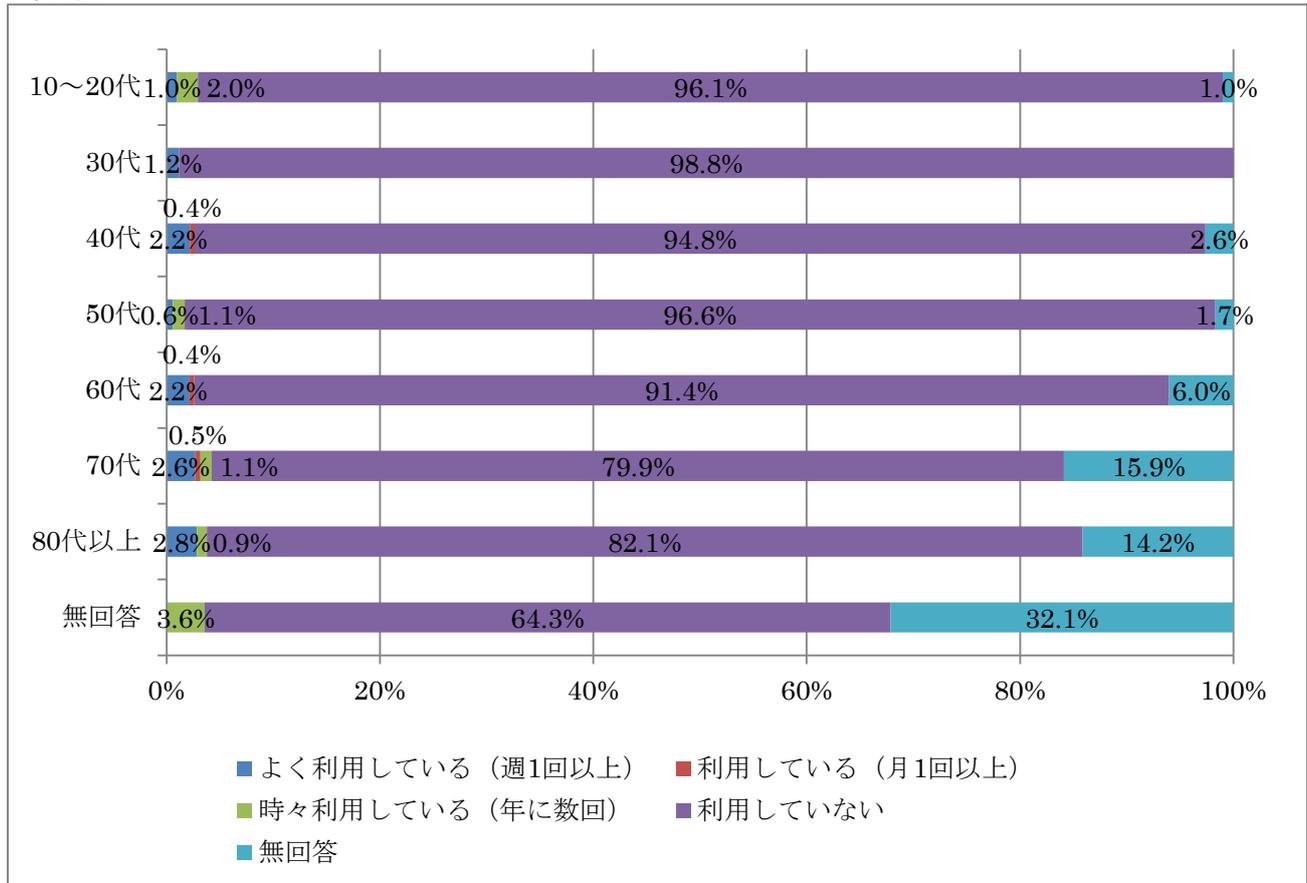
(人数)

性別/回答	よく利用している （週1回以上）	利用している （月1回以上）	時々利用している （年に数回）	利用していない	無回答	合計
男性	9	2	4	552	29	596
女性	11	1	3	535	33	583
無回答	2	0	1	38	16	57
合計	22	3	8	1125	78	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している （週1回以上）	利用している （月1回以上）	時々利用している （年に数回）	利用していない	無回答	合計
男性	1.5%	0.3%	0.7%	92.6%	4.9%	100.0%
女性	1.9%	0.2%	0.5%	91.8%	5.7%	100.0%
無回答	3.5%	0.0%	1.8%	66.7%	28.1%	100.0%
合計	1.8%	0.2%	0.6%	91.0%	6.3%	100.0%

▶年代別



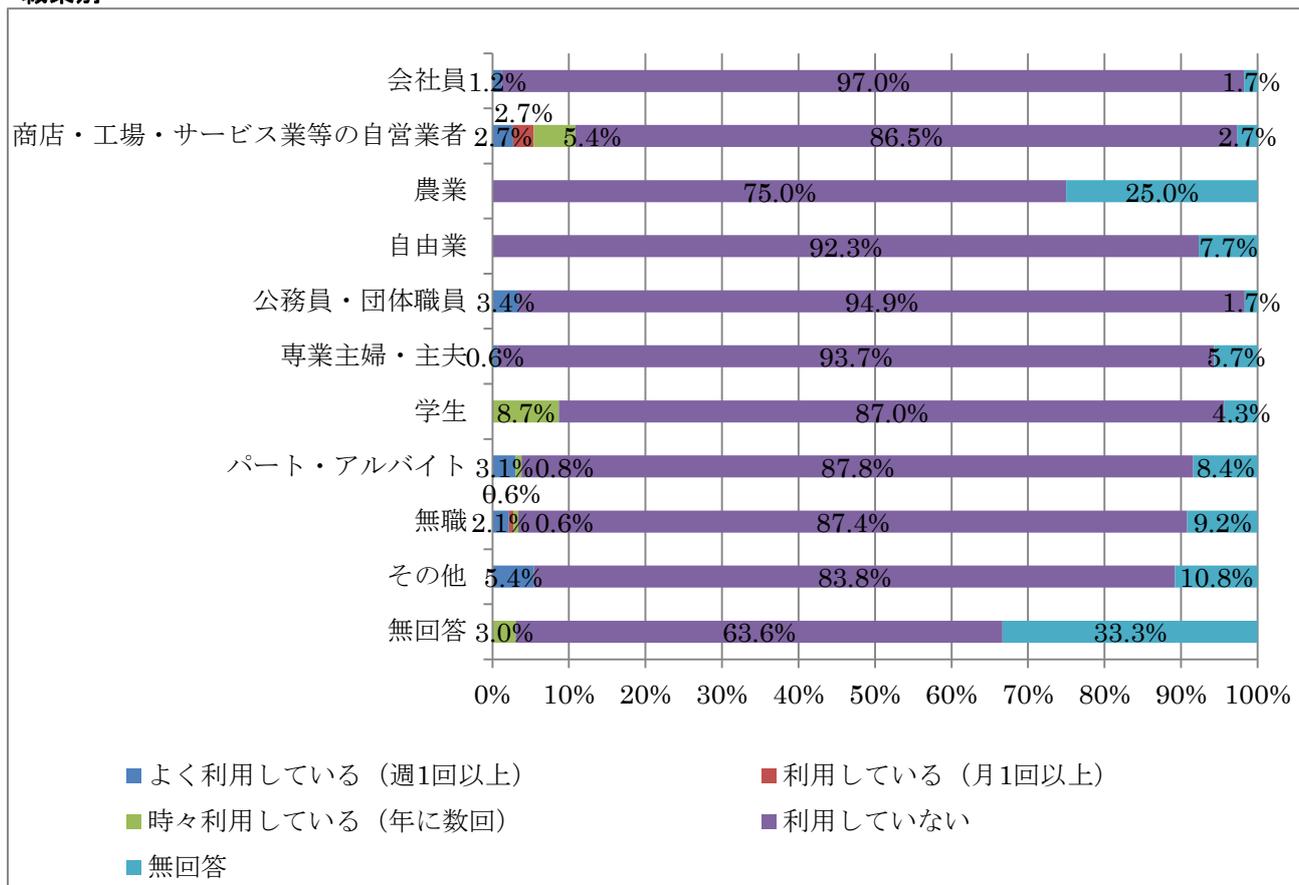
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	1	0	2	98	1	102
30代	2	0	0	171	0	173
40代	5	1	0	217	6	229
50代	1	0	2	171	3	177
60代	5	1	0	212	14	232
70代	5	1	2	151	30	189
80代以上	3	0	1	87	15	106
無回答	0	0	1	18	9	28
合計	22	3	8	1125	78	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	1.0%	0.0%	2.0%	96.1%	1.0%	100.0%
30代	1.2%	0.0%	0.0%	98.8%	0.0%	100.0%
40代	2.2%	0.4%	0.0%	94.8%	2.6%	100.0%
50代	0.6%	0.0%	1.1%	96.6%	1.7%	100.0%
60代	2.2%	0.4%	0.0%	91.4%	6.0%	100.0%
70代	2.6%	0.5%	1.1%	79.9%	15.9%	100.0%
80代以上	2.8%	0.0%	0.9%	82.1%	14.2%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	3.6%	64.3%	32.1%	100.0%
合計	1.8%	0.2%	0.6%	91.0%	6.3%	100.0%

▶職業別



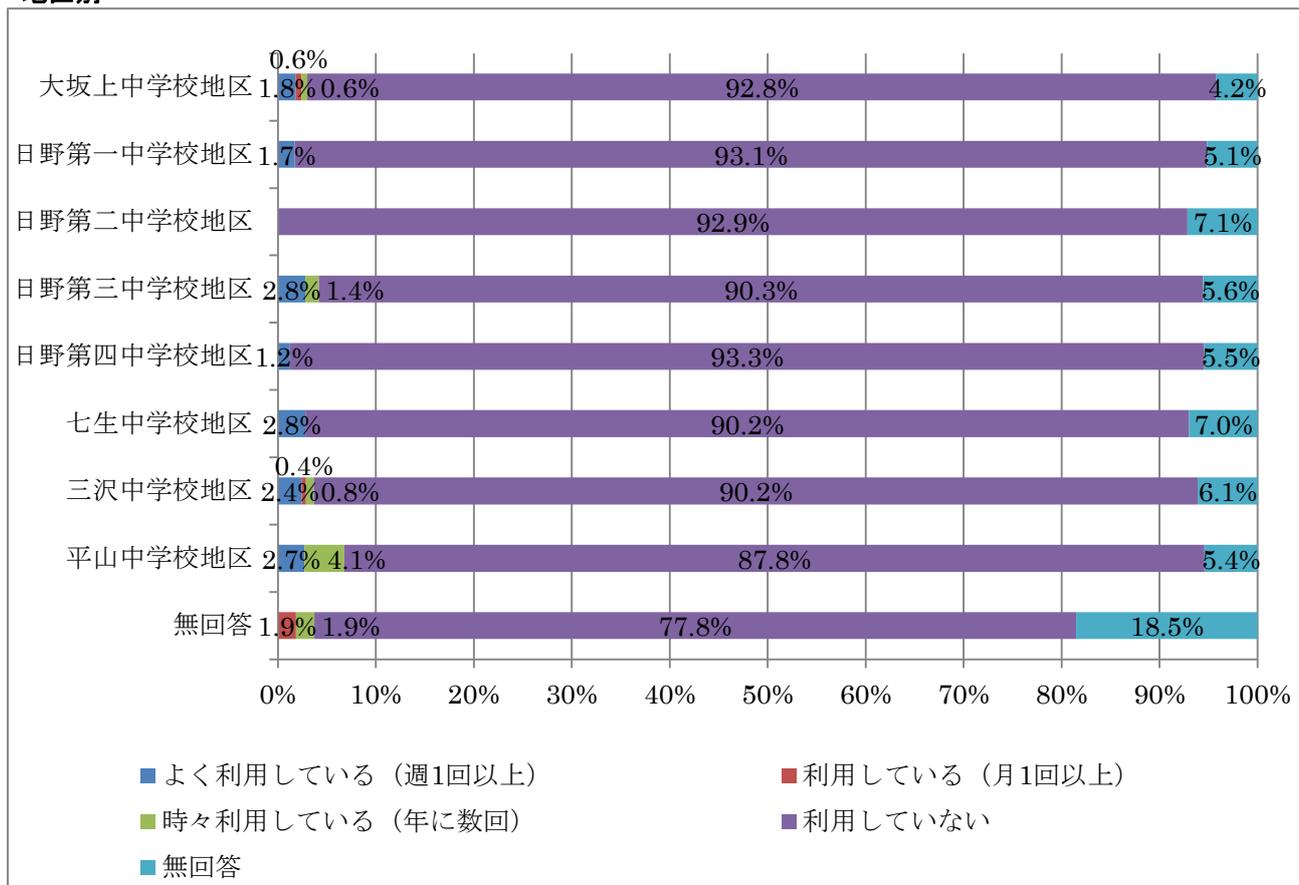
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	5	0	0	389	7	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	1	1	2	32	1	37
農業	0	0	0	3	1	4
自由業	0	0	0	24	2	26
公務員・団体職員	2	0	0	56	1	59
専業主婦・主夫	1	0	0	149	9	159
学生	0	0	2	20	1	23
パート・アルバイト	4	0	1	115	11	131
無職	7	2	2	285	30	326
その他	2	0	0	31	4	37
無回答	0	0	1	21	11	33
合計	22	3	8	1125	78	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	1.2%	0.0%	0.0%	97.0%	1.7%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	2.7%	2.7%	5.4%	86.5%	2.7%	100.0%
農業	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	100.0%
自由業	0.0%	0.0%	0.0%	92.3%	7.7%	100.0%
公務員・団体職員	3.4%	0.0%	0.0%	94.9%	1.7%	100.0%
専業主婦・主夫	0.6%	0.0%	0.0%	93.7%	5.7%	100.0%
学生	0.0%	0.0%	8.7%	87.0%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	3.1%	0.0%	0.8%	87.8%	8.4%	100.0%
無職	2.1%	0.6%	0.6%	87.4%	9.2%	100.0%
その他	5.4%	0.0%	0.0%	83.8%	10.8%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	3.0%	63.6%	33.3%	100.0%
合計	1.8%	0.2%	0.6%	91.0%	6.3%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	3	1	1	155	7	167
日野第一中学校地区	3	0	0	163	9	175
日野第二中学校地区	0	0	0	130	10	140
日野第三中学校地区	2	0	1	65	4	72
日野第四中学校地区	2	0	0	154	9	165
七生中学校地区	4	0	0	129	10	143
三沢中学校地区	6	1	2	222	15	246
平山中学校地区	2	0	3	65	4	74
無回答	0	1	1	42	10	54
合計	22	3	8	1125	78	1236

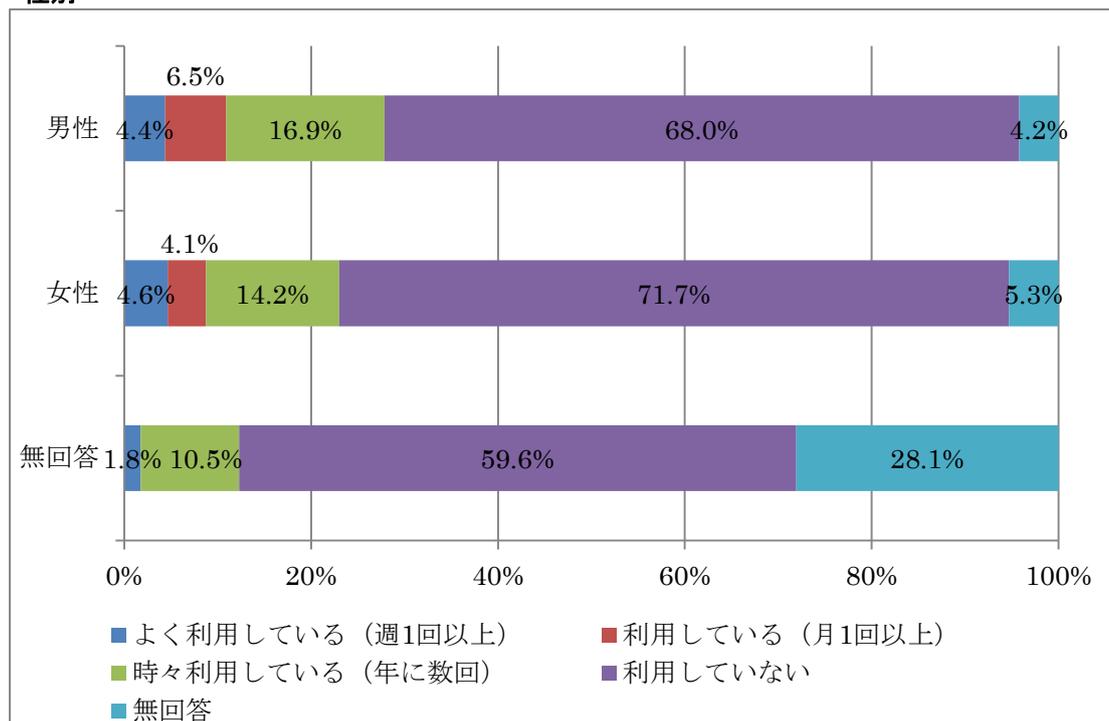
(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	1.8%	0.6%	0.6%	92.8%	4.2%	100.0%
日野第一中学校地区	1.7%	0.0%	0.0%	93.1%	5.1%	100.0%
日野第二中学校地区	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%	7.1%	100.0%
日野第三中学校地区	2.8%	0.0%	1.4%	90.3%	5.6%	100.0%
日野第四中学校地区	1.2%	0.0%	0.0%	93.3%	5.5%	100.0%
七生中学校地区	2.8%	0.0%	0.0%	90.2%	7.0%	100.0%
三沢中学校地区	2.4%	0.4%	0.8%	90.2%	6.1%	100.0%
平山中学校地区	2.7%	0.0%	4.1%	87.8%	5.4%	100.0%
無回答	0.0%	1.9%	1.9%	77.8%	18.5%	100.0%
合計	1.8%	0.2%	0.6%	91.0%	6.3%	100.0%

(ク) スポーツ施設（体育館、プール、テニスコート等）

スポーツ施設に関しては、性別では「男性」「女性」共に月1回以上の頻度で利用している方の割合が1割程となっています。年代別では月1回以上の頻度で利用している方の割合に大きな差はありません。職業別では「農業」及び「学生」で、利用率が他の職業に比べ低くなっています。地区別では「七生中学校地区」で利用率がやや高くなっています。

▶性別



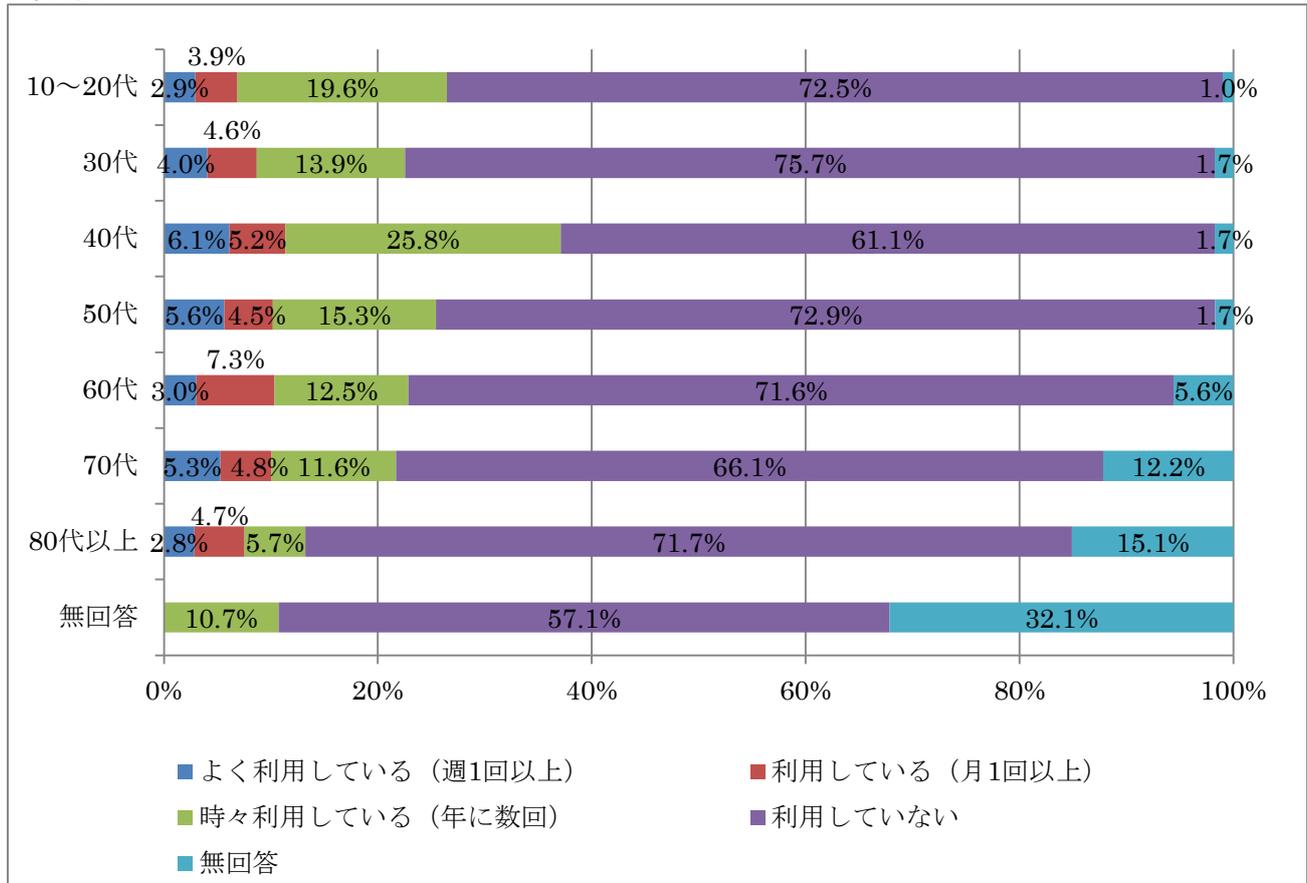
(人数)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	26	39	101	405	25	596
女性	27	24	83	418	31	583
無回答	1	0	6	34	16	57
合計	54	63	190	857	72	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	4.4%	6.5%	16.9%	68.0%	4.2%	100.0%
女性	4.6%	4.1%	14.2%	71.7%	5.3%	100.0%
無回答	1.8%	0.0%	10.5%	59.6%	28.1%	100.0%
合計	4.4%	5.1%	15.4%	69.3%	5.8%	100.0%

▶年代別



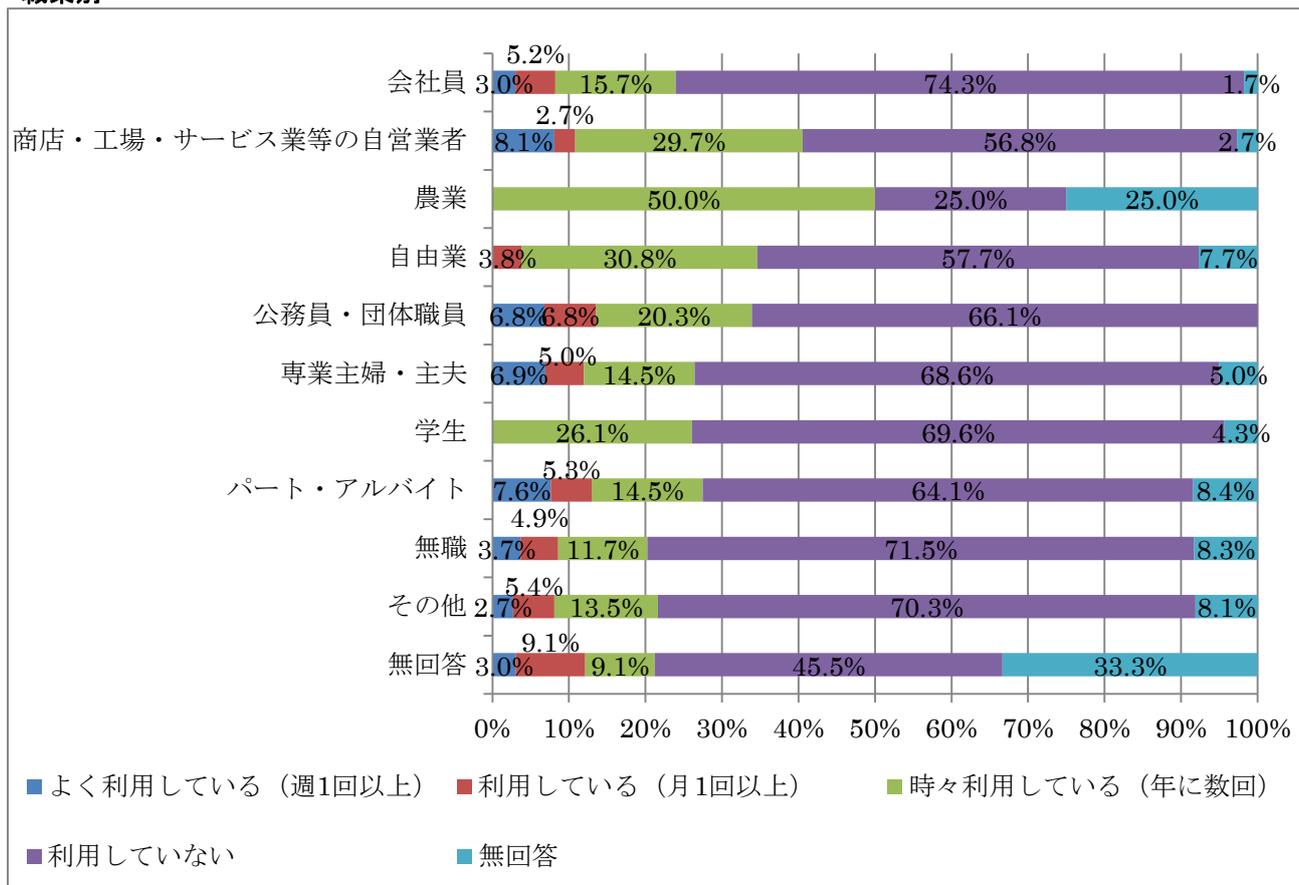
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	3	4	20	74	1	102
30代	7	8	24	131	3	173
40代	14	12	59	140	4	229
50代	10	8	27	129	3	177
60代	7	17	29	166	13	232
70代	10	9	22	125	23	189
80代以上	3	5	6	76	16	106
無回答	0	0	3	16	9	28
合計	54	63	190	857	72	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	2.9%	3.9%	19.6%	72.5%	1.0%	100.0%
30代	4.0%	4.6%	13.9%	75.7%	1.7%	100.0%
40代	6.1%	5.2%	25.8%	61.1%	1.7%	100.0%
50代	5.6%	4.5%	15.3%	72.9%	1.7%	100.0%
60代	3.0%	7.3%	12.5%	71.6%	5.6%	100.0%
70代	5.3%	4.8%	11.6%	66.1%	12.2%	100.0%
80代以上	2.8%	4.7%	5.7%	71.7%	15.1%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	10.7%	57.1%	32.1%	100.0%
合計	4.4%	5.1%	15.4%	69.3%	5.8%	100.0%

▶職業別



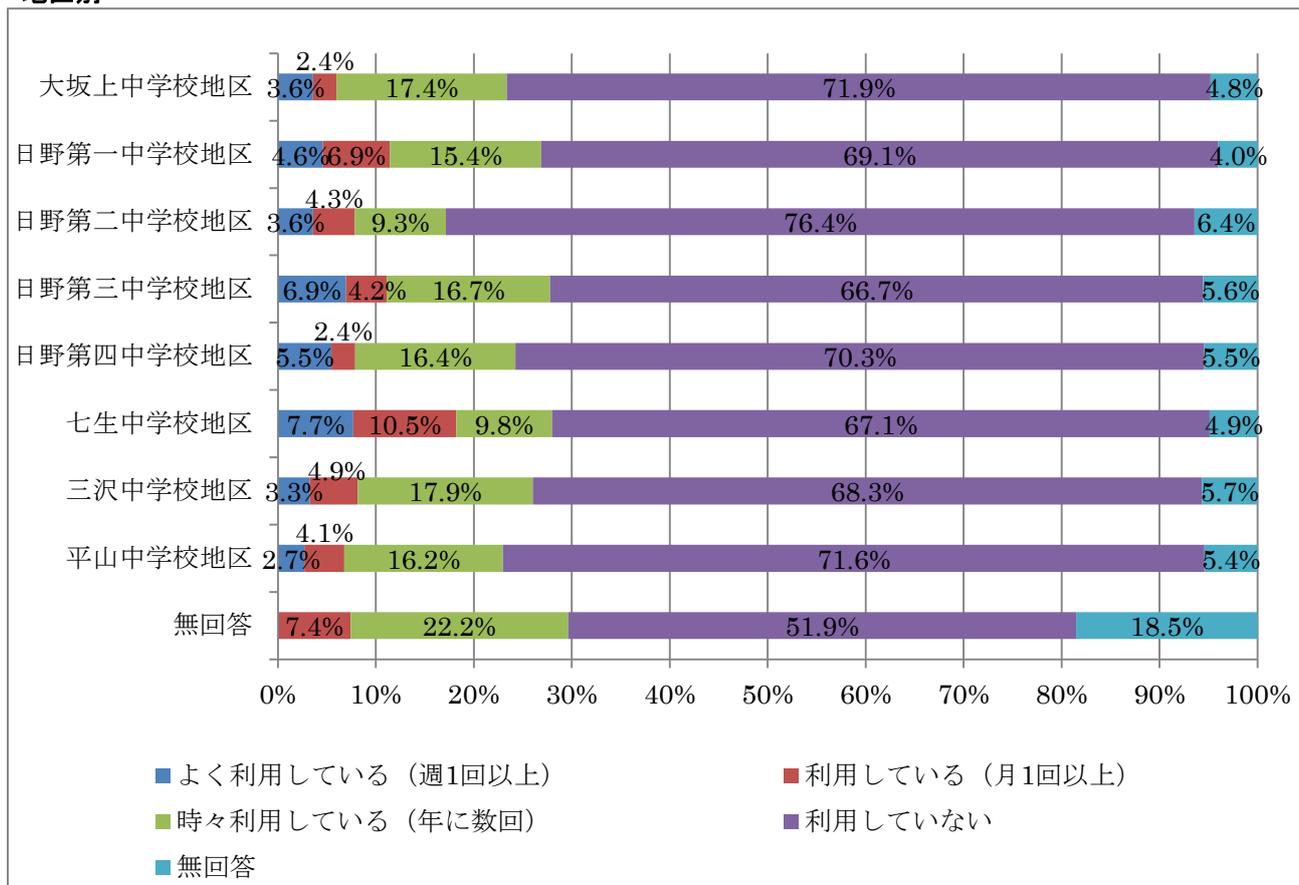
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	12	21	63	298	7	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	3	1	11	21	1	37
農業	0	0	2	1	1	4
自由業	0	1	8	15	2	26
公務員・団体職員	4	4	12	39	0	59
専業主婦・主夫	11	8	23	109	8	159
学生	0	0	6	16	1	23
パート・アルバイト	10	7	19	84	11	131
無職	12	16	38	233	27	326
その他	1	2	5	26	3	37
無回答	1	3	3	15	11	33
合計	54	63	190	857	72	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	3.0%	5.2%	15.7%	74.3%	1.7%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	8.1%	2.7%	29.7%	56.8%	2.7%	100.0%
農業	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	100.0%
自由業	0.0%	3.8%	30.8%	57.7%	7.7%	100.0%
公務員・団体職員	6.8%	6.8%	20.3%	66.1%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫	6.9%	5.0%	14.5%	68.6%	5.0%	100.0%
学生	0.0%	0.0%	26.1%	69.6%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	7.6%	5.3%	14.5%	64.1%	8.4%	100.0%
無職	3.7%	4.9%	11.7%	71.5%	8.3%	100.0%
その他	2.7%	5.4%	13.5%	70.3%	8.1%	100.0%
無回答	3.0%	9.1%	9.1%	45.5%	33.3%	100.0%
合計	4.4%	5.1%	15.4%	69.3%	5.8%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	6	4	29	120	8	167
日野第一中学校地区	8	12	27	121	7	175
日野第二中学校地区	5	6	13	107	9	140
日野第三中学校地区	5	3	12	48	4	72
日野第四中学校地区	9	4	27	116	9	165
七生中学校地区	11	15	14	96	7	143
三沢中学校地区	8	12	44	168	14	246
平山中学校地区	2	3	12	53	4	74
無回答	0	4	12	28	10	54
合計	54	63	190	857	72	1236

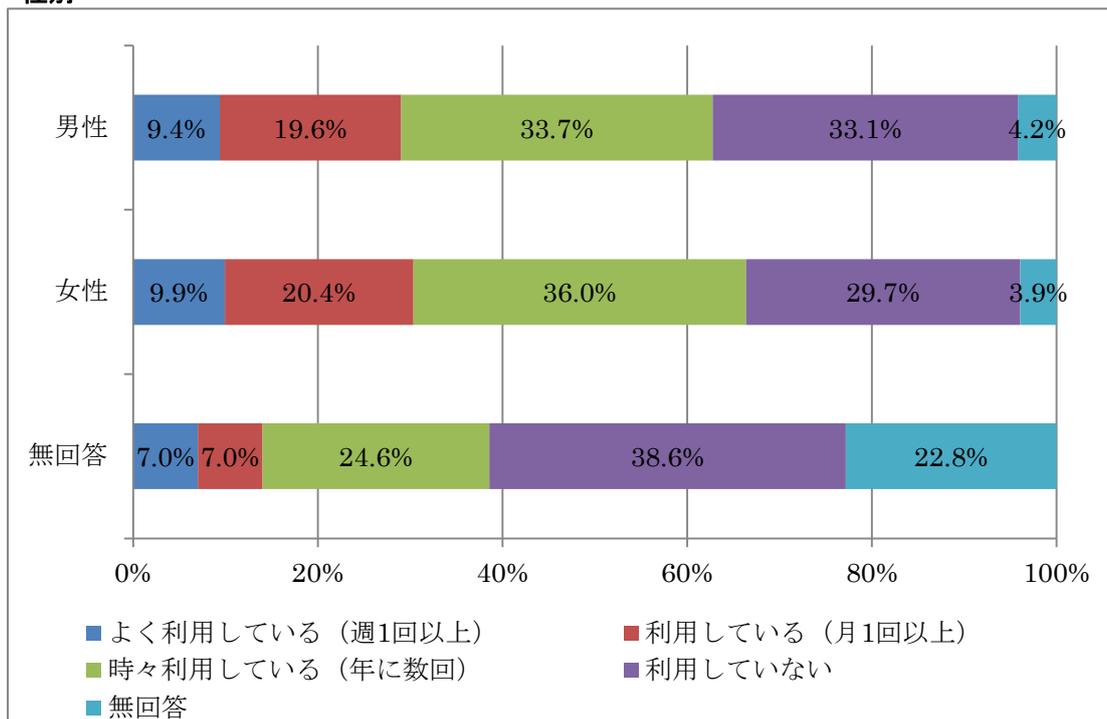
(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	3.6%	2.4%	17.4%	71.9%	4.8%	100.0%
日野第一中学校地区	4.6%	6.9%	15.4%	69.1%	4.0%	100.0%
日野第二中学校地区	3.6%	4.3%	9.3%	76.4%	6.4%	100.0%
日野第三中学校地区	6.9%	4.2%	16.7%	66.7%	5.6%	100.0%
日野第四中学校地区	5.5%	2.4%	16.4%	70.3%	5.5%	100.0%
七生中学校地区	7.7%	10.5%	9.8%	67.1%	4.9%	100.0%
三沢中学校地区	3.3%	4.9%	17.9%	68.3%	5.7%	100.0%
平山中学校地区	2.7%	4.1%	16.2%	71.6%	5.4%	100.0%
無回答	0.0%	7.4%	22.2%	51.9%	18.5%	100.0%
合計	4.4%	5.1%	15.4%	69.3%	5.8%	100.0%

(ケ) 社会教育施設（市民会館等、図書館、公民館等、歴史・資料館等）

社会教育施設に関しては、性別では「男性」、「女性」ともに月1回以上の頻度で利用している方の割合が3割程となっています。年代別では「10～20代」及び「80代以上」で月1回以上の頻度で利用している方の割合が低くなっています。職業別では「自由業」、「公務員・団体職員」及び「学生」で、月1回以上の頻度で利用している方の割合が他の職業に比べ低くなっています。地区別では「日野第二中学校地区」、「日野第三中学校地区」及び「日野第四中学校地区」で月1回以上の頻度で利用している方の割合がやや高くなっています。

▶性別



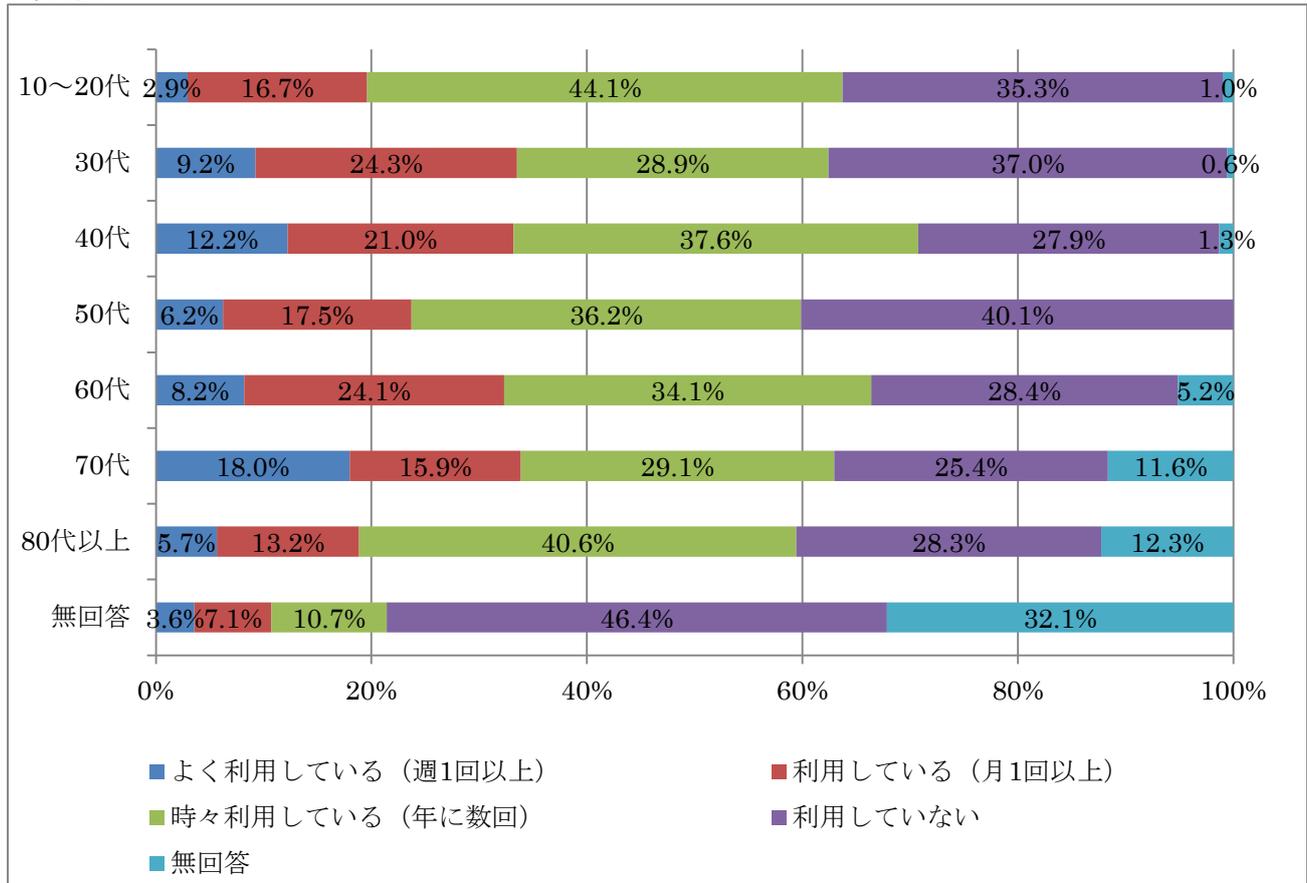
(人数)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	56	117	201	197	25	596
女性	58	119	210	173	23	583
無回答	4	4	14	22	13	57
合計	118	240	425	392	61	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	9.4%	19.6%	33.7%	33.1%	4.2%	100.0%
女性	9.9%	20.4%	36.0%	29.7%	3.9%	100.0%
無回答	7.0%	7.0%	24.6%	38.6%	22.8%	100.0%
合計	9.5%	19.4%	34.4%	31.7%	4.9%	100.0%

▶年代別



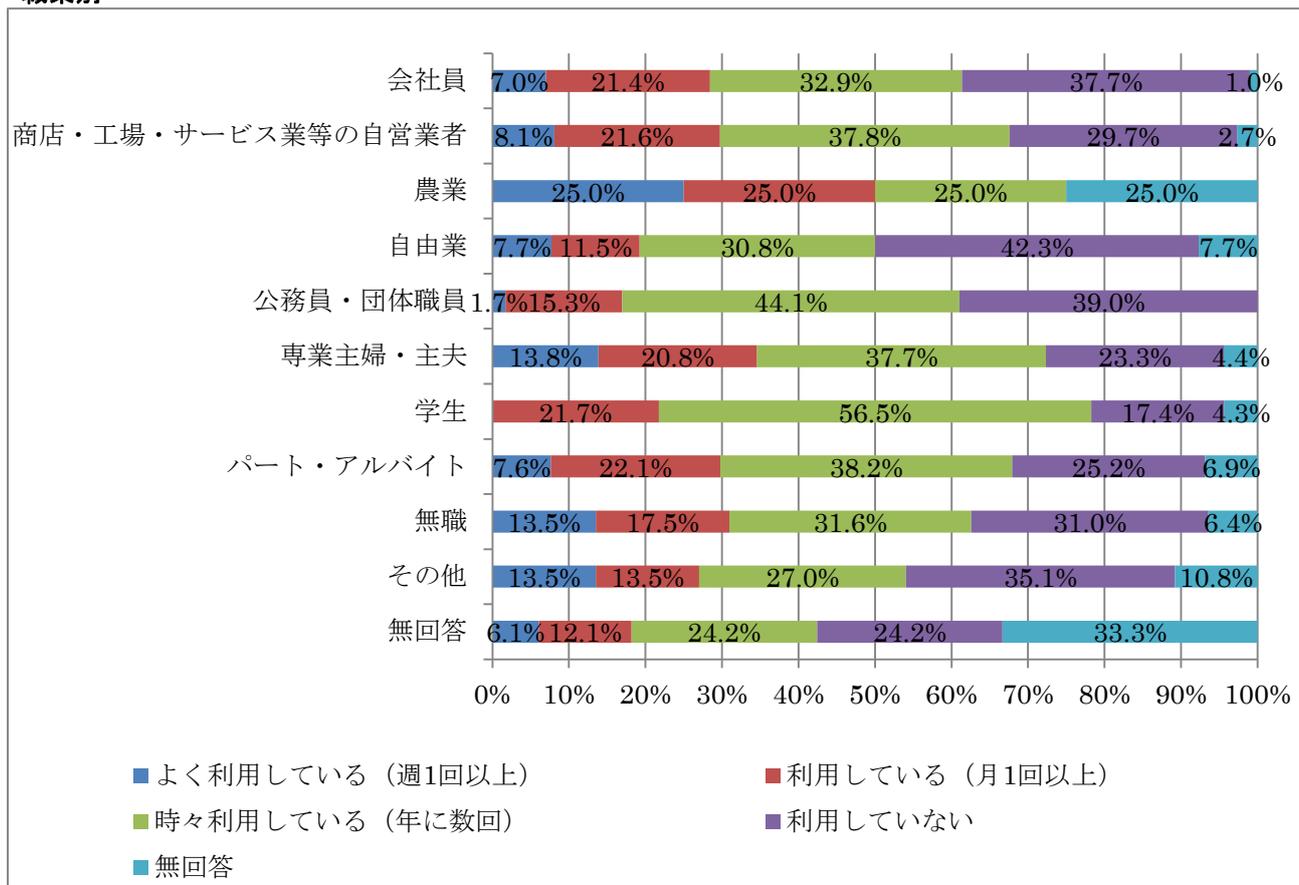
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	3	17	45	36	1	102
30代	16	42	50	64	1	173
40代	28	48	86	64	3	229
50代	11	31	64	71	0	177
60代	19	56	79	66	12	232
70代	34	30	55	48	22	189
80代以上	6	14	43	30	13	106
無回答	1	2	3	13	9	28
合計	118	240	425	392	61	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	2.9%	16.7%	44.1%	35.3%	1.0%	100.0%
30代	9.2%	24.3%	28.9%	37.0%	0.6%	100.0%
40代	12.2%	21.0%	37.6%	27.9%	1.3%	100.0%
50代	6.2%	17.5%	36.2%	40.1%	0.0%	100.0%
60代	8.2%	24.1%	34.1%	28.4%	5.2%	100.0%
70代	18.0%	15.9%	29.1%	25.4%	11.6%	100.0%
80代以上	5.7%	13.2%	40.6%	28.3%	12.3%	100.0%
無回答	3.6%	7.1%	10.7%	46.4%	32.1%	100.0%
合計	9.5%	19.4%	34.4%	31.7%	4.9%	100.0%

▶職業別



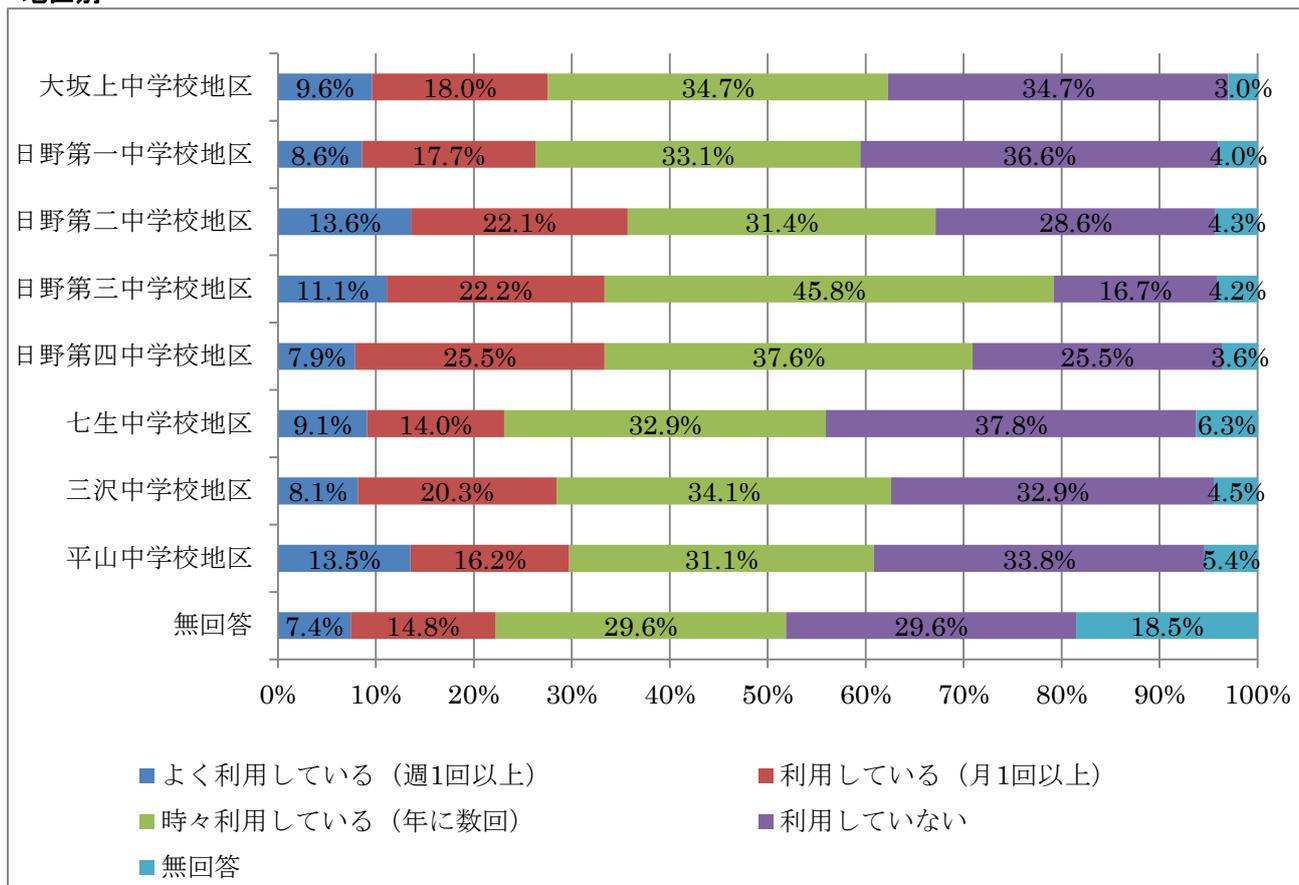
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	28	86	132	151	4	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	3	8	14	11	1	37
農業	1	1	1	0	1	4
自由業	2	3	8	11	2	26
公務員・団体職員	1	9	26	23	0	59
専業主婦・主夫	22	33	60	37	7	159
学生	0	5	13	4	1	23
パート・アルバイト	10	29	50	33	9	131
無職	44	57	103	101	21	326
その他	5	5	10	13	4	37
無回答	2	4	8	8	11	33
合計	118	240	425	392	61	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	7.0%	21.4%	32.9%	37.7%	1.0%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	8.1%	21.6%	37.8%	29.7%	2.7%	100.0%
農業	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100.0%
自由業	7.7%	11.5%	30.8%	42.3%	7.7%	100.0%
公務員・団体職員	1.7%	15.3%	44.1%	39.0%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫	13.8%	20.8%	37.7%	23.3%	4.4%	100.0%
学生	0.0%	21.7%	56.5%	17.4%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	7.6%	22.1%	38.2%	25.2%	6.9%	100.0%
無職	13.5%	17.5%	31.6%	31.0%	6.4%	100.0%
その他	13.5%	13.5%	27.0%	35.1%	10.8%	100.0%
無回答	6.1%	12.1%	24.2%	24.2%	33.3%	100.0%
合計	9.5%	19.4%	34.4%	31.7%	4.9%	100.0%

▶地区別



(人数)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している(月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	16	30	58	58	5	167
日野第一中学校地区	15	31	58	64	7	175
日野第二中学校地区	19	31	44	40	6	140
日野第三中学校地区	8	16	33	12	3	72
日野第四中学校地区	13	42	62	42	6	165
七生中学校地区	13	20	47	54	9	143
三沢中学校地区	20	50	84	81	11	246
平山中学校地区	10	12	23	25	4	74
無回答	4	8	16	16	10	54
合計	118	240	425	392	61	1236

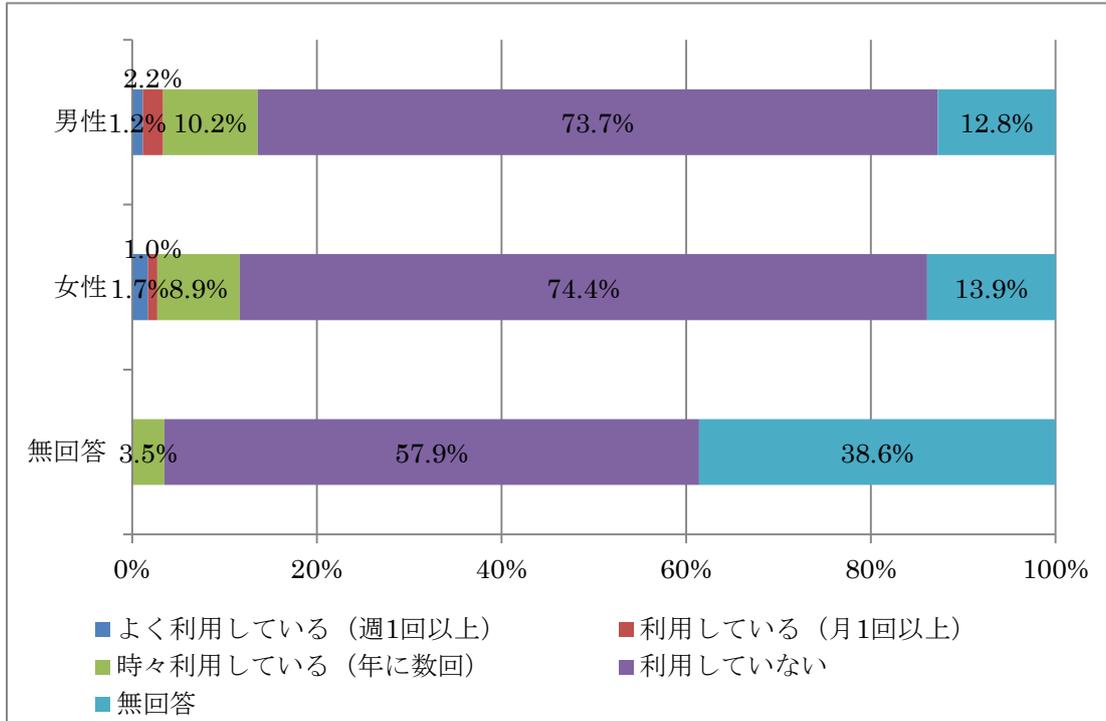
(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している(月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	9.6%	18.0%	34.7%	34.7%	3.0%	100.0%
日野第一中学校地区	8.6%	17.7%	33.1%	36.6%	4.0%	100.0%
日野第二中学校地区	13.6%	22.1%	31.4%	28.6%	4.3%	100.0%
日野第三中学校地区	11.1%	22.2%	45.8%	16.7%	4.2%	100.0%
日野第四中学校地区	7.9%	25.5%	37.6%	25.5%	3.6%	100.0%
七生中学校地区	9.1%	14.0%	32.9%	37.8%	6.3%	100.0%
三沢中学校地区	8.1%	20.3%	34.1%	32.9%	4.5%	100.0%
平山中学校地区	13.5%	16.2%	31.1%	33.8%	5.4%	100.0%
無回答	7.4%	14.8%	29.6%	29.6%	18.5%	100.0%
合計	9.5%	19.4%	34.4%	31.7%	4.9%	100.0%

(コ) その他の施設（上記以外の施設）

その他の施設に関しては、月1回以上の頻度で利用している方の割合は低く、性別、年代別及び地区別のそれぞれに大きな差はありません。職業別では「農業」で月1回以上の頻度で利用している方の割合が高くなっています。

▶性別



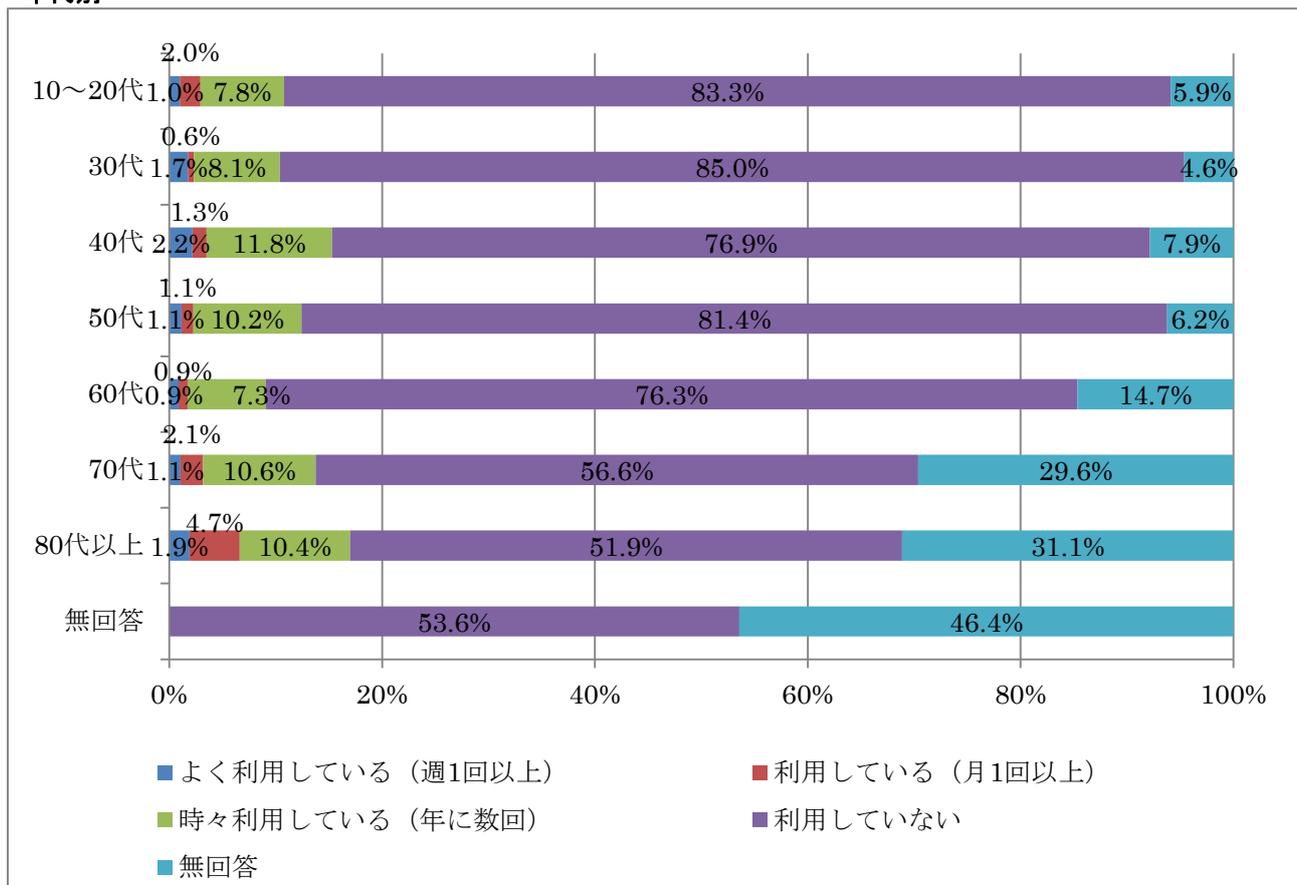
(人数)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	7	13	61	439	76	596
女性	10	6	52	434	81	583
無回答	0	0	2	33	22	57
合計	17	19	115	906	179	1236

(割合)

性別/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
男性	1.2%	2.2%	10.2%	73.7%	12.8%	100.0%
女性	1.7%	1.0%	8.9%	74.4%	13.9%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	3.5%	57.9%	38.6%	100.0%
合計	1.4%	1.5%	9.3%	73.3%	14.5%	100.0%

▶年代別



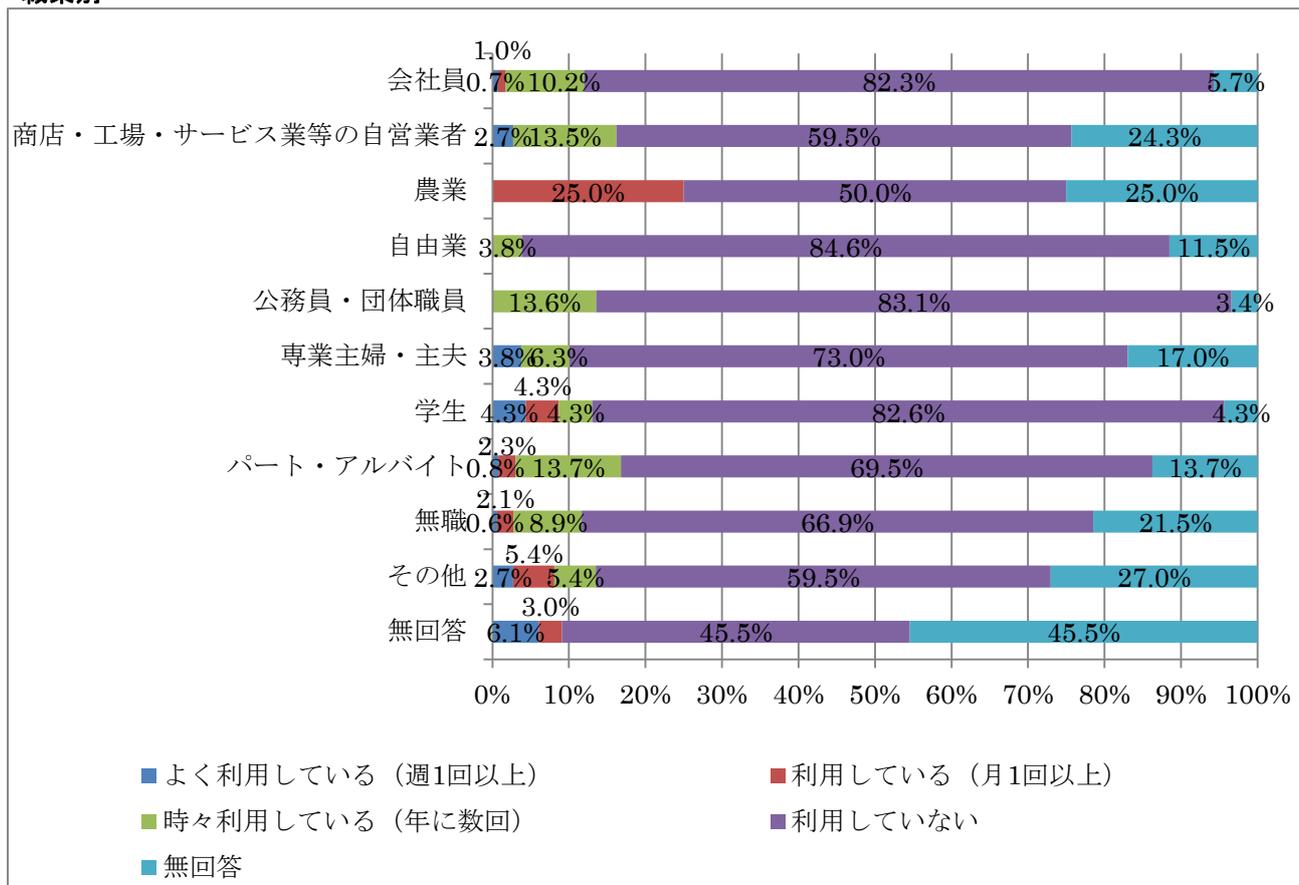
(人数)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	1	2	8	85	6	102
30代	3	1	14	147	8	173
40代	5	3	27	176	18	229
50代	2	2	18	144	11	177
60代	2	2	17	177	34	232
70代	2	4	20	107	56	189
80代以上	2	5	11	55	33	106
無回答	0	0	0	15	13	28
合計	17	19	115	906	179	1236

(割合)

年齢/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
10～20代	1.0%	2.0%	7.8%	83.3%	5.9%	100.0%
30代	1.7%	0.6%	8.1%	85.0%	4.6%	100.0%
40代	2.2%	1.3%	11.8%	76.9%	7.9%	100.0%
50代	1.1%	1.1%	10.2%	81.4%	6.2%	100.0%
60代	0.9%	0.9%	7.3%	76.3%	14.7%	100.0%
70代	1.1%	2.1%	10.6%	56.6%	29.6%	100.0%
80代以上	1.9%	4.7%	10.4%	51.9%	31.1%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	53.6%	46.4%	100.0%
合計	1.4%	1.5%	9.3%	73.3%	14.5%	100.0%

▶職業別



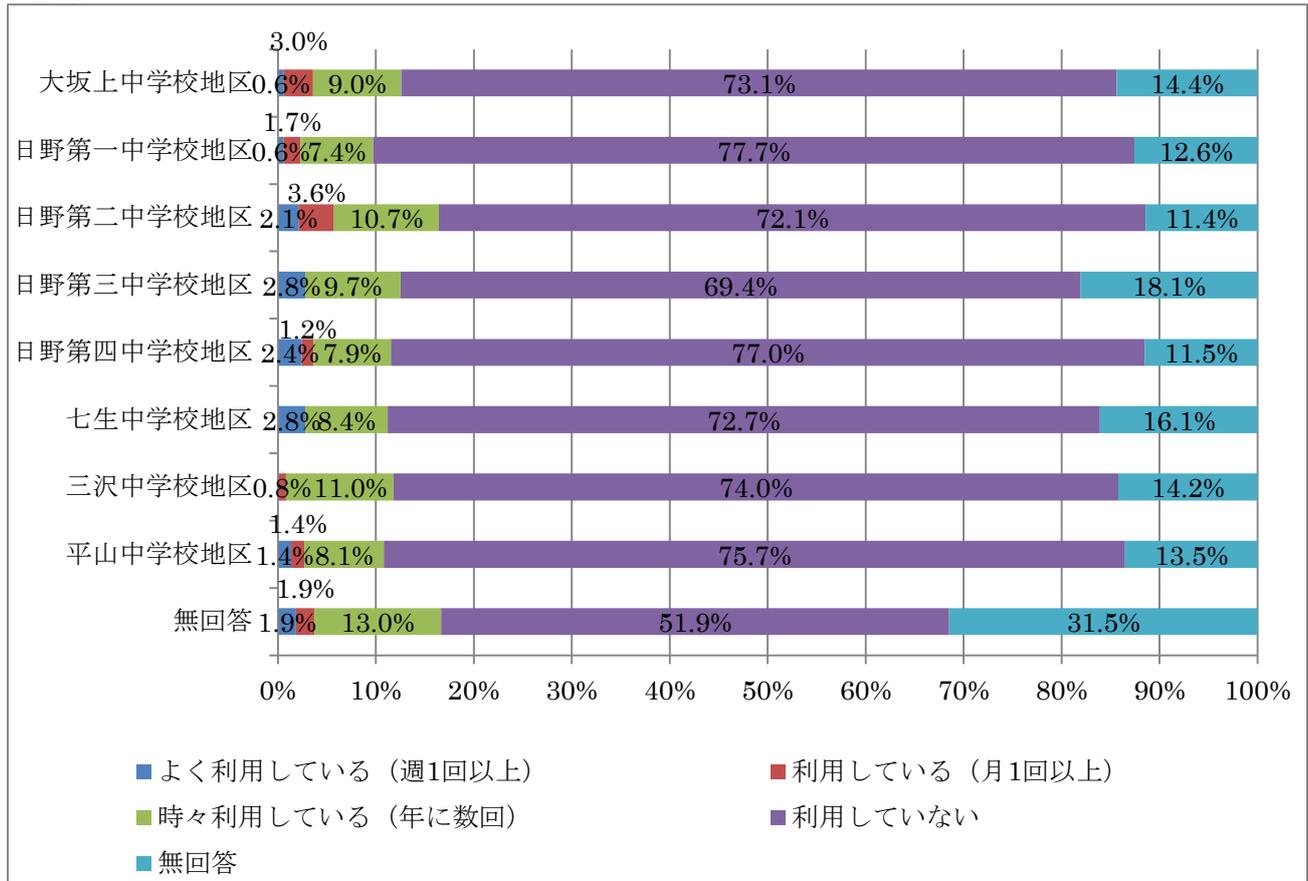
(人数)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	3	4	41	330	23	401
商店・工場・サービス業等の自営業者	1	0	5	22	9	37
農業	0	1	0	2	1	4
自由業	0	0	1	22	3	26
公務員・団体職員	0	0	8	49	2	59
専業主婦・主夫	6	0	10	116	27	159
学生	1	1	1	19	1	23
パート・アルバイト	1	3	18	91	18	131
無職	2	7	29	218	70	326
その他	1	2	2	22	10	37
無回答	2	1	0	15	15	33
合計	17	19	115	906	179	1236

(割合)

職業/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
会社員	0.7%	1.0%	10.2%	82.3%	5.7%	100.0%
商店・工場・サービス業等の自営業者	2.7%	0.0%	13.5%	59.5%	24.3%	100.0%
農業	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	100.0%
自由業	0.0%	0.0%	3.8%	84.6%	11.5%	100.0%
公務員・団体職員	0.0%	0.0%	13.6%	83.1%	3.4%	100.0%
専業主婦・主夫	3.8%	0.0%	6.3%	73.0%	17.0%	100.0%
学生	4.3%	4.3%	4.3%	82.6%	4.3%	100.0%
パート・アルバイト	0.8%	2.3%	13.7%	69.5%	13.7%	100.0%
無職	0.6%	2.1%	8.9%	66.9%	21.5%	100.0%
その他	2.7%	5.4%	5.4%	59.5%	27.0%	100.0%
無回答	6.1%	3.0%	0.0%	45.5%	45.5%	100.0%
合計	1.4%	1.5%	9.3%	73.3%	14.5%	100.0%

▶地区別



(人数)

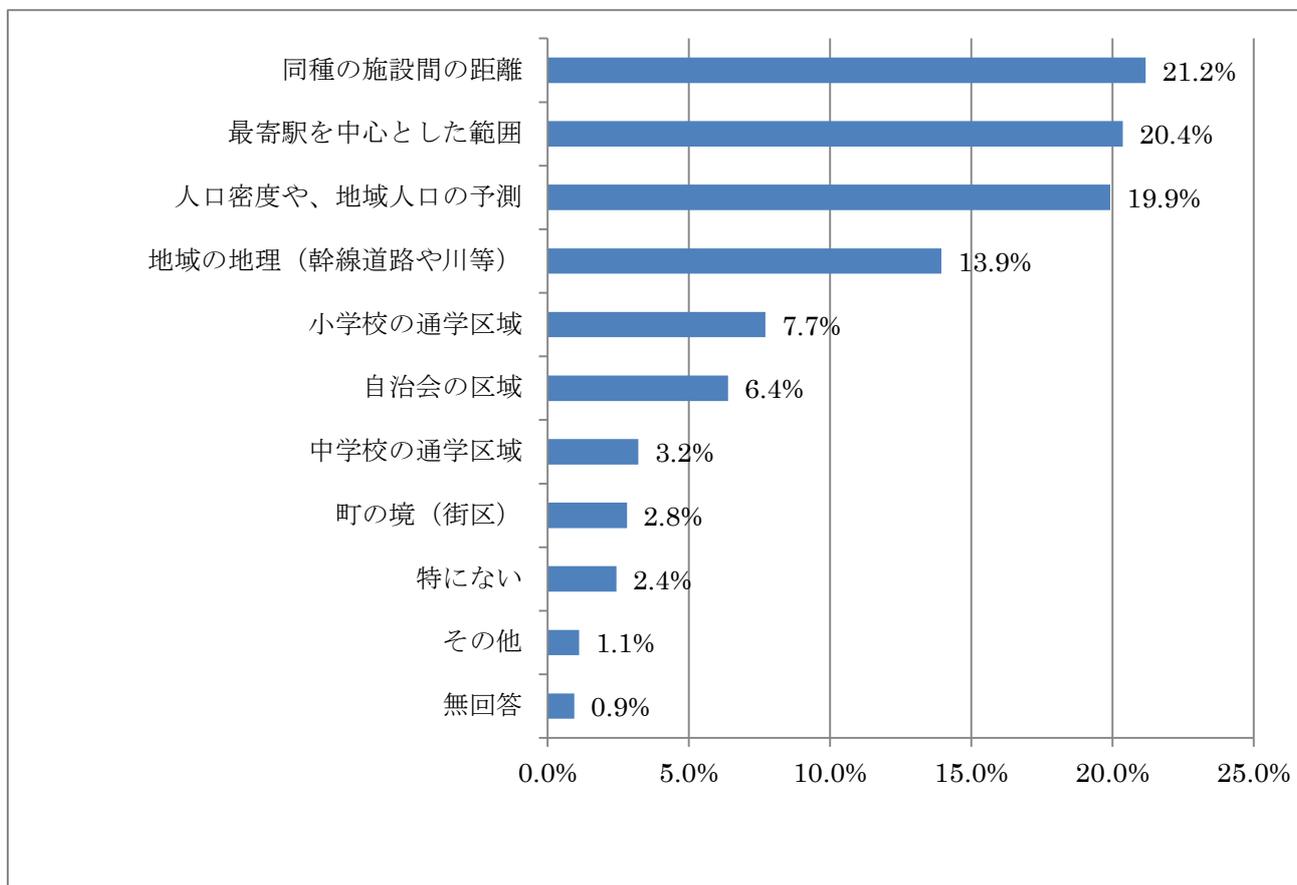
地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	1	5	15	122	24	167
日野第一中学校地区	1	3	13	136	22	175
日野第二中学校地区	3	5	15	101	16	140
日野第三中学校地区	2	0	7	50	13	72
日野第四中学校地区	4	2	13	127	19	165
七生中学校地区	4	0	12	104	23	143
三沢中学校地区	0	2	27	182	35	246
平山中学校地区	1	1	6	56	10	74
無回答	1	1	7	28	17	54
合計	17	19	115	906	179	1236

(割合)

地域/回答	よく利用している (週1回以上)	利用している (月1回以上)	時々利用している (年に数回)	利用していない	無回答	合計
大坂上中学校地区	0.6%	3.0%	9.0%	73.1%	14.4%	100.0%
日野第一中学校地区	0.6%	1.7%	7.4%	77.7%	12.6%	100.0%
日野第二中学校地区	2.1%	3.6%	10.7%	72.1%	11.4%	100.0%
日野第三中学校地区	2.8%	0.0%	9.7%	69.4%	18.1%	100.0%
日野第四中学校地区	2.4%	1.2%	7.9%	77.0%	11.5%	100.0%
七生中学校地区	2.8%	0.0%	8.4%	72.7%	16.1%	100.0%
三沢中学校地区	0.0%	0.8%	11.0%	74.0%	14.2%	100.0%
平山中学校地区	1.4%	1.4%	8.1%	75.7%	13.5%	100.0%
無回答	1.9%	1.9%	13.0%	51.9%	31.5%	100.0%
合計	1.4%	1.5%	9.3%	73.3%	14.5%	100.0%

問9：地域の公共施設を再配置する際の配置の基準や範囲について、次の中からあなたが優先した方が良いと思う項目を三つ以内でお選びください。

(人口密度や、地域人口の予測／地域の地理(幹線道路や川等)／自治会の区域／同種の施設間の距離／小学校の通学区域／ 中学校の通学区域／町の境(街区)／ 最寄駅を中心とした範囲／特にない／その他)



項目	同種の施設間の距離	最寄駅を中心とした範囲	人口密度や、地域人口の予測	地域の地理(幹線道路や川等)	小学校の通学区域	自治会の区域	中学校の通学区域	町の境(街区)	特にない	その他	無回答	合計
人数	626	602	589	412	228	189	95	83	72	33	28	2957
割合	21.2%	20.4%	19.9%	13.9%	7.7%	6.4%	3.2%	2.8%	2.4%	1.1%	0.9%	100.0%

地域の公共施設を再配置する際の配置の基準や範囲について優先した方が良いと思う項目については、多くの回答者が「同種の施設間の距離」、「最寄駅を中心とした範囲」及び「人口密度や、地域人口の予測」の3つを回答しています。

「中学校の通学地域」や「町の境(街区)」に関しては、選択された回答者が少なくなっています。

<参考>

【第1部】

問3：下記の説明にある、考えられる方向性について、どのように思いますか。あなたの考えに最も近い項目を下記から一つお選びください。

(取り組みを進める方が良い／どちらかという取り組みを進める方が良い／どちらかという取り組みを進めない方が良い／取り組みを進めない方が良い／他の方向性が考えられる)

「施設の老朽化」「財政状況」「人口の状況」を踏まえた、今後の公共施設のあり方について、大きな方向性として次の3つが考えられます。

方向性 1

- ・ 公共施設の面積のスリム化と、公共施設の機能(役割)を重視した再編や転換

方向性 2

- ・ 地域の核となる公共施設へのさらなる展開

方向性 3

- ・ 効率的な公共施設の運営

「他の方向性が考えられる」を選択された方のコメント

- ・ 取り組みを進める事は賛成だが、他の市との差別化のために日野市ならではの特色が必要と考えます。例) 図書館、キャンプ場、農地など。
- ・ 日野市だけの取り組みでなく、近隣の市との提携でやれると良い。例) 2・3の市でひとつに残す。
- ・ 公共施設のみだとコストが掛かる。民間の建物の中に間借りする考え方を今後した方がいい。スーパーなど駅(保育園、出張所) 社会福祉には民間委託、公共地の転売。
- ・ 既特権者の事は考えずに、シンプルに普通に判断して欲しい。不要なものは無くし、必要な物は残す。
- ・ 核となる公共施設は、新たに大型の物を造ることなく、小学校などを改築などして使用してはどうか。
- ・ 同時に、その場限りの投資ではなく、初めから20-30年後を見据えた行動を。
- ・ 方向性2の核だけ作り、他は行政サービスで足りない分を補えば良いのではないかと。方向性3は良いと思う。
- ・ 廃校になった小学校など早く処分するべきだ。又新しく箱物は建てない。近隣住民しか利用できない。
- ・ 優先度を付けて取り組むべきところからやっていく。
- ・ 拠点施設自体の今後の有り方(数・場所)の再考。人口減少、税収減少の今後、拠点減少の方向で。
- ・ 縮小できるところを徹底的にあらう。
- ・ ただ、百草などは交通費がかかるのは、いかがなものか?
- ・ 方向性2については、厳選すべきである。
- ・ 近隣の市町村や国と共同運営する。
- ・ 公共施設が必要かどうかの見直し。

- ・こんな用紙を作る費用があるなら、facebook とかもっとコストがかからないやり方があると思います。
- ・何でも市がやるのではなく、民間委託という手はないのか？
- ・利用者が、老若男女、利用者数に依る。
- ・集約すれば機能的ですが、住んでいる所から公共施設が遠くなる。コンビニ等も併せて検討して欲しい。コンビニ公共サービスの強化。
- ・日野市の枠組みでは不十分。多摩地域の市の統廃合を進め、行政コストの削減を進める。
- ・スリム化して経費の削減にはなるだろうけれど、これからの高齢化社会を考えると高齢者が地域社会と繋がって生きていく為にも「公共の…」っていう役割は大きい。箱物は必要だと思う。「老人と子どもに優しいまち」的な感じで大きい流れができると思います。
- ・現市長に替わってからおおまかに見て、何でもマイナーに推移した考えが見受けられる。税金を考えたももっと前向きになれないか。悲観論ばかりで日野市から移転したいくらい。
- ・効率的な公共施設を貸与する方向で少しでも利益をうむことを検討して下さい。
- ・③の効率的運営で日野市として観光収入の方法もオリンピックに向けて検討したらどうか。
- ・③効率的な公共施設の運営につけて経営を軸にゼロベースで。
- ・公共施設のスリム化と共に職員のスリム化も進め、民間企業に管理又は売却し、100%の稼働率を（七生、市民会館、図書館）。
- ・小・中学校を使えば済む事。
- ・弱者が利用しやすくなくては意味が無い。利用しやすくなる住人は良いが、そうでない方は住みにくく利用者離れ、究極的に人口減につながるのでは？必ずしも立派な建物は必要ない。平山駅前施設・図書館利用しますが、新築でも初期費用を抑えなるべく身近に施設があり、且つ人が増える町づくりをすべき。
- ・利用料金を取る。施設利用料金。60才以上は料金を取る。
- ・具体策を例にしないと意味が無い。
- ・空き家など利用できる事は利用して。利用する人は一部の人だけだと思う。
- ・民間手法の導入や市のマネジメント体制。
- ・公共施設は災害とか、まさに公共に必要な物だけにする。あとは民間に任せる。施設は最少必要にする。
- ・この設問自体、分かりにくい！！
- ・方向性 1, 3 は良いが、2 は反対。
- ・公共施設と商業施設を一体化し、費用の軽減に努める。
- ・スリム化すると限られた人しか利用できなくなる。大きく造り、区切って利用できるようにして欲しい。
- ・もっと長期的に計画すべきだ。
- ・公共施設のスリム化は大切だが、利用されずに箱物だけがあるのも問題である。etc.南平～高幡間にあるなんとかテラス。
- ・方向性 2, 3 については、必要ですが、方向性について、縮小をするなら、人口分布、高齢者への配慮などを検討して欲しい。

- ・そもそもどのような公共施設が必要なのかを見直す事が必要。
- ・公共施設の有料化の検討も。
- ・小さい政府を目ざせば良い。
- ・予算全体の中で考えるべき。他の事業予算とどうバランスを考えるのかが問題点となると考える。
- ・経費を使うだけでなく施設から利益を生み出す必要がある。有料化。
- ・採算の取れない公共施設はやめるか、手数料を上げる。利用者負担が原則！！
- ・市の公共施設は、民間に任せるべきではない。事務員の人間が多過ぎる点は考えるべき。
- ・民間と協力し、施設の有効活用を検討して欲しい。(市の財政状況も厳しいので)
- ・今の状況を上手に使いこなす。
- ・現在使われていない建物を改修して使う方法は無いのでしょうか？新しく建てても、また将来老朽化が問題になる。
- ・施設面ばかりでなく、人口減に対応した役所職員、議員の削減を必要とする。
- ・公共施設使用料金の見直しで、適正料金化。
- ・税金が高くなるのは困る
- ・②と③については、早めに実行して欲しいです。①については、過疎化するエリアが発生しないようにする必要があり、調整がやや難しいです。
- ・左記の取り組みはとても良いと思います。が、そもそもまず必要ない施設を新たに建てない事、今ある物をどうすれば長く使えるかを考えて欲しい。20年30年でダメになってしまうものを作らないでください。
- ・他の市との共通利用。例えば、立川市。
- ・例-子供数が少なくなるので、夜の教室または空室を使う。
- ・ただ1つの建物に集約してしまうと、通うのに不便になる事もあるので、出来れば色々な拠点があると良い。
- ・公共施設の必要性を漠然とではなく具体的な利用法の提案を、行政側から創出する。
- ・近隣に小規模な施設があると便利。住民の自治を活用して、運営の費用を抑える。
- ・需要に応じた施設の展開
- ・方向性を早急に
- ・市の施設を減らし、その分都の施設を増やせないでしょうか
- ・②については賛成
- ・他市と比べると非常に貧弱である。人件費を減らし、公共施設に財源を投入すべきである。七生地区に作るよう進めて欲しい。
- ・方向性1において、他の市や民間との協調や提携が必要になるのではないか。
- ・スリム化、核になるのは良い。効率化で民間ノウハウも良いが、民間への委託は反対。特に図書館のTSUTAYA。
- ・経費削減は必要だが、面積のスリム化ありきが、それに直結するとは限らないのでは？
- ・スリム化を進めつつ、既存の施設の再利用。再利用は公共施設でなくても良い。
- ・①と③はわかるが②は分からない。
- ・市の人口が減少しないような工夫を行う。

- ・サービス水準を下げることはないよう、諸経費の無駄を徹底的に省く。(人件費を含め)
- ・人員削減。民間、パートで職員を補う。
- ・方向性"3"を切に望みます

問7 今後の公共施設の整備や施設の考え方について、具体的にどのように考えますか

「(サ) その他 (あなたが考える取り組みを自由にお書きください)」を選択された方のコメント

・公平性の観点からも、利用される方に応分負担を求めるのは当然のことで、施設等の設置そのものに対しては、住民税が科されている者が納税額割合で負担している訳であり、使う者が使う分を負担すべき。

・低コストで全体が経費を負担すべき。

・他の市は低料金で利用出来るスポーツクラブ系が充実しているが(府中市など)日野市にはないので、今の施設で作ることが出来ないか。又、プールに屋根が欲しい。

・高齢者の割合が増加する事を考え、高齢者を出来るだけ多用し、経費を抑える。

・地域の住民の維持、管理はやる人がいるのか考えるべきである。自治会の役員さえ、ままたらぬ現在、困難だと思います。

・社会教育、生涯教育は、民間に任せる。

・企業、その他の施設利用に対し、利用者が安い利用料を払って利用出来る様な仕組みを作っていったらどうか？

・個人によって使用する施設、頻度が異なるので、利用する人が負担をするようにして下さい。お金がないなら、ないなりに。

・各施設共、駐車場が少ない。跡地の売却でも前市立病院跡地のよう住民とのもめ事心配。

・今ある建物等、メンテナンス出来る限り使用して欲しい。

・市民がもっと利用しやすいように、他の市がやっているミニバス(100円)が巡回していると利用すると思います。

・学校なども、使用しない夜間などもっと公開して欲しい。

・(ア)で複合化して摩擦が起きないかが気になり。

・福祉の“日野”としてコストシフトが出来ます様に宜しく御願い致します。

・統廃合された学校等施設は、民間資金を取り入れ改修して別の用途に転用を検討しても良い。その際、利用状況や地元への貢献という目につかない視点は大切にすべき。

・施設を作っても存在を知らないことが多く感じる。ネットや電車内広告など目につく場所で広告する。また、主婦などの才能を利用出来る様にして経費を抑えてはどうか。子育て中の若い主婦にプロよりは少なめの費用で広告デザインなどの募集(コンクールでもいいかも)をし、同時に地域の意見も取り込む。

・今は大変な時期だと思うので、施設の有料化を実施すべきだと思います。

・商業施設とセットにして集客しやすくする。

・学校の空教室を生かせば良い。以前テレビドラマ金八先生にあった。

・施設維持、管理等については、住民参加型を幅広い観点から人材を集めることにより更に施設への関心を深められると思う。

・公共とサービスの整合の基に公平でありバランスの上に取り組んで欲しい。

・まずは告知をもっと大きくし、知ってもらふ事からだと思う。

・公共施設のスリム化は大切だと思いますが、それに伴って、市の送迎サービスは必須だと思います。

車のない方や高齢の方が利用しづらい。外出の機会を減らしてしまう。高齢者の免許の返納拒否が増加すると思います。また、スリム化する事で利用者の負担を減らせる様な仕組みがないとダメだと思います。

・利用する人がある程度負担を担うべき。税金を払っている人は働いてて利用する機会に乏しく、不公平感がある。税金を納めている人にもっと還元するか、払っていない人にも負担させるようにしないと財政が厳しく、市民に不平等が生じる。

・IT化を進めて欲しい。(各種予約や住民票の写しなど、いつでもどこでもコンビニ等で利用出来る環境である市になって欲しい)

・核となる施設を市に2つ程作り、残りは行政サービスで補えば良いと思う。何も施設に頼らなくても良いのではないかな。少子高齢化の進行により、施設というものが、市民のシェルターとして機能していれば、後はサービス(施設を伴わない)で補うのが良いと思う。

・公共施設を無くした場所は、公園等を作って欲しい。

・市と民間ははっきりと区分し運営した方が良い。市の施設を利用する人は適正な負担をさせた方が良い。

・公共施設に行くまでの交通手段(バス停を作る等)も一緒に考えて欲しい。

・そもそもそういった施設があるという事自体知りませんし、利用方法、可能性も分からない。ので、広く周知してもらう事が先では?知らない物を誰が使いますか?「知りに来て下さい」ではなく「知って下さい」と、前に情報を出して行かなければ、若い世代の人達は見向きもしませんよ。

・集約・スリム化は賛成であるが、地域の核となる施設はあまりスリム化すると高齢者等は不便で使用しづらくなる。(遠くなるので)

・全ての市民が平等に利用出来る、利用の差別がない事を望みます。子供がいるいないでの差別が多すぎます。子供のいない夫婦に何もメリットがない。

・(コ)は年齢で差をつけて良い。高齢者よりお金を取るようなことはしたくない。

・施設運営側、利用者の高齢化が進む一方なので、高齢者のコミュニティ施設化にならないように運営側の配慮が不可欠だと思います。

・南北に長い市なので、集中点をよく考えて欲しい。

・受益者負担、おおいに進めるべきだと思います。利用していない者にとって税金から費用捻出など無いよう、適正な処置をされるよう望みます。

・余り窓口を広げない方が良い。税収が減っている中で、税で運営されている施設を使いたくない。

・利用者負担を原則とすべきだと思います。

・施設の利用単価を上げる。

・税収を増やす取り組み(増収、住民を増やす等)を行なう。

・経費の削減も必要だが、高齢者や子どもが利用しやすくするには、図書館や児童会館等歩いて行ける範囲になれば意味が無い。減らせる施設、増やすべき施設、いろいろあると思うのでいっしょくたには計画できない事かと。

・問3で答えた様に民間に委託できるものはどんどんまかせ、市の裁量を減らす。役人の数が減り、固定費もそれにより減る。まずは役所のスリム化を図る。それが大前提。

・市が保有する施設は減らす。利用したい人は個人で有料施設を使い、市は負担すべきでない。

- ・特定の人やグループの使用に片寄るなら、公共施設である必要はない。有料かまたは、廃止すべき。
- ・消費税・税金が上がる一方、反対に収入源は誰も低迷で安心安全な暮らしに疑問を感じる。
- ・(コ)につながりますが、無料サービスはやめるべき。受益者負担を原則にして、タダ乗り使用とする人を遠ざける。
- ・有効利用されていない施設や部屋が多過ぎなので、少人数でもOK。又、利用代金を下げる。平等に。
- ・他の自治体である、マンションを建てその下に市役所を作る。ツタヤ図書館等、費用を下げて効率的な建物で運営をする。
- ・街全体が古びていて、なんか暗い印象のところもある。古びていると、その施設の利用者も減るし、景観もよくない。無理に改修せずに必要であれば少しでも人口が多いうちに少しずつ建替えをして、「日野市に住みたい！」と思う明るい街にして欲しい。街路樹やカードレールが汚いのも嫌だし、草ボーボーの管理出来ていない公園、目に付きやすい公園の遊具がボロボロ。外部から遊びに来てても明るい街の印象からは遠く、「引越して来たい」と思ってもらえる街にして欲しい。
- ・高齢化に伴い、地域ごとに利用できる施設は必要。遠い所に良い施設が出来ても利用出来ない。他に空いている民間施設を提供してもらい、仲間で集える場所を考えて下さい。
- ・元気な高齢者が多いので、子育ての場（助け合い）をもっと、良いと思うグループホームやデイサービスの方々にも子どもを預けられたら、若いお母さんたちも知恵をいただきながらゆとりが出来るし、2～3時間の自由の時間やパートも可だと思う。保育園に入れない子どもたちとデイホームを合わすと良いと考えています。市民のトレーニングジムもあれば（カーブスみたいな）。年齢を問わず気軽に行って、寝たきり予防も出来る施設。
- ・上記施策を計画・実施する際、役所の縦割り行政を廃除してください。
- ・維持費が安くなるような施設建設。今回の設問は施設によって積極的・非積極的になるので、もう少し具体的に説明して欲しい。
- ・施設の有料化はまず、他の利用が少ない施設をカットしたりして健全化を図り、手をほどこした後に有料化は有りだと思うが、他のカットできることをしないで有料化は無いと思う。
- ・広い公園や施設を民間事業に貸し、収入を得るよう努力する。ほとんどの公園が1日のうち何人使用しているか？ムダにしている様です。社協も建て直すとの事。広い土地ですよね。有効活用を望みます。市の職員の天下り施設になるのではと様子を私はみえています。
- ・経費を抑える事により民間委託等が考えられるが、それによって労働者の賃金ばかりが抑えられるのは良くないと思う。
- ・利用者負担をもっと上げるべきである。特に公共施設をほとんど利用しない市民との公平性という視点からの検討が必要。大多数の市民がそうであり、公共施設を繰り返し利用する個人や団体ばかりが得をしている様に感じる。
- ・雑収入のみの体制から経営を軸に50年後以降に備える策をこの3～5年の間につくり、柔軟な展開を実施。
- ・施設が市の物である限り、管理は市役所に責任があると思いますので、市民は規定に従って使用する事だと思います。
- ・将来、少子高齢化さらなる高齢化の核家族化が進み、介護を必要とする人が増加すると考えられるが、その高齢者の方々が集いやすい場所や社会に参加できる施設で協同で生活向上できると思います。そこ

へ幼稚園や保育所などを併設するべきと考えます。

- ・他市と連携して負担を軽減する。
- ・輪番制にして譲り合って使えば良いでしょう。贅沢を言ったら果てしなくなります。
- ・公の担う役割を整理すること。市営住宅、スポーツ施設を直接市が管理する必要はない。費用をかけ過ぎ。公共施設の半減。
- ・建物と施設運用とが混じった内容と受け取れる。もっと整理しましょう。
- ・指定管理制度の活用等により、個人参加の利用ができる機会を増やし、特定団体利用に片寄らないようにすべき。利用度が特に高い団体には専用施設の確保を支援すべきである。
- ・市民ならば無料で使えるグラウンドなどの施設、コミュニティは簡素な長持ちする建屋にする。
- ・(コ)と同じ事になりますが、一回の値段を低くし、利用してもらう回数を増やすことで経費が賄えるのでは？一回100円とか200円くらいなら、子供を連れて遊びにも行けるし、助かる。
- ・(コ)では、収入や施設の種別を考慮して、利用者の負担が大きくなり過ぎない様に工夫する必要がある。
- ・市は頭と体を使い、仕事をして下さい。なんでもかんでも市民に押し付ける事はやめなさい。
- ・アイデアや魅力づくりに努力して欲しい。(施設を利用していない人も利用したくなるようなアイデアを)運営面での魅力を！！
- ・「減らす」より「無くす」を第一に考える。
- ・今の我々年代はPCも使えるし、ITでも用が足りる様にしていけば、簡略化は可能。
- ・公共施設として市にはいくつあるのか、市民にとって欠かすことの出来ないものは何かが、よく分からない。一度よく知りたい。
- ・公共施設を使ったイベントなどがもっと活性化すると良いと思います。いかに施設を造るかも重要ですが、いかに使うかも考えなければなりません。
- ・施設の利用状況や部屋の空き具合などをインターネットで確認・予約できるようにして頂きたい。
- ・公共施設は社会資本という意味が強いから、経済性だけで考えない方が良いでしょう。
- ・多様な機能を1施設に集めるのはいいが、施設数が少なくなり遠くなって利用しづらくなるのは困る。情勢に沿って高齢者の為の施設は増やして欲しい。新設賛成。税金の無駄遣い(市の職員の)を減らすための監督も厳しくやって欲しい。
- ・病院以外の公共施設に費用をかけるべきではない。病院の充実にはもっと投資をして良い。
- ・現在不要な建物があり、建築時に設定不備と思われる物が多々あり。不必要な市民への配布物、カラー市報配布も考えるべきだと思う。一家庭に一部の市報配布が良いと思う。(複数配布)出費を考えて欲しい。
- ・全体的な事は理解しましたが、それによって「不便な」と感じる事のないよう、慎重にお願いしたいです。
- ・隣接している市の施設について、提携して、どちらも市民料金で利用できる等の措置を取るべき。
- ・行政がもっと働くべきではないですか？市民はそう思います。
- ・私は市の施設等は個人としては利用しておりませんので、その内容等については本当によく分かっておりません。皆さんが楽しく無理なく利用できれば良いと思います。
- ・民間に土地を貸す際、地域や市の公共施設をその場所で運営する事を義務づける。

- ・施設の有料化により、利用できない人(市民) が居ると意味がない。
- ・いつも感じている所は、日野市民と他市市民の利用料を差別化して当然と考えます。(イ)であれば適正となります。
- ・(ア)現在本町にある公民館、図書館、福祉センター、児童館を一括集めて運用できないか。
- ・施設を減らすことによって、利用しづらくなるのは困ります。それこそ、ある地域の人が得をして不平等だと思う。
- ・利用者は市民全体からみれば、極めて少数であり (コ) の市民全体で負担するとは違和感がある。建設に税が使われるのがこの意味でしょうか？利用者がもっと負担する (利用料などで) ことが最低限必要と思う。
- ・全てでなく、多様であって良いと思います。建物が安全であれば、改修をして長く使用すれば良いし、改修費が多額になれば建替えも必要です。駅前等では、民間施設の利用も有効ですし、住宅街では、落ち着いた公共施設も欲しいです。画一でなく、地域に合った施設計画をお願いします。
- ・市民に頼ることばかり考えず、市役所の人間が更に働くべきです。
- ・住民も施設に感謝すべきである。
- ・アナウンス必要 (対市民に)。
- ・利用者が少ない施設は廃止にしたり、必要なものとそうでないものを整理して、見直した方がよいと思う。
- ・他市などでもしている図書館施設など、民間の参入もふまえて検討。大学など複合しても。
- ・今の子供達が、将来負担にならぬようにするべきだと思います。その為には、若い世代の人達を日野市に迎えらるる様に、大型商業施設、マンションを増やし、八王子と豊田の間にも駅を作り、活性化すべきだと思います。
- ・施設周辺の交通政策とも連携して整備を行うべき。(特に施設の統合・複合化を行うのであれば)
- ・名古屋市では60才以上は、バス、電車が無料で行動しやすい。日野市でもせめて駐輪場位は60才以上無料にしてはどうですか？
- ・(コ) の有料化を施設内の一部のサービスにおいてのみ設定し、より質の高いサービスを求める方へのみ料金を支払ってもらう。
- ・市の公共施設に付随する駐車場はすべて有料にすべき。民間のコインパークに委託するとよいと思う。
- ・その場に気楽に行くことが大事。(交通機関や近さ)
- ・初めに予算ありきの中では考えにくい。他の事業との総合的な視野の中で考えるべきです。
- ・東部市民会館温水プールの建て直し、民営化し、経営削減する。
- ・今後、人口減少するなら、新しい施設は要らない。現在ある建物を大切にすべき。新しくする事で、市民税が上がるなどしたら、全く利用しない人は、迷惑する。全て公平でなければいけないと思う。
- ・人口減少はあきらかなので、沢山の施設は必要ないと思います。その分、場所を近くにして、遅くまで使用できる施設なら尚更可だと思います。
- ・利用率の低い施設は統合する。空きスペースが出来た場合は、以下の施設等に利用する。子育て、福祉など近隣にないと不便なものは残す。
- ・新たに必要となりそうな機能を持つ施設、必要性が薄れつつある機能についても、議論して明確にしていく方がよい。(現状機能の維持を前提にしない方がよい)

- ・ウ、エ、キ、ケの回答について、NPO 法人設立等、非営利団体を行政サービスに参加して、市民参加形で、一方通行でない、取り組みを希望したい。
- ・利用者負担が原則と考えます！！
- ・(ケ)の意味が分からない。(ア)施設数を減らしてもいいが、地域による不公平がないよう配慮すべき。
- ・施設数の減はやむを得ないと思うが、アクセスし易い交通体系(ミニバス等)も合わせて考えて欲しい。
- ・子供が大人になって住みたい町にして欲しい。コミュニティー施設を統合し、カフェ、レストラン等設けて、魅力あるように。また、コミュニティーセンター、交流センターが多いと思います。維持費が大変。
- ・利用する人が負担すべき。
- ・複合化には、基本的には賛成ですが、適切な複合化を希望します。(あまり使用目的の違う施設を複合しても意味がないと思われますので。)
- ・老朽化した施設を改修して、20年以上持たせる事を考えて欲しい。(新しくしなくても良い)⑤方策例2を強力に推進。
- ・施設を減らして、自宅から遠くなると子供達が使用しにくい。
- ・くだらない事にお金を使わないで欲しい。施設なんてそれほど重要なものではない。
- ・例えば、図書館などは、今はやりのツタヤに運営させるとか、運動施設なども、民間に任せるとか。
- ・人口減に対応した役人の削減、準役人(パート含む)の削減により財政状況を改善する。民間であれば当然の処置をする。施設(箱物)は、新規にはつくらない。
- ・人口が減るのだから、施設の数も減らしてもいい。通いやすいように、なにか検討して欲しい。
- ・市内を走る京王線が住宅開発を行ったが、町づくりをしなかった事による市の過疎化が予想されるので、京王電鉄に対して、町づくりを強く要請する。又、市内の企業を市外に出さないようにすること。
- ・高齢化、少子化と考えると、コミュニティ施設が大切なのではと考えます。ただ、自分自身は使用したことがほとんどなく、その使用方法を知りません。身近なところにある、所をどう使えるか、教えて欲しいです。
- ・市でも、都でも、天下りが多いと聞く。一生懸命働く者を認めてやって下さい。雨や風でも見守りに来て下さり、福祉で保護者を見守ってくださる人が大事。
- ・施設は地域の中心的存在であり、様々な行事がありますが、行事項目(多すぎる)を減らしダブらないようにしたら、施設や費用が減少するのではないか。
- ・無駄を省く！
- ・地区センターの数が多いように思う。
- ・施設の統廃合は、ある程度人口減少等で必要だが、それにより利便化が損なわれるような事が無いように、施設のコンパクト化での分散等も考慮した対策も必要と思う。
- ・近隣の市民が集まるような施設、公園、お祭りを立案する。ex)小平市民祭り→毎年10月に開催、メイン通りを歩行者天国にして、近隣の市からも来場しやすいように、小中学校の校庭を駐車場として一般開放しており、協賛会社からも出資されている。民間のノウハウは市役所の想像レベルを超えたものもあるので、是非ヒアリングした方が良いでしょう。

- ・サービスの水準を下げたままでは意味が無いので、そこは人の力で経費を掛けずに出来ることを考えるべきです。民間の資金は置いておいて、ノウハウは学んだ方が良いでしょう。税金の使い方をよくよく考え直して、市民が日野は良い所だと思ってもらえるようにお願いします。緑豊かな日野を守って下さい。
- ・各種施設の近隣市民へのサービス提供による事業化及び収益化、日野市民への還元
- ・まだまだ、公共施設は「ムダ」が見られると思う。
- ・例-お部屋を利用したクラスは、次の人のためにお掃除をして帰る。
- ・現在、使用・利用されていない場所、不便な所にあるものは、売却したりして、その利益を他の施設改修等に使用すれば良い。他市にあるような市内巡回バスを運営して、市民がもっと外出するのに便利にするようにすれば、市施設も利用が増えるのでは？利益に繋がるかもしれない。
- ・人口動態に合わせた施設数というのを具体的にすべき。人口〇人に対する必要な施設と施設数を適正にしていく事をすべき。
- ・人口が増加するような魅力的な公共施設（具体的には思いつきませんが…ツタヤ図書館や、公園が多くあるなど）があると良いと思います。
- ・有料化は一部実施している。もっと進めるべき。施設数が多すぎる。もっと減らすべき。また、小規模の物が多いのは、利用度低いはず。
- ・趣味などで施設を利用する場合、使用料など低料金を集めても良いのでは！
- ・施設内に魅力あるカフェ・レストラン、売店などを作り、収益を得る（施設を利用しない人も気軽に入れる）。日野産野菜を使う。高校生と高齢者の雇用。
- ・施設の有料化は検討した方が良いでしょう。市民だから無料（全て）というのではなく、低料金で利用できるのであれば、経費負担に繋がるのでは。市民全員が利用できているわけではないので、公平化という意味でも。例外を作っても良いでしょう。生活保護世帯は除外、子育て世代（赤ちゃん）は除外、とか、月に何回まで無料とか。幅を利かせて有料化は有りなのでは。
- ・少子高齢化が進むのであれば、学校施設は空いてくるのでは？その建物、スペースを有効活用して頂きたい。目玉となって他市民が来るような施設があると良い。
- ・維持管理法、特に技術を市民が自然に参画出来るよう、本職の指導のもと講習制度を確立し、サポーターを増やし、ボランティアする事によって喜びに繋がるような事案を実現する。高齢化社会においても働ける人間は（ボランティア）沢山いると思う。ただ、導く手段を行っていないだけだと思う。
- ・出来るだけ今ある施設をリフォームで存続を。
- ・思い当たらないです。
- ・「よくわからない」という選択肢が無いので、上記のように記してしまいましたが、自分は利用しないのでハッキリとした考えではありません。
- ・財力が無いのであれば、優先順位により、苦境施設の削減はやむを得ない。市民生活の質の維持の為には、市の再編、合併も要する。
- ・公設民営が良い。人材採用も含めてアウトソーシングする。サービスレベルも上がり、市の人件費も抑制できる。
- ・有料化は推進すべきと考えるが、施設の規模を考案、小さな物件は無料化を継続で。
- ・無料の施設は無くして欲しい。利用者が適正な使用料を支払い、一番の問題は冷暖房など空調機の使

用料を自動販売機のようなものを付けたらどうでしょうか（ルームになっている場所）。

・日野市内だけで考えず、私だったら全国 or 関東の市町村の状況や今後の取り組みをとことん調査し、良い部分や日野市として取り組めそうな点を考案したいです。調査費用の算出まではすみませんが、考える事が出来ませんでした。

・施設の稼働率は職員の勤務状況を確認し、削減できる施設・人は削減する。

・他市より少ない施設を減らさず、市税の使い方を再検討し、充実した施設を、身近に通える施設を作って欲しい。

・市によって必要な施設は違う。極端に複合化を進めるのではなく、現状をしっかりと見て考えて欲しい。日野市の保育施設の少なさは異常。利用状況をしっかり把握して、日野市民の必要な施設に力を使う事が当たり前。

・施設数を減らす事には十分な調査が必要だと思います。その施設がその地区によってどの程度の重要性を持っているのか確認が必要だと思います。

・今ある施設が使えるなら、リフォームなど（修理など）で使用するべき。少ない金額でも使用時にお金を集めても良いと思います。

・成人向けの施設より若者、幼児の施設を増やしたり充実する事を希望する。

・図書館など人は多いが、開館時間が短い。民間のノウハウを利用して、長く、少人数化。そのための集約化。他自治体と共同をもっと積極的に行う。

・民間の会社経営のセンスをもっと導入する。

・受益者負担の原則が妥当である。

・公共施設の維持管理は、使用してもしなくても、莫大な費用が掛かるので効率の良いものを考えるべき。

・地区センターは自治会で使用することがあり、地域にある方がいい。夜の会合が多い為。

・施設をまとめるのであれば、駐車場（有料でOK）やバス等、行きやすい様にして欲しい。

・市民ではなく利用者が負担する。

・何でも税金を投入するのではなく、受益者負担（使う人がより多く負担する）を原則とする。自助、共助を中心とし公助がそれを支える形にする。

・施設の統合は維持等を考慮して進めるべきだと思う。ただ高齢者が集える場所のような施設は点在してあると良いなあ。やはり公共の施設が最も利用しやすいと思うし、交流の場の提供は欠かして欲しくないです。

・質問が大雑把。

・地区センターについて、複合化により老人には遠くなり、利用する機会をなくす。特に選挙の会場として使われている所がなくなること。

・高齢化により、足の便が悪いのでそこを考慮して施設の活用を考えて欲しい！

・施設それぞれに問題点があるが、職員がその実態をつかむことなく解決しようとする熱意が全く見られない。職員の再教育を徹底すべきである。施設（公民館、分室）を予約してあるのに、その室の鍵を借用するのに ID 番号の申告は必要ない。そんな番号を云う云わないが実質なんの問題があるんだ。予約したのだからサークル名を告げるだけで充分だ。ドロボーしに行っているのではないぞ！

・公共施設のみならず、作業の効率化をし、人員削減することにより経費も減ります。改善の余地は沢

山あるのでは？民間委託。

- ・施設数を減らす事に対するフォローが必要。巡回バスルートに入れる等、住民の不満が出ない様にする。
- ・市立病院をもっと充実させて欲しい。
- ・広い土地（工場移転跡地など）を利用して、商業施設（イオンモール）を市で経営して、災害時などの避難場所や福祉施設なども取り入れ一大拠点を作る。
- ・（コ）は利用者の負担。
- ・子供たちは、施設数を減らすと利用出来る件数が少なくなります。出来るだけ子供の学習や運動がしやすい地域になるように、施設建設・運営を考えて欲しい。
- ・地区センターの集約（高齢者も10分～15分程度は歩く）又は、コミュニティバスの運転本数を少し増やし移動しやすくして「数が多すぎる」センターは縮小へ。
- ・図書館、公民館は多くの人が使うべき所。問題なのは何もしないで、ただいる受付、管理人→減らすべき

問9：地域の公共施設を再配置する際の配置の基準や範囲について、次の中からあなたが優先した方が良いと思う項目を三つ以内でお選びください。

(人口密度や、地域人口の予測／地域の地理(幹線道路や川等)／自治会の区域／同種の施設間の距離／小学校の通学区域／中学校の通学区域／町の境(街区)／最寄駅を中心とした範囲／特にない／その他)

「その他」を選択された方のコメント

- ・北口、南口、両方への配置が欲しい。
- ・高齢になり車を運転できなくなると、公共交通機関を利用するしかなくなる。駅の中に公共施設を入れて欲しい。また、京王線永山駅のように民間のカルチャーセンターが入っていると、日野市で運営する社会教育は必要なくなる。
- ・駐車場の利便性
- ・駐車場が確保できる場所
- ・電車バスが使いやすい場所。駐車場確保できる場所。
- ・今ある施設を有効に。
- ・徒歩、バス、電車等で行ける範囲。
- ・あまり歩けない方の為に、移動コミュニティーバス等。
- ・地区は高齢者
- ・公共施設といってもあまりにも多くあるので、もう少し具体的に。施設によって優先方法も違うと思います。
- ・手続きを伴う施設は一カ所にまとめるべき。職員同士のコミュニケーションが取れる必要がある。手続き上、たらい回しはごめん。
- ・バスの利用できる所。
- ・子供が遊べる公園、施設。
- ・利用度が高い予測。経費負担のバランス。
- ・小中高の生徒によるボランティアを全校で実施して欲しい。向こう30年程。防災も含めて。
- ・何の公共施設かによって違うのでは？質問が分かりにくい。
- ・日野、豊田、高幡不動の三極体制、他市町村と比べれば簡単な話でしょ。
- ・交通の便を検討。
- ・利用したことがないので
- ・施設の周辺環境。
- ・民間との連携プランニング。
- ・分かりやすい所、場所。
- ・例えば、地区センターがあまりにも多過ぎる。
- ・森や林を切らずに済む所
- ・利便性が良くなるような巡回バスを作って欲しい。利用者が増えると思います。
- ・仕様の必要性に応じた距離
- ・施設が密接していても人口密度が高ければ○。変なルールを作らずに適切に変化をして欲しい。
- ・足の便の良い所

- ・お年寄りの方も利用しやすい所
- ・車、自転車、バイク等の駐車場の配置
- ・駐車場を確保しやすい地域
- ・必要最低限で良いと思われる。小中学校は必要。保育園は民間で良い。スポーツセンター施設は統合。社会施設も統合。学童は少子化の学校の空き教室を利用すべき。

【第2部】

「全体的にご意見がございましたら、自由にお書きください。」に記載のコメント

- ・ 税収が減るといのはよく分かりますが、一社会人として増やすという選択肢が無いというのが、大変驚きです。無いから減らすではなく無いならどうにかして集めるという案は出ないのでしょうか？言い訳をするアンケートほど無駄なものはありません。
- ・ 市役所以外は近隣市の施設を利用させてもらっているので、日野市が運営している施設を使う必要性を全く感じない。
- ・ 建替えや改修の際、災害などの際の安全性も考慮して欲しいです。
- ・ 世代交流の出来る様な施設が出来るといいと思います。小学校に併設されていない学童があるので、歩道や自転車道路の整備を希望します。ふれあいホールに行く駅（JR日野駅）からの道は歩道のない場所が多く、歩行者が広がって歩いている事もあり危険です。施設を作るだけでなく、周辺的环境も配慮して欲しいです。
- ・ 小中学校の距離がある為、通学路の車や不審者等に不安。体育館やテニスコート等、個人で使える所が少なく、スポーツを楽しむたくても出来ない。
- ・ 現在、グランドゴルフをしています。浅川スポーツ公園の利用方法について、現状は2時間 4000円となっていますが、グランドゴルフの場合、グランド全面を使う場合は練習できないので、グランドを1/2ずつにして利用出来る方が倍利用出来る様にしてもらいたい。利用料を2000円にすれば抽選で外れることもなくなり利用者が増加すると思う。
- ・ コストカットをするのはもちろん重要だと思うが、母子家庭や高齢者等、施設を利用する事が重要な人々の意見をくみ取る必要が高いと思います。お疲れ様です！！
- ・ 隣接市の図書館の本を借りられる様、協定を結んで欲しい。憲法を精神を市政に活かして欲しい。
- ・ 土地や建物は、必要に応じて積極的に処分して施設等のスリム化を図り、伴って職員の数に関しても必要最小限にとどめて経費の削減を実践しないと、市の財政はいつかは厳しくなる。住民より先にまずは日野市そのものが身を切ったの改革を目指さなければ、市民の同意や応援は得られないと思います。
- ・ 映画の上映を、市民会館で時々出来る様にして頂きたい。
- ・ 質問が少しわかりづらかったです。
- ・ 緑が多い地域の特性を活かした街づくりを期待します。
- ・ 設問が複雑です。回答者が少なくなる気がします。方向性がまだ抽象的です。もっと具体的なビジョンが欲しいです。将来に備えた経費圧縮を今から考える姿勢は素晴らしいと思います。どうぞよろしくお願ひします。
- ・ 川が真ん中であって、損をしていると思う。きれいな所とは皆行きたがると思うので改善し、一つの所でいろいろな用事が済む方がいいと思います。
- ・ 分かりづらいアンケートですね。回答欄がどこにあるか一見して分かりにくいです。説明をたくさんつけてくれていますが、そこを読む時間が取れない人は多いのではないのでしょうか。細かい所ですが、問8、問9で急に「DEP」と言われても混乱しますし、そもそも凡例はもっと目立たせる方が良いのでは。チェック体制が十分ではないと思います。
- ・ 施設の量を減らして経費を縮小する方向に向かえば、自ずと運営費も減少するはず。又、スリム化することによって、かえって運営上の質の向上を図る事が出来ると思います。

・月に何度も図書館（百草・高幡）を利用していますが、どちらも老朽化が進み不安です。床のきしみ、飲み水場が撤去、不便を感じます。しかし、どちらも駅に近く便利です。高幡は駐車場がなくとも（好意的？）七生公会堂に断っておかせて頂いています。公共施設は安全、地のり、駐車場等考えて頂きたいです。なくさないで下さい。

・旧高幡台小、現教育センターなどのあまり利用されていない施設などの稼働率を上げる工夫をして頂きたい。

・色々な施設の利用や紹介など、もっと分かりやすく最新の情報を検索できる様なHPなどを充実させて欲しい。日野市は市内の移動が不便な感じがします。もっと交通の便をよくするか、交通の便が良い所に施設を。

・小学校で行われているひのっちや図書館の充実している所など、日野市に住んでいて良かったと思う施設やサービスがたくさんあります。人口減にともない場所が少なくなるのは、仕方のないことだと思いますが、サービスは維持して欲しいと願います。

・マンションはもういらないので、寂しいとは思いますが、企業誘致して頂き、地域の活性化をして頂きたい。そのためにはアクセス向上、特に南平駅周辺は、そのポテンシャルを生かしきれてないので、豊田方面に橋をかけていただくか、駅を一番橋近くに移転して頂き、京王線と中央線を近い物にして頂きたい。今の駅の場所は不便で暗い。土地使用料がかからないのかもしれないけれど、橋を架けてロータリーを作り、アクセスを良く出来ないのなら、南平駅を一番橋の所へ移して欲しい。高幡ー南平は距離も長く、バスも出ていないので…。

・小・中学校は今のままで良いと思います。市の施設は有料化し、代金をプールして次の建替えの時に利用して欲しいと思います。それから個人的な事ですが、本庁舎のトイレを洋式にして、手を洗う水は自動で出る様にして欲しいです。

・地区、交流センターが多すぎる。

・小・中学校のトイレの改修とひの社会教育センターの建替えは早急に行って欲しいです。

・駅や施設の近くに駐車場と駐輪場（無料）を作して下さい。

・効率的な運営をお願いします。

・テレビで良く言われている少子高齢化、分かっているけど、公共施設改めて読んで、考えて難しいと思いました。問1の所で1. 2. 3考えさせられました。自分の周りわかんないで来ています。

・公共利用出来る駐輪場が有料化となり、駅までの交通がとても不便になった！！（高幡不動駅）京王ストア前の駐輪も許さないのであれば、有料化は全くもって住民に不便なダメージがある。府中市の駐輪の仕方（ちょこっと駐輪？）を学んで欲しい。もっと、住民の意見を聞いて欲しい。

・南平体育館が老朽化が進んでいますが、建替えの予定はあるのでしょうか？自身があまり公共設備を利用しない為、複雑な選択もありましたが、家庭を持ち子供が出来た時と考えながら記入させて頂きました。

・今後共、宜しくお願いします。スポーツの活発な地域として、成長して欲しいです。2020年オリンピックに向けて。

・地区センター利用の中で個人の収入になる様な活動があるが、これは地区センター利用活動の主旨に反しているのでは？

・公共施設は良く利用させて頂いております。（月5回）有料になりました事は、維持していく上で当然

と思います。又、学校の空教室なども使えたら便利と思います。

- ・旧高幡台小、旧平山台小で毎週ソフトボールを楽しんでいます。整地や草刈りなど行いますが、（公共施設の中でも）教育委員会のPH管だと融通が効かない点が見受けられます。施設の整備は一つの部署に一元化し、専門的な視点でメンテナンスしていく方が良いのではないのでしょうか。

- ・返信用封筒が小さいなら回答用紙を別途つけて下さい。

- ・日野市立中央図書館は非常に図書館らしい雰囲気があり、観光資源になりうる魅力を持ち合わせています。改修することによって長期の保存をして下さい。崖下の湧水地も同時に雰囲気を持つので残して下さい。図書館の開館時間を長くして下さい。夜に借りに行けなくて困っています。その代りに蔵書貸し出しの機械化を行って下さい。図書館運営は最近話題のツタヤ等にするのは絶対反対です。豊田駅の駐輪場が場所によっては4年以上利用待ちなのは異常です。早期に改善して下さい。人口減るのは当たり前です。不便すぎます。・新選組は人気が高い割に宣伝が足りないのかどうかあまり観光資源として目立っていない気がします。もったいない気がします。豊田駅は開き直って昭和モダンな街として開発するのはダメでしょうか？八王子・立川と差別化出来る気がします。

- ・支所、出張所のサービス内容が不自由過ぎる。市役所の場所が不便である以上、よりサービス（高齢課、福祉課等）の出先機関を増やすべきである。他の自治体でもあるように廃校となった学校等の再利用も検討すべきである。

- ・保育施設をもっと増やして欲しい。極力、希望する保育園に入園させて欲しい。

- ・新しい家が増えている為、税の収入が増えると思っていたが、実はそうではなかった事が分かった。子育て世代が増えてくるので、子育て支援施設を充実させて欲しい。そして動ける高齢者の協力を得て施設運営を充実させて欲しい。高齢福祉施設と子育て支援施設の共同運営。

- ・小学校、中学校の施設の充実を図り、公共施設として利用が望ましい。小学校等のトイレ環境がひどすぎる。優先事項は子供の施設の充実を考える。

- ・私事で恐縮ですが、町会活動に積極的に参加したいが、地域の活動実態が全くない現状であり、市の積極的な関与を期待します。

- ・利用の優先順位、利用料について 自治会・防災関連など公共性のあるものを主体とし、趣味・遊びは当然有料にするべきです。全市民がもれなく利用するわけではないので、利用者負担（受益者負担）を認識したいです。

- ・全ての施設や役所等々が、住民が関心を持って足を向ける事の出来る運営がなされることを望みます。

- ・こういったアンケートには、お礼等ないと、回答率が低くなると思います。封筒に入れるのに折りづらいです。

- ・子供が小さい時に児童館を何カ所も歩きまわりました。きっと、住民が足で見つけた方が良いと思います。（若い時は…）私には時間があったからですねー。年配になると、行くのも大変なので、出来れば近くにあると便利です。バスの時刻も増やしてもらえると…。万願寺まで足を延ばしづらいです。小さい子と年配との交流の場は、これから大切になると思います。

- ・学校や幼稚園、保育園等と協力しながら、施設の告知をし、まずは広く知ってもらうべきです。

- ・日野市に貢献出来たら嬉しいです。

- ・それ程、人口減少、少子になるのだから、空き教室やコミュニティ施設を利用したらどうですか？税金を使う事ばかり考えるな！

- ・南平駅北口やふれあい橋南の駐輪場は、この頃有料化されただけでなく、継続（月極め）利用専用になっていて、9月20日やむを得ず付近の路傍駐輪したら2〜3時間後盗まれてしまった。一時利用者の存在を無視した扱いに怒っている。
- ・公共施設と一括に考えないで、その中で住人に対して重要な意見を持つ者には、配慮を欠かすべきではない。
- ・「子育てしやすい市」を売りに出来る様に、子育て支援を充実して欲しい。長い目で見れば、それが将来の日野市のためだと思います。
- ・地域、自宅から足の便の良い所。高齢者が徒歩圏で行ける範囲で、気軽に利用できる場所を希望します。
- ・年寄りには難しく、メチャクチャでごめんなさい。
- ・足腰弱ってきた老人が公共施設へ出向くのが大変です。近隣にコンビニもなし。
- ・市の財源が苦しいなら、民間を参入させるべき。また、税金を納めてもらえるよう、ワーキングマザーを増やすのが最善策。老人施設や市民の生活向上よりも、保育園や学童保育を充実させる事が財源確保の最短距離だと思う。
- ・5年毎（又は10年）のイメージ像を明らかに。数年毎にフォローアップして実行する事が肝要と思われる。
- ・公共施設の地域毎に分散している物を積極的に統廃合する。施設利用者には受益者負担に基づき、適正な料金体系を。
- ・3年ほど前は、行政施設、福祉施設、社会教育施設等良く利用しておりましたが、現在、家族共々重い病気で治療しており、なかなか足を運ぶことが難しい状態です。もう少し元気になれば、利用再開したいと思います。その場合、家から近い事が一番有り難いです。
- ・将来、だんだんと厳しくなりますので、積極的にスリム化に頑張ってください。
- ・公共施設が駅から遠い所が多いので、あまり活用しにくい。市役所・郵便局もバラバラで、バスで移動せざるを得ず、もう少し駅近に有るとよろしいです。
- ・自治会の区域が狭い為、高齢化が進む区域には役員のなり手がいない。地域活性化の為にも区域を広げていいのでは？地域センターの数を減らす事もできるのでは？
- ・他の市に比べ、活気がない！コミュニティの場が少ないせいだと思う。何かにつけて先細りの日野市に不安を感じます。こんなアンケートを今更行うなんて、今まで何の実績を作ってきたのか不満を覚えます。年金が減り物価が上がり、これ以上住みにくい市にしないで！充実を望む。民間企業の協力を！
- ・箱物の建設はしない。市役所職員の減少。市会議員の減少（現在の半分）。廃校になった校舎等早く処分すべきだ。広報等我家には毎回二部届く。配布方法等考えるべきだ。
- ・全体的に見辛い。
- ・図書館は幅広い世代が気軽に利用出来る施設なので、改修や建て替えをしながら、規模や数をそのままにして欲しい。
- ・豊田駅前の開発に力を入れて欲しい（南口）。日野バイパス工事にあって、歩道・横断歩道を充実させて安全にして欲しい。豊田小学校付近の歩道を広くして、川沿いにガードレールを作って欲しい。
- ・地区センターは使用が少ない所はいずれ建替えない等、減らせる所は減らした方がいいのでは。ランダム 3000 人にだけアンケートして意味のある事なのではないでしょうか？このアンケートそのものムダだと思います。

います…。

・私どもの暮らしに大事な頃ばかりで、対応が大変な事が良く分かりました。解決の一端として利用者の応分の負担は仕方ないと思います。

・財政状況の悪化がそのままサービス水準の低下にならない様に、工夫して頂きたいと思います。

・アンケート自体が見にくい。三つ折りで返送？「面積」だけにこだわっているが、全く理解できない。「用途」や「地域」の特性を考え、必要な施設を作るので考え方が逆では？「魅力」のない「市」になりそうです。

・今の市、都、国は子供やお年寄にばかり手厚く、子供がいない（子供ができない）夫婦には何のメリットもなにも良い事がない。ただのたくさんの税金を支払う人でしかありません。お年寄には優しくしたいですが、子供がいるいないの差で家計に大きな差がある事を誰も何も感じてくれない事に不満です。共働き夫婦にも何か優しい事があると良いです。

・公務員の数を減らして下さい。

・認知症がひどく、本人に代わり記載いたしました。本人の意思も確認困難な状況です。無回答の所がありますが、申し訳ありません。（代）長男の嫁

・安心・安全、住みやすい日野市。「人」が日野市に集まるような市になることを願っています。

・考えをまとめるよいキッカケになりました。ありがとうございます。

・全ての施設で一番望みたい事はトイレの清潔さをお願いしたいです。

・問1～5は方向性が良いとか悪いとか当たり前。子どもが遊べる芝生のグラウンドがあったら良い。会社や大学などと協力して（税を軽減するとか）、施設を借りたりできれば良い。

・日野市だけの問題ではなく、日本全体の問題です。民間の知恵や他の自治体とも協力しながら進めて下さい。

・サークルなどが利用しているが、どこまでが営利目的か基準が不明。明らかに営業活動を行なっているサークルも当たり前のように利用している。いつも矛盾を感じてきた。企業公社の管轄もあったり、運営母体がどうなっているか、さっぱり不明。

・便利の良い所に図書館を設置して欲しい。例えば、駅ナカとか！

・無駄使いを無くし、若い世代の負担を減らす。

・インフラの充実を優先し、福祉施設は後まわしで考える。

・南平には公共施設が少ないと思う。南平体育館もふれあいホールのように、いろいろなプログラムを取り入れて欲しい。こういったアンケートもネットも活用して欲しい。

・個々の施設の活用の仕方・転用の仕方などを市民からアイデアを募集しては如何でしょうか。

・日野市は周辺自治体に比べ道路が悪すぎる。特に車道はひどい。よく水たまりができていて、歩行者に水を跳ね上げる。表でもわかる通り、コミュニティ施設が多すぎる。半分位でも十分と思料する。本アンケートの厚さと返信用封筒の大きさが合っていない。考えた結果なのか？疑問である。

・ゴミ袋が高く生活しづらい。ゴミ袋を安くして欲しい。消費欲にストレスなく生活したい。出るゴミは出るのでゴミ0運動というのはよくわからない。ただ不便である。

・将来はコミュニティバスのきめ細かい配置と運用を願いたい。

・問2～問6の必要性がわからない。抽象的すぎる。また、問7から具体的な問いがあるので不要ではないか。紙の無駄。財政が厳しいのであれば、当然実施すべき。設問も多い。

- ・保育園を分散して配置して欲しい。西友の辺りに集中し過ぎです。
- ・今、まだ独身なのであまり市の公共施設を利用していませんので、深く考えていませんでした。
- ・アンケートとは異なりますが、市民会館の別称を『煉瓦ホール』と呼ばれていますが、イメージが違い、悲しい思いをしているのは私だけではありません。
- ・説明がとても分かりにくい。これは意味がないのでは？税金でやっているのだから、もっと真面目に仕事をしてください。
- ・日野市内に不動産を購入して居住してきても、働けなくなれば他の地域に老人ホームを探して、移動せざるを得ない現状がある。人口減少傾向を考慮するならば、公営の老人ホームと市民病院の建設を早急に着手すべきではなかろうかと思慮致します。
- ・目で見える形で役所のスリム化をして固定費を抑える。民間に出来る事はなるべく移行する。行政の裁量を抑える。
- ・アンケートであり、広くから市民の意見を求めているので、個人が想定されるので回答しません。
- ・保育園を増やして欲しい。働きたくても働けられないお母さんや3歳になっても4歳になっても保育園に入れない子どものために児童の教育に力を入れて欲しい。
- ・教育や育児に関する施設は改善・維持し、他の施設は特に維持費や運営費がかかる施設は積極的に縮小・廃止すべき。
- ・日野市に転居して4年になるが、感じることは日野市にどのような公共施設があるのかわからず、また市も広報活動が積極的ではないと感じる。もう少し、施設の存在や使い方についての広報活動を行なって頂きたい。
- ・何事も事後報告なので、市が主催する内容に興味がない。
- ・都民の一人として、都内行政サービスがなるべく公平に行なわれるよう、願っています。
- ・整備された公園が少ない。グラウンドがあつて野球をやっている、子どもを連れて遊ばせるところがなく、立川の昭和記念公園まで行って立川で食事をしてきます。できたら近場で過ごしたい。印象の良い街は『整備された緑の公園』があるところが多い気がします。一等地でもったいないかもしれませんが、駅前などに公園を作ったら印象も違うと思う。そうしたら人口も増えるかも。市の顔でもある日野駅。豊田駅をなんとかして欲しい。市外から来る友人皆が「昭和のままだ」とびっくりしています。
- ・身の丈にあつた行政をお願いしたい。公共施設といえども採算性を考慮し、効率的な運営を行なって欲しい。子や孫の世代に負担をかけてまで、高齢者のための施設は必要ない。
- ・P18 日野第2小→豊田小に。地域交流センターの紹介を広報などでして欲しい。公共施設の多いのに驚きました。敬老の日の行事？
- ・公共施設に対して日頃考える機会がなかったので、良い勉強になりました。子育て世代ですが、自分は今何を必要としているのか？が分かりました。日野市に引っ越ししてきて5年になりますが、改めて日野市にはどんな施設があるのかもわかりました。自分の住んでいる市について考えることができ、ありがとうございました。
- ・こんな経費の掛かるアンケート用紙を作らなくても、もっと節約すれば？このアンケートの真意は、市民の洗脳も兼ねているように思えます。市の望む方向に持って行きたいのですね。
- ・本人が利用していなくても、必要だと考える公共施設はあると思うので、「必要な施設の種類」を問う質問があつても良かったかと思う。

- ・緑をもっと大切にしたい。道路ばかりありません。住宅地内の広々とした公園（遊具より自然が多く）や広場があると心にゆとりが出来ると思う。
- ・同じ質問を何回も聞いて、意味があるのかと思った。
- ・経費の節減には賛成ですが、学校の統合は生徒の通学の安全または利便性について考慮してほしい。
- ・公共施設で管理・運営に費用がかかるのはよくわかりますが、市民の意見をいろいろとくみ取って頂けたらと思います。高齢化が進み、いろいろな年代の使用用途の施設が必要となると思います。高齢者でお元気な方に協力して頂いて、民間運営のマニュアル作りなどをして委託運営もありではないかとも思います。いずれ、子どもも老人も集えるいこいの場になる様な場があるととてもいいのではないかと思います。
- ・楽器の練習ができるようなスタジオ等をもう少し増設してほしい。（特に駅の近くなど）
- ・あまり公共施設は利用した事がないのですが、市民会館でのコンサートは楽しみにしています。
- ・学童が終わった後の4年～中学生が安心して夕方（親の帰り）まで過ごせる公共の場があればと思います。建て替えられる社共センターなど、いろいろ活用できればと思います。
- ・施設の稼働率、20～30年後の年齢人口等考慮していただき、効率的な使用・建て替え・民間施策の利用等お願いします。魅力的な公共施設がある事により、日野市の人口が増えるといいですね。
- ・現代社会の特徴として、自治会に加入しない方（家）が多く、災害等が発生した場合にどうなのか。行政機関にかかわる比重が多くなる事が心配です。地域の連携を大切にしたい。
- ・利用者が相応の負担をするべきと思う。（現在、地区センターや図書館をよく利用しているが、無料は嬉しいが一定の利用者負担は必要。特に財政が厳しい状況では。）それで利用されない施設は不要という事。
- ・アンケート式のこの方法。とても良いアイデアだと思います。もっと多くの人にアンケートをとったら良いと思います。昔、八王子市や国立に住んでいましたがこの様な市としてのアンケートはほとんどありませんでした。
- ・がんばって下さい。
- ・市役所の机やイスの老朽化が進んでおり、ガムテープをはったりしてイスを使っているのにびっくりして頭が下がります。机の（市役所で働いている方）スペースも民間に比べてすごく狭いですよね。お仕事、ありがとうございます。日野の発展を祈っています。
- ・少子高齢化の進行を踏まえ、今こうした市の将来の施策について直接市民にアンケートを取る事はとても重要で良い事だと思う。どこの自治体でも公共施設の再編・縮小化は避けられない課題であり、このアンケートにある日野市の考え方は正しい方向だと思います。具体的には介護施設や子育て施策関連の公共施設に注力すべきだと思います。あと新撰組とかはもうやらなくていいのではないかと思います。
- ・現在の日野市のBS・PLをまずは認識する。人口ビジョン他、市の課題点をまとめる。30～50年後の人口分布図、労働者分布から税収の収支を予測する。市の生きる事業収入は何かを考える。「PLAN HINO21」（人の流れも含む）
- ・幼稚園から大学まで私学に通った為、公共施設を利用する機会が全く無いままです。市民税は多く納付していますが、自分の為になっていないと感じる。一部の人の為の施設にお金を使うより公平な運用を行うべき。
- ・体操で月2回七生福祉センターを利用しているのですが、センターをもう少し取りやすくしてほしい。

- ・使用していない又は使用頻度が少ない施設は無くすべきだと思う。高齢化が進んでいる中でも、子育てしながら労働できる場所、保育できる場所は増やして欲しいと思う。
- ・カラー印刷、紙 etc も変えたらいかがですか？コストかかっていますよね・・・。
- ・施設を効率的に集約すること、利用しやすくきれいで設備が整っていることを希望します。多くある施設の利用度をチェックし、数を少なくした方が良いと思います。
- ・新しい設備や施設を作るのではなく既存の設備の活用や個々の考えで作るので、様々な世代が集える施設で何時も人の声が絶えない場所を提供できる事が市役所だと思います。
- ・少子化抑止のため、子育て支援施設を充実させた方が良い。
- ・人口や財政状況を考慮し、公共施設のスリム化又は廃止はやむを得ないと思いますが、特に子どもに関する施設（保育所、児童館、学童、小・中学校等）については統合や面積の縮小は危険であり、賛成できません。通学距離が長くなる事も反対です。
- ・統廃合の検討にあたっては、それぞれの施設の利用状況（利用者数だけではなく、どこから来ている人が多いのか、目的に沿った代替施設はあるのか、等）の分析も必要だと思います。
- ・公共施設の事は日赤6分団に入って団長さん亡くなられて、私は分団長だったので、役はやめました。まだ入団して社費（年1回）分納めています。公共の場は他には行かないのでいません。ビルの隣の事ですが、数個空店舗になっているので走道に落葉がたまるので掃除して気付いたのですが、店の角に穴があいているのです。もしかしてシロアリがいるのかな？不安になります。
- ・贅沢を言ったらきりがありません。何事も程々に。高度成長時代は終わりました。
- ・要するに節約してなるべく少し皆様が負担の少ない様によりしくお願いします。
- ・テニスコートなどの特定の趣味を持つ人のみが利用する施設は利用料金などのみで維持できないのであれば、不公平なので無くすべき。
- ・少子高齢化になっていますが、子どもがいる世帯や産まれる世帯の方々が日野市に住みたいと思えるような町づくりにして欲しいと、今感じています。宜しくお願いします。
- ・③の間に対し④、⑤、⑥の関連性、わかりづらいです。例えば、④は、"3つの方向性にある「公共施設の面積…」"→変更例："③の間の方向性1にある「公共施設の…」" 日野市の商業施設の充実に期待します。頑張ってください。
- ・日野市が好きな街です。自然を壊さないで緑の多い街作りの企画よろしく。
- ・多摩平公団アパート跡で体育館（トレーニングジム）を建てて欲しい。日野市内は汚くて狭いとびっくりしました。エスフォルタアリーナ八王子（八王子狭間町）の様に要望いたします。
- ・今後、結婚等があれば、意見が変わりそう。
- ・南平の体育館（トイレ等）を改修し、スポーツを楽しみたいので、検討してください。
- ・態度の悪い仕事をしない、できない市の職員は経費の一度の無駄。
- ・野球場が少ない。ぜひ建設して欲しい。ドームみたいなコンサートができる様な施設を造り、収入を得たら良い。
- ・生産年齢人口減もあるが、以前あった東芝、日野自動車等、大会社が無くなっている。コニカミノルタ、富士電機も縮小方向。より効率的な税金の使い方が必須。
- ・息子が小中学生の頃、南平体育館で卓球を習っていました。その頃老朽化が進んでいたもので、何とか設備を新しくして欲しかったのですが、甲州街道の方に新しい施設が建設されてがっかりでした。この

施設は利用率が高いのでしょうか？

- ・方策例が多数あるのに、選ぶのがひとつというのは変だと思いますが如何でしょう？
- ・問の内容が中途半端。意図的な内容で「物」と「施設運用」の縮小、廃止を前提とした内容と受け取れる。
- ・公共施設は利用していないので、建替えせずにできるだけ減らして欲しいです。
- ・利用者が費用を負担するのは良いと思うが、これから高齢化するとその費用がネックになり、市民活動がスムーズにいかない事も考えられる。現にふれあい館の急な有料化により、活動を少なくしている団体もある。高齢化の中、市民同士の繋がりは大切だと思うので、利用料については市民の意見も聞く必要があるのでは。
- ・今の市長、または役員さんたちは多摩平の方にしか目が向いていません。もう少し大きな目で日野市を見てください。これからみんな高齢者になります。年を取ってからあまり公共施設を利用する時間ありません。それなら、救急車で行っても断らない病院を第一に考えてください。日野で断られ、みんな立川の病院に行っているのを市長は知っていますか？
- ・施設配置における大規模地区中核施設の適正配置と、小規模多用途施設の分散配置。(身近な配置)非常時への備えも兼ねて、施設ネットワーク化。
- ・各施設の利用度の向上。特に個人利用を促す、スペースやイベント作り、人のネットワーク化。
- ・愛好団体からNPO、民間企業まで、民間活力の十全な活用を進める。利用、人のネットワーク化。
- ・公園も含めた施設の住民自主管理方式工夫。それを育てる事。
- ・現行ある公共施設を延命し、建築はダウンサイジング、多機能を考える。節約する方法は必ずあるはず。努力を惜しんではいけない。
- ・税金が増える方向は困る。
- ・若い世代の人達が利用しやすい環境、状況、条件を整えていくことが市を活性化の上で必要だと思います。お年寄りだけではなかなか明るい町にはなりません。
- ・交流センター、地区センターの数に驚きました。今まで利用した事が無く、用途も目的も分かりません。残す公共施設については市民に広く、その用途、目的、利用方法を周知し、有効活用出来るようにすることも大事だと思います。
- ・高齢化に伴い、健康増進施設の充実に期待致します。(市民の森ふれあいホールにフィットネスができなかったのが残念です。)
- ・高齢者の行動範囲は狭くなっていく為、小規模範囲で利用できる、自治会区域ごとに利用可能な施設が配置されていると望ましいと思います。
- ・市職員の質の向上。人間性等、一般の会社に出向して勉強して来てもらいたいような方が多々見られます。頑張ってください。
- ・少し難しいアンケートでしたが、市政に参加できる良い機会になりました。
- ・公共の駐輪場について。駅周辺の駐輪場が有料になりましたが、不満を感じています。料金を払って駐輪場にきちんと停めていても、整備をしている人達の扱いや車輪を入れるレール等、現代の自転車の型と合っていないため、あちこち壊れてしまい困っています。(非常に雑に扱われている)料金も駅からの距離に関わらず同じというところも、どうなのでしょう？
- ・頭脳的な施設の運営と配置に期待したい。アイデアを振り絞って、古い施設を生かして魅力を作って

下さい。

・程久保 3 丁目は高齢者秘境です。高齢化が進む中、最後の二店が閉店してしまいました。かわせみ号は土日祭の運行が無く、動物園があるためタクシーも来てくれません。バスはありません。シルバーウィーク 5 日、食べるものが無くなり、病院（夫入院中）にも行けませんでした。高齢者の足の確保に取り組むことが急務です。

・頑張ってください。

・多摩平図書館の本棚の管理がメチャクチャ。中央図書館が便利。

・小中学校の統廃合、建替えて複合化。(cf.小学校+学童+保育園+子育て広場+図書館) コミュニティ施設の統廃合。今の 1/3~1/4。保育園、幼稚園の民営化。

・公園をつぶして集会所を造ったので、子供の遊び場が無くなっている。すぐ近くに市の施設があるのに、三味線同好会の為に必要か? とにかく老人の為に施設はいらない。子供の為に今後は考えるべきだと思う。それが少子高齢化対策!

・箱物 (施設 etc.) は色々と経費が掛かります。身の丈に合った経済と言います。サービスの提供もそれに従っていくので良いと思います。自然に恵まれ、住むのには良い環境の町だと思っています。市民の一人としてこれからも安全な町づくりに協力したい。昭和 35 年より在住者。

・幼稚園、保育園は駅前にも造って欲しい。(民間) 小中高大のボランティアを育てて欲しい。高、大は全員がボランティアを目指して欲しい。商店街は高、大学生を大切にしたい。食堂など値段を半額にするとか? 自転車は車道を通って欲しい。知的障害者を市役所で採用して欲しい。スポーツも良いが、もっとボランティアをさせて欲しい。

・老人の 20 年~30 年先の夢を考えました。

・施設が充実し有効に使われる状態が望ましく、それにより住環境としての価値が上がり人口が増える事を望みます。若年人口を増やすために子育ては支援されるべきで、特に保育園の充実 (学童も) は効果が大きいと思います。施設に関するアンケートですが、仲田の森の様な公園に関しても同様に充実を望みます。私は最近の転入者ですが、仲田の森とふれあいホールは非常に良いと思います。

・主旨がある程度、市の方向性に誘導されているようだし、細かい事については私はあまり知識を持っていません。税収が少なく整理統合してサービス低下や利用料の値上げなど、公共施設が使いづらくなるのは困るとしか言いようがない。

・学校や保育園、市営住宅等、どうしても必要な施設とコミュニティ施設等の様なできればあった方がいい施設とは分けて考えるべきではないでしょうか。箱物行政のハードからソフトへの頭の転換が是非必要。民間活用はそのメリット、デメリットを考慮して行うべき。民間活用がベストではない。

・子育て支援のための施設や若者の利用しやすい体育館、運動場の充実をお願いします。

・あまりにも抽象的で、このアンケートこそ税金の無駄遣いでは? もっと庶民の意見を聞いてください。このアンケートは有識者向けです。アンケートは具体的でなければ、真の意見は出ませよ。最低のアンケートです!!

・今後の日野市の方向性は理解できた。京王線に住む者にとっては、七生地区の市役所分室の役割をもっと考えて欲しい。(市役所遠い。不便。七生で完結できる手続きを多く!)

・大型地震 (災害) 等の時に使える施設も考えて整備して欲しい。

・私は今 30 代男性ですが、一度も山荘を利用していません。市はバブル時代、森田氏、馬場氏の時代は

終わっている。負になる物はもう切っていても良いのではないか。新しい風を入れて、財政を少しでも立て直して欲しい。市の職員が多いように感じられる。特に二階の職員。

- ・公共の施設は出来るだけなくす。「民」でまかなう。
- ・陸上競技場の早期全天候化を希望します。
- ・市職員の経費の削減にも力を入れて欲しいです。
- ・『日野市の公共施設はどれも古いな』と引越してきた時感じました。しかし、その後施設を利用して、職員の方がとても温かく、古さも全く気にならなくなりました。古かったり狭かったりしますが、人の温もりのある施設がある事が日野の良いところだと思います。
- ・市民の森ふれあいホールは大失敗。この金をもっと子育て支援、病院、福祉に充当すべき。温暖化対策にももっと投資をして欲しい。
- ・設備の整った施設を利用できる者はよしとして、利用できない者への取り組みが必要と思われる。自治会等の意見の吸い上げ等、市民への細かい配慮と無駄の支出を考えて欲しい。
- ・人口の減少、少子高齢化は日野市に限らず国全体の大きな問題だと思います。赤ちゃんを産みたくても出来ない、出来にくい方の為に、もっと国の補助を！
- ・③について2がよく分からない。多様な世代の人が集まる→地域の活性化、交流と言うのが、取って付けた様な物で、現実に生活する人々の日常と大きく離れていると思う。多くの人は、自身の興味や趣味のもとに集まっている。同地域だから集まるのではない。施設は施策を実現する道具の一つだと思うが、施設ありきの問いかけであり、設問も誘導的と思える。また、多くの人に関係する市立病院は施設ではないのか。
- ・公共施設に関しても民間同様に、数よりも質であると思います。質の良い施設には多くの人も集まり、市民の満足度も高まると思います。
- ・レ回答と○回答の所があり、分からなくなっていました。財政面を考えると、非常に難しいですが、猛暑の夏に冷房の効きが悪く、快適に過ごせないなど、(世間では各家庭の節電、エコの為、公共施設に集まりましょう、と言われているのに)施設に行く事が消極的にならないよう、改善を期待します。
- ・保育園を増やして欲しい。認可よりも割高で構わないので、駅の近くなどにあると良いと思う。駅の近くで0～5歳までずっと預けられるのであれば、料金は気にしないという人は周りに多い。
- ・人口減少、高齢化に伴い、若い年齢の方に負担が増す昨今、高齢者も多少の負担をして、全員で仲良く過ごしたいです。
- ・経費削減をした為に、施設が使いにくくなったり、サービスが低下する事は、日野市に住む事のメリットが薄れ、他市に移動する可能性も出てくると思う。これからは元気な高齢者が増えるので、雇用と生き甲斐の場として公共施設で働いて頂き、地域の人達ともコミュニケーションを取り、孤独を防ぐのはどうでしょうか？また子育て中のお母さんも、幼稚園や小学校に子供が行っている数時間でも働けると、家計の足しにもなり、地域に参加しているという、こちらも孤独感を減らし、結果、子供たちが元気に暮らせる街になるのではないのでしょうか。市民を上手に活用して、愛着がある暮らしやすい市にする事で、人口も増やすことは可能だと思います。
- ・自由に利用できる施設も良いが、子供から大人まで学べる文化水準の高い施設を作ってください。初期投資はかかっても、長い目で見れば充実した施設は人を呼べて、資金も回収できる。今は他の自治体の施設をうらやましいと思うばかり。子供たちの未来の為の施設づくりをお願いします。

- ・行政のスリム化が必要と思います。
- ・新しい住宅街が出来た事により、その関係で大雨で道路が冠水する事が2度ありました。市の方も知っていて、今後工事予定という事ですが、学校の通学路でもあるので早目の工事対応の程よろしく願います。(公共施設に関する意見ではありませんがよろしく願います。)
- ・体育館などを利用していますが、駐車場の問題は大きいと思います。より多くの台数が止められるのが理想ですが…。
- ・今後、施設を統廃合していく場合、他市の人の利用に対し、日野市民の利用を優先して欲しい。また、使用状況の実態を確認し、管理して欲しい。
- ・公共施設を日野地区に集中させるべきでない。今後、小中学校の空き教室を利用していくべきである。そうすれば位置的にも適度に分散させられるし、建物も再利用できる。古い公共施設を廃止し、空き教室へ移動できる。これからは福祉に始まり、全ての公共施設は学校を単位とすべき。公共施設のこのような悩みは、近く来ることが分かっているながら、ふれあいホールはいかがなものであったか。その稼働率を知りたい。
- ・児童館や公立幼稚園があるのが本当に嬉しいです。豊田駅前がにぎやかになり、てっきり人口増加へ向かっているのかと思っていました。私立幼稚園の入園も2歳でのプレクラス入会が条件となっているようで、子供を持つ方が引っ越して来られる際、幼稚園探しが大変だと言われていました。
- ・単身者が施設利用も無く、税金だけ払っています。コミュニティ施設と福祉関連施設がバカみたいに多すぎます。施設の効率化は当然の如く進めて頂くとして、魅力ある市、財源、税収の確保できる市を目指すことを忘れないで下さい。余裕さえあれば、それは色々な施設があった方が良いでしょう。
- ・児童館とは別に室内の遊び場を作って欲しい。(日祝が開いている所がないので) 有料でも良い。
- ・今後も定期的にアンケート等を実施して欲しい。
- ・地区センターの場所が急な坂にあり、さて出席するかと言う気になれない。(若い頃は皆問題なく経過したのですが) 考慮して頂きたい。
- ・現在から10~30年先について、色々な手をよく把握して、色々な意見を集約して計画して下さい。
- ・日野市はカーブミラーが少ない。
- ・大企業の誘致。
- ・この時代、八ヶ岳高原荘などは廃止してもよいのでは。
- ・住民税が高いのに、財政が苦しいのはおかしい。早く日野自動車の跡地にコストコや商業施設を作って欲しい。
- ・それぞれ性格の異なる施設をひとまとめにして返答させるのは無理がある。
- ・ありがとうございました。どうか高齢者がホッとできる場を作って下さい。ほんのひとつき、楽しく過ごせたら嬉しいです。
- ・例えば小中学校のエアコンは設置されていても稼働日数、時間が少なく、学習意欲を阻害する。子供たちの教育環境を低下させない様に、財政のスリム化をして欲しい。市立病院に患者を集中させないよう、初診料を大幅UPし、近隣の開業医を受診する様に促す。
- ・設問が取り組みを進める方向に誘導されている感じを受ける。進めない方が良いとは言えない設定になっている。進めた方が良いが、配慮して欲しい点などの意見はどうやって洗い出していくのか。はじめから市の方向ありき!?

- ・公共施設は行った事があるのは図書館だけです。
- ・全体的に使用していません。一カ所に集まっていたら行きやすいと思います。
- ・「地域の核となる公共施設」という考え方がわからない。必要なかどうか（日野市に）、根本的に考え直した方が良い。（市民の意見をよく聞いて）
- ・昔は多くの公共施設が必要だったのかも知れない。人口の増、高度成長期等々。現代になり、情報も発達、生活も変化、多様化し、行政が公共施設を多く提供する必要なのか？と思う。少なくする方向が良いと考えます。
- ・大きな企業に次々と逃げられ、税収が減るばかりの日野市が、公共施設にお金をかけなくても良いのでは？それこそ、「小金井」市と共同でやれば良いのでは？
- ・公立の保育園が少ないと思います。子育て支援に力を入れてほしいです。
- ・アンケートの作りがよくない。
- ・大手企業の転出は市の財源にかかわる。新規企業の進出を誘うよう努力する。
- ・日野市のためにたくさん考えて下さってありがとうございます。
- ・コミュニティ施設の数が多すぎると思う。公園や道路わきの樹木の手入れにもっと力をいれてほしい。変えるなら高齢者よりも子育て世代、若い人が住みたいと思うような街になるような視点で、施設や市の制度を見直して、若い人口が増えていけばもっと活性化されると思う。
- ・小中学校の空き教室など積極的に活用していくのはどうでしょうか。
- ・今までと同じようにしていたら、だめだと思います。若い人たちの考えも入れてほしいです。
- ・平日の昼間、公園に子供がいません。遊具をもう少し複雑な物を設置して欲しいです。イベントも同じ公園ばかりでなく、色んな所でやるべきだと思います。日野市大好きです。良くなるようにがんばって下さい。
- ・このようなアンケートを、無作為に答えてもらうことは、適当でないように感じました。各施設で実際に施設を利用している人に、もう少し簡単なアンケートができればいいかと思います。
- ・財政難の折、アンケートにこんな立派な紙を使うのはもったいないと思いますが。
- ・新撰組に関するアニメ等が多くあるので、コラボしたイベント等を企画して、市外から人を集める。若者が少ないイメージがある。中央線や京王線等で都内からもアクセスし易い為、イベント会場の新設。
- ・このアンケートの趣旨と違うかもしれませんが、公共施設、防災無線がよく聞き取れません。パソコン、携帯電話など無い老人にとって、台風・河川の状況等、市の御指示の防災無線が頼りです。何とぞ御検討下さい。（栄町2丁目1番地）
- ・公共施設を利用する事が多くあるが、古い施設ほどそこにいる職員の仕事が悪い。（七生公会堂では予約をダブルブッキングされ、利用できなくなるどころでした。これに対し謝罪は「古い施設で職員もよく判っていない」でした。）
- ・子育てに関する施設はむしろ今より充実させて欲しい。少子化を懸念するなら子どもを産みやすい地域にすべき。
- ・婚活など市民間でやってもらいたい。
- ・映画館などがあればもっと人も集まり活性化すると思う。子育て支援も手厚くしたりすることで"若い子ども連れ"も増えて良いと思う。
- ・積極的な企業誘致をお願いします。税収入を増やす取り組みは不可欠です。市の財政状況については

近隣の市と同じ様なものだと思います。隣接する行政と連携し、公共施設の共有化を進めて下さい。ゴミ焼却について、近隣の市から受け入れも拡大し、収入を得ていくことにも取り組んで下さい。一部の反対者に負けずにがんばって下さい。

- ・ボランティアを積極的に活用し費用をおさえる。例) 修理、補修費用等は民間の様に一般入札や数多くの見積もりを取り、費用をおさえる。

- ・どのような施設であっても利用しやすく、清潔感のある施設がいい。今の施設(古いもの)はトイレなどが汚く、和式が多いので、高齢者、子どもには使いづらい。

- ・市職員の給与を10%カットして施設の運営費にまわす。(民間に比べて高すぎる給与)!!

- ・聞かれていることがストレートに判らない。あった方が、ない方がいいのかの選択が、それだけではない様な。

- ・声大きい、個人の利益だけを追求するような者に惑わされず、市財政の升に合った施策を自信をもって進めて下さい。声無き声を大事に!!

- ・アンケートの取り方が市の取組みに賛成する方にかたよりが見られる。幅広い意見が出るアンケート内容にすべき。

- ・東部市民会館温水プールを民営化して建て直す。

- ・交流センターを以前利用していました者ですが、ある時、シルバーの職員の方達と市の職員の方が変わっておりました。とてもシルバーの人は、親切に対応して下さいましたが、市の職員の方は何事も事務的で年寄りの私共にはちょっとなあ!!と思った事でした。又シルバーの人は日中のつとめから5時過ぎの勤めになったとか。年寄りをもっと大事にして下さい。利用者より。

- ・日野自動車に代わる企業誘致。税金は増大してサービス減少は経営努力が足りない。私企業を見習う必要有り。

- ・我が家は同居人全てが働いていますので、せめて、市役所関係は、土日なども開庁して頂けると助かります。書類1つを市役所に取りに行くのに休みを取らなければならないのは、不便です。

- ・普段働いているので、市の公共施設はほとんど、利用する機会がない。

- ・利用者の少ない施設は休館日を増やしても良いと思う。(統合出来ない、廃止出来ない場合)職員に兼務(他施設)して頂き、効率を上げ、コストを下げたい。

- ・高齢者が孤立しない、子育てがし易い環境を整えて頂きたい。(高齢者と子供の交流、助け合いが出来るようにしたいですね。)

- ・とても分かりづらいアンケートでした。よく分かりませんでした。

- ・税金が少しでも多くの人々に還元されるように使われる事を希望致します。

- ・全体的な方向性を決める為の論議の1つとして、このような方法(アンケート)も良いと感じました。一方で、現状の各施設の会計状況の明確化と、コスト削減についても、より積極的な取組と情報の公開をお願い致します。

- ・過ごしやすい街作りをお願いします。

- ・駅の近くに図書館があると、もっと利用しやすくなると思う。スポーツ施設も出来れば利用したいが、(有料でも)平日は夜しか利用出来ないなので、退職するまでは難しそうだ。

- ・高齢者が増加する為、高齢者が利用する施設を優先して考えるべき。料金、施設設備、利用の内容等。

- ・市の職員を減らせ。

- ・全体的に意味が分かりにくい。(質問の) 財政難を想定した取組みはとても良いと思う。アンケートだと伝わりにくいと思うので、座談会のように意見を聞く場を設けてみるとかどうでしょうか？
- ・見直し、縮小するという前提で設問されており、アンケート方式として、不適切である。このような偏った設問では正しい反映がなされない。
- ・高幡の駐輪場が有料化になったが、利用率が少ない。今まで通りで良かったのに、程久保駅では、いまだ無料で、不公平感がある。納得がいかない。
- ・市の土地を売って困ったら、何の発展もない事になる。認識不足なのだが、旧市立病院の跡地は売ってしまったのですか。老人ホームでも出来たら良かったと思いました。風呂屋でも出来るのかと欲していたのに、残念です。
- ・必要といえば、公共施設を選定、集約し、合理的な運用をして欲しい。高齢化を考慮し、医療の充実と少子化に向け、学校の統合等を検討すべき。必要のない、施設は作らない。スリムな行政を。
- ・バーベキュー施設があれば、市内、市外から人が集まるのではないのでしょうか。施設で農家の食材を販売すれば、地域の活性化に繋がるのではないかと思います。
- ・利用したくても遠いなど、不便がある。施設自体どこにあるか分からない事が多い。
- ・多摩川を挟むため、南北で格差が多少あるように思います。適正な再編をお願い致します。
- ・ありがとうございました。
- ・公共施設は使う人が、多分固定していると思われます。もっと魅力あるようにして、人が多く集まる様に、又、有料化も必要。日野市に住みたい町にして、人口を増やすことも考えましょう。
- ・セツ塚ファーマーズセンターは失敗でしたね。全く役立っていません。要らない物の1つです。
- ・もっと民間企業の取組みを見習うべき。根本が変わらなければならないのでは？
- ・日野市も他の地方公共団体同様に、施設の老朽化の問題を抱えているんですね。その事が分かっただけでも、有意義なアンケートでした。多くの市民の意見を反映させ、効率的な施設の有効活用を希望します。今後の市の取組みを注視していきます。
- ・年金暮らしで、病気がちです。出来る限り節約して生活しています。都民、市民税と介護保険料、固定資産税が高いので、生活費が大変です。
- ・施設一覧を見ると、数が多いと感じた。
- ・全体的に施設の老朽化で、照明も暗い。ブラインドや空調設備も不良。申し入れても改善されない。
- ・利用者と非利用者の差が大きいとは感じている。
- ・日野市は住みやすい街ですが、全体的に周辺の市と比べてかなり遅れていると思う。区画整理も進まず、建替えが出来ない地区もあり、全てが中途半端だと思う。日野駅も中央線の中で一番さびれていて、これでは、更に人口も減ると思う。若い家族が引っ越して来たいと思う街作りをしないと将来が心配。
- ・地域住民の立場からすると、公共施設などの補修、改修は税金がかかっても有り難い事に思いますが。
- ・施設の利用方法を広報に載せて利用しやすくして頂きたい。
- ・年齢的に将来の方向は良く見えません。悪しからず。
- ・日野市は公共施設が充実して、市民職員も努力しておられる姿が良く分かる。大変でしょうが、頑張って下さい。
- ・普段公共施設をあまり利用しないので、正直興味がない。日野市にそこまで期待はしていない。くだ

らない。

- ・アンケートと封筒の大きさが合っていません。
- ・若者向けの運動ができる施設や図書館が欲しいです。最近はやりの質の高い物であれば、利用料があっても利用するのですが、日野にはないので、結果として多摩市の施設を有料で利用したことがあります。
- ・公共施設とは、直接関係のないのですが、平山城址公園駅のまわりに店がなく、大型スーパーもなくなり、買い物が不便です。どうか、駅前にお店を誘致して下さい。都市よりも多く、本当に不便で困っています。
- ・税金で何でもまかない過ぎだと思います。施設を利用したい市民もいるので、利用する人には、利用料を取るべきです。
- ・ハード中心の考え方から、ソフト面での対応を有意義にする。
- ・日野市在住 43 年になります。市長はじめ担当の皆様ご苦労様でございます。今後、公共施設等を建て替える場合、市庁舎の様な美的センス（後世に残る）もご配慮いただきたいと思います。
- ・財政を考える上で、企業の流出を食い止め、積極的に誘致を行う必要がある。公共施設で、年金事務所、ハローワークが日野市にはないので、不便である。又、スポーツジムを充実させていただきたい。日野市の中心地が明確でないので、明確化させて開発を行う。
- ・歩いて行ける。バスで行ける。という場所に、公共施設はあるべきではないでしょうか。
- ・施設の予約は、3か月前にパソコンで実施していますが、年間予約ができれば非常に助かると思います。質問の設定が間接的で分かりにくい。
- ・返信封筒が小さい。
- ・公共施設の事項とはかけ離れているが、市役所・支所の人員が多いのではないかと感じている。冷暖房に関しても、一般家庭とはかけ離れたものになっているのではないかと常々感じている。サービスとはいったい何なのか…。
- ・イベント等は、市役所周辺の遠い場所が多いです。もっと近くでして頂きたいと思います。当所に引っ越して来て3年になります。小さい子供さんの多い若い世帯が多く、良いと思います。乱文乱筆お許し下さい。
- ・公共施設は一度も利用した事はありません。維持が大変なら縮小しても良いのでは？
- ・限られた予算で市政を運営していくのは大変だと思いますが、先を見据えた柔軟な考えとアイデアで、他から真似されるような市政を運営して頂きたいと思います。
- ・受益者負担を原則として季節利用の施設は、年中利用できるものに改修する方向性も必要である。
- ・市有地の有効利用を計って頂き、財政を潤して、高齢化社会を守って欲しいです。
- ・アンケートを踏まえながら、収入面について民間の意見を聞く事が重要だと考えます。支出面では効率化を考えながら進めるのは賛成です。豊田駅や高幡不動の地価は上昇中であり、今後も不動産としての価値が高まるエリアなので、空きスペースの売却、賃貸を積極的に行い、過疎地域へのしわよせがなるべく出ないように集約化して行って欲しいです。
- ・無駄な道路や建物はもう作らずに、緑を大切にしたいです。歴史的な用水路を埋めてしまったり、素敵な道無くして掘ったりしては、二度とは住んでくれません。昔は子供と住むには良い市と言われて、家族連れの人々が住んでくれていたのに、今はあまり良い話を聞きません。大学やタマテック

も無くなってしまい、ついには日野自動車まで無くなってしまいます。何故こんな事になったのかを考えてください。さらに、駅前の駐輪場にせめて1日100円で誰でも止められるようにしてください。すごく困っています。本当に困るんです。休みの日に出かけられません。

- ・図書館をたまに利用するが、開館時間に行く事が出来ず、予約をWEBでも借りることが出来ない(職場が遠いので)。たまに開館時間をずらして夜まで開いていると嬉しいです。
- ・現時点での施設の利用状況の調査は？同じ場所(室)に重複している一方で、空室がある。時間と曜日を変更して使う指導も必要。内部が使われていなくて、汚れていなくて。外装は経年変化して、老朽化しているのは当然だ。フルに使えるようにすべきである。
- ・公共施設のトイレの老朽化が特に目立つ。
- ・立川市と比べて、図書の品揃えが貧相に思います。もっと予算を掛けるべきだと思います。
- ・子供が利用する施設は、安全で清潔、気軽に利用できる事が大切だと思う。あまりに古い施設は建て替えが必要だと思う。古いと、衛生面も心配だし、地震の耐震性など気になるので。
- ・日本の将来を考えると大変不安。パートが多く結婚が不安で、出来ない若者が多い。原爆の後、伝来が未だに出来ていない。日本の子供の教育費まで削って、外国にヘルプするのは如何かと思う。
- ・アンケートの集計は頂けるのでしょうか？
- ・利用する人数が少なく、管理費がかかっている施設があれば、廃止を考えて良いと思います。
- ・高齢化に伴い、急に色々の〇〇センターが増えたが、有料の為利用できない(78歳)。なぜ作ったのかわからない。利用率の低い物は廃止すべき。市内の質問が中心であるが、他市の利用を多くしている。例、打ち合わせ、会議室など。P18、19資料は、希望者は切り取っても可という言葉が欲しかった。
- ・面積のスリム化と、地域の核となる公共施設は必要なのはしょうがないが、近くに施設が無くなると通えなくなるので困る。車で移動できなくなっても、徒歩で行ける距離に施設があると使用しやすい。面積のスリム化をすると、遠くなると思う。施設も利用できる人が減ると思う。
- ・市の詳しい事が知れて良かったです。財政状況など分かりやすく説明されていたので頭に入ってきました。
- ・民間に委託できる事は委託していいと思う。コミュニティ施設は利用する機会が少ない。
- ・今までお勤めしていたので、地域に余り関心が無かったが、年齢が増すにつれて、保健センターを利用する機会が増えた。近いので、とても助かっています。
- ・老朽化した公共施設は、リノベーションなどで新しくし、ペンキなどが剥がれた所の簡単なペンキ塗りは地域の小・中学生に社会勉強で縫ってもらうのは如何ですか。魅力ある施設が出来ることにより、子育て世代、高齢の方も住みやすい町になると良いと思います。
- ・新しく計画を進めるに当たって、市民に理解してもらえよう、お知らせをしたり、説明会を開いたり、意見を取り入れて参考にしたりと、住民の声を大事にすることから活性化出来るのではないのでしょうか。現状を知らない市民は沢山いると思います。住みよい町づくりを期待します。
- ・日野市の公共施設は、早くから整備された事の裏返し、老朽化が目立つので、時代に沿った使いやすい施設をなる事を望む。
- ・税収、人口の低下は、今後も進行なのは必然です。現在の手法より更に進化された技術的な向上したボランティア制度が必要になる。それは単純に参加するだけのボランティアではなく、教育を受け、習得する事による喜びを感じるボランティア制度の発想を啓蒙する必要がある。

- ・いじめ対策として、児童、生徒に武道を推奨する。無料かつ開放的な公共施設の解説を希望いたします。
- ・多少、誘導的だ。
- ・将来的に考えると、大変重要な事ですね。高齢者の一人としてこの町に生活の基盤を置いて、この先が心豊かに暮らせるかと、不安も感じます。民間資本が入るメリット、デメリットを見極めてくださいますように。営利追求に備わる可能性を心配します。
- ・アンケートの記入はすべてレで統一して欲しかったです。□のサイズの中に○を書くのは、記入しにくかったです（問7、8で）。あと、全10問とあったので、問10を確認してしまいました。
- ・現状の施設を出来るだけ長く補修をしながら利用した方が良い。もし新設するならコンパクトに誰でも特に高齢者が利用しやすいように。無駄な公共施設は作らないよう経費削減、長期的に見て。
- ・「よくわからない」という選択肢があれば良かったかな？と思います。判断が難しい設問が多かったです。
- ・コミュニティ施設は、地域の活動拠点として必要と思われる。
- ・市民が文化的で健康な生活を送れるよう、市が応援して下さいと良いですね。公共施設のうち、何を大事にするのか明言して頂くと、アンケートに答えやすかったと思います。スリム化、統廃合は必要でしょうが、その核となる市の考え方が全く分かりませんでした。例えば「みどり清流のまち」をうたっているのだから、そこを核にするなどして頂けると良かったです。
- ・公共施設がよりよく使えるよう、よろしくをお願いします。
- ・施設が老朽化していること、人口減等により公共施設に充てる財政の逼迫化が予想される事実を、まず分かりやすく、広く、そして長期に知らせる事が大切ではないかと考えます。
- ・多摩市のように駅近くの商業施設の中に、夜遅くまで利用できる図書館を配置して欲しい。日野市の図書館は駅から遠く、早く閉館し、あまり綺麗ではないので、いつも多摩市か立川市の図書館を利用している。
- ・図書館の民営化には反対。回答用紙は別紙形式が良い（ハガキなど経費の安い物）。
- ・市の職員は忙しすぎる気がします。職員数が少ないのかどうかは分かりませんが、もっとサービス専門を減らした方が良いと思います。
- ・質問の仕方が理解しにくい文章だと感じた（誘導されている感じ）。
- ・図書館の利用時間を朝9:00～夜20:00くらいにして頂きたい。せめて土日祝だけでも。神奈川県大和市より昨年、移転しましたが、営業時間が短い事にびっくりしました。いつも高幡不動の図書館を利用しています。しかし、良いと思う事は、日野市は情報の公開、アピールが上手だと思いました。
- ・当アンケートの18～19頁にある地区センターのリストは、地区別（多摩平、南平等の単位で）またはあいうえお順にすべき。
- ・公共用地に面していますが、近所では花を植えたり、除草をしています。しかし、新住民は市に除草等を依頼しています。その中には市職員もいます。市は除草をする前に住民にボランティアを頼むべきではないでしょうか。元から住んでいる私たちはやる気を無くしています。
- ・日野市が会社が減り、財政が厳しくなっていることは前から言われているが、豊田含めて若い層が増えている。未来のある街であるため、公共施設等は現状をしっかりと見極めて住民の声を聞いて欲しい。マンション乱立による子供施設などの不足、豊田の保育園のことは将来性のある税収入に関係する。し

っかり把握して対処して頂きたい。

- ・次ページ以降、公共施設の多さにびっくりしました。人口の減少によってコミュニティ施設の統廃合（難しい）は考えても良いと思います。
- ・人口減、税収減の中での運営は大変な事だと思いますが、徹底的にムダを省いて、エコで行きたいものですね。
- ・公共施設を利用している人としていない人がいると思いますので、今後の維持を考えると、使用する人より使用代を少しでも集めた方が良いと思います。
- ・ベストライフ高幡に入居して、不自由な生活を送っております。
- ・本庁の職員始め、出先機関のアルバイトまで公僕の認識を持つ事。出来ない人は入れ替える事。
- ・色々考えているのですね。企画部での問題に 20 年先には心痛みます。何もかもの気持ちで。でも施設によって市民が楽しい毎日を過ごせる場所は必要だと思います。それぞれの生き甲斐を皆持てたらと思います。企画部の皆様をお願いしたいと思います。個人的には今は忙しく過ごしていますが、これから利用できる施設が増えて、多くの方とお話出来たらいいなあ～と思います。アンケートの答えを考える問題が大きすぎて難しかったです。
- ・近くの施設の利用は多くなるが、遠い所は行けない。このアンケート計画を進めるとなると、政治的な方策が難しい気がする。
- ・先がありませんので、宜しくお願い致します。(74 才)
- ・シルバー人材をもっと活用、充実して、市民サービスを充実して欲しい。
- ・財源不足は目に見えているため、統合していくことは必要だと思う。ただ高齢になると出掛けるのが大変になるのも事実。公共機関への交通網をより便利にするとか、出張施設を作り、近くまで来て利用できるとか、そういったことも考慮して頂けたらなあと思う。
- ・公共施設のあり方を検討するべきです。活用状況を把握し、無駄なものはやめるべきである。"魅力あるまちづくり"の姿、方針が見えません。行政に関しての評価制度を導入し、公表すべきです。
- ・例外なく、真に必要な施設を残すようにして欲しいです。
- ・福祉を優先するしかないため、施設は減らすしかない。市民会館などは八王子市や立川市を借りれば良い。このアンケートも解答用紙にすれば軽くなるし、集計もしやすいのでは。こんな良い紙を使うのも無駄遣い。議員も多過ぎる。まず減らして欲しい。日野市はあまりにもやるのが適当。ホームページの見にくさも、あまりにもひどくいい加減。やる気が感じられず、ポーズのみで悲しい。
- ・市民会館等は他市からいらした方が、とても交通の便が悪いので少し考えて欲しいとの意見がありました。(駅から遠いとのことです)
- ・アンケートの御礼が欲しい。
- ・障害有無問わず（生活困窮者含）、気軽に行かれることを考えて欲しい。
- ・施設を利用するためのコミュニティバス等があれば、活用がもっと出来る。
- ・公共の施設の利用時間や曜日に制限がある事で、利用枠が狭くなっていると思います。シルバー人材センター登録者や、ボランティアを望む高齢者も増えています。そういった方々の力をお借りして、もっと利用率 up をはかっては？また、私の様に仕事で殆ど利用出来ない者も税金は投入されていく訳です。利用者が、光熱費や維持費に当たる部分をもう少し負担してもらって財政負担を抑えていっては如何ですか？

- ・体育館の利用料金はもう少し値上げしても良いのではないか。
- ・高幡台分室を利用させてもらっているが、ルールを守った利用を職員がきちんと見て欲しい。管理者として怠慢なところがある。後世にも使ってもらう施設である。きちんと大事に使う事で古い施設でも長持ち出来る。きちんとしているサークルから見ると許しがたい事である。
- ・このアンケートの意図が不明。すれば良いのでは？という事ばかりなのでわざわざアンケートをとる必要があるのか？
- ・子育て支援施設の維持運営は是非予算を削らずに行って欲しい。P. 10「共用化」は取り組みを進めた方がいいと思う。よろしくをお願いします。
- ・考え方、施策例の所の文字を薄く（細く）したのか意味が分からない。非常に読みづらかった。外と同じはなぜダメなのか疑問である。やっけていやになった。
- ・人口が将来的に減るのであれば、公共施設も減らすべきと考えます。
- ・他市から人が移住したくなるような、特徴のある市になって欲しいです。その為には、宣伝も必要かも。
- ・体を鍛える器具を備えたスポーツセンター、有料でよいからアドバイスする職員。
- ・市立病院の充実。
- ・東平山・西平山地区は、新しい住宅が出来ており人口が増えています。滝合小学校地区に児童館が無いので検討願います。（今後5～6年は小学生増加すると思います。）
- ・改修の際はバリアフリー設計をお願いします。広めの駐車場確保をお願いします。施設新設の際は駅から徒歩5分以内のアクセスの良い場所を希望致します。
- ・アンケートにカラーを使う必要はないように思います。日野市の広報も立派にするのはどうかと思います。
- ・杓子定規な「物」の考えに捕われず、「ケースバイケース」で頭を柔軟に使うべし！！お役所仕事の注意して欲しい！！
- ・色々な施設があると知りましたので、この機会に利用してみたいと思います。
- ・誰もが使用可能な福祉や教育に関する施設は必要不可欠であると思う。財政が厳しいのは分かりましたが、そこがおろそかになっては、治安も悪いし魅力的な市にはならないと思います。
- ・子供たちの死亡や傷害事件が多発しています。どうか子供たちが利用しやすい施設や地域を作ってください。
- ・経費は節減に努める。施設が減れば職員も減らせる。少子化で学童は小学校の空き教室を利用すれば良いし、保育園は民営化するべきで、その分利用者数を増やし、希望者全員入園させるようにすべきである。
- ・6月に引越（届出は7月に）して、あまり良くは知らないが多摩平から旭ヶ丘まで高台で安心。商業施設もいろいろ揃っており便利な地域。メーカー（富士通、日野自動車、ファナック、トッパンフォーム、コニカミノルタ、エプソンなど）の工場もあり固定資産税、法人事業税の収入も市に入るはず。強い姿勢で市を伸ばしてほしい。経験と知識を活かし「より良い日野市」に協力するので何かあれば連絡してください。
- ・カラー刷りのコピー、この冊子にかかっている経費も税金。紙質全て、経費削減が感じられない。くだらないアンケートを取らないで図書館の本も新しいものにして。10年前の本など平気で置いている！

- ・地域ごとに今一番行政に望む事を絞り込み地域ごとに費用配分し、運営を任せる。
- ・市内循環バスの無料化を計り、今ある施設を市民全体が活用しやすくする。

以上